

八幡市のまちづくりのための
「市民アンケート調査」
報告書

平成 29 年3月

八 幡 市

【目 次】

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査方法と回答状況	1
(3) 報告書の見方	1
2. 市民調査	3
(1) 回答者の属性	3
(2) 八幡市の住み良さについて	19
(3) 幸福感について	27
(4) 八幡市のこれからのまちづくりについて	32
(5) よく利用する店舗・施設、充足状況、交通手段について	42
(6) 八幡市の観光まちづくりについて	83
(7) 地域における活動について	95
(8) 八幡市がめざしてきた「めざす姿」の達成状況について	104
(9) 八幡市役所の取組について	132
(10) 自由意見	139
参考資料 (依頼状、調査票)	
3. 転入者調査	155
(1) 回答者の属性	155
(2) 転入理由や転入先の決定について	167
(3) 八幡市のイメージや住みやすさについて	176
(4) 今後の八幡市での居留意向	184
参考資料 (依頼状、調査票)	
4. 転出者調査	197
(1) 回答者の属性	197
(2) 転出理由や転出先の決定について	209
(3) 八幡市のイメージや魅力・不満について（八幡市居住時）	219
(4) 今後の八幡市での居留意向	227
参考資料 (依頼状、調査票)	

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

市民に住みよいまちづくりを目指して行政運営の基本方針となる新たな総合計画を策定するため、八幡市のこれまでの取組への評価やまちづくりのあり方などについての市民の意見を把握し、新たな総合計画の参考資料とする。

(2) 調査方法と回答状況

① 調査方法

調査名称		八幡市のまちづくりのための「市民アンケート調査」
実施期間		平成 28 年 10 月 7 日(金)～10 月 24 日(月)
調査方法		郵送による調査票の配布・回収(お礼状兼督促状を 1 回送付)
調査対象	市民調査	八幡市に住民登録している 18 歳以上の方(注)
	転入者調査	他市から八幡市に転入されてきた 25～44 歳(平成 28 年 9 月 1 日時点)の方
	転出者調査	近畿 2 府 4 県の市町村に転出した 25～44 歳(平成 28 年 9 月 1 日時点)の方

(注)市民調査の対象者の抽出にあたっては、過去の市民アンケートの回収状況を参考に、回収サンプル数が実際の人口分布に近くなるよう、性別・年齢階層・地区別に補正比率を設定して算出した男女別・年齢別・地区別の抽出数に基づいて無作為抽出した。

② 調査の対象と回答状況

名称	発送数	未達数	有効発送数	有効回答数	回収率
市民調査	3,021	15	3,006	1,192	39.7%
転入者調査	976	11	965	220	22.8%
転出者調査	1,050	29	1,021	262	25.7%

(3) 報告書の見方

- ・回答結果の比率はパーセントで表している。四捨五入のため、パーセントの合計が 100%にならないこともある。
- ・複数回答が可能な設問では、回答結果の比率を合計しても 100%にはならない。
- ・報告書に掲載しているグラフにおいて、値の小さい項目は表記を省略している場合がある。
- ・クロス集計の表で、**白抜き** は全体の値よりも 10%以上高いこと、**網掛け** は 10%以上低いことを示す。
- ・回答数(n数)が少ない場合、コメントをしていない場合がある。

2. 市民調査

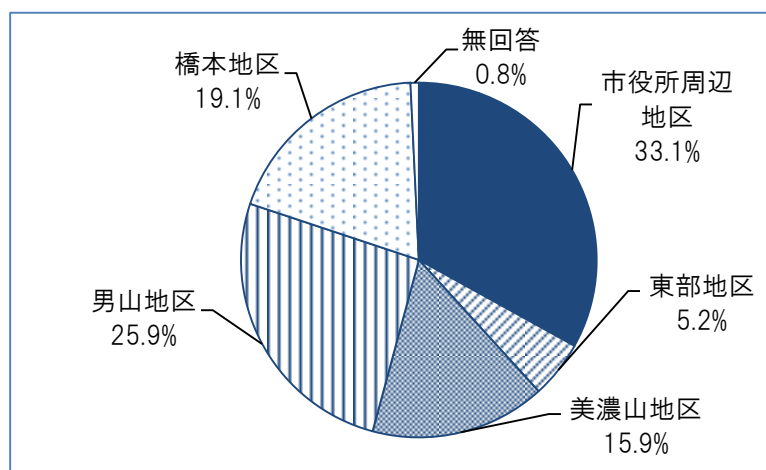
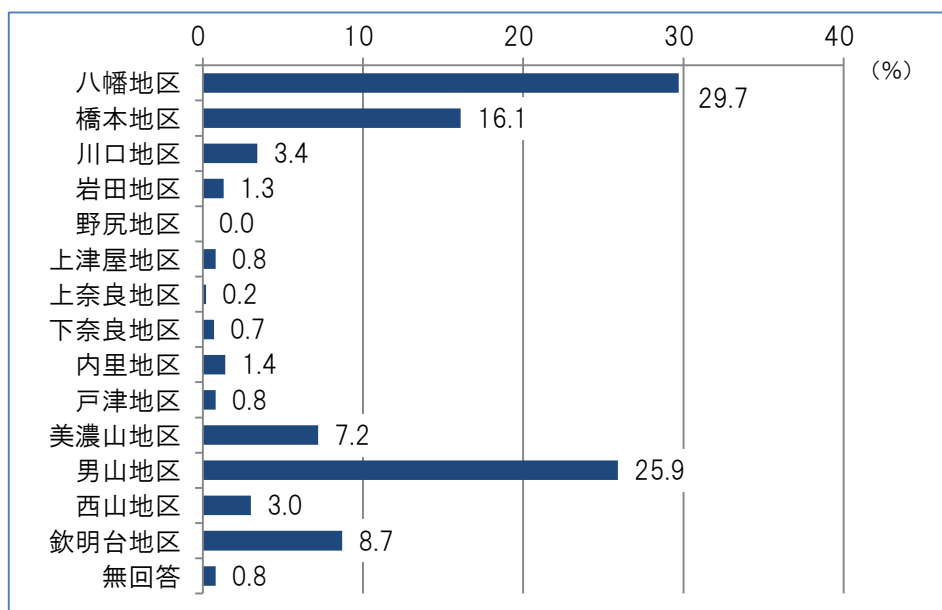
(1) 回答者の属性

① 居住地区（問1）

回答者の居住地区は、「八幡地区」が 29.7%と最も多く、次いで「男山地区」(25.9%)、「橋本地区」(16.1%)となっている。この3地区で約7割を占めている。

5地区別に見ると、「市役所周辺地区」が 33.1%と最も多く、次いで「男山地区」(25.9%)、「橋本地区」(19.1%)となっている。

図表 1 居住地区(SA) (n=1,192)



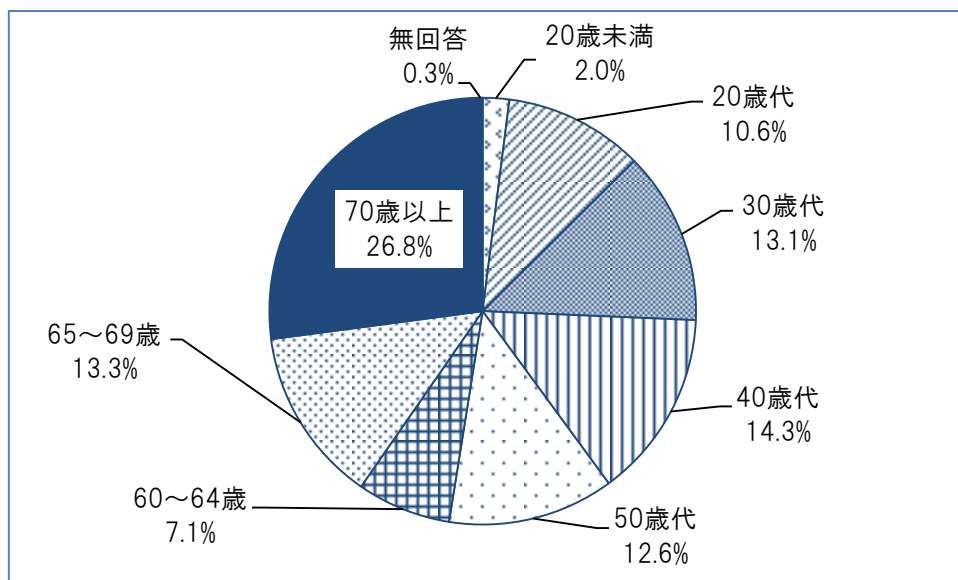
【5地区】

市役所周辺地区	八幡地区、川口地区
東部地区	岩田地区、野尻地区、上津屋地区、上奈良地区、下奈良地区、内里地区、戸津地区
美濃山地区	美濃山地区、欽明台地区
男山地区	男山地区
橋本地区	橋本地区、西山地区

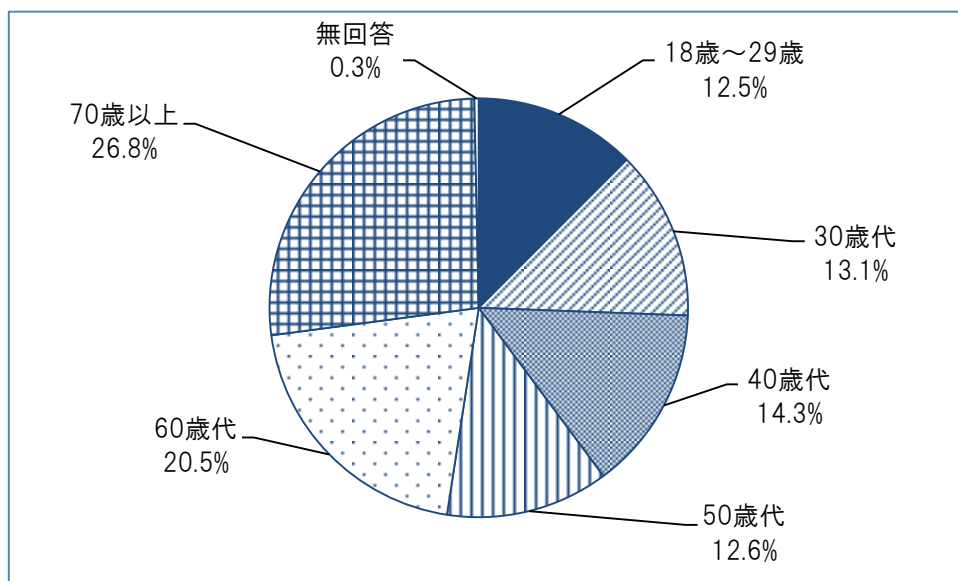
② 年齢（問2）

回答者の年齢は、「70 歳以上」が 26.8%と最も多く、次いで「60 歳代」(20.5%)、「40 歳代」(14.3%)となっている。65 歳以上の高齢者が約 4 割を占めている。

図表 2 年齢(SA) (n=1,192)



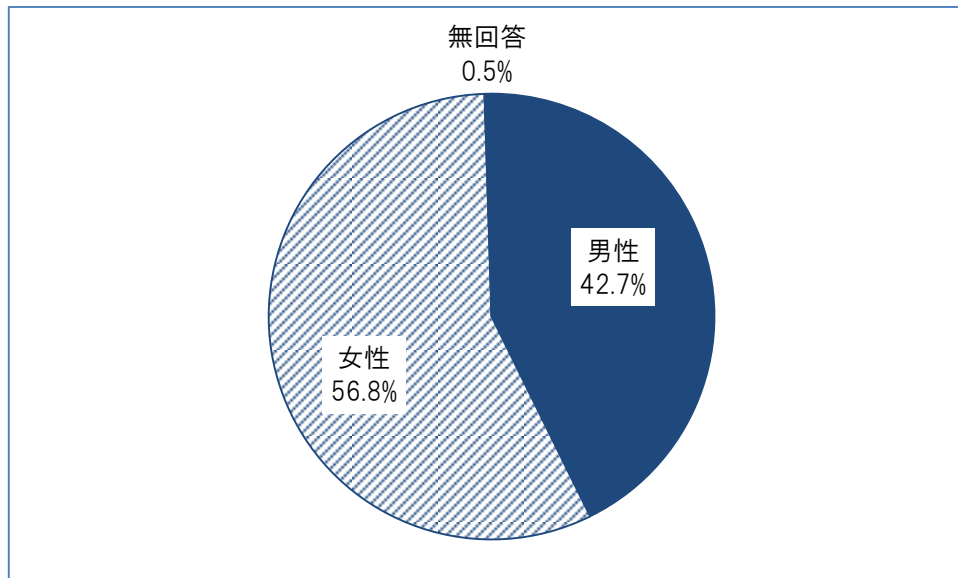
図表 3 年代別(60 歳代の値を表示) (n=1,192)



③ 性別（問3）

回答者の性別は、「女性」が 56.8%、男性が「42.7%」で女性が多い。

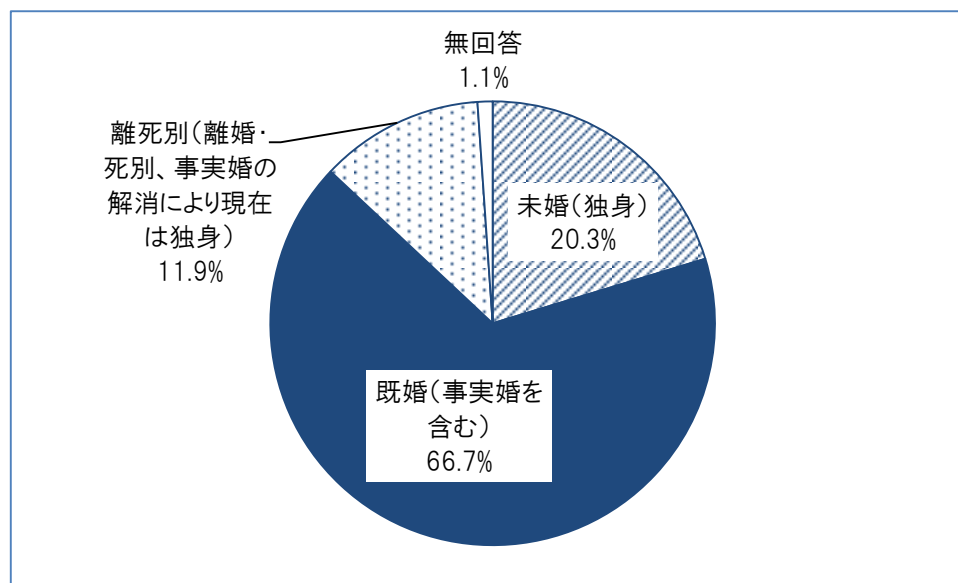
図表 4 性別(SA) (n=1,192)



④ 配偶者(パートナー)の有無（問4）

配偶者(パートナー)の有無は、「既婚(事実婚を含む)」が 66.7%と最も多く、次いで「未婚(独身)」(20.3%)、「離死別(離婚・死別、事実婚の解消により現在は独身)」(11.9%)となっている。

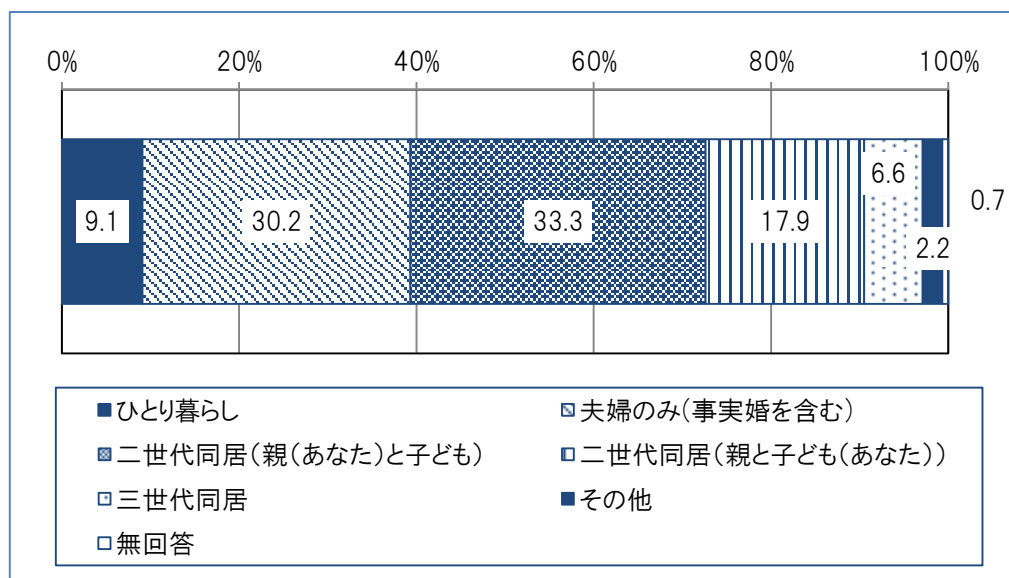
図表 5 配偶者(パートナー)の有無(SA) (n=1,192)



⑤ 同居の家族構成（問5）

同居の家族構成は、「二世帯同居（親（あなた）と子ども）」（33.3%）と「夫婦のみ（事実婚を含む）」（30.2%）が多い。次いで「二世帯同居（親と子ども（あなた）」（17.9%）となっている。

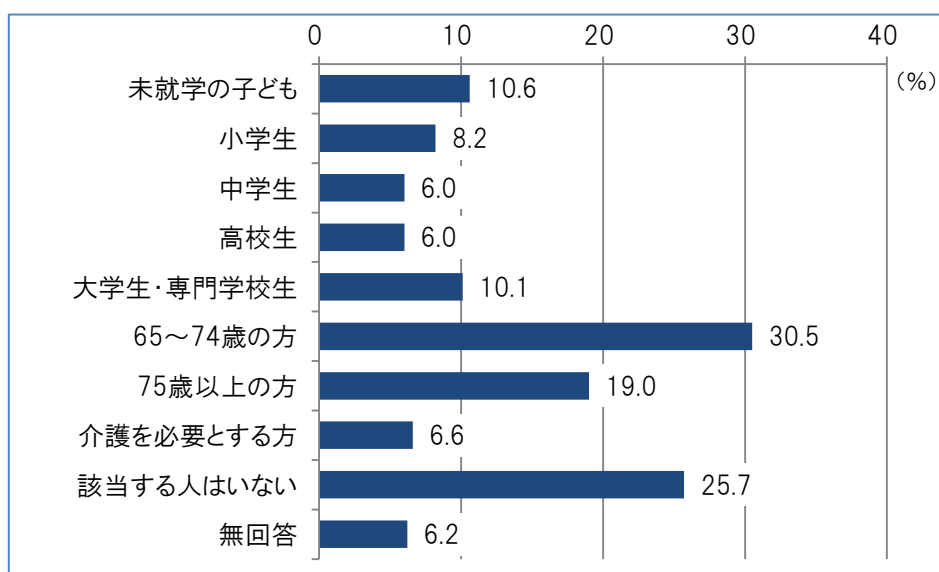
図表 6 同居の家族構成(SA) (n=1,192)



⑥ 同居家族(本人も含む)の内容（問6）

同居家族(本人も含む)での子どもや高齢者等の有無については、「65～74 歳の方」が 30.5%と最も多く、次いで「75 歳以上の方」(19.0%)となっている。「未就学の子ども」～「大学生・専門学校生」は概ね 1 割以下である。選択肢に「該当する人はいない」は 25.7%となっている。

図表 7 同居家族(本人も含む)の内容(MA) (n=1,192)

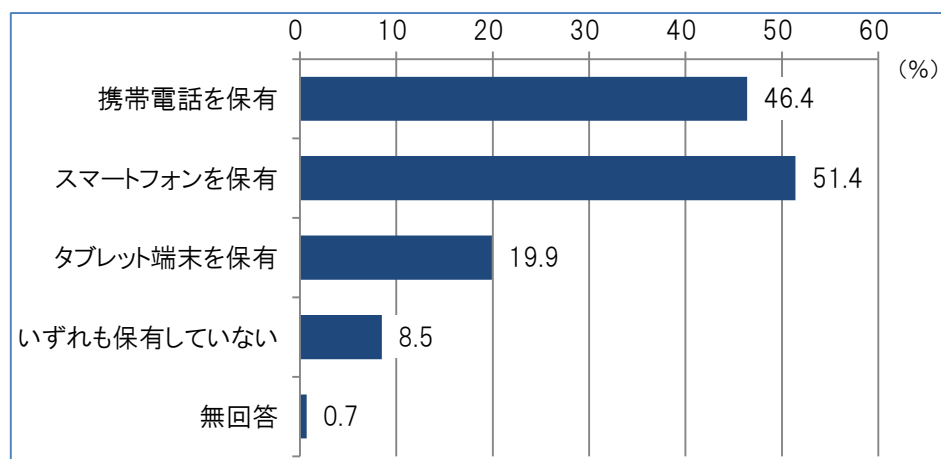


⑦ 携帯電話・スマートフォン・タブレット端末の保有状況（問7）

携帯電話・スマートフォン・タブレット端末の保有状況は、「スマートフォンを保有」が 51.4%。「携帯電話を保有」が 46.4%、「タブレット端末を保有」が 19.9%となっている。一方、「いずれも保有していない人」は 8.5%となっている。

性・年齢別に見ると、18 歳～50 歳代では「スマートフォンを保有」、60 歳代以上では「携帯電話を保有」が多い。一方、70 歳以上女性では、「いずれも保有していない」が約 3 割となっている。

図表 8 携帯電話・スマートフォン・タブレット端末の保有状況(MA) (n=1,192)



図表 9 携帯電話・スマートフォン・タブレット端末の保有状況(MA) (性・年齢別、居住地別)

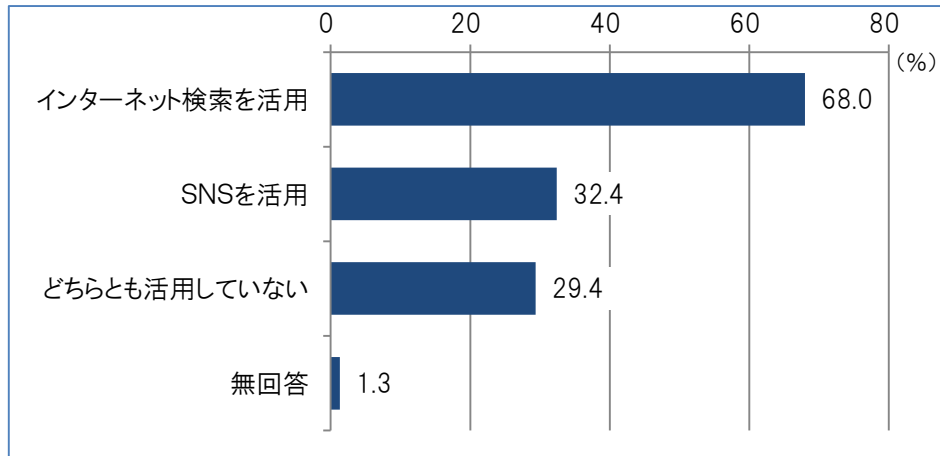
			有携帯電話を保有	スマートフォンを保有	タブレット端末を保有	いずれも保有していない	無回答
			(%)				
全体 [N= 1,192]			46.4	51.4	19.9	8.5	0.7
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	53.2	47.0	20.2	6.9	0.2
	18～29歳	[N= 54]	11.1	94.4	29.6	3.7	0.0
	30歳代	[N= 60]	21.7	86.7	20.0	0.0	0.0
	40歳代	[N= 69]	37.7	73.9	34.8	2.9	0.0
	50歳代	[N= 58]	44.8	63.8	22.4	3.4	0.0
	60歳代	[N= 109]	75.2	28.4	18.3	1.8	0.0
	70歳以上	[N= 158]	74.7	10.8	11.4	16.5	0.6
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	41.5	55.1	19.8	9.6	0.6
	18～29歳	[N= 95]	13.7	94.7	20.0	1.1	1.1
	30歳代	[N= 96]	22.9	88.5	30.2	0.0	0.0
	40歳代	[N= 100]	32.0	76.0	27.0	2.0	0.0
	50歳代	[N= 92]	35.9	73.9	26.1	1.1	0.0
	60歳代	[N= 135]	64.4	30.4	17.8	9.6	0.0
	70歳以上	[N= 159]	59.1	8.2	6.9	30.2	1.9
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	43.7	49.7	19.8	10.9	0.8
	東部	[N= 62]	43.5	54.8	12.9	9.7	0.0
	美濃山	[N= 190]	43.2	59.5	24.2	7.9	0.5
	男山	[N= 309]	49.5	47.6	15.9	8.7	0.0
	橋本	[N= 228]	50.9	53.1	24.6	4.4	0.0

⑧ インターネット検索やSNSの活用状況（問8）

インターネット検索やSNSの活用状況は、「インターネット検索を活用」が68.0%、「SNSを活用」が32.4%となっている。一方、「どちらも活用していない」が約3割となっている。

性・年齢別に見ると、18歳～50歳代では8割以上が「インターネット検索を活用」している。18歳～30歳代では半数以上が「SNSを活用」しており、特に20歳代女性は9割近くが活用している。一方、70歳以上では「どちらも活用していない」が男性で半数以上、女性では約8割となっている。

図表 10 インターネット検索やSNSの活用状況(MA) (n=1,192)



図表 11 インターネット検索やSNSの活用状況(MA) (性・年齢別、居住地別)

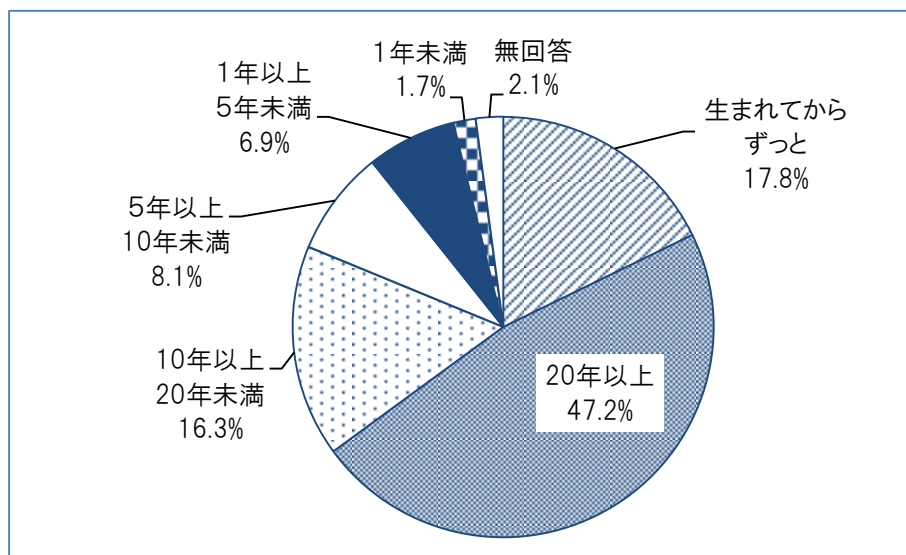
			(%)			
			インターネット検索を活用	SNSを活用	どちらも活用していない	無回答
全体 [N= 1,192]			68.0	32.4	29.4	1.3
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	69.9	25.3	27.7	1.4
	18～29歳	[N= 54]	96.3	57.4	1.9	0.0
	30歳代	[N= 60]	96.7	51.7	3.3	0.0
	40歳代	[N= 69]	82.6	42.0	14.5	0.0
	50歳代	[N= 58]	86.2	24.1	12.1	0.0
	60歳代	[N= 109]	69.7	11.0	29.4	0.9
	70歳以上	[N= 158]	39.9	7.6	55.7	3.8
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	66.8	38.0	30.6	0.9
	18～29歳	[N= 95]	96.8	88.4	2.1	0.0
	30歳代	[N= 96]	97.9	68.8	1.0	0.0
	40歳代	[N= 100]	89.0	41.0	10.0	0.0
	50歳代	[N= 92]	85.9	39.1	10.9	0.0
	60歳代	[N= 135]	50.4	17.0	45.9	0.7
	70歳以上	[N= 159]	18.9	4.4	76.7	3.1
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	65.2	27.7	32.5	1.5
	東部	[N= 62]	66.1	33.9	32.3	0.0
	美濃山	[N= 190]	76.3	38.4	22.1	0.5
	男山	[N= 309]	62.5	32.4	34.3	1.3
	橋本	[N= 228]	75.0	36.4	22.4	0.4

⑨ 八幡市での居住年数（問9）

八幡市での居住年数は、「20年以上」が47.2%と最も多く、次いで「生まれてからずっと」（17.8%）、「10年以上20年未満」（16.3%）となっており、長期の居住者が多い。一方、5年未満の居住者は、8.6%で1割に満たない。

居住地別に見ると、東部地区では「生まれてからずっと」、男山地区では「20年以上」が多い。美濃山地区では「10年以上20年未満」と「5年以上10年未満」が全体に比べて多くなっている。

図表 12 八幡市での居住年数(SA) (n=1,192)



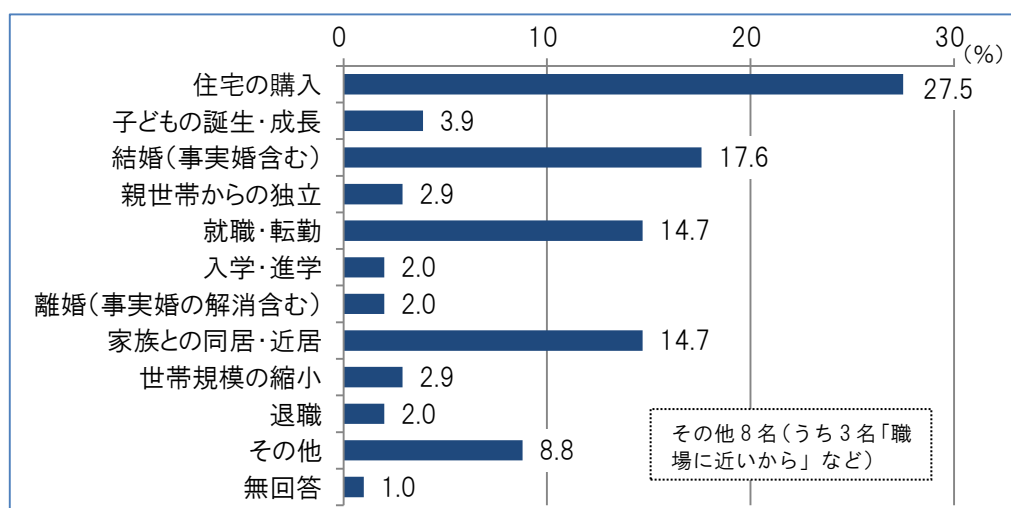
図表 13 八幡市での居住年数(SA) (性・年齢別、居住地別)

			生まれてからずっと	20年以上	10年以上20年未満	5年以上10年未満	1年以上5年未満	1年未満	無回答
全体 [N= 1,192]			17.8	47.2	16.3	8.1	6.9	1.7	2.1
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		18.9	49.7	15.7	7.7	4.7	1.4	2.0
	18～29歳 [N= 54]		59.3	7.4	16.7	3.7	11.1	1.9	0.0
	30歳代 [N= 60]		30.0	26.7	6.7	16.7	16.7	3.3	0.0
	40歳代 [N= 69]		13.0	29.0	34.8	14.5	5.8	1.4	1.4
	50歳代 [N= 58]		22.4	48.3	20.7	5.2	0.0	0.0	3.4
	60歳代 [N= 109]		11.0	63.3	14.7	4.6	1.8	1.8	2.8
	70歳以上 [N= 158]		7.6	73.4	9.5	5.1	1.3	0.6	2.5
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		16.7	45.6	16.8	8.4	8.6	1.9	1.9
	18～29歳 [N= 95]		46.3	9.5	20.0	5.3	14.7	4.2	0.0
	30歳代 [N= 96]		30.2	18.8	12.5	18.8	16.7	2.1	1.0
	40歳代 [N= 100]		12.0	24.0	40.0	15.0	6.0	1.0	2.0
	50歳代 [N= 92]		9.8	64.1	16.3	3.3	3.3	0.0	3.3
	60歳代 [N= 135]		9.6	67.4	5.9	5.2	8.1	2.2	1.5
	70歳以上 [N= 159]		3.8	67.9	12.6	5.7	5.0	1.9	3.1
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		22.8	50.5	9.6	6.3	5.8	2.0	2.8
	東部 [N= 62]		58.1	29.0	8.1	1.6	3.2	0.0	0.0
	美濃山 [N= 190]		3.7	23.7	38.4	19.5	11.6	1.1	2.1
	男山 [N= 309]		15.2	59.2	10.4	4.5	7.1	2.3	1.3
	橋本 [N= 228]		12.3	50.9	19.7	8.3	5.7	1.3	1.8

⑩ 八幡市に居住するきっかけ(5 年未満居住者のみ) (問 10)

5年未満居住者に、八幡市に居住するきっかけ(主なもの1つ)を聞いたところ、「住宅の購入」(27.5%)が最も多く、次いで「結婚(事実婚を含む)」(17.6%)、「就職・転勤」と「家族との同居・近居」(各14.7%)となっている。

図表 14 八幡市に居住するきっかけ(SA) (5 年未満居住者のみ:n=102)



図表 15 八幡市に居住するきっかけ(SA) (5 年未満居住者のみ) (性・年齢別、居住地別)

			住宅の購入	子どもの誕生・成長	含む結婚(事実婚)	独立親世帯からの	就職・転勤	入学・進学	離婚(事実婚の解消含む)	家族・近居との同居	小世帯規模の縮小	退職	その他	無回答
全体 [N= 102]			27.5	3.9	17.6	2.9	14.7	2.0	2.0	14.7	2.9	2.0	8.8	1.0
男性・年齢別	男性全体 [N= 31]		19.4	9.7	12.9	0.0	29.0	3.2	6.5	9.7	0.0	0.0	9.7	0.0
	18～29歳 [N= 7]		14.3	0.0	28.6	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	30歳代 [N= 12]		16.7	16.7	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代 [N= 5]		40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	50歳代 [N= 0]		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代 [N= 4]		0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳以上 [N= 3]		33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
女性・年齢別	女性全体 [N= 71]		31.0	1.4	19.7	4.2	8.5	1.4	0.0	16.9	4.2	2.8	8.5	1.4
	18～29歳 [N= 18]		27.8	5.6	27.8	11.1	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	11.1	0.0
	30歳代 [N= 18]		33.3	0.0	38.9	5.6	16.7	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代 [N= 7]		42.9	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代 [N= 3]		33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	60歳代 [N= 14]		42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	7.1	21.4	0.0
	70歳以上 [N= 11]		9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	63.6	9.1	0.0	0.0	9.1
居住地別	市役所周辺 [N= 31]		25.8	3.2	19.4	0.0	19.4	3.2	0.0	16.1	6.5	0.0	6.5	0.0
	東部 [N= 2]		50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	美濃山 [N= 24]		62.5	8.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	4.2	0.0
	男山 [N= 29]		3.4	0.0	20.7	10.3	20.7	3.4	3.4	17.2	3.4	3.4	10.3	3.4
	橋本 [N= 16]		18.8	6.3	12.5	0.0	18.8	0.0	6.3	12.5	0.0	6.3	18.8	0.0

5年未満居住者の八幡市に居住するきっかけの回答の上位を見ると、男性では「就職・転勤」が29.0%と最も多く、中でも18～30歳代では「就職・転勤」が1位となっている。女性では、18～40歳代では「住宅の購入」と「結婚(事実婚含む)」が上位となっている。

居住地別に見ると、多くの地区で「住宅購入」が1位となっており、中でも美濃山地区は60.0%となっている。一方、男山地区では「住宅購入」は回答の上位に入っていない。

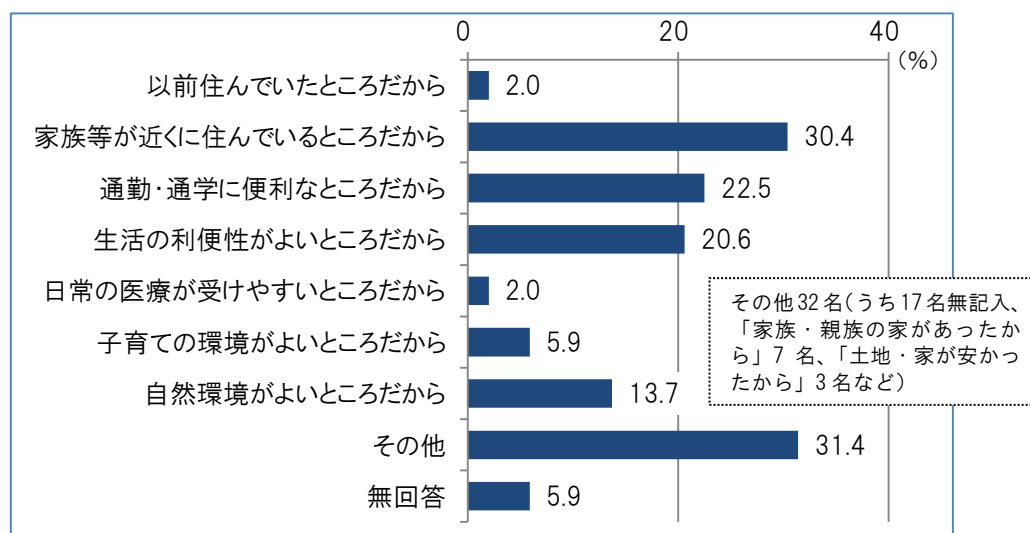
図表 16 八幡市に居住するきっかけ(SA) (上位5位)(5年未満居住者のみ) (性・年齢別、居住地別)

		(n数)	1位	2位	3位	4位	5位	
全体		102	住宅の購入 (27.5%)	結婚(事実婚含む) (17.6%)	就職・転勤/家族との同居・近居 (14.7%)		その他(8.8%)	
男性・年齢別	男性全体	31	就職・転勤(29.0%)	住宅の購入 (19.4%)	結婚(事実婚含む) (12.9%)	子どもの誕生・成長/家族との同居・近居/その他(9.7%)		
	18歳～29歳	7	結婚(事実婚含む)/就職・転勤(28.6%)		住宅の購入/入学・進学/その他(14.3%)			
	30歳代	12	就職・転勤(50.0%)	住宅の購入/子どもの誕生・成長/結婚(事実婚含む) (16.7%)			—	
	40歳代	5	住宅の購入 (40.0%)	子どもの誕生・成長/離婚(事実婚の解消含む)/その他 (20.0%)			—	
	50歳代	0	—					
	60歳代	4	家族との同居・近居(50.0%)	就職・転勤/離婚(事実婚の解消含む) (25.0%)		—		
	70歳以上	3	住宅の購入/家族との同居・近居/その他(33.3%)			—		
女性・年齢別	女性全体	71	住宅の購入 (31.0%)	結婚(事実婚含む) (19.7%)	家族との同居・近居 (16.9%)	就職・転勤/その他(8.5%)		
	18歳～29歳	18	住宅の購入/結婚(事実婚含む) (27.8%)		親世帯からの独立/その他(11.1%)	子どもの誕生・成長/就職・転勤/入学・進学/退職(5.6%)		
	30歳代	18	結婚(事実婚含む) (38.9%)	住宅の購入 (33.3%)	就職・転勤(16.7%)	親世帯からの独立/家族との同居・近居(5.6%)		
	40歳代	7	住宅の購入 (42.9%)	結婚(事実婚含む) (28.6%)	就職・転勤/家族との同居・近居 (14.3%)		—	
	50歳代	3	住宅の購入/家族との同居・近居/その他(33.3%)			—		
	60歳代	14	住宅の購入 (42.9%)	その他(21.4%)	家族との同居・近居/世帯規模の縮小 (14.3%)	退職(7.1%)		
	70歳以上	11	家族との同居・近居 (63.6%)	住宅の購入/就職・転勤/世帯規模の縮小(9.1%)			—	
居住地別	市役所周辺地区	31	住宅の購入 (25.8%)	結婚(事実婚含む)/就職・転勤(19.4%)		家族との同居・近居 (16.1%)	世帯規模の縮小/その他(6.5%)	
	東部地区	2	住宅の購入/結婚(事実婚含む) (50.0%)		—			
	美濃山地区	24	住宅の購入 (62.5%)	結婚(事実婚含む)/家族との同居・近居 (12.5%)		子どもの誕生・成長 (8.3%)	その他(4.2%)	
	男山地区	29	結婚(事実婚含む)/就職・転勤(20.7%)		家族との同居・近居 (17.2%)	親世帯からの独立/その他(10.3%)		
	橋本地区	16	住宅の購入/就職・転勤/その他(18.8%)			結婚(事実婚含む)/家族との同居・近居 (12.5%)		

⑪ 転入時に八幡市を選択した理由(5年未満居住者のみ) (問 11)

5年未満居住者に転入時に八幡市を選択した理由(複数回答)を聞いたところ、「家族が近くに
住んでいるところだから」が30.4%と最も多く、次いで「通勤・通学に便利なおところだから」(22.5%)、
「生活の利便性がよいところだから」(20.6%)となっている。

図表 17 転入時に八幡市を選択した理由(MA) (5年未満居住者のみ:n=102)



図表 18 転入時に八幡市を選択した理由(MA) (5年未満居住者のみ) (性・年齢別、居住地別)

		以前 住んで いたと こ	家族 等が 近く に住 らん	通 勤・ 通学 に便 利な	生 活の 利便 性が よい	日 常の 医療 が受 けや	子 育 ての 環 境が よい	自 然 環 境が よい とこ	そ 他	無 回 答
全体 [N= 102]		2.0	30.4	22.5	20.6	2.0	5.9	13.7	31.4	5.9
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 31]	3.2	32.3	32.3	9.7	3.2	9.7	16.1	29.0	6.5
	18～29歳 [N= 7]	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	57.1	0.0
	30歳代 [N= 12]	8.3	50.0	33.3	8.3	0.0	8.3	16.7	8.3	8.3
	40歳代 [N= 5]	0.0	40.0	60.0	20.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0
	50歳代 [N= 0]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代 [N= 4]	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0
	70歳以上 [N= 3]	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 71]	1.4	29.6	18.3	25.4	1.4	4.2	12.7	32.4	5.6
	18～29歳 [N= 18]	0.0	22.2	27.8	16.7	0.0	0.0	11.1	38.9	5.6
	30歳代 [N= 18]	5.6	33.3	27.8	22.2	5.6	11.1	0.0	27.8	0.0
	40歳代 [N= 7]	0.0	28.6	14.3	28.6	0.0	14.3	28.6	28.6	0.0
	50歳代 [N= 3]	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
	60歳代 [N= 14]	0.0	21.4	14.3	35.7	0.0	0.0	7.1	35.7	7.1
	70歳以上 [N= 11]	0.0	54.5	0.0	27.3	0.0	0.0	36.4	27.3	9.1
居住地別	市役所周辺 [N= 31]	0.0	29.0	19.4	12.9	0.0	0.0	9.7	32.3	3.2
	東部 [N= 2]	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	美濃山 [N= 24]	0.0	41.7	29.2	33.3	0.0	20.8	8.3	33.3	0.0
	男山 [N= 29]	0.0	20.7	31.0	31.0	6.9	3.4	17.2	24.1	6.9
	橋本 [N= 16]	12.5	31.3	6.3	0.0	0.0	0.0	25.0	37.5	18.8

5年未満居住者に転入時に八幡市を選択した理由(複数回答)を聞いたところ、居住地別では、市役所周辺地区と橋本地区では「その他」が、美濃山地区では「家族等が近くに住んでいるところだから」、男山地区では「通勤・通学に便利なところだから」、「生活の利便性がよいところだから」がそれぞれ最も多くなっている。

図表 19 転入時に八幡市を選択した理由(MA)(上位5位)(5年未満居住者のみ)(性・年齢別、居住地別)

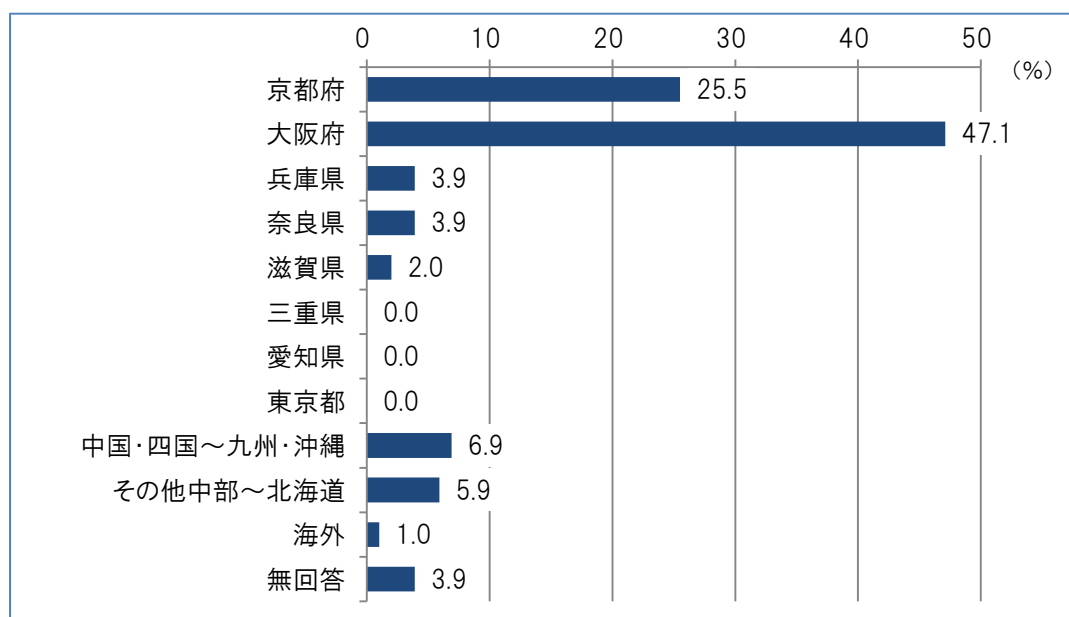
		(n数)	1位	2位	3位	4位	5位	
全体		102	その他(31.4%)	家族等が近居 (30.4%)	通勤・通学の利便 性(22.5%)	生活利便性 (20.6%)	自然環境(13.7%)	
男性・年 齢 別	男性全体	31	家族等が近居/通勤・通学の利便性 (32.3%)		その他(29.0%)	自然環境(16.1%)	生活利便性 /子育て環境(9.7%)	
	18歳～29歳	7	その他(57.1%)	家族等が近居/通勤・通学の利便性/生活利便性(14.3%)			－	
	30歳代	12	家族等が近居 (50.0%)	通勤・通学の利便 性(33.3%)	自然環境(16.7%)	居住経験あり/生活利便性/子育て環 境/その他(8.3%)		
	40歳代	5	通勤・通学の利便 性(60.0%)	家族等が近居/子育て環境/自然環境(40.0%)				生活利便性/医療 環境(20.0%)
	50歳代	0	－					
	60歳代	4	その他(75.0%)	通勤・通学の利便性/自然環境(25.0%)			－	
	70歳以上	3	家族等が近居/通勤・通学の利便性/その他(33.3%)				－	
女性・年 齢 別	女性全体	71	その他(32.4%)	家族等が近居 (29.6%)	生活利便性 (25.4%)	通勤・通学の利便 性(18.3%)	自然環境(12.7%)	
	18歳～29歳	18	その他(38.9%)	通勤・通学の利便 性(27.8%)	家族等が近居 (22.2%)	生活利便性 (16.7%)	自然環境(11.1%)	
	30歳代	18	家族等が近居 (33.3%)	通勤・通学の利便性/その他(27.8%)			生活利便性 (22.2%)	子育て環境(11.1%)
	40歳代	7	家族等が近居/生活利便性/自然環境/その他(28.6%)					通勤・通学の利便性/ 子育て環境(14.3%)
	50歳代	3	生活利便性/その他(33.3%)			－		
	60歳代	14	生活利便性/その他(35.7%)			家族等が近居 (21.4%)	通勤・通学の利便 性(14.3%)	自然環境(7.1%)
	70歳以上	11	家族等が近居 (54.5%)	自然環境(36.4%)	生活利便性/その他(27.3%)		－	
居住 地 別	市役所周辺	31	その他(32.3%)	家族等が近居 (29.0%)	通勤・通学の利便 性(19.4%)	生活利便性 (12.9%)	自然環境(9.7%)	
	東部	2	家族等が近居/その他(50.0%)			－		
	美濃山	24	家族等が近居 (41.7%)	生活利便性/その他(33.3%)			通勤・通学の利便 性(29.2%)	子育て環境(20.8%)
	男山	29	通勤・通学の利便性/生活利便性 (31.0%)			その他(24.1%)	家族等が近居 (20.7%)	自然環境(17.2%)
	橋本	16	その他(37.5%)	家族等が近居 (31.3%)	自然環境(25.0%)	居住経験あり (12.5%)	通勤・通学の利便 性(6.3%)	

⑫ 八幡市転入前の居住地(5年未満居住者のみ) (問 12)

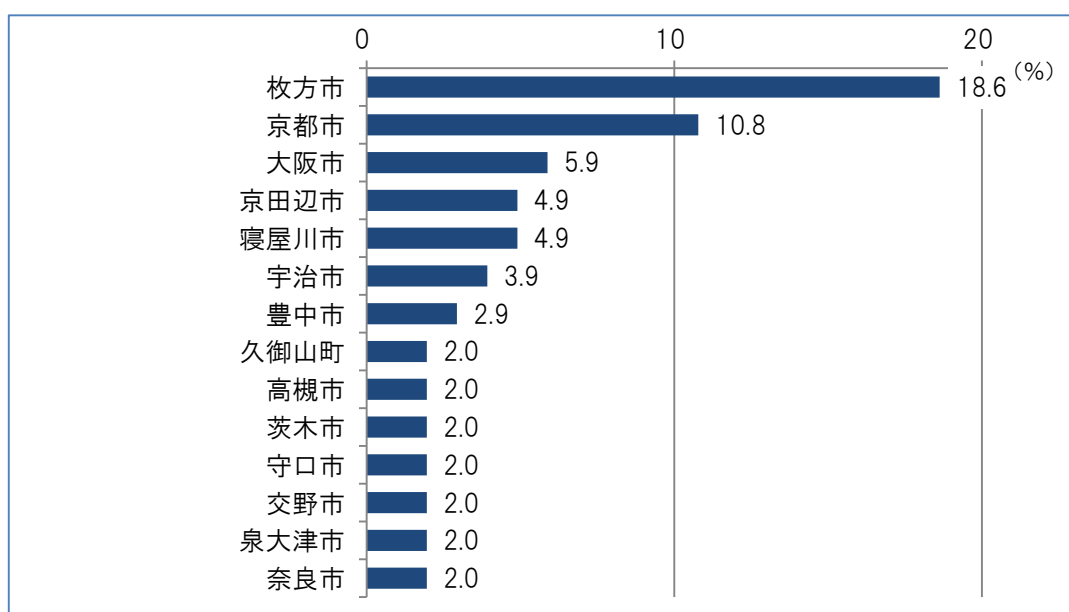
5年未満居住者に転入前の居住地を聞いたところ、都道府県別では「大阪府」が47.1%と最も多く、次いで「京都府」(25.5%)となっている。その他の近畿圏はあわせて約1割(兵庫県3.9%、奈良県3.9%、滋賀県2%)となっている。

市町村別では、「枚方市」が18.6%と最も多く、次いで「京都市」(10.8%)、「大阪市」(5.9%)となっている。

図表 20 八幡市転入前の居住地:都道府県別(FA) (5年未満居住者のみ:n=102)



図表 21 八幡市転入前の居住地:市町村別(FA) (5年未満居住者のみ:n=102)



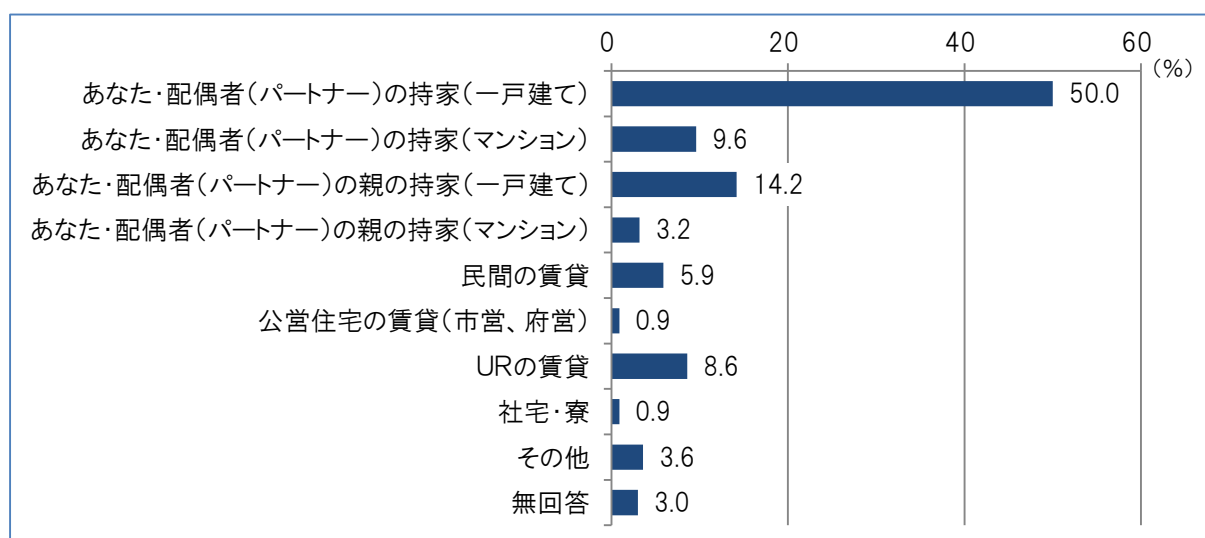
(注)回答数が2件以上の市町村名を表示

⑬ 住居形態（問 13）

住居形態は、「あなた・配偶者（パートナー）の持家（一戸建て）」が 50%と最も多く、次いで「あなた・配偶者（パートナー）の親の持家（一戸建て）」（14.2%）、「あなた・配偶者（パートナー）の持家（マンション）」（9.6%）となっている。

年齢別に見ると、30歳以上では「あなた・配偶者（パートナー）の持家（一戸建て）」が最も多くなっている。居住地別に見ると、美濃山地区では「あなた・配偶者（パートナー）の持家（マンション）」、男山地区では「URの賃貸」が全体に比べてそれぞれ多くなっている。

図表 22 住居形態(SA) (n=1,192) (性・年齢別、居住地別)



図表 23 住居形態(SA) (性・年齢別、居住地別)

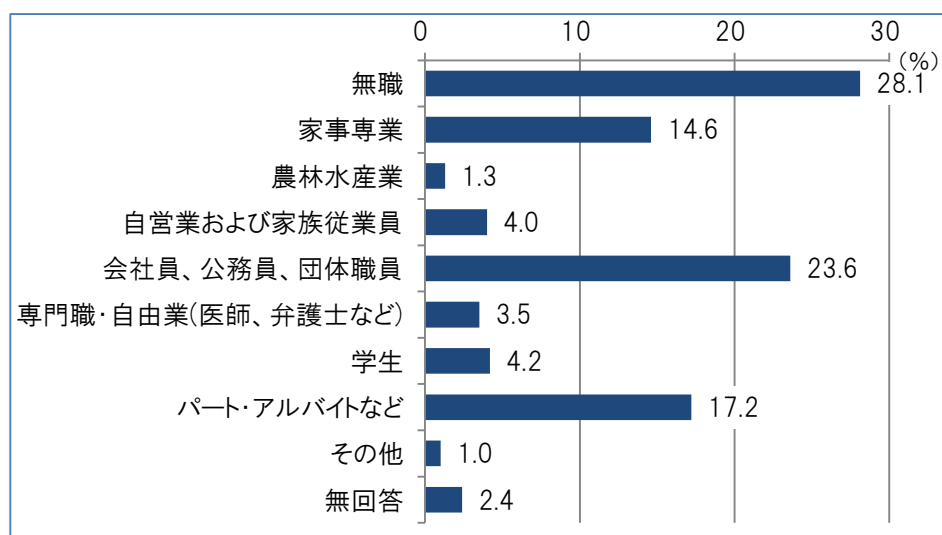
		あなた・配偶者（パートナー）の持家（一戸建て）	あなた・配偶者（パートナー）の持家（マンション）	あなた・配偶者（パートナー）の親の持家（一戸建て）	あなた・配偶者（パートナー）の親の持家（マンション）	民間の賃貸	公営住宅の賃貸（市営、府営）	URの賃貸	社宅・寮	その他	無回答
全体 [N= 1,192]		50.0	9.6	14.2	3.2	5.9	0.9	8.6	0.9	3.6	3.0
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]	52.5	10.4	13.0	1.6	5.3	0.6	9.0	1.2	2.9	3.5
	18～29歳 [N= 54]	1.9	1.9	55.6	13.0	7.4	0.0	7.4	1.9	5.6	5.6
	30歳代 [N= 60]	31.7	8.3	21.7	0.0	10.0	1.7	13.3	3.3	3.3	6.7
	40歳代 [N= 69]	52.2	10.1	13.0	0.0	8.7	0.0	8.7	2.9	1.4	2.9
	50歳代 [N= 58]	48.3	19.0	13.8	0.0	6.9	0.0	8.6	0.0	0.0	3.4
	60歳代 [N= 109]	69.7	5.5	4.6	0.9	3.7	0.9	9.2	0.9	1.8	2.8
女性・年齢別	70歳以上 [N= 158]	67.7	13.9	0.6	0.0	1.9	0.6	8.2	0.0	4.4	2.5
	女性全体 [N= 677]	48.6	9.2	15.1	4.3	6.4	1.0	8.3	0.7	4.1	2.4
	18～29歳 [N= 95]	11.6	0.0	56.8	13.7	4.2	1.1	6.3	2.1	3.2	1.1
	30歳代 [N= 96]	33.3	12.5	22.9	8.3	9.4	1.0	7.3	1.0	2.1	2.1
	40歳代 [N= 100]	55.0	8.0	14.0	4.0	7.0	0.0	8.0	1.0	2.0	1.0
	50歳代 [N= 92]	64.1	12.0	9.8	2.2	6.5	0.0	3.3	1.1	1.1	0.0
居住地別	60歳代 [N= 135]	61.5	14.1	2.2	1.5	5.9	0.7	9.6	0.0	3.0	1.5
	70歳以上 [N= 159]	56.0	7.5	0.0	0.0	5.7	2.5	11.9	0.0	10.1	6.3
	市役所周辺 [N= 394]	51.0	6.6	19.3	3.0	7.9	1.0	3.6	0.8	4.6	2.3
	東部 [N= 62]	48.4	0.0	33.9	1.6	6.5	1.6	0.0	0.0	6.5	1.6
	美濃山 [N= 190]	53.7	23.7	10.5	2.6	1.6	0.0	0.0	1.1	4.7	2.1
居住地別	男山 [N= 309]	34.3	12.3	6.1	4.9	6.8	1.9	28.5	1.0	1.6	2.6
	橋本 [N= 228]	66.7	2.6	14.5	1.8	4.8	0.0	0.0	1.3	3.1	5.3

⑭ 職業（問 14）

職業は、「無職」が 28.1%と最も多く、次いで「会社員、公務員、団体職員」(23.6%)、「パート・アルバイトなど」(17.2%)となっている。

性・年齢別に見ると、18歳～50歳代男性で「会社員、公務員、団体職員」、30歳代女性と60歳以上女性で「家事専業」、40歳代・50歳代女性で「パート・アルバイトなど」、60歳代・70歳以上男性と70歳以上女性で「無職」が、それぞれ全体に比べて多くなっている。

図表 24 職業(SA) (n=1,192)



図表 25 職業(SA) (性・年齢別、居住地別)

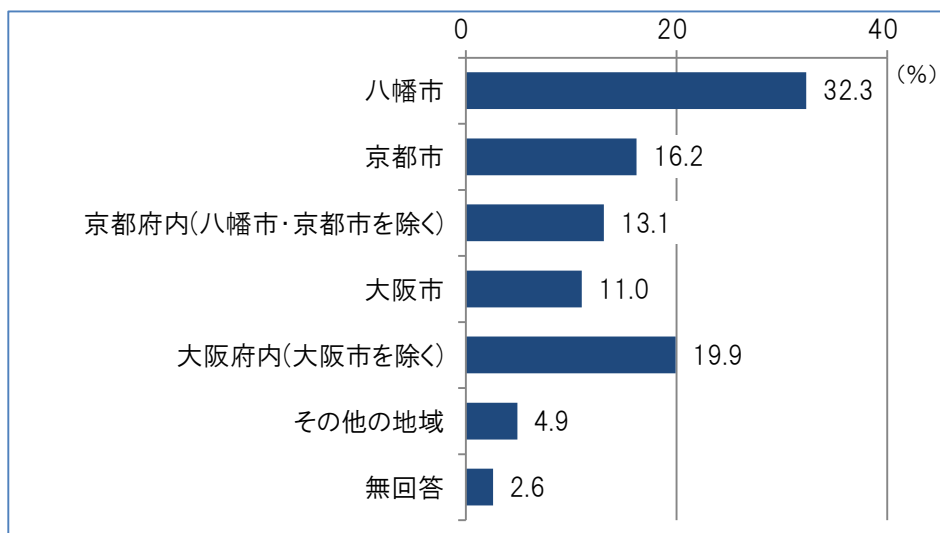
		無職	家事専業	農林水産業	自営業および家族従業員	会社員、公務員、団体職員	専門職・自由業(医師、弁護士など)	学生	パート・アルバイトなど	その他	無回答
全体 [N= 1,192]		28.1	14.6	1.3	4.0	23.6	3.5	4.2	17.2	1.0	2.4
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]	38.9	0.0	1.6	5.7	36.0	3.3	3.9	7.3	1.0	2.4
	18～29歳 [N= 54]	3.7	0.0	0.0	0.0	35.2	5.6	35.2	20.4	0.0	0.0
	30歳代 [N= 60]	8.3	0.0	1.7	8.3	58.3	3.3	1.7	16.7	0.0	1.7
	40歳代 [N= 69]	4.3	0.0	0.0	11.6	75.4	1.4	0.0	2.9	2.9	1.4
	50歳代 [N= 58]	8.6	0.0	1.7	5.2	74.1	6.9	0.0	0.0	0.0	3.4
	60歳代 [N= 109]	47.7	0.0	2.8	5.5	26.6	4.6	0.0	8.3	1.8	2.8
	70歳以上 [N= 158]	82.3	0.0	1.9	4.4	3.2	1.3	0.0	3.2	0.6	3.2
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]	19.8	25.7	1.2	2.8	14.3	3.7	4.4	24.8	1.0	2.2
	18～29歳 [N= 95]	1.1	9.5	0.0	2.1	30.5	10.5	30.5	14.7	1.1	0.0
	30歳代 [N= 96]	2.1	32.3	0.0	2.1	31.3	5.2	0.0	25.0	0.0	2.1
	40歳代 [N= 100]	5.0	14.0	0.0	3.0	19.0	4.0	0.0	50.0	2.0	3.0
	50歳代 [N= 92]	7.6	18.5	3.3	1.1	17.4	4.3	0.0	46.7	1.1	0.0
	60歳代 [N= 135]	23.7	37.0	3.0	5.9	0.7	0.7	0.0	25.2	0.0	3.7
	70歳以上 [N= 159]	54.7	33.3	0.6	1.9	1.3	0.6	0.6	1.9	1.9	3.1
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	28.4	12.4	1.3	4.1	21.8	4.3	4.1	19.5	1.3	2.8
	東部 [N= 62]	16.1	11.3	14.5	3.2	27.4	6.5	4.8	16.1	0.0	0.0
	美濃山 [N= 190]	26.8	16.3	0.5	2.6	23.2	1.6	7.4	17.9	1.1	2.6
	男山 [N= 309]	31.7	13.6	0.3	4.2	24.6	2.6	3.2	16.5	1.3	1.9
	橋本 [N= 228]	26.8	18.9	0.0	5.3	24.6	4.4	3.1	14.5	0.4	2.2

⑮ 通勤・通学先（問 15）

通勤・通学先（無職・家事専業を除く）は、「八幡市内」が 32.3%と最も多い。次いで「大阪府内（大阪市を除く）」（19.9%）、「京都市」（16.2%）となっている。

性・年齢別に見ると、40歳代以上の女性の半数前後が「八幡市内」に通勤している。一方、30歳代～50歳代男性では「八幡市内」通勤は全体に比べて少ない。居住地別では、東部地区では「大阪府内（大阪市を除く）」への通勤・通学が少ない。

図表 26 通勤・通学先(SA) （無職・家事専業を除く:n=654）



図表 27 通勤・通学先(SA)（無職・家事専業を除く）（性・年齢別、居住地別）

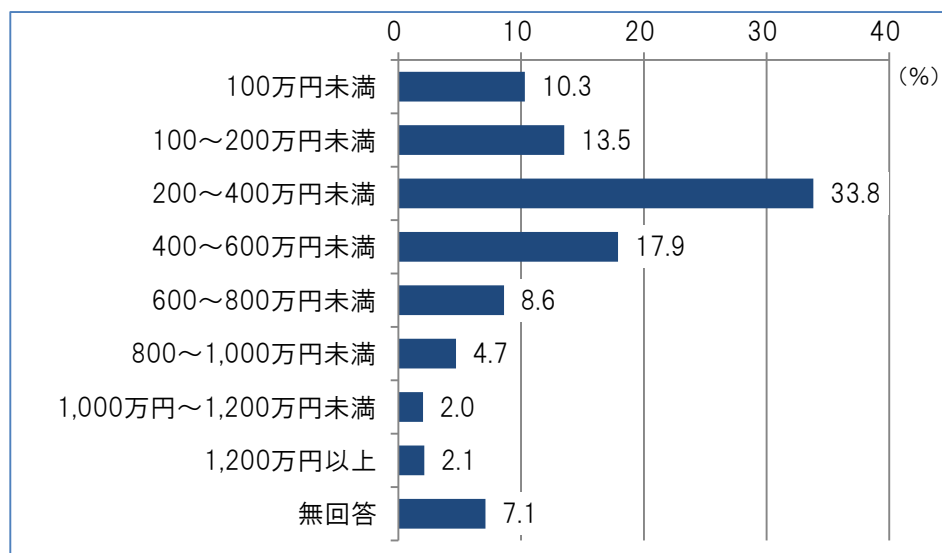
			八幡市							(%)
			八幡市	京都市	を幡京 除市都 く・府 （京内 都八 市八	大阪 市	阪大 市府 を内 除く （大	その 他の 地域	無 回 答	
全体			[N= 654]	32.3	16.2	13.1	11.0	19.9	4.9	2.6
男性・年齢別	男性全体	[N= 299]	23.7	14.7	15.4	12.7	24.4	6.7	2.3	
	18～29歳	[N= 52]	25.0	19.2	17.3	11.5	23.1	3.8	0.0	
	30歳代	[N= 54]	18.5	16.7	18.5	9.3	25.9	11.1	0.0	
	40歳代	[N= 65]	21.5	15.4	20.0	15.4	16.9	7.7	3.1	
	50歳代	[N= 51]	17.6	9.8	13.7	17.6	33.3	5.9	2.0	
	60歳代	[N= 54]	31.5	14.8	13.0	11.1	22.2	5.6	1.9	
	70歳以上	[N= 23]	34.8	8.7	0.0	8.7	30.4	4.3	13.0	
女性・年齢別	女性全体	[N= 354]	39.5	17.2	11.3	9.6	16.1	3.4	2.8	
	18～29歳	[N= 85]	20.0	36.5	10.6	9.4	15.3	7.1	1.2	
	30歳代	[N= 61]	32.8	18.0	14.8	16.4	11.5	3.3	3.3	
	40歳代	[N= 78]	50.0	15.4	11.5	6.4	12.8	2.6	1.3	
	50歳代	[N= 68]	48.5	7.4	8.8	11.8	20.6	2.9	0.0	
	60歳代	[N= 48]	47.9	4.2	14.6	4.2	22.9	0.0	6.3	
	70歳以上	[N= 14]	57.1	0.0	0.0	7.1	14.3	0.0	21.4	
居住地別	市役所周辺	[N= 222]	33.8	16.2	15.3	10.8	16.2	5.0	2.7	
	東部	[N= 45]	42.2	24.4	17.8	6.7	4.4	0.0	4.4	
	美濃山	[N= 103]	28.2	11.7	15.5	10.7	25.2	7.8	1.0	
	男山	[N= 163]	30.7	13.5	11.0	12.9	24.5	3.1	4.3	
	橋本	[N= 119]	31.9	19.3	8.4	10.9	21.8	6.7	0.8	

⑯ 世帯年収（問 16）

世帯年収は、「200～400 万円未満」が 33.8%と最も多い。次いで「400～600 万円未満」（17.9%）、「100～200 万円未満」（13.5%）となっている。

性・年齢別に見ると、男女とも60歳代・70歳以上で「200～400万円未満」が最も多くなっている。「800～1,000万円未満」については男女とも50歳代が他の年代よりも多くなっている。

図表 28 世帯年収(SA) (n=1,192)



図表 29 世帯年収(SA) (性・年齢別、居住地別)

			100万 円未満	100～ 200万 円未満	200～ 400万 円未満	400～ 600万 円未満	600～ 800万 円未満	800～ 1,000万 円未満	1,000万 円～ 1,200万 円未満	1,200万 円以上	無 回 答
全体 [N= 1,192]			10.3	13.5	33.8	17.9	8.6	4.7	2.0	2.1	7.1
男性・ 年齢別	男性全体	[N= 509]	10.0	12.6	36.5	18.5	9.0	4.1	1.8	2.4	5.1
	18～29歳	[N= 54]	38.9	11.1	29.6	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	9.3
	30歳代	[N= 60]	3.3	18.3	23.3	33.3	15.0	3.3	1.7	0.0	1.7
	40歳代	[N= 69]	7.2	4.3	24.6	24.6	14.5	8.7	7.2	5.8	2.9
	50歳代	[N= 58]	5.2	5.2	12.1	17.2	17.2	19.0	5.2	10.3	8.6
	60歳代	[N= 109]	6.4	11.9	48.6	17.4	8.3	0.9	0.0	0.9	5.5
	70歳以上	[N= 158]	8.2	17.7	49.4	15.8	3.2	0.6	0.0	0.6	4.4
女性・ 年齢別	女性全体	[N= 677]	10.5	14.2	31.9	17.6	8.3	5.2	2.2	1.9	8.3
	18～29歳	[N= 95]	28.4	12.6	30.5	13.7	4.2	2.1	0.0	0.0	8.4
	30歳代	[N= 96]	5.2	9.4	30.2	27.1	14.6	5.2	3.1	1.0	4.2
	40歳代	[N= 100]	5.0	5.0	25.0	27.0	17.0	9.0	4.0	3.0	5.0
	50歳代	[N= 92]	5.4	13.0	15.2	21.7	10.9	15.2	6.5	6.5	5.4
	60歳代	[N= 135]	8.9	14.1	43.7	14.1	5.2	0.7	1.5	1.5	10.4
	70歳以上	[N= 159]	10.7	24.5	37.7	8.8	2.5	2.5	0.0	0.6	12.6
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	11.9	16.5	33.8	17.8	5.3	3.3	1.0	1.3	9.1
	東部	[N= 62]	17.7	12.9	33.9	12.9	9.7	4.8	0.0	4.8	3.2
	美濃山	[N= 190]	11.1	9.5	28.9	17.4	13.2	5.8	5.3	3.2	5.8
	男山	[N= 309]	8.1	13.3	37.9	19.7	8.1	3.2	1.0	1.0	7.8
	橋本	[N= 228]	7.9	12.7	32.5	17.5	11.0	8.3	3.1	3.5	3.5

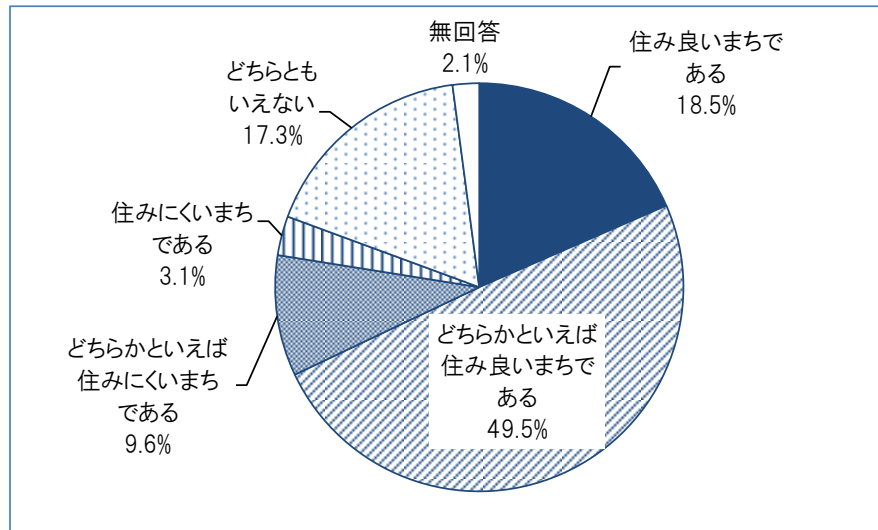
(2) 八幡市の住み良さについて

① 八幡市の住み良さ（問 17）

八幡市の住み良さは、「どちらかといえば住み良いまちである」が 49.5%と最も多く、「住み良いまちである」(18.5%)と合わせて、約 7 割が住み良いと評価している。

一方、住みにくい(「どちらかといえば住みにくい」(9.6%)と「住みにくい」(3.1%)の合計)は 12.7%、「どちらともいえない」が 17.3%となっている。

図表 30 八幡市の住みやすさ(SA) (n=1,192)



図表 31 八幡市の住みやすさ(SA) (性・年齢別、居住地別)

			で 住 み 良 い ま ち	ま え ど ち ら か と い え ば 住 み に く い ま ち で あ る	い え ど ち ら か と い え ば 住 み に く い ま ち で あ る	ち ど ち ら か と い え ば 住 み に く い ま ち で あ る	え ど ち ら か と い え ば 住 み に く い ま ち で あ る	無 回 答	住 み 良 い	住 み に く い	え ど ち ら か と い え ば 住 み に く い ま ち で あ る
全体 [N= 1,192]			18.5	49.5	9.6	3.1	17.3	2.1	68.0	12.7	17.3
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		19.6	49.5	8.6	2.9	17.1	2.2	69.1	11.5	17.1
	18～29歳 [N= 54]		24.1	35.2	13.0	7.4	20.4	0.0	59.3	20.4	20.4
	30歳代 [N= 60]		23.3	53.3	6.7	5.0	10.0	1.7	76.6	11.7	10.0
	40歳代 [N= 69]		14.5	60.9	10.1	1.4	11.6	1.4	75.4	11.5	11.6
	50歳代 [N= 58]		22.4	55.2	3.4	1.7	13.8	3.4	77.6	5.1	13.8
	60歳代 [N= 109]		20.2	45.9	5.5	2.8	22.0	3.7	66.1	8.3	22.0
	70歳以上 [N= 158]		17.7	48.7	10.8	1.9	19.0	1.9	66.4	12.7	19.0
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		17.7	49.6	10.0	3.2	17.4	1.9	67.3	13.2	17.4
	18～29歳 [N= 95]		18.9	49.5	11.6	3.2	16.8	0.0	68.4	14.8	16.8
	30歳代 [N= 96]		15.6	60.4	6.3	4.2	12.5	1.0	76.0	10.5	12.5
	40歳代 [N= 100]		12.0	50.0	10.0	6.0	19.0	3.0	62.0	16.0	19.0
	50歳代 [N= 92]		13.0	45.7	18.5	3.3	19.6	0.0	58.7	21.8	19.6
	60歳代 [N= 135]		20.0	48.1	8.1	1.5	19.3	3.0	68.1	9.6	19.3
	70歳以上 [N= 159]		22.6	46.5	8.2	2.5	17.0	3.1	69.1	10.7	17.0
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		18.5	49.5	9.6	3.1	17.3	2.1	68.0	12.7	17.3
	東部 [N= 62]		17.3	49.5	11.2	3.6	16.5	2.0	66.8	14.8	16.5
	美濃山 [N= 190]		17.7	45.2	8.1	3.2	24.2	1.6	62.9	11.3	24.2
	男山 [N= 309]		20.0	48.9	7.4	3.7	17.4	2.6	68.9	11.1	17.4
	橋本 [N= 228]		22.3	52.1	7.8	1.3	15.2	1.3	74.4	9.1	15.2

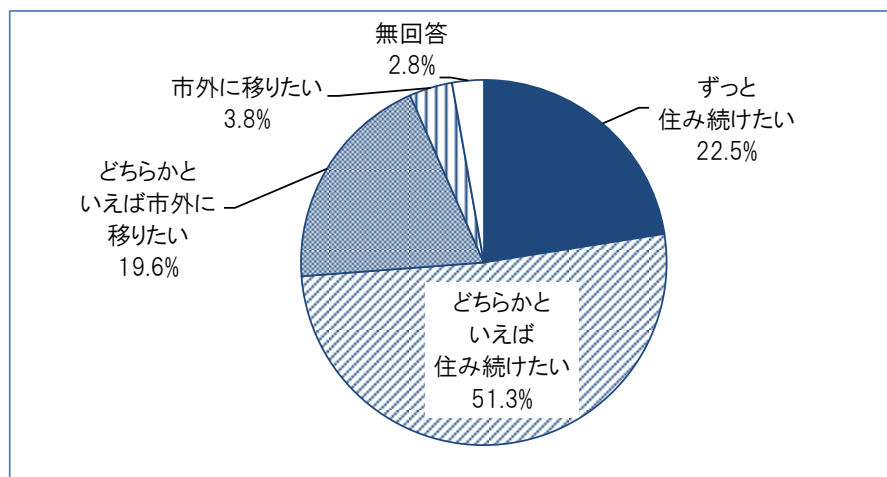
② 今後の居留意向（問 18）

今後の八幡市での居留意向は、「どちらかといえば住み続けたい」が 51.3%と最も多く、「ずっと住み続けたい」(22.5%)と合わせて、約 7 割が八幡市での継続居住の意向を示している。

一方、市外への転出意向のある方（「どちらかといえば市外に移りたい(19.6%)」と「市外に移りたい」(3.8%)の合計）が約 2 割となっている。

性・年齢別では、18～29歳男女で「どちらかといえば市外に移りたい」が全体に比べて多くなっている。居住地別では、美濃山地区で「ずっと住み続けたい」が全体に比べて多くなっている。

図表 32 今後の居留意向(SA) (n=1,192)



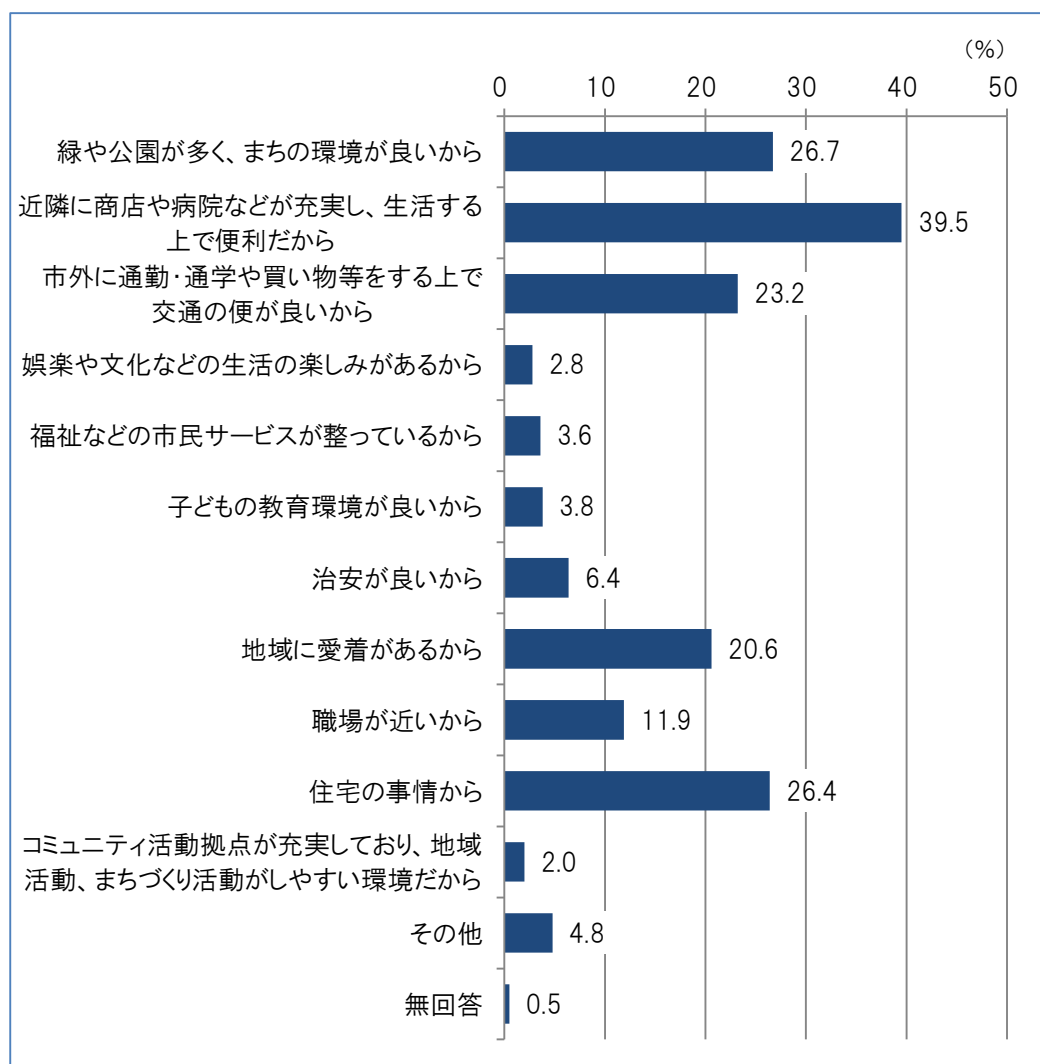
図表 33 今後の居留意向(SA) (性・年齢別、居住地別)

			た ず い っ と 住 み 続 け	ば ど ち ら か と い え ば ど ち ら か と い え	い ば ど ち ら か と い え ば ど ち ら か と い え	市 外 に 移 り た い	無 回 答	住 み 続 け た い	市 外 に 移 り た い
全体 [N= 1,192]			22.5	51.3	19.6	3.8	2.8	73.8	23.4
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		22.8	55.2	15.9	2.9	3.1	78.0	18.8
	18～29歳 [N= 54]		13.0	46.3	29.6	7.4	3.7	59.3	37.0
	30歳代 [N= 60]		21.7	53.3	18.3	3.3	3.3	75.0	21.6
	40歳代 [N= 69]		14.5	65.2	17.4	1.4	1.4	79.7	18.8
	50歳代 [N= 58]		20.7	56.9	13.8	5.2	3.4	77.6	19.0
	60歳代 [N= 109]		22.9	57.8	12.8	1.8	4.6	80.7	14.6
	70歳以上 [N= 158]		31.0	52.5	12.0	1.9	2.5	83.5	13.9
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		22.3	48.4	22.6	4.4	2.2	70.7	27.0
	18～29歳 [N= 95]		12.6	42.1	34.7	10.5	0.0	54.7	45.2
	30歳代 [N= 96]		19.8	51.0	24.0	4.2	1.0	70.8	28.2
	40歳代 [N= 100]		14.0	66.0	15.0	3.0	2.0	80.0	18.0
	50歳代 [N= 92]		15.2	52.2	30.4	2.2	0.0	67.4	32.6
	60歳代 [N= 135]		26.7	45.9	22.2	1.5	3.7	72.6	23.7
	70歳以上 [N= 159]		35.2	39.6	15.1	5.7	4.4	74.8	20.8
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		22.5	51.3	19.6	3.8	2.8	73.8	23.4
	東部 [N= 62]		22.6	50.3	20.6	3.6	3.0	72.9	24.2
	美濃山 [N= 190]		37.1	46.8	16.1	0.0	0.0	83.9	16.1
	男山 [N= 309]		19.5	52.6	23.2	2.6	2.1	72.1	25.8
	橋本 [N= 228]		24.6	51.1	15.9	6.1	2.3	75.7	22.0

③ 八幡市に住み続けたい理由（問 19）

八幡市に住み続けたいと回答した人の、八幡市に住み続けたい理由(2つまで)は、「近隣に商店や病院などが充実し、生活する上で便利だから」が 39.5%で最も多い。次いで「緑や公園が多く、まちの環境が良いから」(26.7%)、「住宅の事情から」(26.4%)、「市外に通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良いから」(23.2%)、「地域に愛着があるから」(20.6%)となっている。

図表 34 八幡市に住み続けたい理由(2つまで)（「住み続けたい」回答者：n=880）



図表 35 八幡市に住み続けたい理由(2つまで) (「住み続けたい」回答者) (性・年齢別、居住地別)

			(%)												
			緑や公園が多く、まちな環境が良いから	近隣に商店や病院などが充実し、生活する上で便利だから	市外に通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良いから	娯楽や文化などの生活の楽しみがあるから	福祉などの市民サービスが整っているから	子どもの教育環境が良いから	治安が良いから	地域に愛着があるから	職場が近いから	住宅の事情から	動、まちなづくり活動拠点が充実しており、地域活動がしやすい環境だから	その他	無回答
全体 [N= 880]			26.7	39.5	23.2	2.8	3.6	3.8	6.4	20.6	11.9	26.5	2.0	4.9	0.5
男性・年齢別	男性全体 [N= 397]		25.2	37.0	21.9	2.3	3.3	3.5	6.5	20.4	14.6	28.2	1.8	4.0	0.5
	18～29歳 [N= 32]		18.8	15.6	12.5	3.1	3.1	0.0	6.3	50.0	18.8	15.6	0.0	0.0	0.0
	30歳代 [N= 45]		4.4	31.1	26.7	0.0	2.2	13.3	4.4	26.7	35.6	24.4	0.0	0.0	0.0
	40歳代 [N= 55]		23.6	38.2	30.9	1.8	1.8	9.1	1.8	12.7	32.7	20.0	0.0	9.1	0.0
	50歳代 [N= 45]		24.4	24.4	33.3	2.2	2.2	4.4	4.4	24.4	20.0	28.9	0.0	2.2	0.0
	60歳代 [N= 88]		30.7	38.6	25.0	3.4	3.4	1.1	6.8	15.9	8.0	35.2	2.3	3.4	0.0
	70歳以上 [N= 132]		31.1	47.0	12.9	2.3	4.5	0.0	9.8	15.9	1.5	31.1	3.8	5.3	1.5
女性・年齢別	女性全体 [N= 479]		28.2	41.5	24.2	3.3	4.0	4.0	6.3	20.9	9.8	24.6	2.3	5.2	0.4
	18～29歳 [N= 52]		21.2	38.5	34.6	1.9	0.0	9.6	3.8	34.6	17.3	17.3	1.9	1.9	0.0
	30歳代 [N= 68]		19.1	38.2	25.0	1.5	5.9	11.8	5.9	22.1	14.7	26.5	2.9	5.9	0.0
	40歳代 [N= 80]		25.0	37.5	32.5	3.8	2.5	6.3	3.8	12.5	15.0	25.0	1.3	6.3	0.0
	50歳代 [N= 62]		22.6	35.5	27.4	1.6	0.0	1.6	4.8	21.0	17.7	37.1	0.0	6.5	0.0
	60歳代 [N= 98]		27.6	44.9	25.5	3.1	4.1	0.0	5.1	19.4	5.1	30.6	1.0	5.1	0.0
	70歳以上 [N= 119]		42.0	47.9	10.9	5.9	7.6	0.0	10.9	21.0	0.0	15.1	5.0	5.0	1.7
居住地別	市役所周辺 [N= 287]		18.8	43.9	24.4	4.2	3.8	1.7	6.3	23.3	13.9	27.2	2.4	3.1	0.3
	東部 [N= 52]		19.2	9.6	7.7	1.9	3.8	3.8	19.2	50.0	13.5	23.1	0.0	5.8	0.0
	美濃山 [N= 137]		34.3	58.4	18.2	1.5	1.5	7.3	3.6	10.9	6.6	22.6	2.9	5.1	1.5
	男山 [N= 234]		30.3	44.4	26.5	3.0	5.1	3.0	4.3	15.8	13.7	22.6	2.6	5.6	0.4
	橋本 [N= 164]		31.1	20.1	25.6	1.8	3.0	4.9	7.9	22.0	10.4	34.1	0.6	5.5	0.0

八幡市に住みたい理由(2つまで)の上位を見ると、多くの年齢・地域において「生活利便性」と「住宅事情」が回答の上位となっているが、18歳～29歳男性と東部地区では「地域への愛着」、30歳代男性では「職場の近さ」、50歳代男性では「交通利便性」が、それぞれ最も多くなっている。

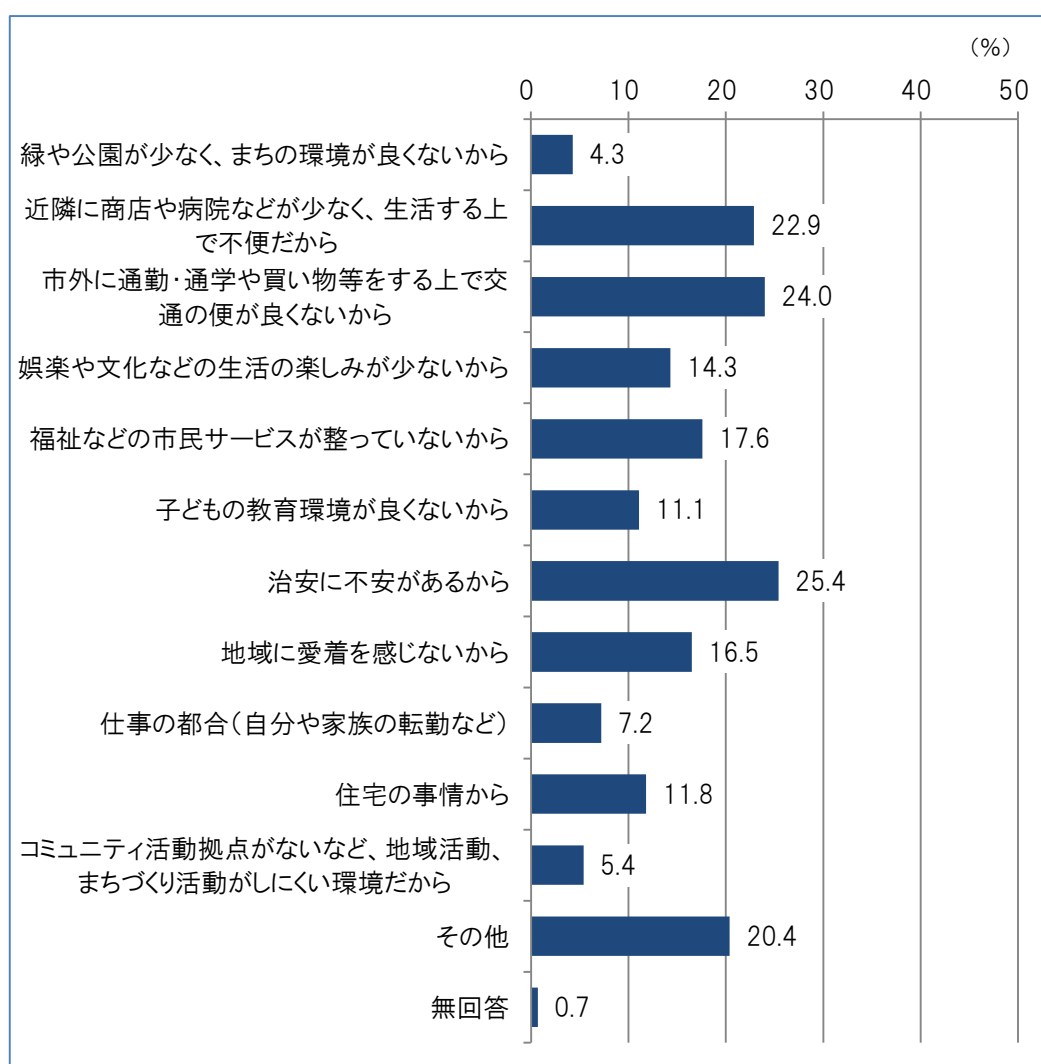
図表 36 八幡市に住みたい理由(2つまで)(上位 5 位)(性・年齢別、居住地別)

	(n数)	1位	2位	3位	4位	5位
全体	880	生活利便性 (39.5%)	緑・公園(26.7%)	住宅事情(26.4%)	交通利便性 (23.2%)	地域への愛着 (20.6%)
男性・ 年齢別	男性全体	397	生活利便性 (37.0%)	住宅事情(28.2%)	緑・公園(25.2%)	交通利便性 (21.9%)
	18歳～29歳	32	地域への愛着 (50.0%)	緑・公園/職場の近さ(18.8%)		生活利便性/住宅事情(15.6%)
	30歳代	45	職場の近さ(35.6%)	生活利便性 (31.1%)	交通利便性 (26.7%)	地域への愛着 (26.7%)
	40歳代	55	生活利便性 (38.2%)	職場の近さ(32.7%)	交通利便性 (30.9%)	緑・公園(23.6%)
	50歳代	45	交通利便性 (33.3%)	住宅事情(28.9%)	緑・公園/生活利便性/地域への愛着(24.4%)	
	60歳代	88	生活利便性 (38.6%)	住宅事情(35.2%)	緑・公園(30.7%)	交通利便性 (25.0%)
	70歳以上	132	生活利便性 (47.0%)	緑・公園/住宅事情(31.1%)		地域への愛着 (15.9%)
女性・ 年齢別	女性全体	479	生活利便性 (41.5%)	緑・公園(28.2%)	住宅事情(24.6%)	交通利便性 (24.2%)
	18歳～29歳	52	生活利便性 (38.5%)	交通利便性/地域への愛着(34.6%)		緑・公園(21.2%)
	30歳代	68	生活利便性 (38.2%)	住宅事情(26.5%)	交通利便性 (25.0%)	地域への愛着 (22.1%)
	40歳代	80	生活利便性 (37.5%)	交通利便性 (32.5%)	緑・公園/住宅事情(25.0%)	
	50歳代	62	住宅事情(37.1%)	生活利便性 (35.5%)	交通利便性 (27.4%)	緑・公園(22.6%)
	60歳代	98	生活利便性 (44.9%)	住宅事情(30.6%)	緑・公園(27.6%)	交通利便性 (25.5%)
	70歳以上	119	生活利便性 (47.9%)	緑・公園(42.0%)	地域への愛着 (21.0%)	住宅事情(15.1%)
居住地別	市役所周辺	287	生活利便性 (43.9%)	住宅事情(27.2%)	交通利便性 (24.4%)	地域への愛着 (23.3%)
	東部	52	地域への愛着 (50.0%)	住宅事情(23.1%)	緑・公園/治安の良さ(19.2%)	
	美濃山	137	生活利便性 (58.4%)	緑・公園(34.3%)	住宅事情(22.6%)	交通利便性 (18.2%)
	男山	234	生活利便性 (44.4%)	緑・公園(30.3%)	交通利便性 (26.5%)	住宅事情(22.6%)
	橋本	164	住宅事情(34.1%)	緑・公園(31.1%)	交通利便性 (25.6%)	地域への愛着 (22.0%)

④ 八幡市外に移りたい理由（問 20）

八幡市から市外に移りたいと回答した人の、八幡市外に移りたい理由(2つまで)は、「治安に不安があるから」が 25.4%と最も多く、次いで「市外に通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良くないから」(24.0%)、「近隣に商店や病院などが少なく、生活する上で不便だから」(22.9%)となっている。

図表 37 八幡市外に移りたい理由(2つまで)（「市外に移りたい」回答者：n=279）



図表 38 八幡市外に移りたい理由(2つまで) (「市外に移りたい」回答者) (性・年齢別、居住地別)

			緑や公園が少なく、まちな環境が良くないから	近隣に商店や病院などが少なく、生活する上で不便だから	市外に通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良くないから	娯楽や文化などの生活の楽しみが少ないから	福祉などの市民サービスが整っていないから	子どもの教育環境が良くないから	治安に不安があるから	地域に愛着を感じないから	仕事の都合(自分や家族の転勤など)	住宅の事情から	コミュニティ活動がしにくい環境など、地域活動、まちづくり活動	その他	無回答
		全体 [N= 279]	4.3	22.9	24.0	14.3	17.6	11.1	25.4	16.5	7.2	11.8	5.4	20.4	0.7
男性・年齢別	男性全体	[N= 96]	4.2	18.8	21.9	11.5	19.8	6.3	20.8	17.7	9.4	10.4	5.2	19.8	0.0
	18～29歳	[N= 20]	5.0	15.0	40.0	20.0	0.0	0.0	30.0	20.0	20.0	10.0	0.0	15.0	0.0
	30歳代	[N= 13]	0.0	23.1	38.5	7.7	46.2	7.7	23.1	7.7	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0
	40歳代	[N= 13]	15.4	15.4	38.5	0.0	23.1	7.7	53.8	15.4	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0
	50歳代	[N= 11]	9.1	18.2	9.1	18.2	0.0	9.1	9.1	27.3	27.3	0.0	9.1	27.3	0.0
	60歳代	[N= 16]	0.0	25.0	6.3	0.0	25.0	6.3	6.3	18.8	0.0	12.5	6.3	37.5	0.0
	70歳以上	[N= 22]	0.0	18.2	4.5	18.2	27.3	9.1	9.1	18.2	0.0	22.7	4.5	22.7	0.0
女性・年齢別	女性全体	[N= 183]	4.4	25.1	25.1	15.8	16.4	13.7	27.9	15.8	6.0	12.6	5.5	20.8	1.1
	18～29歳	[N= 43]	0.0	11.6	16.3	25.6	7.0	14.0	32.6	16.3	14.0	4.7	7.0	25.6	0.0
	30歳代	[N= 27]	3.7	25.9	33.3	11.1	3.7	25.9	29.6	7.4	11.1	18.5	0.0	18.5	0.0
	40歳代	[N= 18]	0.0	16.7	33.3	11.1	22.2	27.8	44.4	16.7	0.0	5.6	0.0	33.3	0.0
	50歳代	[N= 30]	10.0	33.3	23.3	20.0	26.7	16.7	33.3	13.3	0.0	13.3	0.0	13.3	0.0
	60歳代	[N= 32]	3.1	31.3	37.5	9.4	28.1	3.1	21.9	9.4	3.1	12.5	15.6	15.6	0.0
	70歳以上	[N= 33]	9.1	33.3	15.2	12.1	15.2	3.0	12.1	30.3	3.0	21.2	6.1	21.2	6.1
居住地別	市役所周辺	[N= 95]	5.3	18.9	21.1	13.7	15.8	10.5	27.4	20.0	10.5	14.7	6.3	18.9	0.0
	東部	[N= 10]	0.0	40.0	50.0	20.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	10.0
	美濃山	[N= 49]	8.2	12.2	34.7	8.2	26.5	6.1	18.4	16.3	6.1	8.2	12.2	16.3	0.0
	男山	[N= 68]	2.9	14.7	17.6	10.3	17.6	19.1	33.8	16.2	7.4	13.2	1.5	25.0	1.5
	橋本	[N= 57]	1.8	45.6	22.8	24.6	15.8	7.0	21.1	14.0	3.5	10.5	1.8	21.1	0.0

八幡市外に移りたい理由(2つまで)の上位を見ると、40歳代男性、18歳～29歳女性、40歳代女性、50歳代女性で「治安に不安があるから」が最も多くなっている。

居住地別に見ると、市役所周辺地区と男山地区で「治安に不安があるから」、東部地区と美濃山地区で「市外に通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良くないから」、橋本地区で、「近隣に商店や病院などが少なく、生活する上で不便だから」が最も多くなっている。

図表 39 八幡市外に移りたい理由(2つまで)(上位5位)(性・年齢別、居住地別)

		(n数)	1位	2位	3位	4位	5位
全体		279	治安(25.4%)	交通利便性(24.0%)	生活利便性(22.9%)	その他(20.4%)	福祉(17.6%)
男性・年齢別	男性全体	96	交通利便性(21.9%)	治安(20.8%)	福祉/その他(19.8%)		生活利便性(18.8%)
	18歳～29歳	20	交通利便性(40.0%)	治安(30.0%)	娯楽・文化/地域への愛着/仕事の都合(20.0%)		
	30歳代	13	福祉(46.2%)	交通利便性(38.5%)	生活利便性/治安(23.1%)		娯楽・文化/教育環境/地域への愛着(7.7%)
	40歳代	13	治安(53.8%)	交通利便性(38.5%)	福祉(23.1%)	緑・公園/生活利便性(15.4%)	
	50歳代	11	地域への愛着/仕事の都合/その他(27.3%)			生活利便性/娯楽・文化(18.2%)	
	60歳代	16	その他(37.5%)	生活利便性/福祉(25.0%)		地域への愛着(18.8%)	住宅事情(12.5%)
	70歳以上	22	福祉(27.3%)	住宅事情/その他(22.7%)		生活利便性/娯楽・文化/地域への愛着(18.2%)	
女性・年齢別	女性全体	183	治安(27.9%)	生活利便性/交通利便性(25.1%)		その他(20.8%)	福祉(16.4%)
	18歳～29歳	43	治安(32.6%)	娯楽・文化/その他(25.6%)		交通利便性/地域への愛着(16.3%)	
	30歳代	27	交通利便性(33.3%)	治安(29.6%)	生活利便性/教育環境(25.9%)		住宅事情/その他(18.5%)
	40歳代	18	治安(44.4%)	交通利便性/その他(33.3%)		教育環境(27.8%)	福祉(22.2%)
	50歳代	30	生活利便性/治安(33.3%)		福祉(26.7%)	交通利便性(23.3%)	娯楽・文化(20.0%)
	60歳代	32	交通利便性(37.5%)	生活利便性(31.3%)	福祉(28.1%)	治安(21.9%)	コミュニティ活動/その他(15.6%)
	70歳以上	33	生活利便性(33.3%)	地域への愛着(30.3%)	住宅事情/その他(21.2%)		交通利便性/福祉(15.2%)
居住地別	市役所周辺	95	治安(27.4%)	交通利便性(21.1%)	地域への愛着(20.0%)	生活利便性/その他(18.9%)	
	東部	10	交通利便性(50.0%)	生活利便性(40.0%)	娯楽・文化/その他(20.0%)		教育環境/治安/コミュニティ活動(10.0%)
	美濃山	49	交通利便性(34.7%)	福祉(26.5%)	治安(18.4%)	地域への愛着/その他(16.3%)	
	男山	68	治安(33.8%)	その他(25.0%)	教育環境(19.1%)	交通利便性/福祉(17.6%)	
	橋本	57	生活利便性(45.6%)	娯楽・文化(24.6%)	交通利便性(22.8%)	治安/その他(21.1%)	

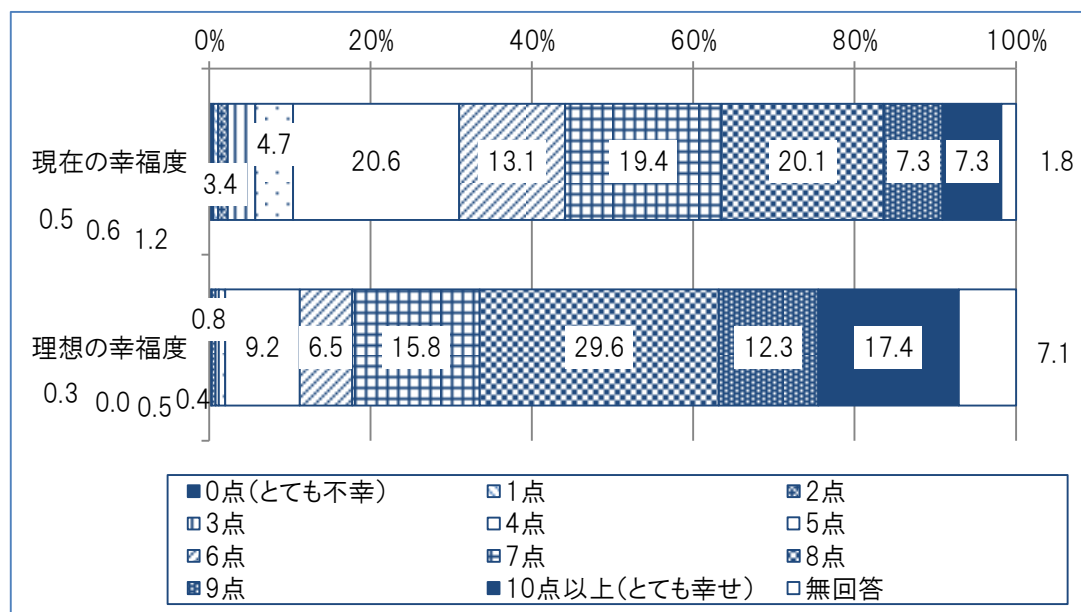
(3) 幸福感について

① 現在の幸福度と、理想の幸福度（問 21、問 22）

現在どの程度「幸せ」と感じているかについて、「0 点(とても不幸)～10 点(とても幸せ)」で聞いたところ、「5 点」が 20.6%と最も多く、次いで「8 点」(20.1%)、「7 点」(19.4%)となっている。5 点以上の人が約 9 割となっている。

内閣府経済社会総合研究所が平成 25 年度に実施した調査結果と比較すると、幸福感の平均点は八幡市が 6.61 点、内閣府が 6.68 点と、八幡市の幸福感は内閣府調査とほぼ同様である。

図表 40 現在の幸福度と、理想の幸福度(SA) (n=1,192)



図表 41 現在の幸福度(SA) (性・年齢別、居住地別)

		0点 (とても 不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (とても 幸せ)	無 回 答	不幸 0-3点	普通 4-6点	幸福 7-10点
全体 [N= 1,192]		0.5	0.6	1.2	3.4	4.7	20.6	13.1	19.4	20.1	7.3	7.3	1.8	5.7	38.4	54.1
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	0.6	0.8	1.2	3.9	6.3	22.0	14.3	20.2	19.6	6.1	4.1	0.8	6.5	42.6	50.0
	18～29歳 [N= 54]	0.0	0.0	0.0	1.9	7.4	27.8	13.0	18.5	16.7	5.6	9.3	0.0	1.9	48.2	50.1
	30歳代 [N= 60]	3.3	0.0	5.0	8.3	13.3	18.3	8.3	18.3	13.3	6.7	5.0	0.0	16.6	39.9	43.3
	40歳代 [N= 69]	1.4	1.4	2.9	2.9	7.2	18.8	17.4	17.4	21.7	5.8	2.9	0.0	8.6	43.4	47.8
	50歳代 [N= 58]	0.0	1.7	0.0	3.4	8.6	22.4	10.3	24.1	20.7	5.2	3.4	0.0	5.1	41.3	53.4
	60歳代 [N= 109]	0.0	1.8	0.9	4.6	0.9	23.9	17.4	20.2	21.1	5.5	1.8	1.8	7.3	42.2	48.6
	70歳以上 [N= 158]	0.0	0.0	0.0	3.2	5.7	21.5	14.6	21.5	20.9	7.0	4.4	1.3	3.2	41.8	53.8
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	0.3	0.4	1.2	3.0	3.4	19.8	12.3	18.6	20.7	8.3	9.7	2.4	4.9	35.5	57.3
	18～29歳 [N= 95]	0.0	0.0	0.0	3.2	1.1	30.5	11.6	17.9	21.1	6.3	8.4	0.0	3.2	43.2	53.7
	30歳代 [N= 96]	0.0	1.0	1.0	4.2	4.2	18.8	8.3	17.7	18.8	11.5	14.6	0.0	6.2	31.3	62.6
	40歳代 [N= 100]	1.0	0.0	1.0	6.0	4.0	19.0	9.0	26.0	16.0	8.0	10.0	0.0	8.0	32.0	60.0
	50歳代 [N= 92]	1.1	0.0	1.1	3.3	4.3	10.9	18.5	18.5	25.0	7.6	7.6	2.2	5.5	33.7	58.7
	60歳代 [N= 135]	0.0	0.0	0.7	0.7	3.7	17.8	17.8	16.3	24.4	6.7	8.9	3.0	1.4	39.3	56.3
	70歳以上 [N= 159]	0.0	1.3	2.5	1.9	3.1	21.4	8.8	17.0	18.9	9.4	9.4	6.3	5.7	33.3	54.7
居住地 別	市役所周辺 [N= 394]	0.5	0.3	1.8	4.1	6.1	20.1	14.5	16.2	19.5	7.1	8.6	1.3	6.7	40.7	51.4
	東部 [N= 62]	0.0	0.0	0.0	3.2	1.6	24.2	14.5	14.5	24.2	4.8	11.3	1.6	3.2	40.3	54.8
	美濃山 [N= 190]	0.0	1.1	0.0	2.1	4.2	14.2	8.4	22.6	24.2	10.5	11.1	1.6	3.2	26.8	68.4
	男山 [N= 309]	1.3	0.3	1.6	3.2	4.5	23.9	12.6	19.7	20.1	6.8	4.5	1.3	6.4	41.0	51.1
	橋本 [N= 228]	0.0	1.3	0.9	3.1	3.5	21.9	14.5	23.7	17.1	6.6	4.8	2.6	5.3	39.9	52.2

どの程度の幸福を理想の状態と考えるかを聞いたところ、「8点」が29.6%と最も多く、次いで「10点」(17.4%)、「7点」(15.8%)となっている。

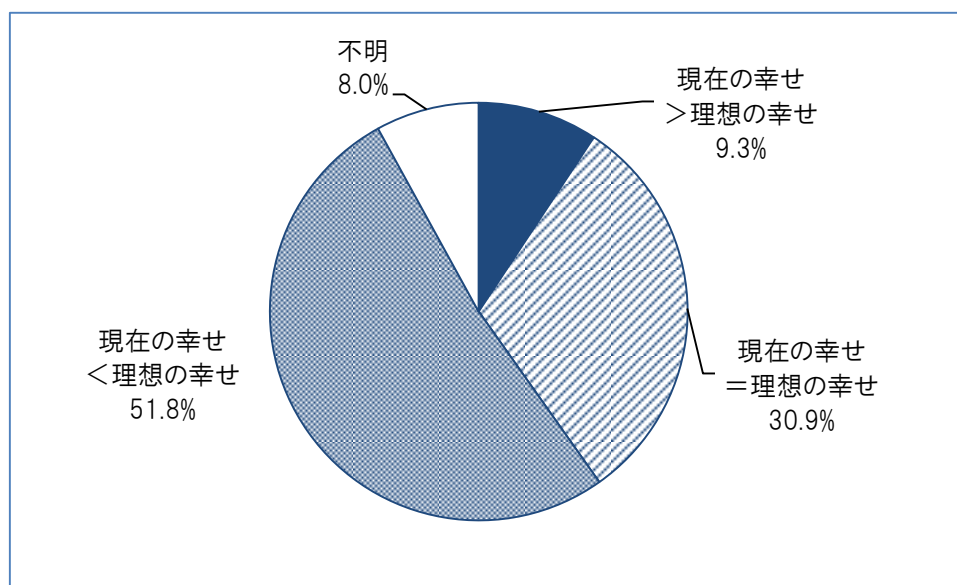
図表 42 理想の幸福度(SA) (性・年齢別、居住地別)

			0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	無回答
全体 [N= 1,192]			0.3	0.0	0.5	0.4	0.8	9.2	6.5	15.8	29.6	12.3	17.4	7.1
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		0.4	0.0	0.2	0.4	1.6	10.4	7.5	16.7	28.3	10.6	17.3	6.7
	18～29歳 [N= 54]		0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	9.3	1.9	9.3	20.4	14.8	33.3	9.3
	30歳代 [N= 60]		1.7	0.0	0.0	0.0	3.3	6.7	8.3	16.7	20.0	10.0	30.0	3.3
	40歳代 [N= 69]		1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	7.2	7.2	17.4	26.1	14.5	21.7	2.9
	50歳代 [N= 58]		0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	12.1	6.9	20.7	25.9	6.9	17.2	8.6
	60歳代 [N= 109]		0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	11.0	11.0	21.1	27.5	11.0	12.8	3.7
	70歳以上 [N= 158]		0.0	0.0	0.6	0.6	1.3	12.7	7.0	14.6	36.7	8.9	8.2	9.5
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		0.1	0.0	0.7	0.4	0.1	8.4	5.6	15.1	30.7	13.7	17.7	7.2
	18～29歳 [N= 95]		0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	6.3	5.3	12.6	35.8	11.6	25.3	2.1
	30歳代 [N= 96]		0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	7.3	10.4	13.5	26.0	17.7	19.8	4.2
	40歳代 [N= 100]		0.0	0.0	1.0	2.0	0.0	10.0	7.0	23.0	22.0	10.0	19.0	6.0
	50歳代 [N= 92]		0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	8.7	3.3	9.8	37.0	17.4	18.5	3.3
	60歳代 [N= 135]		0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	7.4	3.7	19.3	34.8	14.1	14.1	5.9
	70歳以上 [N= 159]		0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	10.1	5.0	11.9	28.9	12.6	13.8	16.4
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		0.5	0.0	0.8	0.0	1.0	11.4	5.3	14.7	28.9	11.7	17.5	8.1
	東部 [N= 62]		0.0	0.0	1.6	0.0	1.6	12.9	0.0	16.1	35.5	9.7	22.6	0.0
	美濃山 [N= 190]		0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	5.3	4.2	13.2	36.3	10.0	23.7	6.3
	男山 [N= 309]		0.6	0.0	0.3	1.0	0.6	8.4	7.1	18.8	27.5	14.9	12.6	8.1
	橋本 [N= 228]		0.0	0.0	0.4	0.4	0.4	7.9	10.5	15.8	27.6	13.2	18.0	5.7

現在の幸福度と理想の幸福度の回答を比較したところ、現在、既に理想の幸せを上回っている人は9.3%、現在の幸福度が理想と一致している人は30.9%となっており、あわせて約4割の人が理想の幸福度を実現している。

一方、現在の幸福度が理想の幸福度を下回っている人は51.8%となっている。

図表 43 現在と理想の幸福度の比較(SA)



現在の幸福度と理想の幸福度の回答を比較したところ、「18～30 歳代男性」と「18～29 歳女性」において、現在の幸福度が理想の幸福度を下回っている人が、他に比べて多くなっている。

図表 44 現在と理想の幸福度の比較(SA) (性・年齢別、居住地別)

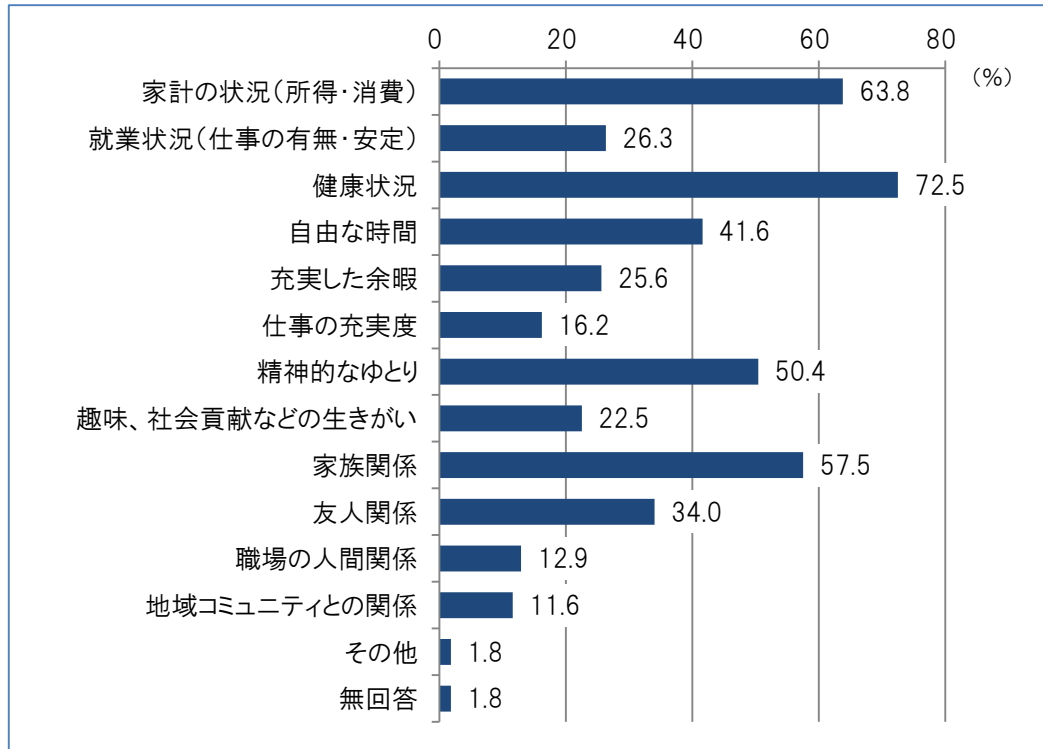
(%)

			現在の幸せ > 理想の幸せ	現在の幸せ = 理想の幸せ	現在の幸せ < 理想の幸せ	不明
全体 [N= 1,192]			9.3	30.9	51.8	8.0
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		7.1	33.6	52.1	7.3
	18～29歳 [N= 54]		3.7	24.1	63.0	9.3
	30歳代 [N= 60]		5.0	16.7	75.0	3.3
	40歳代 [N= 69]		5.8	31.9	59.4	2.9
	50歳代 [N= 58]		6.9	39.7	44.8	8.6
	60歳代 [N= 109]		11.0	28.4	55.0	5.5
	70歳以上 [N= 158]		7.0	45.6	37.3	10.1
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		11.1	28.8	51.8	8.3
	18～29歳 [N= 95]		9.5	25.3	63.2	2.1
	30歳代 [N= 96]		12.5	31.3	52.1	4.2
	40歳代 [N= 100]		11.0	35.0	48.0	6.0
	50歳代 [N= 92]		13.0	28.3	54.3	4.3
	60歳代 [N= 135]		13.3	23.0	56.3	7.4
	70歳以上 [N= 159]		8.2	30.8	42.1	18.9
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		9.4	31.2	50.5	8.9
	東部 [N= 62]		11.3	35.5	51.6	1.6
	美濃山 [N= 190]		9.5	31.6	52.6	6.3
	男山 [N= 309]		7.8	31.4	52.1	8.7
	橋本 [N= 228]		10.5	28.1	54.4	7.0

② 幸福感の判断で重視した事項（問 23）

幸福感の判断で重視した事項は、「健康状態」が72.5%と最も多く、次いで「家計の状況（所得・消費）」（63.8%）、「家族関係」（57.5%）となっている。

図表 45 幸福感の判断で重視した事項(MA) (n=1,192)



性・年齢により、幸福感の判断で重視した事項に異なりがみられる。

30 歳代・40 歳代女性で「家計の状況(所得・消費)」、18 歳～40 歳代男女で「就業状況(仕事の有無・安定)」、40 歳代・50 歳代女性で「健康状態」、18 歳～29 歳男女で「自由な時間」、18 歳～29 歳・40 歳代男性で「充実した余暇」、18 歳～50 歳代男性で「仕事の充実度」、18 歳～29 歳と 50 歳代女性で「精神的なゆとり」、40 歳代・50 歳代女性で「家族関係」、18 歳～29 歳男女で「友人関係」を重視する人が、全体に比べてそれぞれ多くなっている。

図表 46 幸福感の判断で重視した事項(MA) (性・年齢別、居住地別)

		得家計の状況(所得・消費)	有就業状況(仕事の有無・安定)	健康状態	自由な時間	充実した余暇	仕事の充実度	精神的なゆとり	趣味、生きがい、社会貢献など	家族関係	友人関係	職場の人間関係	地域コミュニティ	その他	(%) 無回答
全体 [N= 1,192]		63.8	26.3	72.5	41.6	25.6	16.2	50.4	22.5	57.5	34.0	12.9	11.6	1.8	1.8
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]	59.1	27.9	67.8	40.5	27.1	18.3	46.6	24.2	49.7	26.1	10.8	13.6	1.6	1.4
	18～29歳 [N= 54]	51.9	42.6	61.1	61.1	46.3	31.5	55.6	33.3	48.1	57.4	33.3	3.7	0.0	0.0
	30歳代 [N= 60]	60.0	53.3	68.3	36.7	33.3	35.0	48.3	28.3	55.0	23.3	16.7	16.7	3.3	1.7
	40歳代 [N= 69]	66.7	53.6	69.6	39.1	36.2	34.8	52.2	14.5	56.5	17.4	23.2	11.6	0.0	0.0
	50歳代 [N= 58]	60.3	36.2	65.5	41.4	29.3	29.3	51.7	22.4	53.4	19.0	15.5	8.6	0.0	0.0
	60歳代 [N= 109]	67.0	20.2	76.1	39.4	21.1	11.0	45.0	28.4	49.5	24.8	1.8	18.3	3.7	0.0
	70歳以上 [N= 158]	52.5	4.4	64.6	36.1	17.7	1.3	39.2	21.5	44.3	24.1	0.0	15.2	1.3	3.8
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]	67.4	25.3	76.4	42.5	24.7	14.8	53.8	21.3	63.7	40.0	14.5	10.2	1.9	1.8
	18～29歳 [N= 95]	62.1	44.2	69.5	56.8	32.6	23.2	67.4	26.3	62.1	57.9	35.8	2.1	1.1	0.0
	30歳代 [N= 96]	77.1	37.5	81.3	42.7	32.3	24.0	55.2	15.6	65.6	35.4	14.6	6.3	4.2	0.0
	40歳代 [N= 100]	74.0	44.0	85.0	44.0	28.0	16.0	60.0	22.0	74.0	42.0	28.0	15.0	2.0	1.0
	50歳代 [N= 92]	71.7	31.5	83.7	32.6	27.2	26.1	69.6	21.7	71.7	40.2	14.1	15.2	1.1	2.2
	60歳代 [N= 135]	66.7	11.1	79.3	43.0	15.6	8.1	40.7	23.7	66.7	33.3	5.2	8.1	0.7	1.5
	70歳以上 [N= 159]	58.5	3.1	65.4	38.4	19.5	2.5	42.8	18.9	49.7	36.5	1.3	13.2	2.5	4.4
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	58.9	24.4	67.0	46.7	24.6	18.0	47.5	25.6	53.8	37.6	15.7	14.0	1.8	2.3
	東部 [N= 62]	58.1	25.8	67.7	38.7	16.1	17.7	50.0	21.0	66.1	33.9	9.7	9.7	3.2	1.6
	美濃山 [N= 190]	71.6	27.9	82.1	37.9	28.9	16.8	58.9	23.2	68.4	37.4	12.6	13.2	1.6	1.1
	男山 [N= 309]	63.4	28.5	74.4	38.8	25.9	13.3	50.5	18.4	56.3	29.1	12.9	8.1	1.6	1.3
	橋本 [N= 228]	68.9	25.9	75.0	41.2	27.6	16.7	50.0	22.4	56.1	32.5	9.6	11.8	1.8	0.4

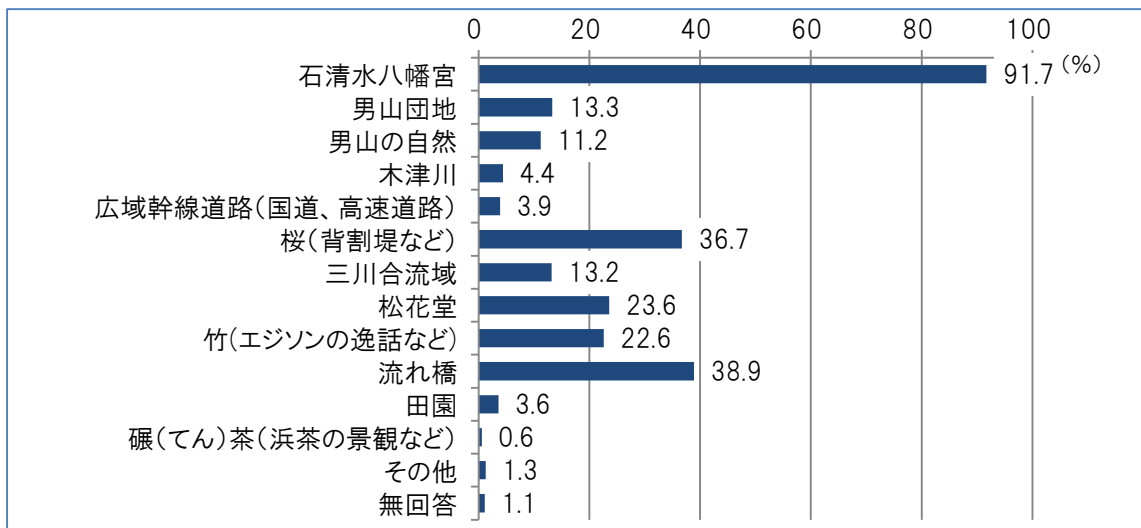
(4) 八幡市のこれからのまちづくりについて

① 「八幡市らしさ」をイメージするもの（問 24）

「八幡らしさ」をイメージするもの(3つ以内)は、「石清水八幡宮」が91.7%と群を抜いて多くなっている。次いで「流れ橋」(38.9%)、「桜(背割堤など)」(36.7%)となっている。

性・年齢別では、50歳代男女で「流れ橋」、18～29歳男性で「竹(エジソンの逸話など)」、30歳代女性で「桜(背割堤など)」、70歳以上男性で「三川合流域」、70歳以上女性で「松花堂」「男山の自然」をあげる割合が全体に比べて多くなっている。居住地別では、東部地区で「流れ橋」「木津川」「田園」、男山地区で「男山団地」の割合が全体に比べて多くなっている。

図表 47 「八幡市らしさ」をイメージするもの(3つ以内) (n=1,192)



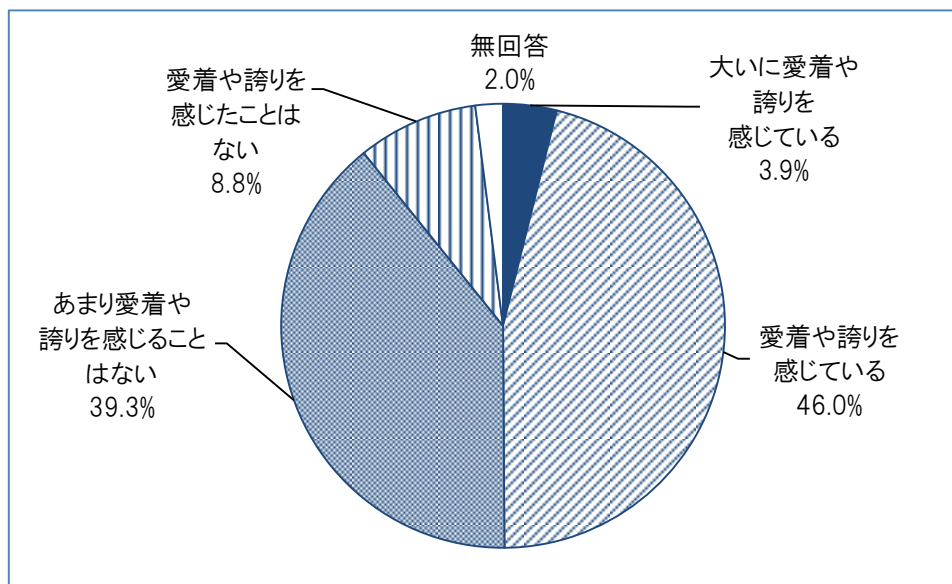
図表 48 「八幡市らしさ」をイメージするもの(3つ以内) (性・年齢別、居住地別)

		石清水八幡宮	男山団地	男山の自然	木津川	道、域幹線道路(国道、高速道路)	桜(背割堤など)	三川合流域	松花堂	竹(エジソンの逸話など)	流れ橋	田園	礪(てん)茶(浜茶の景観など)	その他	無回答
全体 [N= 1,192]		91.7	13.3	11.2	4.4	3.9	36.7	13.2	23.6	22.6	38.9	3.6	0.6	1.3	1.1
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]	91.4	13.9	12.0	6.1	5.1	32.4	15.7	19.8	23.6	38.7	3.7	1.2	1.4	0.8
	18～29歳 [N= 54]	88.9	11.1	1.9	7.4	1.9	33.3	3.7	20.4	38.9	42.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代 [N= 60]	93.3	13.3	8.3	10.0	1.7	33.3	13.3	11.7	30.0	45.0	6.7	0.0	1.7	1.7
	40歳代 [N= 69]	95.7	11.6	5.8	5.8	8.7	36.2	13.0	21.7	31.9	43.5	1.4	0.0	1.4	0.0
	50歳代 [N= 58]	93.1	12.1	8.6	3.4	6.9	19.0	12.1	19.0	20.7	55.2	3.4	1.7	0.0	0.0
	60歳代 [N= 109]	91.7	13.8	14.7	3.7	2.8	37.6	15.6	15.6	17.4	38.5	4.6	2.8	1.8	0.9
	70歳以上 [N= 158]	89.2	17.1	19.0	7.0	7.0	31.6	23.4	25.3	17.7	27.2	4.4	1.3	1.9	0.6
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]	92.2	12.7	10.5	3.2	3.0	40.2	11.4	26.4	21.9	39.1	3.5	0.1	1.2	1.0
	18～29歳 [N= 95]	93.7	8.4	5.3	4.2	1.1	35.8	6.3	26.3	32.6	32.6	4.2	0.0	3.2	0.0
	30歳代 [N= 96]	92.7	11.5	6.3	0.0	3.1	47.9	7.3	14.6	21.9	41.7	1.0	0.0	2.1	0.0
	40歳代 [N= 100]	98.0	20.0	7.0	1.0	2.0	43.0	10.0	20.0	28.0	44.0	2.0	0.0	1.0	0.0
	50歳代 [N= 92]	94.6	12.0	2.2	5.4	0.0	38.0	17.4	27.2	15.2	52.2	2.2	0.0	0.0	1.1
	60歳代 [N= 135]	93.3	11.9	10.4	3.0	3.7	40.0	17.0	26.7	21.5	38.5	4.4	0.0	0.7	0.7
	70歳以上 [N= 159]	84.9	12.6	23.3	5.0	5.7	37.7	9.4	37.1	15.7	31.4	5.7	0.6	0.6	3.1
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	91.9	10.4	12.4	5.3	4.3	37.6	13.5	25.1	20.1	40.6	4.6	0.3	1.0	1.3
	東部 [N= 62]	93.5	1.6	4.8	21.0	4.8	25.8	6.5	17.7	22.6	66.1	14.5	4.8	0.0	0.0
	美濃山 [N= 190]	91.6	4.2	3.2	3.7	6.8	32.6	5.8	28.4	27.9	46.8	3.2	0.5	2.1	1.1
	男山 [N= 309]	89.0	29.4	14.9	1.3	3.6	34.6	12.0	20.1	20.1	34.3	1.6	0.3	1.3	0.6
	橋本 [N= 228]	96.1	7.5	11.8	3.5	1.3	45.2	22.8	23.7	26.3	29.4	2.2	0.4	1.3	0.9

② 「わがまち・八幡」への愛着や誇り（問 25）

「わがまち・八幡」への愛着や誇りについて、「感じている」と「感じたことはない」が拮抗している。
東部地区で「感じている」が高く、30歳代女性と美濃山地区で「感じたことはない」が高い。

図表 49 「わがまち・八幡」への愛着や誇り(SA) (n=1,192)



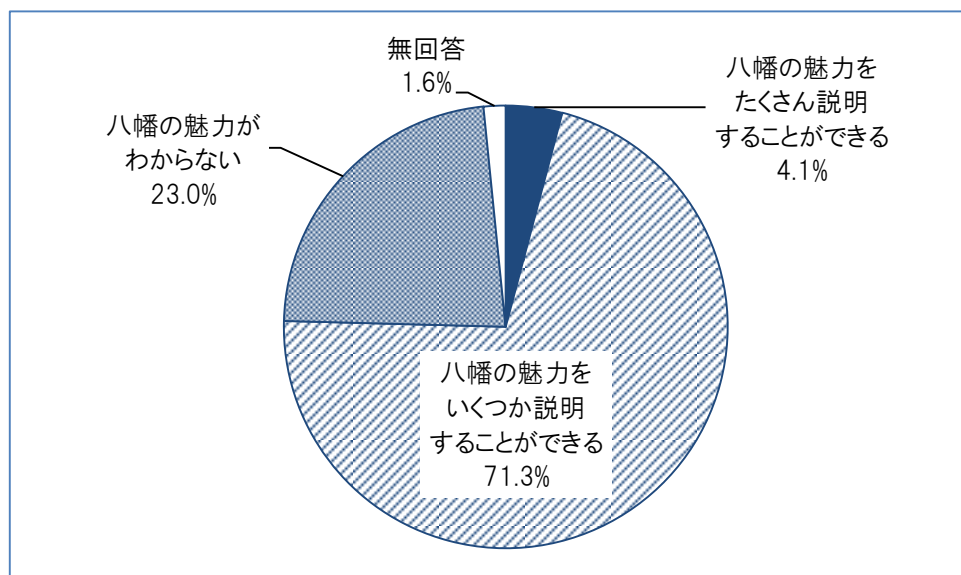
図表 50 「わがまち・八幡」への愛着や誇り(SA) (性・年齢別、居住地別)

			大いに愛着や誇りを感じている	愛着や誇りを感じている	あまり愛着や誇りを感じることはない	感じたことはない	無回答	愛着や誇りを感じていない	愛着や誇りを感じた
全体 [N= 1,192]			3.9	46.0	39.3	8.8	2.0	49.9	48.1
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	4.1	46.4	40.5	7.7	1.4	50.5	48.2
	18～29歳	[N= 54]	7.4	40.7	37.0	13.0	1.9	48.1	50.0
	30歳代	[N= 60]	3.3	40.0	46.7	10.0	0.0	43.3	56.7
	40歳代	[N= 69]	4.3	53.6	34.8	7.2	0.0	57.9	42.0
	50歳代	[N= 58]	8.6	43.1	43.1	5.2	0.0	51.7	48.3
	60歳代	[N= 109]	2.8	42.2	45.9	8.3	0.9	45.0	54.2
	70歳以上	[N= 158]	2.5	51.9	36.7	5.7	3.2	54.4	42.4
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	3.7	45.8	38.6	9.6	2.4	49.5	48.2
	18～29歳	[N= 95]	5.3	45.3	30.5	18.9	0.0	50.6	49.4
	30歳代	[N= 96]	2.1	36.5	47.9	13.5	0.0	38.6	61.4
	40歳代	[N= 100]	4.0	48.0	38.0	10.0	0.0	52.0	48.0
	50歳代	[N= 92]	2.2	39.1	47.8	8.7	2.2	41.3	56.5
	60歳代	[N= 135]	3.0	44.4	42.2	5.9	4.4	47.4	48.1
	70歳以上	[N= 159]	5.0	55.3	29.6	5.0	5.0	60.3	34.6
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	5.1	44.4	39.3	8.1	3.0	49.5	47.4
	東部	[N= 62]	8.1	66.1	24.2	1.6	0.0	74.2	25.8
	美濃山	[N= 190]	2.1	37.9	47.9	10.5	1.6	40.0	58.4
	男山	[N= 309]	3.6	49.8	35.6	9.7	1.3	53.4	45.3
	橋本	[N= 228]	2.6	45.2	41.7	8.8	1.8	47.8	50.5

③ 「わがまち・八幡」の魅力の友人・知人への説明（問 26）

「わがまち・八幡」の魅力を友人・知人に説明できるかについて聞いたところ、「八幡の魅力をいくつか説明することができる」が約 7 割となっている。一方、「八幡の魅力がわからない」が約 2 割となっている。居住地別では、東部地区で説明できる人の割合が全体に比べて多くなっている。

図表 51 「わがまち・八幡」の魅力の友人・知人への説明(SA) (n=1,192)



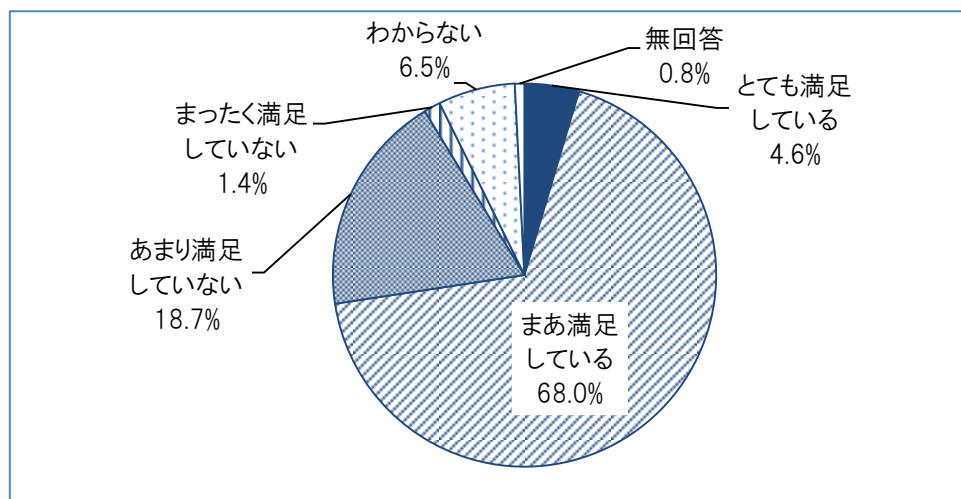
図表 52 「わがまち・八幡」の魅力の友人・知人への説明(SA) (性・年齢別、居住地別)

			(%)			
			きすた るるく こさの とん魅 が説力 で明を	きすい るるく こつ のとか が説力 で明を	わか はか らな 魅力 が	無 回 答
全体 [N= 1,192]			4.1	71.3	23.0	1.6
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	5.3	70.7	23.0	1.0
	18～29歳	[N= 54]	11.1	64.8	24.1	0.0
	30歳代	[N= 60]	1.7	76.7	21.7	0.0
	40歳代	[N= 69]	4.3	73.9	21.7	0.0
	50歳代	[N= 58]	5.2	74.1	20.7	0.0
	60歳代	[N= 109]	4.6	71.6	22.0	1.8
	70歳以上	[N= 158]	5.7	67.7	24.7	1.9
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	3.2	71.9	22.9	1.9
	18～29歳	[N= 95]	4.2	70.5	25.3	0.0
	30歳代	[N= 96]	2.1	71.9	26.0	0.0
	40歳代	[N= 100]	4.0	73.0	23.0	0.0
	50歳代	[N= 92]	1.1	72.8	23.9	2.2
	60歳代	[N= 135]	1.5	77.0	20.7	0.7
	70歳以上	[N= 159]	5.7	67.3	20.8	6.3
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	4.6	71.6	22.1	1.8
	東部	[N= 62]	3.2	82.3	14.5	0.0
	美濃山	[N= 190]	3.2	65.8	30.5	0.5
	男山	[N= 309]	5.2	70.6	22.3	1.9
	橋本	[N= 228]	3.1	74.6	21.1	1.3

④ 八幡市での暮らしの満足度（問 27）

八幡市での暮らしの満足度は、「まあ満足している」が 68.0%で、「とても満足している」(4.6%)と合わせて、約 7 割が満足している。

図表 53 八幡市での暮らしの満足度(SA) (n=1,192)



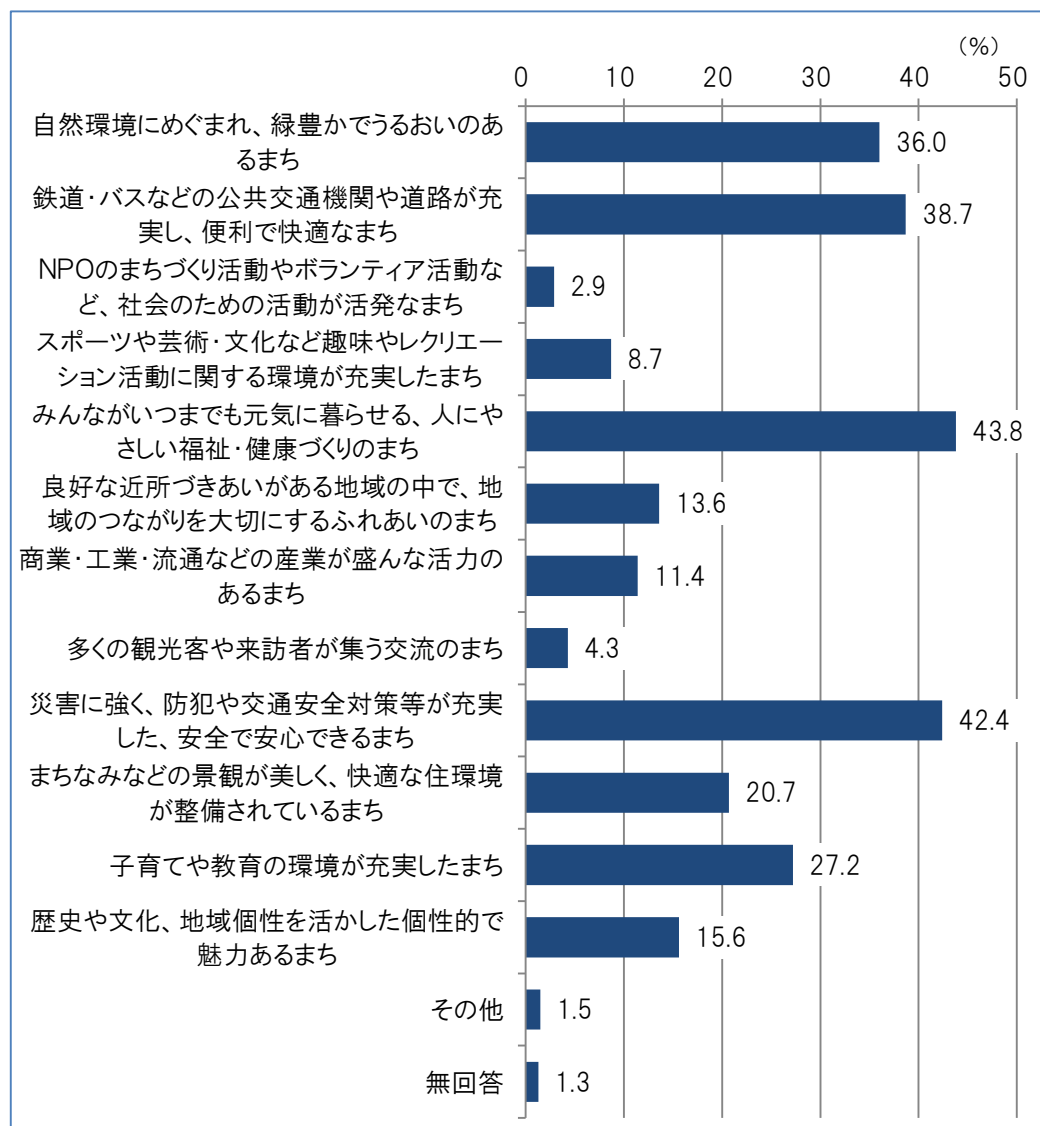
図表 54 八幡市での暮らしの満足度(SA) (性・年齢別、居住地別)

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	わからない	無回答	満足している	満足していない	わからない
			(%)								
全体 [N= 1,192]			4.6	68.0	18.7	1.4	6.5	0.8	72.6	20.1	6.5
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		4.3	70.1	17.9	1.8	5.3	0.6	74.4	19.7	5.3
	18～29歳 [N= 54]		7.4	63.0	14.8	1.9	13.0	0.0	70.4	16.7	13.0
	30歳代 [N= 60]		3.3	68.3	20.0	5.0	3.3	0.0	71.6	25.0	3.3
	40歳代 [N= 69]		4.3	76.8	13.0	1.4	2.9	1.4	81.1	14.4	2.9
	50歳代 [N= 58]		3.4	70.7	15.5	0.0	10.3	0.0	74.1	15.5	10.3
	60歳代 [N= 109]		3.7	73.4	16.5	0.9	5.5	0.0	77.1	17.4	5.5
	70歳以上 [N= 158]		4.4	68.4	21.5	1.9	2.5	1.3	72.8	23.4	2.5
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		4.9	66.6	19.1	1.2	7.5	0.7	71.5	20.3	7.5
	18～29歳 [N= 95]		9.5	58.9	15.8	2.1	13.7	0.0	68.4	17.9	13.7
	30歳代 [N= 96]		6.3	70.8	17.7	1.0	4.2	0.0	77.1	18.7	4.2
	40歳代 [N= 100]		5.0	63.0	24.0	2.0	6.0	0.0	68.0	26.0	6.0
	50歳代 [N= 92]		0.0	62.0	26.1	2.2	8.7	1.1	62.0	28.3	8.7
	60歳代 [N= 135]		2.2	71.1	20.0	0.7	5.2	0.7	73.3	20.7	5.2
	70歳以上 [N= 159]		6.3	69.8	13.8	0.0	8.2	1.9	76.1	13.8	8.2
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		5.3	66.8	19.0	1.5	6.6	0.8	72.1	20.5	6.6
	東部 [N= 62]		3.2	72.6	16.1	3.2	4.8	0.0	75.8	19.3	4.8
	美濃山 [N= 190]		5.3	66.3	20.5	2.1	4.7	1.1	71.6	22.6	4.7
	男山 [N= 309]		3.6	70.6	18.4	0.6	6.5	0.3	74.2	19.0	6.5
	橋本 [N= 228]		4.8	67.5	17.1	1.3	8.3	0.9	72.3	18.4	8.3

⑤ これからの八幡市に望むもの（問 28）

これからの八幡市がどのようなまちであってほしいか(3つまで)については、「みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしい福祉・健康づくりのまち」(43.8%)が最も多く、次いで「災害に強く、防犯や交通安全対策等が充実した、安全で安心できるまち」(42.4%)、「鉄道・バスなどの公共交通機関や道路が充実し、便利で快適なまち」(38.7%)となっている。

図表 55 これからの八幡市に望むもの(3つまで) (n=1,192)



性・年齢別に見ると、18歳～30歳代男性で「鉄道・バスなどの公共交通機関や道路が充実し、便利で快適なまち」、70歳以上男女で「みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしい福祉・健康づくりのまち」、70歳以上女性で「自然環境にめぐまれ、緑豊かでうるおいのあるまち」、30歳代男性と18歳～40歳代女性で「子育てや教育の環境が充実したまち」を望む人が、全体に比べて多くなっている。

居住地別では、東部地区で「鉄道・バスなどの公共交通機関や道路が充実し、便利で快適なまち」が全体に比べて多くなっている

図表 56 これからの八幡市に望むもの(3つまで) (性・年齢別、居住地別)

(%)																	
			ち自然環境にめぐまれ、緑豊かでうるおいのあるまち	鉄道・バスなどの公共交通機関や道路が充実し、便利で快適なまち	NPOのまちづくり活動やボランティア活動など、社会のための活動が活発なまち	スポーツや芸術・文化など趣味やレクリエーション活動に関する環境が充実したまち	みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしい福祉・健康づくりのまち	良質な近所づきあいがある地域の中で、地域のつながりを大切にするふれあいのまち	商業・工業・流通などの産業が盛んな活力のあるまち	多くの観光客や来訪者が集う交流のまち	安全で安心できるまち	災害に強く、防犯や交通安全対策等が充実した、安全で安心できるまち	まちなみなどの景観が美しく、快適な住環境が整備されているまち	子育てや教育の環境が充実したまち	歴史や文化、地域個性を活かした個性的で魅力あるまち	その他	無回答
全体 [N= 1,192]			36.0	38.7	2.9	8.7	43.8	13.6	11.4	4.3	42.4	20.7	27.2	15.6	1.5	1.3	
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		38.3	39.5	3.1	9.6	42.4	14.7	13.8	5.3	39.3	20.2	21.2	19.3	1.6	0.8	
	18～29歳 [N= 54]	25.0		39.5	1.9	5.6	29.6	1.9	16.7	9.3	44.4	24.1	27.8	13.0	1.9	0.0	
	30歳代 [N= 60]	35.0	55.6	1.7	11.7	33.3	16.7	10.0	5.0	33.3	13.3	43.3	16.7	1.7	0.0		
	40歳代 [N= 69]	31.9	40.6	2.9	10.1	39.1	11.6	10.1	5.8	47.8	17.4	30.4	21.7	0.0	1.4		
	50歳代 [N= 58]	43.1	29.3	0.0	17.2	32.8	10.3	13.8	5.2	43.1	24.1	19.0	19.0	5.2	0.0		
	60歳代 [N= 109]	39.4	35.8	6.4	11.0	41.3	20.2	16.5	4.6	38.5	22.9	17.4	20.2	0.9	0.9		
	70歳以上 [N= 158]	44.3	33.5	3.2	6.3	56.3	17.7	13.9	4.4	35.4	19.6	10.1	20.3	1.3	1.3		
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]	34.3	38.3	2.8	8.1	44.9	12.9	9.7	3.5	45.1	21.1	31.8	12.9	1.5	1.5		
	18～29歳 [N= 95]	27.4	44.2	3.2	9.5	32.6	10.5	5.3	5.3	45.3	20.0	43.2	12.6	2.1	2.1		
	30歳代 [N= 96]	21.9	35.4	3.1	3.1	34.4	10.4	11.5	3.1	50.0	25.0	64.6	7.3	1.0	0.0		
	40歳代 [N= 100]	27.0	50.0	1.0	6.0	41.0	12.0	15.0	1.0	41.0	22.0	43.0	12.0	1.0	1.0		
	50歳代 [N= 92]	35.9	34.8	2.2	7.6	48.9	9.8	16.3	5.4	45.7	25.0	25.0	14.1	4.3	1.1		
	60歳代 [N= 135]	32.6	30.4	3.0	12.6	48.1	14.1	8.9	4.4	45.9	19.3	21.5	19.3	0.7	3.0		
	70歳以上 [N= 159]	50.9	37.7	3.8	8.2	56.0	17.0	5.0	2.5	43.4	18.2	10.7	10.7	0.6	1.3		
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	35.3	36.3	2.8	10.4	43.9	11.9	11.4	6.6	43.1	18.3	22.8	18.8	1.5	1.8		
	東部 [N= 62]	38.7	54.8	1.6	6.5	46.8	21.0	11.3	1.6	32.3	12.9	32.3	11.3	0.0	0.0		
	美濃山 [N= 190]	37.4	41.1	2.1	10.5	47.4	14.2	8.4	2.1	45.8	24.7	32.6	8.9	1.6	1.6		
	男山 [N= 309]	34.6	39.5	3.9	6.8	46.6	13.6	11.3	3.9	43.7	19.1	26.2	15.9	1.9	1.0		
	橋本 [N= 228]	37.3	36.4	3.1	7.5	36.4	14.0	14.5	3.5	40.8	25.9	30.3	16.7	1.3	0.9		

これからの八幡市がどのようなまちであってほしいか(3つまで)については、性別・年齢別によって最もあげられていること(第1位)が異なっている。居住地別に見ると、市役所周辺地区、美濃山地区、男山地区では「みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしい福祉・健康づくりのまち」が最も多く、東部地区では「鉄道・バスなどの公共交通機関や道路が充実し、便利で快適なまち」が、橋本地区では「災害に強く、防犯や交通安全対策等が充実した、安全で安心できるまち」が最も多くあげられている。

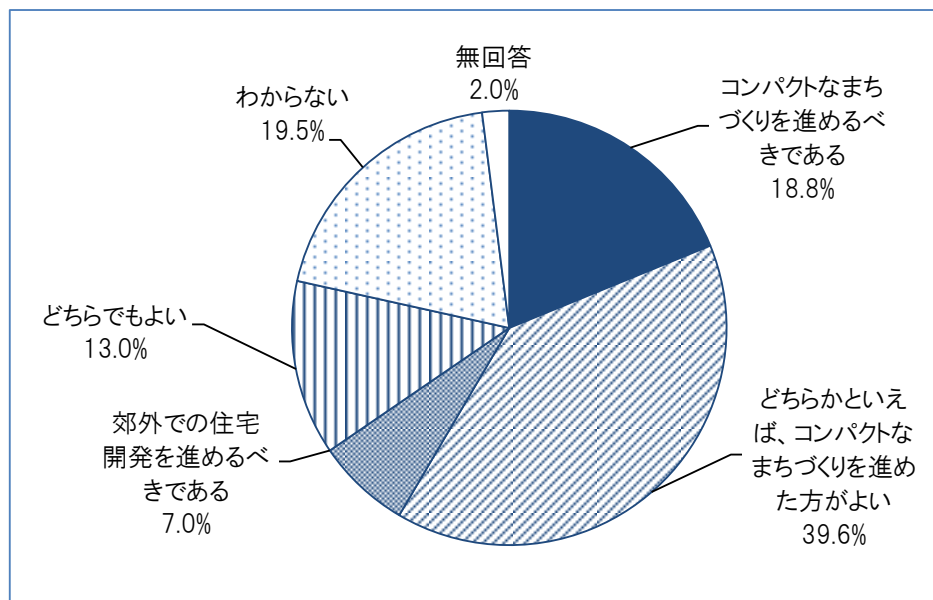
図表 57 これからの八幡市に望むもの(3つまで)(上位5位) (性・年齢別、居住地別)

		(n数)	1位	2位	3位	4位	5位
全体		1,192	福祉・健康(43.8%)	防災・防犯(42.4%)	交通利便性(38.7%)	自然環境(36.0%)	子育て・教育(27.2%)
男性・年齢別	男性全体	509	福祉・健康(42.4%)	交通利便性(39.5%)	防災・防犯(39.3%)	自然環境(38.3%)	子育て・教育(21.2%)
	18歳～29歳	54	交通利便性(55.6%)	防災・防犯(44.4%)	福祉・健康(29.6%)	子育て・教育(27.8%)	自然環境(25.9%)
	30歳代	60	交通利便性(55.0%)	子育て・教育(43.3%)	自然環境(35.0%)	福祉・健康/防災・防犯(33.3%)	
	40歳代	69	防災・防犯(47.8%)	交通利便性(40.6%)	福祉・健康(39.1%)	自然環境(31.9%)	子育て・教育(30.4%)
	50歳代	58	自然環境/防災・防犯(43.1%)		福祉・健康(32.8%)	交通利便性(29.3%)	景観・住環境(24.1%)
	60歳代	109	福祉・健康(41.3%)	自然環境(39.4%)	防災・防犯(38.5%)	交通利便性(35.8%)	景観・住環境(22.9%)
	70歳以上	158	福祉・健康(56.3%)	自然環境(44.3%)	防災・防犯(35.4%)	交通利便性(33.5%)	個性・魅力(20.3%)
女性・年齢別	女性全体	677	防災・防犯(45.1%)	福祉・健康(44.9%)	交通利便性(38.3%)	自然環境(34.3%)	子育て・教育(31.8%)
	18歳～29歳	95	防災・防犯(45.3%)	交通利便性(44.2%)	子育て・教育(43.2%)	福祉・健康(32.6%)	自然環境(27.4%)
	30歳代	96	子育て・教育(64.6%)	防災・防犯(50.0%)	交通利便性(35.4%)	福祉・健康(34.4%)	景観・住環境(25.0%)
	40歳代	100	交通利便性(50.0%)	子育て・教育(43.0%)	福祉・健康/防災・防犯(41.0%)		自然環境(27.0%)
	50歳代	92	福祉・健康(48.9%)	防災・防犯(45.7%)	自然環境(35.9%)	交通利便性(34.8%)	景観・住環境/子育て・教育(25.0%)
	60歳代	135	福祉・健康(48.1%)	防災・防犯(45.9%)	自然環境(32.6%)	交通利便性(30.4%)	子育て・教育(21.5%)
	70歳以上	159	福祉・健康(56.0%)	自然環境(50.9%)	防災・防犯(43.4%)	交通利便性(37.7%)	景観・住環境(18.2%)
居住地別	市役所周辺	394	福祉・健康(43.9%)	防災・防犯(43.1%)	交通利便性(36.3%)	自然環境(35.3%)	子育て・教育(22.8%)
	東部	62	交通利便性(54.8%)	福祉・健康(46.8%)	自然環境(38.7%)	防災・防犯/子育て・教育(32.3%)	
	美濃山	190	福祉・健康(47.4%)	防災・防犯(45.8%)	交通利便性(41.1%)	自然環境(37.4%)	子育て・教育(32.6%)
	男山	309	福祉・健康(46.6%)	防災・防犯(43.7%)	交通利便性(39.5%)	自然環境(34.6%)	子育て・教育(26.2%)
	橋本	228	防災・防犯(40.8%)	自然環境(37.3%)	交通利便性/福祉・健康(36.4%)		子育て・教育(30.3%)

⑥ コンパクトなまちづくりの推進についての考え（問 29）

今後、郊外への住宅開発をできるだけ抑制し、現在の市街地の範囲内で医療や子育て施設等を集約したコンパクトなまちづくりを進めることについて、「どちらかといえば、コンパクトなまちづくりを進めた方がよい」が39.6%と最も多く、次いで「わからない」(19.5%)、「コンパクトなまちづくりを進めるべきである」(18.8%)となっている。

図表 58 コンパクトなまちづくりの推進についての考え(SA) (n=1,192)



図表 59 コンパクトなまちづくりの推進についての考え(SA) (性・年齢別、居住地別)

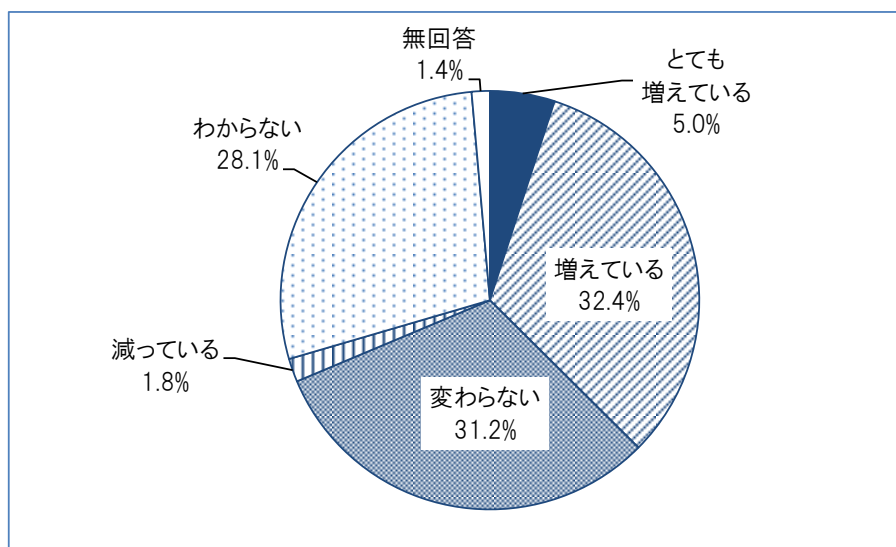
			コンパクトなまちづくりを進めるべきである	どちらかといえば、コンパクトなまちづくりを進めた方がよい	郊外での住宅開発を進めるべきである	どちらでもよい	わからない	無回答
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体 [N= 1,192]			18.8	39.6	7.0	13.0	19.5	2.0
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	22.0	40.3	8.6	13.6	14.5	1.0
	18～29歳	[N= 54]	20.4	29.6	11.1	18.5	20.4	0.0
	30歳代	[N= 60]	18.3	35.0	6.7	21.7	18.3	0.0
	40歳代	[N= 69]	17.4	39.1	7.2	23.2	11.6	1.4
	50歳代	[N= 58]	19.0	32.8	12.1	19.0	17.2	0.0
	60歳代	[N= 109]	26.6	40.4	10.1	5.5	16.5	0.9
	70歳以上	[N= 158]	24.1	49.4	7.0	8.2	10.1	1.3
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	16.2	39.1	5.9	12.7	23.5	2.5
	18～29歳	[N= 95]	16.8	34.7	5.3	14.7	28.4	0.0
	30歳代	[N= 96]	12.5	31.3	7.3	18.8	30.2	0.0
	40歳代	[N= 100]	12.0	44.0	7.0	16.0	20.0	1.0
	50歳代	[N= 92]	23.9	35.9	4.3	9.8	23.9	2.2
	60歳代	[N= 135]	17.8	44.4	6.7	8.9	18.5	3.7
	70歳以上	[N= 159]	15.1	40.9	5.0	10.7	22.6	5.7
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	19.0	36.8	5.8	15.5	20.3	2.5
	東部	[N= 62]	11.3	33.9	14.5	19.4	21.0	0.0
	美濃山	[N= 190]	14.2	46.3	8.9	11.1	17.4	2.1
	男山	[N= 309]	18.1	42.4	6.5	11.3	20.7	1.0
	橋本	[N= 228]	25.4	37.7	6.1	11.0	17.5	2.2

⑦ 居住地区での「空き家」の増減状況（問 30）

居住地区での「空き家」の増減状況について聞いたところ、「とても増えている」(5.0%)と「増えている」(32.4%)を合わせて約4割が増えていると感じている。一方、「変わらない」(31.2%)、「わからない」(28.1%)がそれぞれ約3割となっている。

居住地別では、東部地区で「変わらない」が全体に比べて多くなっている。

図表 60 居住地区での「空き家」の増減状況(SA) (n=1,192)



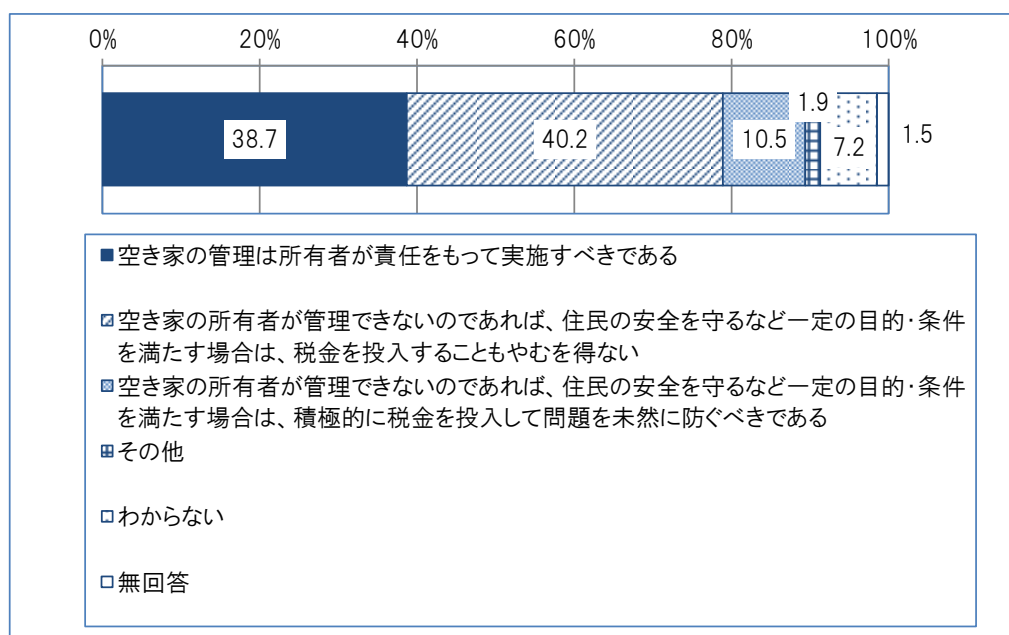
図表 61 居住地区での「空き家」の増減状況(SA) (性・年齢別、居住地別)

			(%)					
			とても 増えて いる	増え てい る	変 わ ら な い	減 っ て い る	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			5.0	32.4	31.2	1.8	28.1	1.4
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		5.7	34.4	31.6	2.2	25.1	1.0
	18～29歳 [N= 54]		5.6	22.2	35.2	1.9	35.2	0.0
	30歳代 [N= 60]		8.3	38.3	20.0	1.7	31.7	0.0
	40歳代 [N= 69]		2.9	33.3	30.4	5.8	26.1	1.4
	50歳代 [N= 58]		8.6	31.0	34.5	1.7	24.1	0.0
	60歳代 [N= 109]		6.4	33.9	38.5	0.9	19.3	0.9
	70歳以上 [N= 158]		4.4	39.2	29.7	1.9	22.8	1.9
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]		4.4	31.0	31.0	1.6	30.4	1.5
	18～29歳 [N= 95]		2.1	25.3	26.3	0.0	46.3	0.0
	30歳代 [N= 96]		2.1	22.9	32.3	6.3	35.4	1.0
	40歳代 [N= 100]		3.0	33.0	30.0	2.0	31.0	1.0
	50歳代 [N= 92]		8.7	28.3	34.8	1.1	26.1	1.1
	60歳代 [N= 135]		7.4	42.2	26.7	1.5	20.0	2.2
	70歳以上 [N= 159]		3.1	30.2	35.2	0.0	28.9	2.5
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		6.6	37.6	25.4	0.8	28.2	1.5
	東部 [N= 62]		4.8	29.0	46.8	0.0	19.4	0.0
	美濃山 [N= 190]		1.6	12.6	40.5	5.8	37.4	2.1
	男山 [N= 309]		5.5	34.0	30.7	1.0	27.8	1.0
	橋本 [N= 228]		4.8	38.6	29.4	2.2	23.7	1.3

⑧ 「空き家」の管理、解体・撤去のための税金の投入についての考え（問 31）

老朽化した「空き家」の管理や解体・撤去のために税金を投入することについての考えを聞いたところ、「空き家の所有者が管理できないのであれば、住民の安全を守るなど一定の目的・条件を満たす場合は、税金を投入することもやむを得ない」が40.2%と最も多く、次いで「空き家の管理は所有者が責任をもって実施すべきである」(38.7%)となっている。

図表 62 「空き家」の管理、解体・撤去のための税金の投入についての考え(SA) (n=1,192)



図表 63 「空き家」の管理、解体・撤去のための税金の投入についての考え(SA) (性・年齢別、居住地別)

			で責空 あ任き るを家 もの つ管 て理 実施 す所 有者 べきが	もは目 のき や、的 安な き む税・全 い家 を金条 をの 得を件 守で 所 な投 をる 有 い入 満な れ者 すた どば が るす ー、 管 こ場 定住 理 と合 の民 で	きしは 目的 のき あ問積 る題極 をの 未に をる 有 然税 満な れ者 に金 たど ばが 防を すー 、 管 ぐ投 場定 住理 べ入 合の 民 で	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			38.7	40.2	10.5	1.9	7.2	1.5
男性・ 年齢別	男性全体	[N= 509]	34.6	42.6	13.6	2.4	5.9	1.0
	18～29歳	[N= 54]	29.6	40.7	14.8	1.9	13.0	0.0
	30歳代	[N= 60]	30.0	43.3	16.7	5.0	5.0	0.0
	40歳代	[N= 69]	39.1	43.5	13.0	1.4	1.4	1.4
	50歳代	[N= 58]	36.2	43.1	8.6	5.2	6.9	0.0
	60歳代	[N= 109]	34.9	45.9	15.6	1.8	1.8	0.0
	70歳以上	[N= 158]	34.8	40.5	12.7	1.3	8.2	2.5
女性・ 年齢別	女性全体	[N= 677]	41.9	38.4	8.1	1.6	8.3	1.6
	18～29歳	[N= 95]	40.0	42.1	6.3	3.2	8.4	0.0
	30歳代	[N= 96]	37.5	47.9	7.3	0.0	7.3	0.0
	40歳代	[N= 100]	45.0	41.0	6.0	1.0	7.0	0.0
	50歳代	[N= 92]	40.2	35.9	10.9	4.3	7.6	1.1
	60歳代	[N= 135]	40.7	40.0	8.1	1.5	6.7	3.0
	70歳以上	[N= 159]	45.9	28.9	9.4	0.6	11.3	3.8
居住 地別	市役所周辺	[N= 394]	39.3	40.1	9.9	1.0	7.4	2.3
	東部	[N= 62]	38.7	46.8	6.5	1.6	6.5	0.0
	美濃山	[N= 190]	33.7	41.6	13.7	3.7	5.8	1.6
	男山	[N= 309]	43.0	36.6	8.7	1.6	9.7	0.3
	橋本	[N= 228]	35.1	43.9	11.8	2.6	4.8	1.8

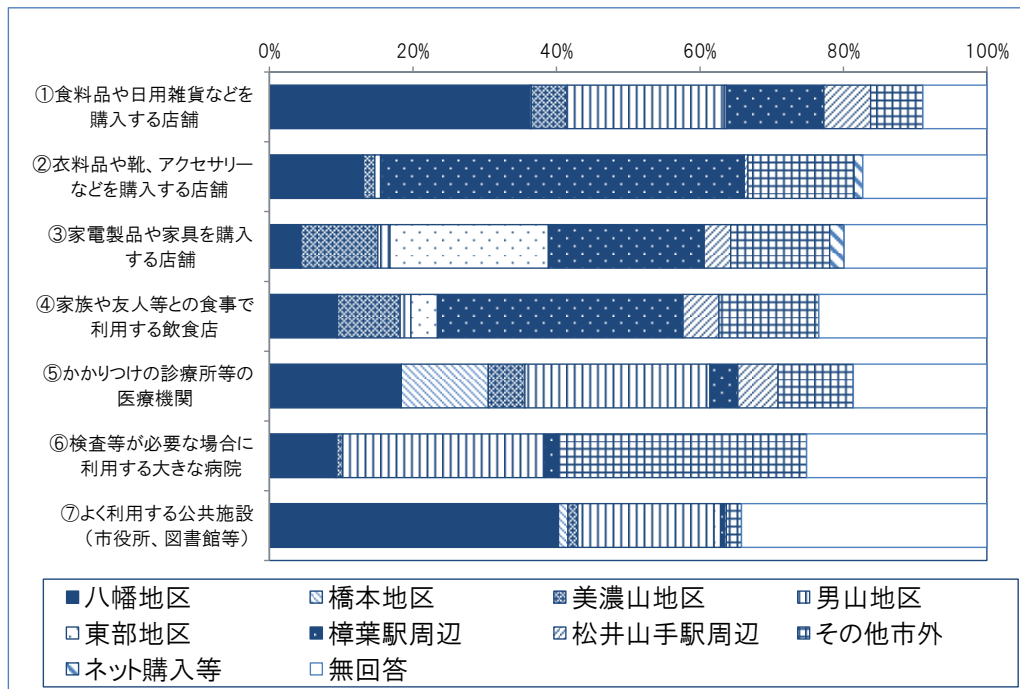
(5) よく利用する店舗・施設、充足状況、交通手段について

① よく利用する店舗・施設の地区と交通手段（問 32）

ア)最もよく利用する店舗・施設がある地区

①食料品等は「八幡地区」と「男山地区」のスーパー、②衣料品等は「樟葉駅周辺」のくずはモール、③家電製品等は「美濃山地区」と「東部地区」「樟葉駅周辺」の大型量販店、④飲食店は「樟葉駅周辺」のくずはモール、⑤診療所等はそれぞれ市内各地区、⑥大きな病院は「男山地区」の男山病院と「その他市外」、⑦公共施設は「八幡地区」の市役所・図書館等と「男山地区」の図書館等の利用がそれぞれ多くなっている。

図表 64 よく利用する店舗・施設がある地区(SA) (n=1,192)



	八幡地区 (八幡、川口)	橋本地区 (橋本、西山)	美濃山地区 (美濃山、欽明台)	男山地区 (男山)	東部地区 (岩田、野下、上津屋、内里、戸津)	樟葉駅周辺	松井山手駅周辺	その他市外	ネット購入等	無回答
①食料品や日用雑貨などを購入する店舗	36.3	0.2	5.0	21.9	0.3	13.6	6.5	7.3	—	8.9
②衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗	13.0	0.1	1.6	0.8	0.1	50.6	0.5	14.8	1.2	17.3
③家電製品や家具を購入する店舗	4.3	0.1	10.7	1.7	22.1	21.7	3.7	13.8	2.0	19.9
④家族や友人等との食事で利用する飲食店	9.4	0.1	8.7	1.5	3.7	34.2	5.0	13.9	—	23.4
⑤かかりつけの診療所等の医療機関	18.4	12.1	5.1	25.8	0.0	3.9	5.6	10.5	—	18.6
⑥検査等が必要な場合に利用する大きな病院	9.2	0.2	0.8	28.1	0.0	1.8	0.2	34.6	—	25.1
⑦よく利用する公共施設（市役所、図書館等）	40.3	1.3	1.4	19.0	0.9	0.5	0.3	2.1	—	34.2

(注) 最も利用が多い地区に網掛け。「②衣料品等」と「③家電等」について「ネット購入等」の集計区分を追加。

①食料品や日用雑貨などを購入する店舗

食料品や日用雑貨などを購入する店舗について居住地別に見ると、市役所周辺地区と東部地区では「八幡地区」、美濃山地区では「美濃山地区」と「松井山手駅周辺」、男山地区では「男山地区」、橋本地区では「男山地区」と「樟葉駅周辺」「八幡地区」の利用がそれぞれ多くなっている。

図表 65 よく利用する店舗・施設がある地区(SA)

①食料品や日用雑貨などを購入する店舗（性・年齢別、居住地別）

			(%)								
			八幡地区 (八幡、川口)	橋本地区 (橋本、西山)	美濃山地区 (美濃山、欽明台)	男山地区 (男山)	東部地区 (岩田、野尻、上津屋、上奈良、下奈良、内里、戸津)	樟葉駅周辺	松井山手駅周辺	その他市外	無回答
全体 [N= 1,192]			36.3	0.2	5.0	21.9	0.3	13.6	6.5	7.3	8.9
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	36.5	0.2	5.1	21.0	0.4	12.6	6.1	7.3	10.8
	18～29歳	[N= 54]	25.9	0.0	13.0	14.8	0.0	24.1	5.6	1.9	14.8
	30歳代	[N= 60]	48.3	0.0	5.0	11.7	0.0	10.0	6.7	13.3	5.0
	40歳代	[N= 69]	44.9	0.0	1.4	18.8	0.0	13.0	5.8	7.2	8.7
	50歳代	[N= 58]	43.1	0.0	1.7	19.0	0.0	13.8	8.6	5.2	8.6
	60歳代	[N= 109]	35.8	0.0	6.4	23.9	0.9	5.5	5.5	9.2	12.8
	70歳以上	[N= 158]	30.4	0.6	4.4	26.6	0.6	13.9	5.1	6.3	12.0
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	36.2	0.1	5.0	22.6	0.3	14.2	6.8	7.4	7.4
	18～29歳	[N= 95]	40.0	0.0	4.2	13.7	0.0	21.1	7.4	7.4	6.3
	30歳代	[N= 96]	31.3	0.0	9.4	22.9	0.0	14.6	9.4	6.3	6.3
	40歳代	[N= 100]	38.0	0.0	8.0	19.0	0.0	13.0	4.0	13.0	5.0
	50歳代	[N= 92]	42.4	0.0	3.3	19.6	0.0	17.4	6.5	7.6	3.3
	60歳代	[N= 135]	37.0	0.0	2.2	25.9	1.5	13.3	6.7	9.6	3.7
	70歳以上	[N= 159]	31.4	0.6	4.4	28.9	0.0	9.4	6.9	2.5	15.7
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	58.1	0.0	1.5	11.7	0.0	7.6	0.8	10.2	10.2
	東部	[N= 62]	66.1	0.0	0.0	0.0	4.8	8.1	6.5	4.8	9.7
	美濃山	[N= 190]	22.6	0.0	27.9	0.5	0.0	2.1	35.3	6.3	5.3
	男山	[N= 309]	18.4	0.0	0.0	46.6	0.0	17.5	0.6	8.1	8.7
	橋本	[N= 228]	27.2	0.9	0.4	29.8	0.4	29.8	0.4	2.6	8.3

②衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗

衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗について居住地別に見ると、全ての地区において「樟葉駅周辺」の利用が多くなっている。

図表 66 よく利用する店舗・施設がある地区(SA)

②衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗 (性・年齢別、居住地別)

(%)

			八幡地区 (八幡、川口)	橋本地区 (橋本、西山)	美濃山地区 (美濃山、欽明台)	男山地区 (男山)	東部地区 (岩田、野尻、上津屋、上奈良、下奈良、内里、戸津)	樟葉駅周辺	松井山手駅周辺	その他市外	ネット購入等	無回答
全体		[N= 1,192]	13.0	0.1	1.6	0.8	0.1	50.6	0.5	14.8	1.2	17.3
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	16.7	0.2	2.6	0.8	0.2	43.8	0.6	13.4	0.8	21.0
	18～29歳	[N= 54]	9.3	0.0	0.0	0.0	0.0	51.9	3.7	13.0	1.9	20.4
	30歳代	[N= 60]	8.3	0.0	1.7	0.0	0.0	51.7	0.0	18.3	0.0	20.0
	40歳代	[N= 69]	23.2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.7	0.0	10.1	1.4	14.5
	50歳代	[N= 58]	17.2	0.0	3.4	0.0	1.7	39.7	0.0	19.0	1.7	17.2
	60歳代	[N= 109]	15.6	0.0	4.6	0.9	0.0	41.3	0.9	14.7	0.0	22.0
	70歳以上	[N= 158]	20.3	0.6	3.2	1.9	0.0	38.6	0.0	9.5	0.6	25.3
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	10.2	0.0	0.9	0.9	0.0	55.7	0.4	16.0	1.5	14.5
	18～29歳	[N= 95]	4.2	0.0	1.1	0.0	0.0	74.7	0.0	10.5	0.0	9.5
	30歳代	[N= 96]	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	68.8	0.0	12.5	4.2	11.5
	40歳代	[N= 100]	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.0	0.0	21.0	2.0	7.0
	50歳代	[N= 92]	9.8	0.0	1.1	0.0	0.0	53.3	1.1	26.1	1.1	7.6
	60歳代	[N= 135]	13.3	0.0	0.0	0.7	0.0	56.3	0.7	17.8	2.2	8.9
	70歳以上	[N= 159]	12.6	0.0	2.5	3.1	0.0	37.7	0.6	10.7	0.0	32.7
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	21.8	0.0	0.3	0.3	0.3	42.1	0.3	12.7	0.8	21.6
	東部	[N= 62]	14.5	0.0	0.0	0.0	0.0	40.3	0.0	25.8	0.0	19.4
	美濃山	[N= 190]	11.1	0.0	8.4	0.0	0.0	43.7	1.1	22.1	1.1	12.6
	男山	[N= 309]	8.4	0.0	0.6	2.6	0.0	57.9	0.6	12.9	1.3	15.5
	橋本	[N= 228]	5.7	0.4	0.0	0.4	0.0	64.9	0.4	12.3	2.2	13.6

(注)「ネット購入等」の集計区分を追加。

③家電製品や家具を購入する店舗

家電製品や家具を購入する店舗について居住地別に見ると、市役所周辺地区と東部地区では「東部地区」、美濃山地区は「美濃山地区」、男山地区と橋本地区は「樟葉駅周辺」の利用が多くなっている。

図表 67 よく利用する店舗・施設がある地区(SA)

③家電製品や家具を購入する店舗 (性・年齢別、居住地別)

												(%)
			八幡地区 (八幡、川口)	橋本地区 (橋本、西山)	美濃山地区 (美濃山、欽明台)	男山地区 (男山)	東部地区 (岩田、野尻、上津屋、上奈良、下奈良、内里、戸津)	樟葉駅周辺	松井山手駅周辺	その他市外	ネット購入等	無回答
全体 [N= 1,192]			4.3	0.1	10.7	1.7	22.1	21.7	3.7	13.8	2.0	19.9
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	5.1	0.2	10.0	1.2	25.7	20.0	2.6	12.8	1.2	21.2
	18～29歳	[N= 54]	3.7	0.0	7.4	0.0	18.5	24.1	1.9	16.7	1.9	25.9
	30歳代	[N= 60]	0.0	0.0	3.3	1.7	30.0	15.0	5.0	15.0	3.3	26.7
	40歳代	[N= 69]	5.8	0.0	11.6	0.0	33.3	10.1	2.9	27.5	0.0	8.7
	50歳代	[N= 58]	1.7	0.0	10.3	0.0	39.7	13.8	5.2	6.9	1.7	20.7
	60歳代	[N= 109]	6.4	0.0	11.0	0.9	24.8	17.4	1.8	14.7	0.9	22.0
	70歳以上	[N= 158]	7.6	0.6	12.0	2.5	19.0	29.1	0.6	5.1	0.6	22.8
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	3.7	0.0	11.2	2.1	19.2	22.9	4.6	14.8	2.7	18.9
	18～29歳	[N= 95]	3.2	0.0	13.7	1.1	12.6	27.4	4.2	14.7	1.1	22.1
	30歳代	[N= 96]	2.1	0.0	7.3	0.0	20.8	18.8	3.1	25.0	7.3	15.6
	40歳代	[N= 100]	5.0	0.0	12.0	0.0	24.0	20.0	4.0	21.0	4.0	10.0
	50歳代	[N= 92]	5.4	0.0	8.7	0.0	19.6	25.0	5.4	18.5	3.3	14.1
	60歳代	[N= 135]	3.7	0.0	10.4	5.9	26.7	23.7	5.9	11.1	1.5	11.1
	70歳以上	[N= 159]	3.1	0.0	13.8	3.1	12.6	22.6	4.4	5.7	0.6	34.0
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	8.9	0.0	5.8	1.5	31.0	13.7	1.3	12.9	1.5	23.4
	東部	[N= 62]	6.5	0.0	6.5	1.6	38.7	12.9	4.8	6.5	0.0	22.6
	美濃山	[N= 190]	0.0	0.0	35.8	0.0	10.5	5.8	15.8	15.3	3.2	13.7
	男山	[N= 309]	1.3	0.0	7.1	4.2	17.8	32.7	1.3	16.2	1.0	18.4
	橋本	[N= 228]	3.5	0.4	3.9	0.0	18.4	36.8	0.9	13.6	3.9	18.4

(注)「ネット購入等」の集計区分を追加。

④家族や友人等との食事で利用する飲食店

家族や友人等との食事で利用する飲食店について居住地別に見ると、市役所周辺地区、東部地区、男山地区、橋本地区では「樟葉駅周辺」、美濃山地区では「美濃山地区」の利用が多くなっている。

図表 68 よく利用する店舗・施設がある地区(SA)

④家族や友人等との食事で利用する飲食店（性・年齢別、居住地別）

(%)

			八幡地区 (八幡、川口)	橋本地区 (橋本、西山)	美濃山地区 (美濃山、欽明台)	男山地区 (男山)	東部地区 (岩田、野尻、上津屋、上奈良、戸津)	樟葉駅周辺	松井山手駅周辺	その他市外	無回答
全体 [N= 1,192]			9.4	0.1	8.7	1.5	3.7	34.2	5.0	13.9	23.4
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	11.8	0.2	7.3	1.8	4.9	30.6	3.9	11.0	28.5
	18～29歳	[N= 54]	9.3	0.0	5.6	0.0	9.3	29.6	7.4	13.0	25.9
	30歳代	[N= 60]	6.7	0.0	11.7	0.0	5.0	23.3	3.3	8.3	41.7
	40歳代	[N= 69]	20.3	0.0	7.2	2.9	10.1	20.3	2.9	15.9	20.3
	50歳代	[N= 58]	5.2	0.0	10.3	3.4	1.7	36.2	1.7	12.1	29.3
	60歳代	[N= 109]	9.2	0.0	7.3	1.8	3.7	27.5	6.4	13.8	30.3
	70歳以上	[N= 158]	15.2	0.6	5.1	1.9	3.2	38.6	2.5	6.3	26.6
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	7.7	0.0	9.9	1.2	2.8	37.1	5.8	16.0	19.6
	18～29歳	[N= 95]	6.3	0.0	9.5	1.1	3.2	42.1	2.1	18.9	16.8
	30歳代	[N= 96]	10.4	0.0	10.4	0.0	2.1	38.5	4.2	20.8	13.5
	40歳代	[N= 100]	14.0	0.0	13.0	0.0	5.0	26.0	6.0	19.0	17.0
	50歳代	[N= 92]	3.3	0.0	15.2	1.1	4.3	35.9	6.5	19.6	14.1
	60歳代	[N= 135]	6.7	0.0	5.9	2.2	0.7	44.4	9.6	14.8	15.6
	70歳以上	[N= 159]	6.3	0.0	8.2	1.9	2.5	34.6	5.0	8.2	33.3
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	14.5	0.0	6.6	0.3	4.3	26.4	4.3	14.7	28.9
	東部	[N= 62]	9.7	0.0	9.7	0.0	9.7	24.2	3.2	17.7	25.8
	美濃山	[N= 190]	5.8	0.0	29.5	0.0	1.6	18.4	12.6	14.2	17.9
	男山	[N= 309]	8.1	0.0	2.9	5.2	3.9	43.4	2.9	12.0	21.7
	橋本	[N= 228]	5.7	0.4	3.1	0.4	2.6	52.2	3.1	14.0	18.4

⑤かかりつけの診療所等の医療機関

かかりつけの診療所等の医療機関について居住地別に見ると、市役所周辺地区と東部地区では「八幡地区」、美濃山地区では「美濃山地区」と「松井山手駅周辺」、男山地区では「男山地区」、橋本地区では「橋本地区」の利用が多くなっている。

図表 69 よく利用する店舗・施設がある地区(SA)

⑤かかりつけの診療所等の医療機関（性・年齢別、居住地別）

			八幡地区 (八幡、川口)	橋本地区 (橋本、西山)	美濃山地区 (美濃山、欽明台)	男山地区 (男山)	東部地区 (岩田、野尻、上津屋、上奈良、下奈良、内里、戸津)	樟葉駅周辺	松井山手駅周辺	その他市外	無回答
全体 [N= 1,192]			18.4	12.1	5.1	25.8	0.0	3.9	5.6	10.5	18.6
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	19.8	12.8	3.7	25.0	0.0	3.1	4.1	9.4	22.0
	18～29歳	[N= 54]	14.8	9.3	5.6	18.5	0.0	1.9	7.4	11.1	31.5
	30歳代	[N= 60]	15.0	8.3	3.3	21.7	0.0	5.0	5.0	10.0	31.7
	40歳代	[N= 69]	23.2	13.0	5.8	24.6	0.0	2.9	2.9	5.8	21.7
	50歳代	[N= 58]	17.2	13.8	1.7	25.9	0.0	3.4	1.7	8.6	27.6
	60歳代	[N= 109]	18.3	13.8	6.4	25.7	0.0	2.8	2.8	12.8	17.4
	70歳以上	[N= 158]	24.1	14.6	1.3	27.8	0.0	3.2	4.4	8.2	16.5
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	17.1	11.7	6.2	26.4	0.0	4.4	6.8	11.4	16.0
	18～29歳	[N= 95]	22.1	10.5	5.3	17.9	0.0	6.3	7.4	7.4	23.2
	30歳代	[N= 96]	7.3	18.8	8.3	24.0	0.0	4.2	10.4	8.3	18.8
	40歳代	[N= 100]	15.0	14.0	14.0	27.0	0.0	2.0	4.0	11.0	13.0
	50歳代	[N= 92]	14.1	14.1	5.4	26.1	0.0	4.3	10.9	15.2	9.8
	60歳代	[N= 135]	22.2	10.4	1.5	25.9	0.0	5.9	6.7	17.8	9.6
	70歳以上	[N= 159]	18.9	6.3	5.0	33.3	0.0	3.8	3.8	8.2	20.8
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	38.6	2.5	1.8	21.8	0.0	3.8	0.8	10.7	20.1
	東部	[N= 62]	29.0	4.8	3.2	4.8	0.0	3.2	11.3	17.7	25.8
	美濃山	[N= 190]	5.3	1.1	26.8	9.5	0.0	2.6	28.4	11.1	15.3
	男山	[N= 309]	7.8	5.8	0.0	50.5	0.0	4.9	1.0	9.7	20.4
	橋本	[N= 228]	6.1	48.7	0.4	18.9	0.0	3.9	0.0	9.2	12.7

⑥検査等が必要な場合に利用する大きな病院

検査等が必要な場合に利用する大きな病院について居住地別に見ると、市役所周辺地区と東部地区、美濃山地区、橋本地区では「その他市外」、男山地区では「男山地区」の利用が多くなっている。

図表 70 よく利用する店舗・施設がある地区(SA)

⑥検査等が必要な場合に利用する大きな病院（性・年齢別、居住地別）

			八幡地区 (八幡、川口)	橋本地区 (橋本、西山)	美濃山地区 (美濃山、欽明台)	男山地区 (男山)	東部地区 (岩田、野尻、上津屋、上奈良、下奈良、内里、戸津)	樟葉駅周辺	松井山手駅周辺	その他市外	無回答
全体 [N= 1,192]			9.2	0.2	0.8	28.1	0.0	1.8	0.2	34.6	25.1
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	10.4	0.4	1.0	24.0	0.0	1.2	0.2	35.2	27.7
	18～29歳	[N= 54]	7.4	1.9	1.9	33.3	0.0	0.0	0.0	18.5	37.0
	30歳代	[N= 60]	6.7	0.0	1.7	21.7	0.0	1.7	0.0	28.3	40.0
	40歳代	[N= 69]	14.5	0.0	0.0	20.3	0.0	0.0	0.0	43.5	21.7
	50歳代	[N= 58]	5.2	0.0	0.0	19.0	0.0	1.7	0.0	32.8	41.4
	60歳代	[N= 109]	13.8	0.0	2.8	22.0	0.0	0.0	0.0	41.3	20.2
	70歳以上	[N= 158]	10.8	0.6	0.0	26.6	0.0	2.5	0.6	36.1	22.8
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	8.3	0.0	0.7	31.3	0.0	2.2	0.1	34.3	23.0
	18～29歳	[N= 95]	14.7	0.0	1.1	26.3	0.0	0.0	1.1	26.3	30.5
	30歳代	[N= 96]	4.2	0.0	1.0	39.6	0.0	2.1	0.0	30.2	22.9
	40歳代	[N= 100]	4.0	0.0	1.0	36.0	0.0	1.0	0.0	38.0	20.0
	50歳代	[N= 92]	10.9	0.0	1.1	27.2	0.0	3.3	0.0	39.1	18.5
	60歳代	[N= 135]	7.4	0.0	0.0	32.6	0.0	3.0	0.0	41.5	15.6
	70歳以上	[N= 159]	8.8	0.0	0.6	27.7	0.0	3.1	0.0	30.2	29.6
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	17.3	0.0	0.3	25.4	0.0	1.8	0.0	30.2	25.1
	東部	[N= 62]	17.7	0.0	1.6	11.3	0.0	0.0	0.0	45.2	24.2
	美濃山	[N= 190]	3.2	0.0	4.2	15.3	0.0	1.1	1.1	48.4	26.8
	男山	[N= 309]	5.5	0.0	0.0	38.8	0.0	2.3	0.0	29.1	24.3
	橋本	[N= 228]	3.5	0.9	0.0	33.8	0.0	2.2	0.0	36.4	23.2

⑦よく利用する公共施設(市役所、図書館等)

公共施設(市役所、図書館等)について居住地別に見ると、市役所周辺地区、東部地区、橋本地区では「八幡地区」、美濃山地区では「八幡地区」と「男山地区」、男山地区では「男山地区」の利用が多くなっている。

図表 71 よく利用する店舗・施設がある地区(SA)

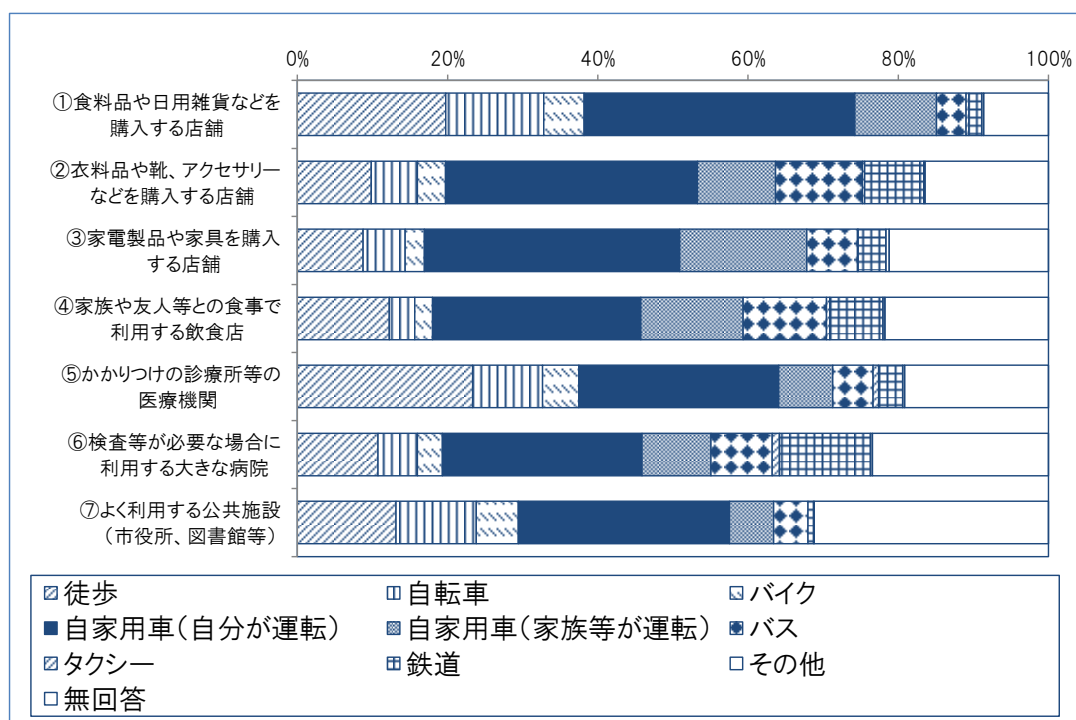
⑦よく利用する公共施設(市役所、図書館等) (性・年齢別、居住地別)

											(%)
			八幡地区 (八幡、川口)	橋本地区 (橋本、西山)	美濃山地区 (美濃山、欽明台)	男山地区 (男山)	東部地区 (岩田、野尻、上津屋、上奈良、内里、戸津)	樟葉駅周辺	松井山手駅周辺	その他市外	無回答
全体 [N= 1,192]			40.3	1.3	1.4	19.0	0.9	0.5	0.3	2.1	34.2
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	39.3	2.0	1.6	15.9	0.4	0.2	0.4	1.8	38.5
	18～29歳	[N= 54]	25.9	0.0	0.0	14.8	1.9	0.0	0.0	3.7	53.7
	30歳代	[N= 60]	38.3	1.7	1.7	15.0	0.0	0.0	1.7	1.7	40.0
	40歳代	[N= 69]	46.4	1.4	1.4	13.0	1.4	0.0	0.0	1.4	34.8
	50歳代	[N= 58]	41.4	3.4	0.0	6.9	0.0	0.0	0.0	3.4	44.8
	60歳代	[N= 109]	42.2	0.9	3.7	16.5	0.0	0.0	0.0	2.8	33.9
	70歳以上	[N= 158]	38.0	3.2	1.3	20.9	0.0	0.6	0.6	0.0	35.4
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	41.1	0.9	1.3	21.3	1.3	0.7	0.1	2.4	30.9
	18～29歳	[N= 95]	40.0	1.1	1.1	15.8	1.1	2.1	0.0	2.1	36.8
	30歳代	[N= 96]	33.3	0.0	4.2	34.4	2.1	0.0	0.0	5.2	20.8
	40歳代	[N= 100]	49.0	0.0	0.0	22.0	1.0	0.0	0.0	3.0	25.0
	50歳代	[N= 92]	51.1	1.1	1.1	17.4	1.1	0.0	0.0	2.2	26.1
	60歳代	[N= 135]	46.7	0.0	1.5	20.0	3.0	0.7	0.7	1.5	25.9
	70歳以上	[N= 159]	30.8	2.5	0.6	19.5	0.0	1.3	0.0	1.3	44.0
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	49.7	0.8	0.0	9.6	1.3	0.5	0.3	1.3	36.5
	東部	[N= 62]	50.0	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	1.6	4.8	40.3
	美濃山	[N= 190]	28.9	0.0	7.9	21.6	1.1	0.5	0.0	4.7	35.3
	男山	[N= 309]	28.2	0.6	0.0	34.3	0.6	0.3	0.3	1.0	34.6
	橋本	[N= 228]	47.4	4.8	0.9	17.5	0.4	0.9	0.0	2.2	25.9

イ)最もよく利用する店舗・施設へ行く交通手段

最もよく利用する店舗・施設へ行く交通手段としては、全ての種類の店舗・施設において、「自家用車(自分が運転)」が最も多く利用されている。2番目に多く利用されている交通手段を見ると、①食料品等と⑤かかりつけ診療所、⑦公共施設へは「徒歩」、②衣料品等では「バス」、③家電製品等と④飲食店へは「自家用車(家族が運転)」、⑥大きな病院へは「鉄道」がそれぞれ多くなっている。

図表 72 最もよく利用する店舗・施設へ行く交通手段(MA) (n=1,192)



	徒歩	自転車	バイク	自家用車(自分が運転)	自家用車(家族等が運転)	バス	タクシー	鉄道	その他	無回答
①食料品や日用雑貨などを購入する店舗	22.0	14.5	6.0	40.1	12.1	4.4	0.4	1.9	0.3	9.6
②衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗	11.4	7.1	4.3	38.8	12.0	13.4	0.3	9.1	0.2	19.0
③家電製品や家具を購入する店舗	9.6	6.1	2.8	37.2	18.5	7.4	0.1	4.0	0.5	23.2
④家族や友人等との食事で利用する飲食店	14.0	3.9	2.7	31.7	15.6	12.7	0.5	8.1	0.3	24.9
⑤かかりつけの診療所等の医療機関	25.6	10.2	5.3	29.2	7.9	5.9	0.8	3.5	0.3	21.0
⑥検査等が必要な場合に利用する大きな病院	12.5	6.1	3.9	30.9	10.7	9.5	1.1	14.1	0.3	27.3
⑦よく利用する公共施設(市役所、図書館等)	14.1	11.5	6.0	30.2	6.3	4.9	0.0	0.8	0.1	33.5

(注) 利用が多い上位2つの交通手段に網掛け

① 食料品や日用雑貨などを購入する店舗

食料品や日用雑貨などを購入する店舗へ行くための交通手段を見ると、多くの性・年齢別の属性において「自家用車(自分が運転)」が多くなっている。70歳以上の女性では「徒歩」が多くなっている。居住地別に見ると、東部地区では「自家用車(自分が運転)」が多く、「徒歩」が少なくなっている。

図表 73 最もよく利用する店舗・施設へ行く交通手段(MA)

①食料品や日用雑貨などを購入する店舗

			徒歩	自転車	バイク	運 自 転 家 車 用 車 (自 分 が 運 転)	が 自 運 家 転 用 車 (家 族 等 が 運 転)	バス	タク シー	鉄 道	そ の 他	無 回 答
			(%)									
全体		[N= 1,192]	22.0	14.5	6.0	40.1	12.1	4.4	0.4	1.9	0.3	9.6
男性・ 年齢別	男性全体	[N= 509]	21.6	14.5	3.9	47.7	7.9	3.9	0.2	1.4	0.2	10.0
	18～29歳	[N= 54]	16.7	20.4	5.6	37.0	7.4	7.4	0.0	3.7	0.0	13.0
	30歳代	[N= 60]	20.0	20.0	5.0	56.7	15.0	1.7	1.7	1.7	0.0	1.7
	40歳代	[N= 69]	18.8	4.3	2.9	58.0	7.2	4.3	0.0	1.4	0.0	7.2
	50歳代	[N= 58]	19.0	5.2	1.7	62.1	5.2	3.4	0.0	1.7	0.0	8.6
	60歳代	[N= 109]	17.4	12.8	6.4	55.0	4.6	0.0	0.0	1.8	0.0	11.9
	70歳以上	[N= 158]	29.1	19.6	2.5	32.9	8.9	6.3	0.0	0.0	0.6	12.7
女性・ 年齢別	女性全体	[N= 677]	22.5	14.6	7.5	34.6	15.2	4.7	0.6	2.2	0.3	9.2
	18～29歳	[N= 95]	23.2	16.8	5.3	24.2	23.2	6.3	0.0	7.4	0.0	7.4
	30歳代	[N= 96]	19.8	15.6	4.2	53.1	14.6	1.0	0.0	0.0	0.0	3.1
	40歳代	[N= 100]	17.0	15.0	4.0	49.0	8.0	1.0	0.0	4.0	0.0	7.0
	50歳代	[N= 92]	13.0	16.3	10.9	52.2	8.7	5.4	1.1	0.0	0.0	3.3
	60歳代	[N= 135]	19.3	17.0	12.6	35.6	12.6	4.4	0.7	0.7	0.7	6.7
	70歳以上	[N= 159]	35.2	9.4	6.9	9.4	21.4	8.2	1.3	1.9	0.6	20.8
居住 地別	市役所周辺	[N= 394]	22.3	20.1	6.9	34.5	9.9	2.0	0.5	0.8	0.0	11.7
	東部	[N= 62]	3.2	6.5	3.2	56.5	19.4	6.5	0.0	4.8	1.6	8.1
	美濃山	[N= 190]	20.0	12.1	3.2	48.9	16.3	3.2	0.5	0.0	0.5	5.3
	男山	[N= 309]	30.1	12.3	7.1	34.0	11.3	7.1	0.0	0.0	0.3	8.4
	橋本	[N= 228]	18.0	12.7	6.6	46.5	11.8	5.3	0.9	7.5	0.0	9.6

② 衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗

衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗へ行くための交通手段を見ると、多くの性・年齢別の属性において「自家用車(自分が運転)」が多いが、特に30～60歳代男性と30～40歳代女性は「自家用車(自分が運転)」が多い。18歳～29歳女性では「鉄道」が全体に比べて多くなっている。

居住地別に見ると、男山地区では「バス」、橋本地区では「鉄道」利用者が全体に比べて多くなっている。

図表 74 最もよく利用する店舗・施設へ行く交通手段(MA)

②衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗

			徒歩	自転車	バイク	運自家 転家用車 (自分が)	が自家 運転用車 (家族等)	バス	タク シー	鉄 道	そ の 他	無 回 答
			(%)									
全体 [N= 1,192]			11.4	7.1	4.3	38.8	12.0	13.4	0.3	9.1	0.2	19.0
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	10.0	8.4	2.4	45.4	7.7	9.0	0.0	6.1	0.2	22.0
	18～29歳	[N= 54]	7.4	14.8	3.7	33.3	7.4	11.1	0.0	11.1	0.0	22.2
	30歳代	[N= 60]	6.7	8.3	3.3	58.3	8.3	6.7	0.0	5.0	0.0	18.3
	40歳代	[N= 69]	10.1	4.3	1.4	56.5	13.0	2.9	0.0	7.2	0.0	13.0
	50歳代	[N= 58]	8.6	3.4	3.4	51.7	3.4	8.6	0.0	8.6	0.0	20.7
	60歳代	[N= 109]	6.4	5.5	2.8	56.0	5.5	4.6	0.0	4.6	0.0	22.9
	70歳以上	[N= 158]	15.2	12.0	1.3	30.4	8.2	14.6	0.0	4.4	0.6	27.2
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	12.6	6.2	5.6	34.0	15.2	16.7	0.6	11.1	0.1	16.7
	18～29歳	[N= 95]	17.9	7.4	10.5	22.1	15.8	23.2	0.0	20.0	0.0	10.5
	30歳代	[N= 96]	9.4	5.2	3.1	49.0	19.8	14.6	0.0	8.3	1.0	13.5
	40歳代	[N= 100]	7.0	6.0	3.0	57.0	7.0	11.0	0.0	12.0	0.0	11.0
	50歳代	[N= 92]	9.8	6.5	10.9	47.8	7.6	9.8	0.0	15.2	0.0	8.7
	60歳代	[N= 135]	11.1	5.9	4.4	36.3	20.7	16.3	0.7	6.7	0.0	13.3
	70歳以上	[N= 159]	17.6	6.3	3.8	7.5	17.0	22.0	1.9	8.2	0.0	33.3
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	11.4	9.1	4.8	36.3	11.9	8.9	0.5	8.4	0.0	23.1
	東部	[N= 62]	3.2	4.8	1.6	43.5	19.4	8.1	0.0	8.1	0.0	21.0
	美濃山	[N= 190]	9.5	2.6	3.7	45.3	15.8	11.6	0.5	5.3	0.5	14.2
	男山	[N= 309]	12.3	6.1	5.5	35.9	9.4	26.2	0.0	4.5	0.3	17.2
	橋本	[N= 228]	14.5	9.6	3.1	40.8	11.0	7.0	0.4	19.7	0.0	15.8

③ 家電製品や家具を購入する店舗

家電製品や家具を購入する店舗へ行くための交通手段を見ると、30歳代～60歳代男性と40歳代の女性は「自家用車(自分が運転)」が全体に比べて多い。30歳代と60歳代の女性では「自家用車(家族等が運転)」が全体に比べて多くなっている。

居住地別では大きな違いはみられない。

図表 75 最もよく利用する店舗・施設へ行く交通手段(MA)

③家電製品や家具を購入する店舗

			徒歩	自転車	バイク	運自家 転家用 車(自 分が	が自家 運転用 車(家 族等	バス	タク シー	鉄道	その他	無 回 答
			(%)									
全体 [N= 1,192]			9.6	6.1	2.8	37.2	18.5	7.4	0.1	4.0	0.5	23.2
男性・ 年齢別	男性全体	[N= 509]	10.8	7.7	2.2	46.4	8.8	5.5	0.2	4.9	0.4	23.0
	18～29歳	[N= 54]	11.1	13.0	3.7	29.6	14.8	5.6	0.0	13.0	0.0	27.8
	30歳代	[N= 60]	6.7	6.7	1.7	50.0	8.3	1.7	0.0	6.7	0.0	28.3
	40歳代	[N= 69]	11.6	7.2	1.4	56.5	10.1	4.3	0.0	5.8	0.0	8.7
	50歳代	[N= 58]	5.2	0.0	1.7	62.1	6.9	1.7	0.0	1.7	0.0	24.1
	60歳代	[N= 109]	5.5	3.7	3.7	55.0	6.4	2.8	0.0	3.7	0.9	23.9
	70歳以上	[N= 158]	17.7	12.0	1.3	34.2	8.9	10.8	0.6	3.2	0.6	24.7
女性・ 年齢別	女性全体	[N= 677]	8.9	5.0	3.1	30.4	25.8	8.7	0.0	3.2	0.6	23.5
	18～29歳	[N= 95]	13.7	3.2	5.3	21.1	25.3	10.5	0.0	8.4	0.0	25.3
	30歳代	[N= 96]	4.2	5.2	1.0	40.6	29.2	4.2	0.0	2.1	1.0	20.8
	40歳代	[N= 100]	4.0	2.0	1.0	50.0	20.0	7.0	0.0	4.0	1.0	17.0
	50歳代	[N= 92]	3.3	5.4	4.3	46.7	18.5	5.4	0.0	4.3	0.0	17.4
	60歳代	[N= 135]	9.6	7.4	4.4	28.9	32.6	8.1	0.0	0.7	0.7	17.0
	70歳以上	[N= 159]	14.5	5.7	2.5	9.4	26.4	13.8	0.0	1.9	0.6	37.1
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	6.6	6.9	3.0	35.0	20.8	4.8	0.0	3.3	0.3	26.6
	東部	[N= 62]	8.1	3.2	0.0	41.9	24.2	4.8	0.0	3.2	0.0	24.2
	美濃山	[N= 190]	19.5	3.7	1.6	35.8	20.5	2.1	0.0	2.1	0.5	19.5
	男山	[N= 309]	7.4	7.1	4.5	38.5	14.9	14.6	0.3	2.6	1.0	20.4
	橋本	[N= 228]	10.5	6.6	1.8	39.5	17.1	7.0	0.0	9.2	0.4	22.4

④ 家族や友人等との食事を利用する飲食店

家族や友人等との食事を利用する飲食店へ行くための交通手段を見ると、概ね「自家用車（自分が運転）」が多いが、18歳～29歳女性は、「徒歩」や「鉄道」利用が、60歳代女性は「自家用車（家族等が運転）」、70歳以上女性では「バス」が全体に比べて多くなっている。

居住地別に見ると、美濃山地区で「徒歩」が全体に比べて多い。

図表 76 最もよく利用する店舗・施設へ行く交通手段(MA)

④家族や友人等との食事を利用する飲食店

			徒歩	自転車	バイク	運自家 転家用車 （自分が	が自家 運転用車 （家族等	バス	タク シー	鉄道	その他	無 回 答
			(%)									
全体 [N= 1,192]			14.0	3.9	2.7	31.7	15.6	12.7	0.5	8.1	0.3	24.9
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	12.8	4.3	2.0	36.9	10.6	9.4	0.6	5.3	0.2	29.3
	18～29歳	[N= 54]	14.8	5.6	7.4	29.6	18.5	7.4	1.9	11.1	0.0	24.1
	30歳代	[N= 60]	10.0	10.0	1.7	40.0	8.3	6.7	0.0	5.0	0.0	38.3
	40歳代	[N= 69]	18.8	2.9	0.0	42.0	11.6	0.0	0.0	7.2	0.0	21.7
	50歳代	[N= 58]	8.6	0.0	3.4	41.4	5.2	6.9	0.0	5.2	0.0	34.5
	60歳代	[N= 109]	8.3	0.9	0.9	45.9	10.1	6.4	0.0	4.6	0.9	30.3
	70歳以上	[N= 158]	15.2	6.3	1.3	28.5	10.8	17.7	1.3	3.2	0.0	28.5
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	14.9	3.7	3.2	27.9	19.4	14.9	0.4	9.9	0.3	21.7
	18～29歳	[N= 95]	24.2	5.3	5.3	15.8	17.9	17.9	0.0	20.0	1.1	17.9
	30歳代	[N= 96]	10.4	7.3	0.0	40.6	19.8	9.4	0.0	10.4	0.0	17.7
	40歳代	[N= 100]	13.0	4.0	1.0	39.0	13.0	9.0	0.0	11.0	1.0	21.0
	50歳代	[N= 92]	15.2	1.1	5.4	42.4	12.0	10.9	0.0	10.9	0.0	16.3
	60歳代	[N= 135]	10.4	3.0	5.2	32.6	28.1	14.1	0.7	5.2	0.0	14.8
	70歳以上	[N= 159]	17.0	2.5	2.5	8.2	20.8	23.3	1.3	6.3	0.0	35.8
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	11.4	4.8	3.3	27.7	17.5	9.9	0.5	6.9	0.3	30.5
	東部	[N= 62]	4.8	0.0	1.6	40.3	22.6	8.1	1.6	9.7	0.0	29.0
	美濃山	[N= 190]	25.3	2.6	1.6	28.4	15.8	11.1	0.5	3.2	0.0	19.5
	男山	[N= 309]	12.6	2.9	2.9	33.0	13.9	21.4	0.6	5.2	0.3	22.7
	橋本	[N= 228]	14.0	6.1	2.6	37.7	13.2	8.3	0.0	17.5	0.4	20.2

⑤ かかりつけの診療所等の医療機関

かかりつけの診療所等へ行くための交通手段を見ると、60歳代男性、40～50歳代女性は「自家用車(自分が運転)」が全体に比べて多くなっている。70歳以上女性では「徒歩」が多い。

居住地別に見ると、橋本地区で「徒歩」が多い。東部地区では「自家用車(自分が運転)」が多い。

図表 77 最もよく利用する店舗・施設へ行く交通手段(MA)

⑤かかりつけの診療所等の医療機関

			徒歩	自転車	バイク	運 転 自 家 用 車 (自 分 が 運 転)	自 家 用 車 (家 族 等 が 運 転)	バス	タク シ ー	鉄 道	そ の 他	無 回 答
全体 [N= 1,192]			25.6	10.2	5.3	29.2	7.9	5.9	0.8	3.5	0.3	21.0
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	23.8	9.8	4.1	32.0	6.5	3.7	0.6	2.9	0.2	24.2
	18～29歳	[N= 54]	16.7	14.8	5.6	22.2	13.0	1.9	0.0	1.9	0.0	29.6
	30歳代	[N= 60]	23.3	10.0	5.0	30.0	10.0	5.0	0.0	3.3	0.0	31.7
	40歳代	[N= 69]	23.2	5.8	4.3	34.8	5.8	1.4	0.0	4.3	0.0	23.2
	50歳代	[N= 58]	25.9	3.4	5.2	32.8	5.2	1.7	0.0	1.7	0.0	29.3
	60歳代	[N= 109]	17.4	11.0	3.7	44.0	0.9	2.8	0.0	3.7	0.9	22.0
	70歳以上	[N= 158]	30.4	10.8	3.2	26.6	7.6	6.3	1.9	2.5	0.0	19.6
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	27.2	10.6	6.1	27.3	8.9	7.2	1.0	4.0	0.3	18.5
	18～29歳	[N= 95]	26.3	10.5	4.2	22.1	10.5	9.5	0.0	5.3	0.0	25.3
	30歳代	[N= 96]	18.8	13.5	1.0	38.5	10.4	4.2	0.0	3.1	0.0	17.7
	40歳代	[N= 100]	28.0	8.0	5.0	42.0	4.0	4.0	0.0	3.0	0.0	18.0
	50歳代	[N= 92]	12.0	14.1	10.9	43.5	4.3	5.4	1.1	5.4	0.0	13.0
	60歳代	[N= 135]	30.4	14.1	8.9	25.2	10.4	5.2	0.7	3.7	0.0	11.9
	70歳以上	[N= 159]	38.4	5.7	5.7	6.9	11.3	12.6	3.1	3.8	1.3	23.9
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	20.6	12.9	5.8	28.2	8.9	5.8	0.8	3.6	0.0	23.1
	東部	[N= 62]	4.8	3.2	1.6	43.5	17.7	6.5	1.6	3.2	0.0	25.8
	美濃山	[N= 190]	21.1	12.1	3.7	34.7	8.9	5.8	0.5	1.1	0.5	17.9
	男山	[N= 309]	32.0	9.1	6.8	23.0	5.5	6.5	1.0	3.9	0.0	23.0
	橋本	[N= 228]	36.0	7.9	4.8	31.6	6.1	4.8	0.9	5.3	0.9	13.6

⑥ 検査等が必要な場合に利用する大きな病院

検査等が必要な場合に利用する大きな病院へ行くための交通手段を見ると、多くの性・年齢別の属性において「自家用車(自分が運転)」が多いが、70歳以上の女性では「バス」が多くなっている。

居住地別に見ると、特に美濃山地区で「自家用車(自分が運転)」が多い。

図表 78 最もよく利用する店舗・施設へ行く交通手段(MA)

⑥検査等が必要な場合に利用する大きな病院

			徒歩	自転車	バイク	自家用車 (自分が運転)	自家用車 (家族等が運転)	バス	タクシー	鉄道	その他	無回答
			(%)									
全体 [N= 1,192]			12.5	6.1	3.9	30.9	10.7	9.5	1.1	14.1	0.3	27.3
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	11.4	5.1	2.2	34.2	7.7	7.9	1.4	13.6	0.4	30.3
	18～29歳	[N= 54]	3.7	5.6	3.7	27.8	20.4	0.0	0.0	1.9	0.0	38.9
	30歳代	[N= 60]	8.3	3.3	1.7	38.3	5.0	5.0	1.7	6.7	1.7	41.7
	40歳代	[N= 69]	13.0	2.9	0.0	43.5	5.8	2.9	0.0	13.0	0.0	24.6
	50歳代	[N= 58]	8.6	1.7	3.4	27.6	3.4	6.9	0.0	13.8	0.0	43.1
	60歳代	[N= 109]	10.1	3.7	4.6	45.0	2.8	6.4	0.9	17.4	0.9	24.8
	70歳以上	[N= 158]	16.5	8.9	0.6	25.3	10.1	15.2	3.2	17.7	0.0	24.7
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	13.3	6.9	5.2	28.5	12.9	10.3	0.9	14.3	0.3	25.3
	18～29歳	[N= 95]	12.6	8.4	9.5	21.1	17.9	7.4	0.0	9.5	0.0	31.6
	30歳代	[N= 96]	5.2	6.3	0.0	42.7	13.5	7.3	0.0	10.4	1.0	25.0
	40歳代	[N= 100]	9.0	8.0	6.0	45.0	6.0	1.0	0.0	12.0	0.0	24.0
	50歳代	[N= 92]	12.0	6.5	6.5	41.3	5.4	7.6	0.0	14.1	0.0	18.5
	60歳代	[N= 135]	15.6	8.9	6.7	27.4	17.0	8.9	0.0	17.8	0.0	19.3
	70歳以上	[N= 159]	20.1	4.4	3.1	7.5	14.5	22.6	3.8	18.2	0.6	31.4
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	11.4	7.1	4.1	27.2	12.7	9.4	1.3	14.2	0.3	28.7
	東部	[N= 62]	8.1	4.8	3.2	40.3	16.1	11.3	1.6	9.7	0.0	24.2
	美濃山	[N= 190]	5.3	1.1	4.2	41.1	14.7	8.4	0.5	10.0	0.0	27.4
	男山	[N= 309]	21.4	7.8	4.9	25.2	6.8	11.7	1.6	12.3	0.3	27.2
	橋本	[N= 228]	10.1	7.0	2.2	34.2	7.9	7.0	0.4	21.1	0.9	24.6

⑦ よく利用する公共施設(市役所、図書館等)

よく利用する公共施設(市役所、図書館等)へ行くための交通手段を見ると、多くの性・年齢別の属性において「自家用車(自分が運転)」が多い。

居住地別に見ると、特に橋本地区で「自家用車(自分が運転)」が多い。

図表 79 最もよく利用する店舗・施設へ行く交通手段(MA)

⑦よく利用する公共施設(市役所、図書館等)

			徒歩	自転車	バイク	運自家 転家用 車(自分 が)	が自家 運転用 車(家族 等)	バス	タク シー	鉄 道	そ の 他	無 回 答
			(%)									
全体 [N= 1,192]			14.1	11.5	6.0	30.2	6.3	4.9	0.0	0.8	0.1	33.5
男性・ 年齢別	男性全体	[N= 509]	13.2	10.8	3.9	33.6	4.3	3.5	0.0	0.6	0.0	36.5
	18～29歳	[N= 54]	9.3	9.3	7.4	22.2	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	30歳代	[N= 60]	11.7	10.0	5.0	33.3	6.7	5.0	0.0	1.7	0.0	36.7
	40歳代	[N= 69]	8.7	8.7	2.9	47.8	2.9	0.0	0.0	1.4	0.0	30.4
	50歳代	[N= 58]	12.1	3.4	3.4	29.3	5.2	3.4	0.0	1.7	0.0	48.3
	60歳代	[N= 109]	10.1	12.8	5.5	42.2	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	32.1
	70歳以上	[N= 158]	19.6	13.9	1.9	26.6	5.7	7.6	0.0	0.0	0.0	33.5
女性・ 年齢別	女性全体	[N= 677]	14.9	12.1	7.4	27.8	7.7	5.6	0.0	1.0	0.1	31.3
	18～29歳	[N= 95]	12.6	7.4	7.4	22.1	11.6	5.3	0.0	1.1	0.0	40.0
	30歳代	[N= 96]	12.5	17.7	1.0	40.6	5.2	3.1	0.0	2.1	0.0	24.0
	40歳代	[N= 100]	13.0	13.0	6.0	42.0	9.0	2.0	0.0	1.0	0.0	24.0
	50歳代	[N= 92]	9.8	10.9	14.1	45.7	2.2	2.2	0.0	1.1	0.0	22.8
	60歳代	[N= 135]	14.1	15.6	11.1	24.4	8.1	5.2	0.0	0.7	0.0	26.7
	70歳以上	[N= 159]	22.6	8.8	5.0	6.9	8.8	11.9	0.0	0.6	0.6	44.0
居住 地別	市役所周辺	[N= 394]	17.3	14.2	7.1	25.1	4.8	2.0	0.0	1.0	0.0	34.8
	東部	[N= 62]	4.8	4.8	4.8	35.5	12.9	9.7	0.0	3.2	0.0	35.5
	美濃山	[N= 190]	6.8	8.4	3.7	36.3	10.0	4.7	0.0	1.1	0.0	35.3
	男山	[N= 309]	20.7	10.4	5.5	23.3	3.6	6.5	0.0	0.0	0.0	35.9
	橋本	[N= 228]	8.8	13.2	7.0	41.7	7.9	6.1	0.0	0.9	0.4	25.0

ウ)居住地別での最もよく利用する店舗・施設が立地する地区と交通手段

①食料品や日用雑貨などを購入する店舗

市役所周辺地区と東部地区では、「八幡地区」へ移動する人が多い。市役所周辺地区では「自家用車(自分が運転)」のほか「徒歩」、「自転車」で移動する人も比較的多い。東部地区では「自家用車(自分が運転)」利用が多い。美濃山地区では、「松井山手駅周辺」に「自家用車(自分が運転)」や「徒歩」で移動している。男山地区では、「男山地区」へ「徒歩」で移動する人が多い。橋本地区では、「男山地区」または「樟葉駅周辺」に「自家用車(自分が運転)」や「徒歩」で移動する人が多い。

図表 80 居住地区別での、最もよく利用する店舗・施設のある地区(SA)とそこへ行く交通手段(MA)

①食料品や日用雑貨などを購入する店舗

居住地区		Q32 ア)① 立地地区:食料品や日用雑貨などを購入する店舗									
市役所周辺地区		全 体	八 幡 地 区	橋 本 地 区	美 濃 山 地 区	男 山 地 区	東 部 地 区	樟 葉 駅 周 辺	周 松 井 山 手 駅	そ の 他 市 外	無 回 答
よく利用する地区	(n数)	394	229	0	6	46	0	30	3	40	40
	(%)	100.0	58.1	0.0	1.5	11.7	0.0	7.6	0.8	10.2	10.2
各 地 区 へ の 交 通 手 段 (%)・MA	徒歩 (n=88)	22.3	27.1	-	16.7	32.6	-	10.0	66.7	7.5	5.0
	自転車 (n=79)	20.1	25.8	-	16.7	8.7	-	13.3	0.0	22.5	5.0
	バイク (n=27)	6.9	6.1	-	0.0	15.2	-	10.0	0.0	7.5	0.0
	自家用車(自分が運転) (n=136)	34.5	34.5	-	50.0	41.3	-	46.7	0.0	47.5	5.0
	自家用車(家族等が運転) (n=39)	9.9	12.2	-	16.7	2.2	-	13.3	33.3	7.5	2.5
	バス (n=8)	2.0	0.4	-	0.0	4.3	-	16.7	0.0	0.0	0.0
	タクシー (n=2)	0.5	0.9	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0
	鉄道 (n=3)	0.8	0.0	-	0.0	0.0	-	3.3	0.0	5.0	0.0
	その他 (n=0)	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0

居住地区		Q32 ア)① 立地地区:食料品や日用雑貨などを購入する店舗									
東部地区		合 計	八 幡 地 区	橋 本 地 区	美 濃 山 地 区	男 山 地 区	東 部 地 区	樟 葉 駅 周 辺	周 松 井 山 手 駅	そ の 他 市 外	無 回 答
よく利用する地区	(n数)	62	41	0	0	0	3	5	4	3	6
	(%)	100.0	66.1	0.0	0.0	0.0	4.8	8.1	6.5	4.8	9.7
各 地 区 へ の 交 通 手 段 (%)・MA	徒歩 (n=2)	3.2	0.0	-	-	-	33.3	20.0	0.0	0.0	0.0
	自転車 (n=4)	6.5	9.8	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	バイク (n=2)	3.2	4.9	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自家用車(自分が運転) (n=35)	56.5	61.0	-	-	-	66.7	0.0	100.0	66.7	33.3
	自家用車(家族等が運転) (n=12)	19.4	22.0	-	-	-	0.0	40.0	0.0	33.3	0.0
	バス (n=4)	6.5	0.0	-	-	-	33.3	60.0	0.0	0.0	0.0
	タクシー (n=0)	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	鉄道 (n=3)	4.8	0.0	-	-	-	0.0	40.0	0.0	33.3	0.0
	その他 (n=1)	1.6	2.4	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

居住地区			Q32 ア)① 立地地区:食料品や日用雑貨などを購入する店舗									
			合計	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	無回答
美濃山地区												
よく利用する地区		(n数)	190	43	0	53	1	0	4	67	12	10
		(%)	100.0	22.6	0.0	27.9	0.5	0.0	2.1	35.3	6.3	5.3
各地区への交通手段 (%・M・A)	徒歩	(n=38)	20.0	7.0	-	24.5	0.0	-	0.0	32.8	0.0	0.0
	自転車	(n=23)	12.1	2.3	-	24.5	0.0	-	25.0	11.9	0.0	0.0
	バイク	(n=6)	3.2	2.3	-	3.8	0.0	-	0.0	0.0	16.7	10.0
	自家用車(自分が運転)	(n=93)	48.9	74.4	-	37.7	100.0	-	25.0	46.3	50.0	20.0
	自家用車(家族等が運転)	(n=31)	16.3	14.0	-	18.9	0.0	-	0.0	19.4	16.7	0.0
	バス	(n=6)	3.2	0.0	-	0.0	0.0	-	25.0	6.0	8.3	0.0
	タクシー	(n=1)	0.5	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	1.5	0.0	0.0
	鉄道	(n=0)	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	(n=1)	0.5	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	8.3	0.0

居住地区			Q32 ア)① 立地地区:食料品や日用雑貨などを購入する店舗									
			合計	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	無回答
男山地区												
よく利用する地区		(n数)	309	57	0	0	144	0	54	2	25	27
		(%)	100.0	18.4	0.0	0.0	46.6	0.0	17.5	0.6	8.1	8.7
各地区への交通手段 (%・M・A)	徒歩	(n=93)	30.1	5.3	-	-	51.4	-	22.2	0.0	16.0	0.0
	自転車	(n=38)	12.3	7.0	-	-	16.0	-	11.1	0.0	16.0	3.7
	バイク	(n=22)	7.1	10.5	-	-	7.6	-	7.4	0.0	4.0	0.0
	自家用車(自分が運転)	(n=105)	34.0	57.9	-	-	21.5	-	35.2	100.0	52.0	25.9
	自家用車(家族等が運転)	(n=35)	11.3	24.6	-	-	5.6	-	11.1	0.0	20.0	7.4
	バス	(n=22)	7.1	0.0	-	-	1.4	-	35.2	0.0	4.0	0.0
	タクシー	(n=0)	0.0	0.0	-	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0
	鉄道	(n=0)	0.0	0.0	-	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	(n=1)	0.3	0.0	-	-	0.0	-	0.0	0.0	4.0	0.0

居住地区			Q32 ア)① 立地地区:食料品や日用雑貨などを購入する店舗									
			全体	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	無回答
橋本地区												
よく利用する地区		(n数)	228	62	2	1	68	1	68	1	6	19
		(%)	100.0	27.2	0.9	0.4	29.8	0.4	29.8	0.4	2.6	8.3
各地区への交通手段 (%・M・A)	徒歩	(n=41)	18.0	3.2	0.0	0.0	30.9	0.0	25.0	0.0	16.7	0.0
	自転車	(n=29)	12.7	11.3	0.0	0.0	19.1	0.0	13.2	0.0	0.0	0.0
	バイク	(n=15)	6.6	4.8	0.0	0.0	11.8	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0
	自家用車(自分が運転)	(n=106)	46.5	61.3	100.0	100.0	45.6	100.0	39.7	100.0	66.7	5.3
	自家用車(家族等が運転)	(n=27)	11.8	22.6	0.0	0.0	4.4	0.0	10.3	0.0	33.3	5.3
	バス	(n=12)	5.3	1.6	0.0	0.0	5.9	0.0	10.3	0.0	0.0	0.0
	タクシー	(n=2)	0.9	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	鉄道	(n=17)	7.5	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	22.1	0.0	16.7	0.0
	その他	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

②衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗

どの地区とも、「樟葉駅周辺」に「自家用車(自分が運転)」で移動する人が多い。男山地区では「バス」利用者も多くなっている。

図表 81 居住地区別での、最もよく利用する店舗・施設のある地区(SA)とそこへ行く交通手段(MA)

②衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗

居住地区		Q32 ア)② 立地地区:衣料品や靴、アクセサリーなどを購入する店舗											
		全体	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	等ネット購入	無回答	
市役所周辺地区													
よく利用する地区		(n数)	394	86	0	1	1	1	166	1	50	3	85
		(%)	100.0	21.8	0.0	0.3	0.3	0.3	42.1	0.3	12.7	0.8	21.6
各地区への交通手段 (%・MA)	徒歩	(n=45)	11.4	17.4	－	0.0	100.0	0.0	15.1	0.0	6.0	0.0	1.2
	自転車	(n=36)	9.1	23.3	－	100.0	0.0	0.0	5.4	0.0	8.0	0.0	2.4
	バイク	(n=19)	4.8	7.0	－	0.0	0.0	0.0	6.6	0.0	4.0	0.0	0.0
	自家用車(自分が運転)	(n=143)	36.3	39.5	－	0.0	0.0	0.0	48.8	0.0	54.0	0.0	1.2
	自家用車(家族等が運転)	(n=47)	11.9	17.4	－	0.0	0.0	0.0	13.9	100.0	14.0	0.0	1.2
	バス	(n=35)	8.9	1.2	－	0.0	0.0	0.0	19.3	0.0	2.0	0.0	1.2
	タクシー	(n=2)	0.5	0.0	－	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	2.0	0.0	0.0
	鉄道	(n=33)	8.4	0.0	－	0.0	0.0	0.0	11.4	0.0	28.0	0.0	0.0
	その他	(n=0)	0.0	0.0	－	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

居住地区		Q32 ア)② 立地地区:衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗										
東部地区		合計	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	等ネット購入	無回答
よく利用する地区		(n数)	62	9	0	0	0	25	0	16	0	12
		(%)	100.0	14.5	0.0	0.0	0.0	40.3	0.0	25.8	0.0	19.4
各地区への交通手段	徒歩	(n=2)	3.2	0.0	-	-	-	8.0	-	0.0	0.0	0.0
	自転車	(n=3)	4.8	33.3	-	-	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0
	バイク	(n=1)	1.6	0.0	-	-	-	0.0	-	6.3	0.0	0.0
	自家用車(自分が運転)	(n=27)	43.5	44.4	-	-	-	56.0	-	56.3	0.0	0.0
	自家用車(家族等が運転)	(n=12)	19.4	22.2	-	-	-	24.0	-	18.8	0.0	1.2
	バス	(n=5)	8.1	0.0	-	-	-	20.0	-	0.0	0.0	0.0
	タクシー	(n=0)	0.0	0.0	-	-	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0
	鉄道	(n=5)	8.1	0.0	-	-	-	8.0	-	18.8	0.0	0.0
	その他	(n=0)	0.0	0.0	-	-	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0

居住地区		Q32 ア)② 立地地区:衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗										
美濃山地区		合計	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	等ネット購入	無回答
よく利用する地区		(n数)	190	21	0	16	0	83	2	42	2	24
		(%)	100.0	11.1	0.0	8.4	0.0	43.7	1.1	22.1	1.1	12.6
各地区への交通手段	徒歩	(n=18)	9.5	9.5	-	56.3	-	3.6	50.0	7.1	0.0	0.0
	自転車	(n=5)	2.6	0.0	-	18.8	-	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	バイク	(n=7)	3.7	4.8	-	6.3	-	3.6	0.0	4.8	0.0	0.0
	自家用車(自分が運転)	(n=86)	45.3	61.9	-	6.3	-	66.3	50.0	35.7	0.0	1.2
	自家用車(家族等が運転)	(n=30)	15.8	23.8	-	6.3	-	18.1	0.0	21.4	0.0	0.0
	バス	(n=22)	11.6	0.0	-	0.0	-	19.3	0.0	14.3	0.0	0.0
	タクシー	(n=1)	0.5	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0
	鉄道	(n=10)	5.3	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0	23.8	0.0	0.0
	その他	(n=1)	0.5	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

居住地区		Q32 ア)② 立地地区:衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗											
		合計	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	等ネット購入	無回答	
男山地区													
よく利用する地区		(n数)	309	26	0	2	8	0	179	2	40	4	48
		(%)	100.0	8.4	0.0	0.6	2.6	0.0	57.9	0.6	12.9	1.3	15.5
各地区への交通手段 (%・M・A)	徒歩	(n=38)	12.3	0.0	-	0.0	50.0	-	16.8	0.0	7.5	0.0	1.2
	自転車	(n=19)	6.1	11.5	-	0.0	12.5	-	7.8	0.0	2.5	0.0	0.0
	バイク	(n=17)	5.5	3.8	-	0.0	0.0	-	7.3	0.0	7.5	0.0	0.0
	自家用車(自分が運転)	(n=111)	35.9	80.8	-	100.0	25.0	-	37.4	50.0	35.0	33.3	3.5
	自家用車(家族等が運転)	(n=29)	9.4	7.7	-	0.0	12.5	-	9.5	50.0	12.5	33.3	2.4
	バス	(n=81)	26.2	0.0	-	0.0	0.0	-	39.1	0.0	27.5	0.0	0.0
	タクシー	(n=0)	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	鉄道	(n=14)	4.5	0.0	-	0.0	0.0	-	0.6	0.0	32.5	0.0	0.0
	その他	(n=1)	0.3	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0

居住地区		Q32 ア)② 立地地区:衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗											
		合計	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	等ネット購入	無回答	
橋本地区													
よく利用する地区		(n数)	228	13	1	0	1	0	148	1	28	5	31
		(%)	100.0	5.7	0.4	0.0	0.4	0.0	64.9	0.4	12.3	2.2	13.6
各地区への交通手段 (%・M・A)	徒歩	(n=33)	14.5	7.7	100.0	-	0.0	-	18.2	0.0	14.3	0.0	0.0
	自転車	(n=22)	9.6	7.7	0.0	-	0.0	-	14.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	バイク	(n=7)	3.1	7.7	0.0	-	100.0	-	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	自家用車(自分が運転)	(n=93)	40.8	46.2	0.0	-	0.0	-	52.7	100.0	25.0	0.0	1.2
	自家用車(家族等が運転)	(n=25)	11.0	38.5	0.0	-	0.0	-	10.1	0.0	14.3	0.0	1.2
	バス	(n=16)	7.0	0.0	100.0	-	0.0	-	8.8	0.0	3.6	0.0	1.2
	タクシー	(n=1)	0.4	0.0	0.0	-	0.0	-	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	鉄道	(n=45)	19.7	0.0	0.0	-	0.0	-	17.6	0.0	64.3	33.3	0.0
	その他	(n=0)	0.0	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

③家電製品や家具を購入する店舗

市役所周辺地区と東部地区では、「東部地区」へ「自家用車(自分が運転)」で移動する人が多い。美濃山地区では、「美濃山地区」へ「徒歩」や「自家用車(自分が運転)」で移動する人が多い。男山地区と橋本地区では「樟葉駅周辺」へ「自家用車(自分が運転)」で移動する人が多く、男山地区では「バス」利用も多い。

図表 82 居住地区別での、最もよく利用する店舗・施設のある地区(SA)とそこへ行く交通手段(MA)

③家電製品や家具を購入する店舗

居住地区		Q32 ア)③ 立地地区:家電製品や家具を購入する店舗											
		全体	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	等ネット購入	無回答	
市役所周辺地区													
よく利用する地区		(n数)	394	35	0	23	6	122	54	5	51	6	92
		(%)	100.0	8.9	0.0	5.8	1.5	31.0	13.7	1.3	12.9	1.5	23.4
各地区への交通手段 (%・MA)	徒歩	(n=26)	6.6	22.9	－	0.0	50.0	0.8	20.4	0.0	2.0	0.0	2.2
	自転車	(n=27)	6.9	28.6	－	0.0	16.7	10.7	1.9	0.0	3.9	0.0	0.0
	バイク	(n=12)	3.0	2.9	－	0.0	0.0	4.9	5.6	0.0	3.9	0.0	0.0
	自家用車(自分が運転)	(n=138)	35.0	22.9	－	60.9	0.0	54.1	42.6	20.0	47.1	0.0	2.2
	自家用車(家族等が運転)	(n=82)	20.8	20.0	－	39.1	33.3	28.7	13.0	80.0	35.3	0.0	0.0
	バス	(n=19)	4.8	2.9	－	0.0	16.7	0.8	25.9	0.0	2.0	0.0	1.1
	タクシー	(n=0)	0.0	0.0	－	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	鉄道	(n=13)	3.3	0.0	－	0.0	0.0	0.0	9.3	0.0	15.7	0.0	0.0
	その他	(n=1)	0.3	0.0	－	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0

居住地区		Q32 ア)③ 立地地区:家電製品や家具を購入する店舗											
		合計	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	等ネット購入	無回答	
東部地区													
よく利用する地区		(n数)	62	4	0	4	1	24	8	3	4	0	14
		(%)	100.0	6.5	0.0	6.5	1.6	38.7	12.9	4.8	6.5	0.0	22.6
各地区への交通手段 (%・MA)	徒歩	(n=5)	8.1	0.0	－	0.0	100.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	自転車	(n=2)	3.2	0.0	－	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	バイク	(n=0)	0.0	0.0	－	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自家用車(自分が運転)	(n=26)	41.9	50.0	－	75.0	0.0	62.5	12.5	100.0	50.0	0.0	0.0
	自家用車(家族等が運転)	(n=15)	24.2	25.0	－	25.0	0.0	25.0	62.5	0.0	50.0	0.0	0.0
	バス	(n=3)	4.8	0.0	－	0.0	100.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	タクシー	(n=0)	0.0	0.0	－	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	鉄道	(n=2)	3.2	0.0	－	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	(n=0)	0.0	0.0	－	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

居住地区		Q32 ア)③ 立地地区:家電製品や家具を購入する店舗											
		合計	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	等ネット購入	無回答	
美濃山地区													
よく利用する地区		(n数)	190	0	0	68	0	20	11	30	29	6	26
		(%)	100.0	0.0	0.0	35.8	0.0	10.5	5.8	15.8	15.3	3.2	13.7
各地区への交通手段 (%・M・A)	徒歩	(n=37)	19.5	-	-	36.8	-	0.0	9.1	30.0	6.9	0.0	0.0
	自転車	(n=7)	3.7	-	-	7.4	-	0.0	0.0	3.3	3.4	0.0	0.0
	バイク	(n=3)	1.6	-	-	2.9	-	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0
	自家用車(自分が運転)	(n=68)	35.8	-	-	36.8	-	70.0	72.7	33.3	37.9	0.0	0.0
	自家用車(家族等が運転)	(n=39)	20.5	-	-	20.6	-	25.0	0.0	30.0	37.9	0.0	0.0
	バス	(n=4)	2.1	-	-	1.5	-	0.0	18.2	0.0	3.4	0.0	0.0
	タクシー	(n=0)	0.0	-	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	鉄道	(n=4)	2.1	-	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0	13.8	0.0	0.0
	その他	(n=1)	0.5	-	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0

居住地区		Q32 ア)③ 立地地区:家電製品や家具を購入する店舗											
		合計	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	等ネット購入	無回答	
男山地区													
よく利用する地区		(n数)	309	4	0	22	13	55	101	4	50	3	57
		(%)	100.0	1.3	0.0	7.1	4.2	17.8	32.7	1.3	16.2	1.0	18.4
各地区への交通手段 (%・M・A)	徒歩	(n=23)	7.4	0.0	-	4.5	46.2	0.0	14.9	0.0	2.0	0.0	0.0
	自転車	(n=22)	7.1	25.0	-	4.5	30.8	0.0	11.9	25.0	6.0	0.0	0.0
	バイク	(n=14)	4.5	0.0	-	4.5	0.0	1.8	9.9	0.0	2.0	0.0	1.1
	自家用車(自分が運転)	(n=119)	38.5	75.0	-	59.1	7.7	69.1	36.6	25.0	46.0	0.0	3.3
	自家用車(家族等が運転)	(n=46)	14.9	25.0	-	31.8	7.7	29.1	4.0	50.0	26.0	0.0	2.2
	バス	(n=45)	14.6	0.0	-	4.5	7.7	0.0	35.6	0.0	14.0	0.0	0.0
	タクシー	(n=1)	0.3	0.0	-	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	鉄道	(n=8)	2.6	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0	0.0	0.0
	その他	(n=3)	1.0	0.0	-	0.0	7.7	1.8	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0

居住地区		Q32 ア)③ 立地地区:家電製品や家具を購入する店舗											
		全体	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周辺松井山手駅	その他市外	ネット購入	無回答	
よく利用する地区		(n数)	228	8	1	9	0	42	84	2	31	9	42
		(%)	100.0	3.5	0.4	3.9	0.0	18.4	36.8	0.9	13.6	3.9	18.4
各地区への交通手段 (%・M・A)	徒歩	(n=24)	10.5	0.0	100.0	0.0	－	2.4	23.8	0.0	6.5	0.0	0.0
	自転車	(n=15)	6.6	12.5	0.0	0.0	－	2.4	15.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	バイク	(n=4)	1.8	0.0	0.0	0.0	－	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	自家用車(自分が運転)	(n=90)	39.5	50.0	0.0	66.7	－	64.3	42.9	100.0	48.4	0.0	0.0
	自家用車(家族等が運転)	(n=39)	17.1	37.5	0.0	44.4	－	26.2	13.1	0.0	25.8	16.7	1.1
	バス	(n=16)	7.0	0.0	0.0	0.0	－	4.8	15.5	0.0	0.0	0.0	1.1
	タクシー	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	－	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	鉄道	(n=21)	9.2	0.0	100.0	0.0	－	0.0	16.7	0.0	19.4	0.0	0.0
	その他	(n=1)	0.4	0.0	0.0	0.0	－	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0

④家族や友人等との食事で利用する飲食店

市役所周辺地区、東部地区、男山地区、橋本地区では「樟葉駅周辺」へ移動する人が多い。
市役所周辺地区と東部地区では「自家用車(自分が運転)」で、男山地区では「バス」で、橋本地区では「自家用車(自分が運転)」で移動する人が多い。

美濃山地区では、「美濃山地区」へ「徒歩」で移動する人が多い。

図表 83 居住地区別での、最もよく利用する店舗・施設のある地区(SA)とそこへ行く交通手段(MA)

④家族や友人等との食事で利用する飲食店

居住地区			Q32 ア)④ 立地地区:家族や友人等との食事で利用する飲食店										
			全体	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	無回答	
市役所周辺地区													
よく利用する地区			(n数)	394	57	0	26	1	17	104	17	58	114
			(%)	100.0	14.5	0.0	6.6	0.3	4.3	26.4	4.3	14.7	28.9
各地区への交通手段 (%・MA)	徒歩	(n=45)	11.4	31.6	-	7.7	100.0	11.8	13.5	0.0	10.3	1.8	
	自転車	(n=19)	4.8	14.0	-	3.8	0.0	11.8	2.9	0.0	8.6	0.0	
	バイク	(n=13)	3.3	5.3	-	11.5	0.0	0.0	5.8	5.9	0.0	0.0	
	自家用車(自分が運転)	(n=109)	27.7	31.6	-	61.5	0.0	52.9	38.5	41.2	31.0	0.9	
	自家用車(家族等が運転)	(n=69)	17.5	19.3	-	11.5	0.0	41.2	20.2	41.2	32.8	0.9	
	バス	(n=39)	9.9	3.5	-	0.0	0.0	5.9	29.8	0.0	6.9	0.9	
	タクシー	(n=2)	0.5	3.5	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	鉄道	(n=27)	6.9	0.0	-	0.0	0.0	0.0	5.8	0.0	36.2	0.0	
	その他	(n=1)	0.3	1.8	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

居住地区		Q32 ア)④ 立地地区:家族や友人等との食事で利用する飲食店										
		合計	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	無回答	
東部地区		(n数)	62	6	0	6	0	6	15	2	11	16
		(%)	100.0	9.7	0.0	9.7	0.0	9.7	24.2	3.2	17.7	25.8
各地区への交通手段 (%・MA)	徒歩	(n=3)	4.8	0.0	-	16.7	-	0.0	6.7	0.0	9.1	0.0
	自転車	(n=0)	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	バイク	(n=1)	1.6	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
	自家用車(自分が運転)	(n=25)	40.3	66.7	-	83.3	-	50.0	40.0	50.0	54.5	0.0
	自家用車(家族等が運転)	(n=14)	22.6	33.3	-	0.0	-	66.7	33.3	50.0	18.2	0.0
	バス	(n=5)	8.1	0.0	-	16.7	-	0.0	20.0	0.0	9.1	0.0
	タクシー	(n=1)	1.6	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
	鉄道	(n=6)	9.7	0.0	-	0.0	-	0.0	20.0	0.0	27.3	0.0
	その他	(n=0)	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

居住地区			Q32 ア)④ 立地地区:家族や友人等との食事で利用する飲食店									
			合計	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	無回答
美濃山地区												
よく利用する地区		(n数)	190	11	0	56	0	3	35	24	27	34
		(%)	100.0	5.8	0.0	29.5	0.0	1.6	18.4	12.6	14.2	17.9
各地区への交通手段 (%・M・A)	徒歩 (n=48)		25.3	18.2	-	58.9	-	0.0	11.4	33.3	3.7	0.0
	自転車 (n=5)		2.6	0.0	-	3.6	-	33.3	0.0	4.2	0.0	2.9
	バイク (n=3)		1.6	0.0	-	1.8	-	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0
	自家用車(自分が運転) (n=54)		28.4	63.6	-	23.2	-	66.7	45.7	33.3	29.6	0.0
	自家用車(家族等が運転) (n=30)		15.8	18.2	-	16.1	-	33.3	11.4	33.3	22.2	0.0
	バス (n=21)		11.1	9.1	-	0.0	-	0.0	34.3	0.0	29.6	0.0
	タクシー (n=1)		0.5	9.1	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	鉄道 (n=6)		3.2	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0
	その他 (n=0)		0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

居住地区			Q32 ア)④ 立地地区:家族や友人等との食事で利用する飲食店									
			合 計	八 幡 地 区	橋 本 地 区	美 濃 山 地 区	男 山 地 区	東 部 地 区	樟 葉 駅 周 辺	周 松 井 山 手 駅	そ の 他 市 外	無 回 答
男山地区												
よく利用する地区		(n数)	309	25	0	9	16	12	134	9	37	67
		(%)	100.0	8.1	0.0	2.9	5.2	3.9	43.4	2.9	12.0	21.7
各 地 区 へ の 交 通 手 段 (%・M・A)	徒歩	(n=39)	12.6	24.0	－	11.1	50.0	0.0	13.4	0.0	16.2	0.0
	自転車	(n=9)	2.9	4.0	－	0.0	0.0	0.0	2.2	11.1	8.1	1.5
	バイク	(n=9)	2.9	0.0	－	0.0	6.3	0.0	4.5	0.0	5.4	0.0
	自家用車(自分が運転)	(n=102)	33.0	48.0	－	77.8	25.0	75.0	34.3	55.6	37.8	7.5
	自家用車(家族等が運転)	(n=43)	13.9	24.0	－	33.3	12.5	25.0	13.4	44.4	16.2	1.5
	バス	(n=66)	21.4	0.0	－	0.0	0.0	0.0	41.8	0.0	24.3	1.5
	タクシー	(n=2)	0.6	0.0	－	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	1.5
	鉄道	(n=16)	5.2	0.0	－	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	37.8	0.0
	その他	(n=1)	0.3	0.0	－	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0

居住地区		Q32 ア)④ 立地地区:家族や友人等との食事で利用する飲食店										
		全体	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	無回答	
橋本地区												
よく利用する地区		(n数)	228	13	1	7	1	6	119	7	32	42
		(%)	100.0	5.7	0.4	3.1	0.4	2.6	52.2	3.1	14.0	18.4
各地区への交通手段 (%・M・A)	徒歩	(n=32)	14.0	0.0	100.0	0.0	100.0	16.7	19.3	0.0	18.8	0.0
	自転車	(n=14)	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0
	バイク	(n=6)	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	2.4
	自家用車(自分が運転)	(n=86)	37.7	76.9	0.0	71.4	0.0	33.3	43.7	85.7	28.1	4.8
	自家用車(家族等が運転)	(n=30)	13.2	15.4	0.0	28.6	0.0	50.0	16.0	14.3	9.4	0.0
	バス	(n=19)	8.3	7.7	100.0	0.0	0.0	0.0	13.4	0.0	0.0	2.4
	タクシー	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	鉄道	(n=40)	17.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.5	0.0	56.3	0.0
	その他	(n=1)	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0

⑤かかりつけの診療所等の医療機関

市役所周辺地区では、「八幡地区」へ「徒歩」「自転車」「自家用車(自分が運転)」で、「男山地区」へ「自家用車(自分が運転)」「徒歩」で移動する人が多い。東部地区では、「八幡地区」へ「自家用車(自分が運転)」で移動する人が多い。美濃山地区では、「松井山手駅周辺」へ「自家用車(自分が運転)」や「徒歩」「自転車」で、「美濃山地区」へ「徒歩」や「自家用車(自分が運転)」で移動する人が多くなっている。男山地区と橋本地区では、それぞれ同じ地区内へ「徒歩」で移動する人が多い。

図表 84 居住地区別での、最もよく利用する店舗・施設のある地区(SA)とそこへ行く交通手段(MA)

⑤かかりつけの診療所等の医療機関

居住地区			Q32 ア)⑤ 立地地区：かかりつけの診療所等の医療機関									
			全体	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	無回答
市役所周辺地区												
よく利用する地区		(n数)	394	152	10	7	86	0	15	3	42	79
		(%)	100.0	38.6	2.5	1.8	21.8	0.0	3.8	0.8	10.7	20.1
各地区への交通手段 (%・MA)	徒歩	(n=81)	20.6	28.9	20.0	14.3	29.1	－	6.7	0.0	14.3	2.5
	自転車	(n=51)	12.9	28.9	0.0	0.0	5.8	－	0.0	0.0	4.8	0.0
	バイク	(n=23)	5.8	6.6	0.0	0.0	11.6	－	0.0	0.0	7.1	0.0
	自家用車(自分が運転)	(n=111)	28.2	27.0	60.0	71.4	38.4	－	46.7	100.0	35.7	1.3
	自家用車(家族等が運転)	(n=35)	8.9	9.2	20.0	14.3	9.3	－	20.0	0.0	14.3	1.3
	バス	(n=23)	5.8	2.6	0.0	0.0	10.5	－	33.3	0.0	9.5	1.3
	タクシー	(n=3)	0.8	0.0	0.0	0.0	2.3	－	0.0	0.0	2.4	0.0
	鉄道	(n=14)	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	－	0.0	0.0	33.3	0.0
	その他	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	0.0	0.0	0.0	0.0

居住地区			Q32 ア)⑤ 立地地区：かかりつけの診療所等の医療機関										
			合計	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	無回答	
東部地区													
よく利用する地区			(n数)	62	18	3	2	3	0	2	7	11	16
			(%)	100.0	29.0	4.8	3.2	4.8	0.0	3.2	11.3	17.7	25.8
各地区への交通手段 (%・MA)	徒歩	(n=3)	4.8	11.1	0.0	0.0	0.0	－	50.0	0.0	0.0	0.0	
	自転車	(n=2)	3.2	11.1	0.0	0.0	0.0	－	0.0	0.0	0.0	0.0	
	バイク	(n=1)	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	－	0.0	0.0	9.1	0.0	
	自家用車(自分が運転)	(n=27)	43.5	44.4	100.0	100.0	100.0	－	0.0	100.0	36.4	0.0	
	自家用車(家族等が運転)	(n=11)	17.7	33.3	0.0	0.0	0.0	－	0.0	0.0	45.5	0.0	
	バス	(n=4)	6.5	11.1	0.0	0.0	0.0	－	100.0	0.0	0.0	0.0	
	タクシー	(n=1)	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	－	0.0	0.0	9.1	0.0	
	鉄道	(n=2)	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	－	100.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	0.0	0.0	0.0	0.0	

居住地区			Q32 ア)⑤ 立地地区：かかりつけの診療所等の医療機関										
			合 計	八 幡 地 区	橋 本 地 区	美 濃 山 地 区	男 山 地 区	東 部 地 区	樟 葉 駅 周 辺	周 松 井 山 手 駅	そ の 他 市 外	無 回 答	
よく利用する地区			(n数)	190	10	2	51	18	－	5	54	21	29
			(%)	100.0	5.3	1.1	26.8	9.5	－	2.6	28.4	11.1	15.3
各 地 区 へ の 交 通 手 段 (%・M・A)	徒歩	(n=40)	21.1	10.0	－	47.1	－	－	20.0	24.1	4.8	－	
	自転車	(n=23)	12.1	－	－	17.6	5.6	－	－	24.1	－	－	
	バイク	(n=7)	3.7	10.0	－	2.0	－	－	－	－	19.0	3.4	
	自家用車(自分が運転)	(n=66)	34.7	30.0	100.0	33.3	61.1	－	20.0	37.0	57.1	－	
	自家用車(家族等が運転)	(n=17)	8.9	40.0	－	2.0	22.2	－	－	11.1	4.8	3.4	
	バス	(n=11)	5.8	－	－	2.0	11.1	－	20.0	7.4	14.3	－	
	タクシー	(n=1)	0.5	－	－	－	－	－	－	1.9	－	－	
	鉄道	(n=2)	1.1	－	－	－	－	－	－	－	9.5	－	
	その他	(n=1)	0.5	10.0	－	－	－	－	－	－	－	－	

居住地区			Q32 ア)⑤ 立地地区：かかりつけの診療所等の医療機関									
			合計	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	無回答
男山地区												
よく利用する地区		(n数)	309	24	18	0	156	0	15	3	30	63
		(%)	100.0	7.8	5.8	0.0	50.5	0.0	4.9	1.0	9.7	20.4
各地区への交通手段 (%・MA)	徒歩	(n=99)	32.0	25.0	11.1	-	57.1	-	0.0	0.0	6.7	0.0
	自転車	(n=28)	9.1	16.7	16.7	-	9.6	-	13.3	0.0	13.3	0.0
	バイク	(n=21)	6.8	8.3	5.6	-	8.3	-	6.7	33.3	10.0	0.0
	自家用車(自分が運転)	(n=71)	23.0	33.3	61.1	-	20.5	-	46.7	66.7	33.3	1.6
	自家用車(家族等が運転)	(n=17)	5.5	12.5	5.6	-	4.5	-	0.0	0.0	16.7	1.6
	バス	(n=20)	6.5	4.2	0.0	-	3.8	-	33.3	0.0	26.7	0.0
	タクシー	(n=3)	1.0	0.0	0.0	-	1.9	-	0.0	0.0	0.0	0.0
	鉄道	(n=12)	3.9	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0	36.7	1.6
	その他	(n=0)	0.0	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0

居住地区			Q32 ア)⑤ 立地地区：かかりつけの診療所等の医療機関									
			全 体	八 幡 地 区	橋 本 地 区	美 濃 山 地 区	男 山 地 区	東 部 地 区	樟 葉 駅 周 辺	周 松 井 山 手 駅	そ の 他 市 外	無 回 答
橋本地区												
よく利用する地区		(n数)	228	14	111	1	43	0	9	0	21	29
		(%)	100.0	6.1	48.7	0.4	18.9	0.0	3.9	0.0	9.2	12.7
各 地 区 へ の 交 通 手 段 (%・MA)	徒歩	(n=82)	36.0	21.4	56.8	0.0	16.3	－	22.2	－	28.6	3.4
	自転車	(n=18)	7.9	0.0	6.3	0.0	16.3	－	33.3	－	4.8	0.0
	バイク	(n=11)	4.8	7.1	6.3	0.0	2.3	－	11.1	－	0.0	3.4
	自家用車(自分が運転)	(n=72)	31.6	42.9	27.0	100.0	55.8	－	33.3	－	38.1	0.0
	自家用車(家族等が運転)	(n=14)	6.1	7.1	4.5	0.0	16.3	－	0.0	－	4.8	0.0
	バス	(n=11)	4.8	14.3	1.8	0.0	7.0	－	11.1	－	9.5	3.4
	タクシー	(n=2)	0.9	7.1	0.0	0.0	2.3	－	0.0	－	0.0	0.0
	鉄道	(n=12)	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	－	11.1	－	52.4	0.0
	その他	(n=2)	0.9	7.1	0.0	0.0	0.0	－	0.0	－	4.8	0.0

⑥検査等が必要な場合に利用する大きな病院

市役所周辺地区では「その他市外」へ「鉄道」で、または「男山地区」へ「自家用車(自分が運転)」で移動する人が多い。東部地区と美濃山地区では「その他市外」へ「自家用車(自分が運転)」で移動する人が多い。男山地区では、「男山地区」へ「徒歩」で移動している人が多い。橋本地区では「その他市外」へ「鉄道」で、または「男山地区」へ「自家用車(自分が運転)」で移動する人が多い。

図表 85 居住地区別での、最もよく利用する店舗・施設のある地区(SA)とそこへ行く交通手段(MA)

⑥検査等が必要な場合に利用する大きな病院

居住地区		Q32 ア)⑥ 立地地区:検査等が必要な場合に利用する大きな病院									
市役所周辺地区		全 体	八 幡 地 区	橋 本 地 区	美 濃 山 地 区	男 山 地 区	東 部 地 区	樟 葉 駅 周 辺	周 松 辺 井 山 手 駅	そ の 他 市 外	無 回 答
よく利用する地区	(n数)	394	68	0	1	100	0	7	0	119	99
	(%)	100.0	17.3	0.0	0.3	25.4	0.0	1.8	0.0	30.2	25.1
各 地 区 へ の 交 通 手 段 (%・MA)	徒歩 (n=45)	11.4	23.5	-	0.0	17.0	-	0.0	-	9.2	1.0
	自転車 (n=28)	7.1	22.1	-	0.0	3.0	-	0.0	-	8.4	0.0
	バイク (n=16)	4.1	4.4	-	0.0	9.0	-	0.0	-	3.4	0.0
	自家用車(自分が運転) (n=107)	27.2	36.8	-	0.0	44.0	-	42.9	-	28.6	1.0
	自家用車(家族等が運転) (n=50)	12.7	13.2	-	100.0	21.0	-	14.3	-	15.1	0.0
	バス (n=37)	9.4	2.9	-	0.0	14.0	-	42.9	-	15.1	0.0
	タクシー (n=5)	1.3	1.5	-	0.0	1.0	-	0.0	-	2.5	0.0
	鉄道 (n=56)	14.2	0.0	-	0.0	0.0	-	14.3	-	46.2	0.0
	その他 (n=1)	0.3	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	-	0.8	0.0

居住地区		Q32 ア)⑥ 立地地区:検査等が必要な場合に利用する大きな病院									
東部地区		合 計	八 幡 地 区	橋 本 地 区	美 濃 山 地 区	男 山 地 区	東 部 地 区	樟 葉 駅 周 辺	周 松 辺 井 山 手 駅	そ の 他 市 外	無 回 答
よく利用する地区	(n数)	62	11	0	1	7	0	0	0	28	15
	(%)	100.0	17.7	0.0	1.6	11.3	0.0	0.0	0.0	45.2	24.2
各 地 区 へ の 交 通 手 段 (%・MA)	徒歩 (n=5)	8.1	27.3	-	0.0	0.0	-	-	-	3.6	6.7
	自転車 (n=3)	4.8	18.2	-	0.0	0.0	-	-	-	3.6	0.0
	バイク (n=2)	3.2	0.0	-	0.0	0.0	-	-	-	7.1	0.0
	自家用車(自分が運転) (n=25)	40.3	27.3	-	100.0	85.7	-	-	-	53.6	0.0
	自家用車(家族等が運転) (n=10)	16.1	9.1	-	0.0	14.3	-	-	-	28.6	0.0
	バス (n=7)	11.3	36.4	-	0.0	0.0	-	-	-	7.1	6.7
	タクシー (n=1)	1.6	0.0	-	0.0	0.0	-	-	-	3.6	0.0
	鉄道 (n=6)	9.7	0.0	-	0.0	0.0	-	-	-	21.4	0.0
	その他 (n=0)	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0

居住地区		Q32 ア)⑥ 立地地区:検査等が必要な場合に利用する大きな病院									
美濃山地区		合計	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松辺井山手駅	その他市外	無回答
よく利用する地区	(n数)	190	6	0	8	29	0	2	2	92	51
	(%)	100.0	3.2	0.0	4.2	15.3	0.0	1.1	1.1	48.4	26.8
各地区への交通手段 (%・MA)	徒歩 (n=10)	5.3	0.0	-	37.5	3.4	-	0.0	0.0	6.5	0.0
	自転車 (n=2)	1.1	0.0	-	12.5	3.4	-	0.0	0.0	0.0	0.0
	バイク (n=8)	4.2	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	50.0	6.5	2.0
	自家用車(自分が運転) (n=78)	41.1	66.7	-	37.5	65.5	-	0.0	50.0	53.3	3.9
	自家用車(家族等が運転) (n=28)	14.7	33.3	-	12.5	17.2	-	0.0	0.0	20.7	2.0
	バス (n=16)	8.4	0.0	-	0.0	10.3	-	50.0	0.0	12.0	2.0
	タクシー (n=1)	0.5	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	1.1	0.0
	鉄道 (n=19)	10.0	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	20.7	0.0
	その他 (n=0)	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0

居住地区		Q32 ア)⑥ 立地地区:検査等が必要な場合に利用する大きな病院									
男山地区		合計	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松辺井山手駅	その他市外	無回答
よく利用する地区	(n数)	309	17	0	0	120	0	7	0	90	75
	(%)	100.0	5.5	0.0	0.0	38.8	0.0	2.3	0.0	29.1	24.3
各地区への交通手段 (%・MA)	徒歩 (n=66)	21.4	11.8	-	-	45.0	-	14.3	-	10.0	0.0
	自転車 (n=24)	7.8	11.8	-	-	13.3	-	14.3	-	5.6	0.0
	バイク (n=15)	4.9	11.8	-	-	8.3	-	0.0	-	3.3	0.0
	自家用車(自分が運転) (n=78)	25.2	41.2	-	-	27.5	-	14.3	-	40.0	1.3
	自家用車(家族等が運転) (n=21)	6.8	11.8	-	-	5.8	-	0.0	-	13.3	0.0
	バス (n=36)	11.7	5.9	-	-	6.7	-	42.9	-	26.7	0.0
	タクシー (n=5)	1.6	0.0	-	-	1.7	-	0.0	-	3.3	0.0
	鉄道 (n=38)	12.3	0.0	-	-	0.8	-	14.3	-	38.9	1.3
	その他 (n=1)	0.3	0.0	-	-	0.0	-	0.0	-	1.1	0.0

居住地区		Q32 ア)⑥ 立地地区:検査等が必要な場合に利用する大きな病院									
橋本地区		全体	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松辺井山手駅	その他市外	無回答
よく利用する地区	(n数)	228	8	2	0	77	0	5	0	83	53
	(%)	100.0	3.5	0.9	0.0	33.8	0.0	2.2	0.0	36.4	23.2
各地区への交通手段 (%・MA)	徒歩 (n=23)	10.1	12.5	100.0	-	9.1	-	20.0	-	14.5	0.0
	自転車 (n=16)	7.0	25.0	0.0	-	11.7	-	20.0	-	4.8	0.0
	バイク (n=5)	2.2	0.0	0.0	-	3.9	-	0.0	-	2.4	0.0
	自家用車(自分が運転) (n=78)	34.2	62.5	0.0	-	63.6	-	20.0	-	27.7	0.0
	自家用車(家族等が運転) (n=18)	7.9	0.0	0.0	-	13.0	-	0.0	-	9.6	0.0
	バス (n=16)	7.0	25.0	0.0	-	10.4	-	40.0	-	3.6	1.9
	タクシー (n=1)	0.4	0.0	0.0	-	1.3	-	0.0	-	0.0	0.0
	鉄道 (n=48)	21.1	0.0	50.0	-	1.3	-	0.0	-	53.0	3.8
	その他 (n=2)	0.9	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	-	2.4	0.0

⑦よく利用する公共施設(市役所、図書館等)

市役所周辺地区、東部地区、橋本地区では、「八幡地区」へ移動する人が多い。主に「自家用車(自分が運転)」を利用しているが、市役所周辺地区では、「徒歩」や「自転車」での移動も比較的多い。美濃山地区では、「八幡地区」と「男山地区」へ「自家用車(自分が運転)」で移動する人が多い。男山地区では、「男山地区」へ「徒歩」で、また「八幡地区」へ「自家用車(自分が運転)」で移動する人が多い。

図表 86 居住地区別での、最もよく利用する店舗・施設のある地区(SA)とそこへ行く交通手段(MA)

⑦よく利用する公共施設(市役所、図書館等)

居住地区		Q32 ア)⑦ 立地地区:よく利用する公共施設									
市役所周辺地区		全 体	八 幡 地 区	橋 本 地 区	美 濃 山 地 区	男 山 地 区	東 部 地 区	樟 葉 駅 周 辺	周 松 辺 井 山 手 駅	そ の 他 市 外	無 回 答
よく利用する地区	(n数)	394	196	3	0	38	5	2	1	5	144
	(%)	100.0	49.7	0.8	0.0	9.6	1.3	0.5	0.3	1.3	36.5
各 地 区 へ の 交 通 手 段 (%・MA)	徒歩	(n=68)	17.3	26.0	33.3	—	28.9	0.0	0.0	20.0	2.8
	自転車	(n=56)	14.2	24.5	33.3	—	10.5	0.0	0.0	0.0	2.1
	バイク	(n=28)	7.1	8.7	0.0	—	13.2	40.0	0.0	100.0	2.1
	自家用車(自分が運転)	(n=99)	25.1	37.8	0.0	—	36.8	60.0	50.0	0.0	4.2
	自家用車(家族等が運転)	(n=19)	4.8	6.1	0.0	—	7.9	0.0	50.0	0.0	1.4
	バス	(n=8)	2.0	2.6	33.3	—	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	タクシー	(n=0)	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	鉄道	(n=4)	1.0	0.5	33.3	—	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	その他	(n=0)	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

居住地区		Q32 ア)⑦ 立地地区:よく利用する公共施設									
東部地区		合 計	八 幡 地 区	橋 本 地 区	美 濃 山 地 区	男 山 地 区	東 部 地 区	樟 葉 駅 周 辺	周 松 辺 井 山 手 駅	そ の 他 市 外	無 回 答
よく利用する地区	(n数)	62	31	0	0	1	1	0	1	3	25
	(%)	100.0	50.0	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	1.6	4.8	40.3
各 地 区 へ の 交 通 手 段 (%・MA)	徒歩	(n=3)	4.8	3.2	—	—	0.0	0.0	—	100.0	33.3
	自転車	(n=3)	4.8	9.7	—	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	バイク	(n=3)	4.8	9.7	—	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	自家用車(自分が運転)	(n=22)	35.5	54.8	—	—	100.0	0.0	—	0.0	66.7
	自家用車(家族等が運転)	(n=8)	12.9	22.6	—	—	0.0	100.0	—	0.0	0.0
	バス	(n=6)	9.7	9.7	—	—	0.0	0.0	—	100.0	33.3
	タクシー	(n=0)	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	鉄道	(n=2)	3.2	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.0	66.7
	その他	(n=0)	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0

居住地区			Q32 ア)⑦ 立地地区：よく利用する公共施設									
			合計	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周辺井山手駅	その他市外	無回答
美濃山地区												
よく利用する地区		(n数)	190	55	0	15	41	2	1	0	9	67
		(%)	100.0	28.9	0.0	7.9	21.6	1.1	0.5	0.0	4.7	35.3
各地区への交通手段 (%・MA)	徒歩	(n=13)	6.8	5.5	－	26.7	12.2	0.0	0.0	－	11.1	0.0
	自転車	(n=16)	8.4	3.6	－	40.0	17.1	0.0	0.0	－	11.1	0.0
	バイク	(n=7)	3.7	1.8	－	6.7	4.9	0.0	0.0	－	33.3	0.0
	自家用車(自分が運転)	(n=69)	36.3	69.1	－	13.3	51.2	100.0	0.0	－	11.1	7.5
	自家用車(家族等が運転)	(n=19)	10.0	21.8	－	20.0	9.8	0.0	0.0	－	0.0	0.0
	バス	(n=9)	4.7	5.5	－	0.0	9.8	0.0	100.0	－	11.1	0.0
	タクシー	(n=0)	0.0	0.0	－	0.0	0.0	0.0	0.0	－	0.0	0.0
	鉄道	(n=2)	1.1	0.0	－	0.0	0.0	0.0	0.0	－	11.1	1.5
	その他	(n=0)	0.0	0.0	－	0.0	0.0	0.0	0.0	－	0.0	0.0

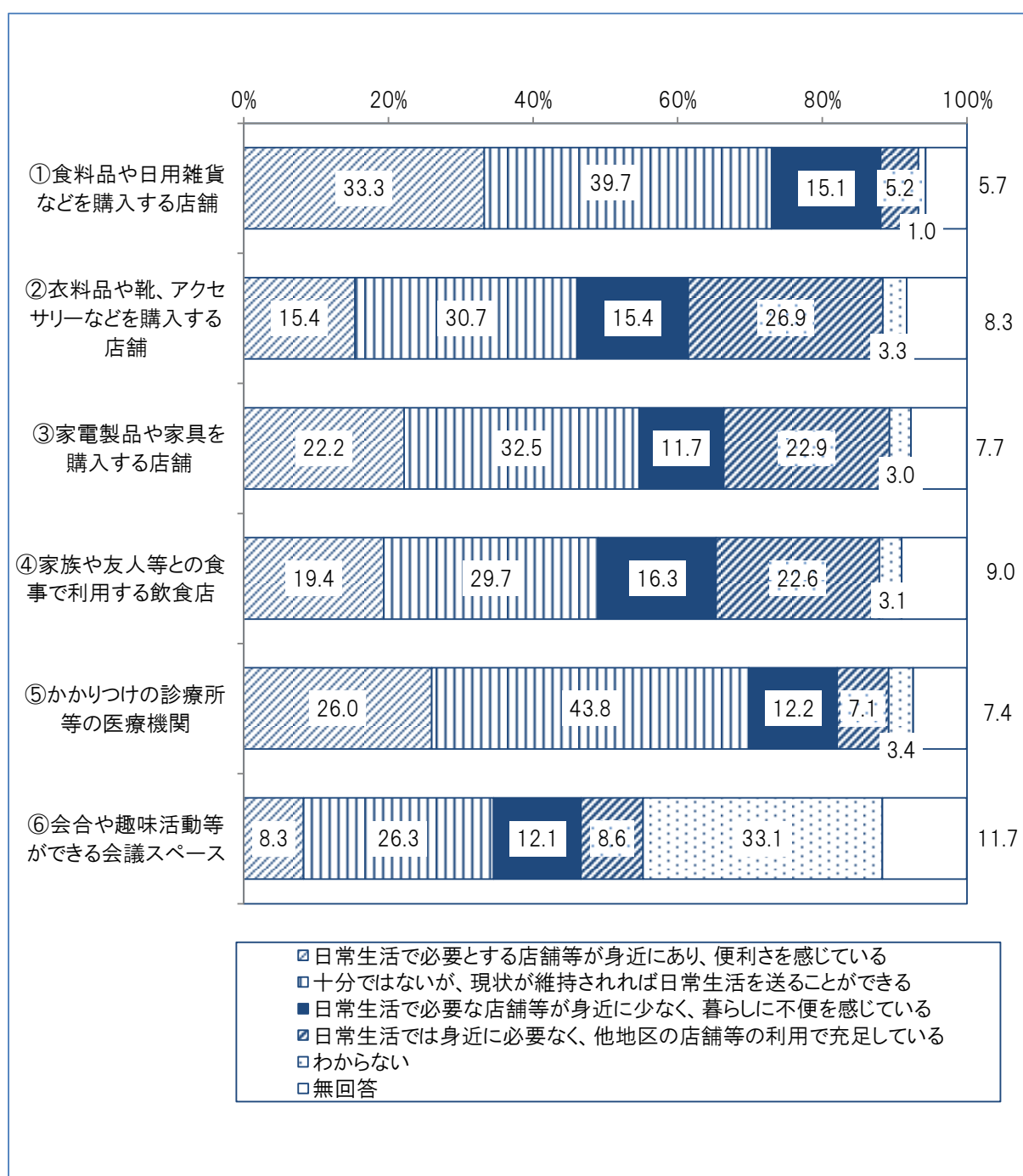
居住地区		Q32 ア)⑦ 立地地区:よく利用する公共施設										
		合計	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周松井山手駅	その他市外	無回答	
男山地区												
よく利用する地区		(n数)	309	87	2	0	106	2	1	1	3	107
		(%)	100.0	28.2	0.6	0.0	34.3	0.6	0.3	0.3	1.0	34.6
各地区へ(%)・MA)の交通手段	徒歩	(n=64)	20.7	9.2	0.0	-	52.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
	自転車	(n=32)	10.4	4.6	50.0	-	24.5	0.0	0.0	100.0	0.0	
	バイク	(n=17)	5.5	10.3	0.0	-	6.6	50.0	0.0	0.0	0.0	
	自家用車(自分が運転)	(n=72)	23.3	56.3	50.0	-	15.1	50.0	0.0	0.0	100.0	
	自家用車(家族等が運転)	(n=11)	3.6	10.3	0.0	-	0.9	0.0	0.0	0.0	33.3	
	バス	(n=20)	6.5	14.9	0.0	-	4.7	0.0	100.0	0.0	0.0	
	タクシー	(n=0)	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	鉄道	(n=0)	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	(n=0)	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

居住地区			Q32 ア)⑦ 立地地区:よく利用する公共施設										
			全体	八幡地区	橋本地区	美濃山地区	男山地区	東部地区	樟葉駅周辺	周辺井山手駅	その他市外	無回答	
橋本地区													
よく利用する地区			(n数)	228	108	11	2	40	1	2	0	5	59
			(%)	100.0	47.4	4.8	0.9	17.5	0.4	0.9	0.0	2.2	25.9
各地区への交通手段 (%・MA)	徒歩	(n=20)	8.8	3.7	54.5	0.0	20.0	0.0	0.0	-	20.0	1.7	
	自転車	(n=30)	13.2	12.0	9.1	0.0	35.0	0.0	50.0	-	20.0	0.0	
	バイク	(n=16)	7.0	10.2	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	-	0.0	0.0	
	自家用車(自分が運転)	(n=95)	41.7	62.0	27.3	100.0	40.0	100.0	50.0	-	40.0	5.1	
	自家用車(家族等が運転)	(n=18)	7.9	13.0	9.1	0.0	5.0	0.0	0.0	-	20.0	0.0	
	バス	(n=14)	6.1	3.7	9.1	0.0	12.5	0.0	0.0	-	0.0	6.8	
	タクシー	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	
	鉄道	(n=2)	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	20.0	0.0	
	その他	(n=1)	0.4	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	

② 居住地区での店舗等の充足状況（問 33）

居住地区での店舗等の充足状況について聞いたところ、「日常生活に必要な店舗等が身近に少なく暮らしに不便を感じている」割合は、「④家族や友人等との食事で利用する飲食店」が16.3%で最も多く、次いで「②衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗」(15.4%)、「①食料品や日用雑貨などを購入する店舗」(15.1%)となっている。

図表 87 居住地区での店舗等の充足状況(SA) (n=1,192)



①食料品や日用雑貨などを購入する店舗

居住地別では、美濃山地区で「日常生活で必要とする店舗等が身近にあり、便利さを感じている」が全体に比べて多くなっている。一方、東部地区と橋本地区では「日常生活に必要な店舗等が身近に少なく、暮らしに不便を感じている」が全体に比べて多くなっている。

図表 88 居住地区での店舗等の充足状況(SA)
①食料品や日用雑貨などを購入する店舗 (性・年齢別、居住地別)

			てが日 い身常 る近生 に活 あで り必 、要 便と 利す さる を店 感舗 じ等	がさ十 でれ分 きれば るは 日ない 常い 生が 活、 を現 送状 るが こと 維持	感近日 じに常 て少生 いなく るで 、必 暮要 らし店 に舗 不等 便が を身	充く日 足、常 し他生 て地活 区では の身 店近 舗に 等の 必要 な 利用 で	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			33.3	39.7	15.1	5.2	1.0	5.7
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	33.4	39.5	14.3	5.3	1.0	6.5
	18～29歳	[N= 54]	40.7	35.2	13.0	5.6	1.9	3.7
	30歳代	[N= 60]	41.7	36.7	15.0	0.0	3.3	3.3
	40歳代	[N= 69]	36.2	43.5	13.0	1.4	0.0	5.8
	50歳代	[N= 58]	17.2	51.7	17.2	8.6	1.7	3.4
	60歳代	[N= 109]	40.4	34.9	14.7	6.4	0.0	3.7
	70歳以上	[N= 158]	27.8	38.6	13.9	7.0	0.6	12.0
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	33.4	40.0	15.7	4.9	1.0	5.0
	18～29歳	[N= 95]	47.4	34.7	7.4	7.4	0.0	3.2
	30歳代	[N= 96]	40.6	33.3	18.8	4.2	3.1	0.0
	40歳代	[N= 100]	26.0	50.0	16.0	7.0	1.0	0.0
	50歳代	[N= 92]	32.6	41.3	15.2	7.6	1.1	2.2
	60歳代	[N= 135]	30.4	43.7	17.8	3.0	0.7	4.4
	70歳以上	[N= 159]	28.3	37.1	17.0	2.5	0.6	14.5
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	35.3	45.4	7.1	3.8	0.8	7.6
	東部	[N= 62]	17.7	37.1	27.4	11.3	0.0	6.5
	美濃山	[N= 190]	56.8	33.7	4.7	1.1	0.5	3.2
	男山	[N= 309]	34.3	40.8	12.9	5.5	1.6	4.9
	橋本	[N= 228]	13.6	33.8	37.3	9.2	1.3	4.8

②衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗

居住地別では、充足状況に大きな違いはみられない。

図表 89 居住地区での店舗等の充足状況(SA)

②衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗 (性・年齢別、居住地別)

(%)

		てが日 い身常 る近生 に活 あり必 、要 便利 さを 感じ 等	がさ十 でれ分 きるは るば ない が、 現 状が 維持	感近日 じに常 て少生 いる活 、必 暮要 らし に店 舗等 が身	充く日 足、常 し他生 て地活 区では の身 店舗 等に 必要 な 利用 な で	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		15.4	30.7	15.4	26.9	3.3	8.3
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]	13.2	37.1	13.2	23.2	3.7	9.6
	18～29歳 [N= 54]	14.8	33.3	20.4	22.2	3.7	5.6
	30歳代 [N= 60]	16.7	45.0	16.7	13.3	5.0	3.3
	40歳代 [N= 69]	14.5	47.8	18.8	11.6	1.4	5.8
	50歳代 [N= 58]	5.2	43.1	8.6	34.5	3.4	5.2
	60歳代 [N= 109]	18.3	30.3	14.7	22.9	6.4	7.3
	70歳以上 [N= 158]	10.1	33.5	7.6	27.8	2.5	18.4
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]	17.1	26.1	16.8	29.7	3.0	7.2
	18～29歳 [N= 95]	23.2	28.4	13.7	29.5	2.1	3.2
	30歳代 [N= 96]	27.1	22.9	15.6	30.2	4.2	0.0
	40歳代 [N= 100]	16.0	41.0	20.0	21.0	1.0	1.0
	50歳代 [N= 92]	18.5	26.1	21.7	30.4	1.1	2.2
	60歳代 [N= 135]	15.6	21.5	20.7	31.9	3.7	6.7
	70歳以上 [N= 159]	8.8	21.4	11.3	32.7	4.4	21.4
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	17.5	34.0	13.2	22.8	2.5	9.9
	東部 [N= 62]	11.3	27.4	19.4	27.4	4.8	9.7
	美濃山 [N= 190]	19.5	34.7	17.9	20.0	2.6	5.3
	男山 [N= 309]	16.2	28.8	12.9	30.4	3.9	7.8
	橋本 [N= 228]	8.3	25.9	19.3	36.0	3.1	7.5

③家電製品や家具を購入する店舗

居住地別では、美濃山地区で「日常生活で必要とする店舗等が身近にあり、便利さを感じている」が全体に比べて多くなっている。また、橋本地区では「日常生活では身近に必要なく、他地区の店舗等の利用で充足している」が全体に比べて多くなっている。

図表 90 居住地区での店舗等の充足状況(SA)
③家電製品や家具を購入する店舗（性・年齢別、居住地別）

			てが日 い身常 る近生 に活 あで り必 、要 、便 利 さ を 感 じ 等	がさ十 でれ分 きれば るは ない が、 現 状 が 維 持	感近日 じに常 て少生 いなく 、必 暮要 らし店 に舗 不等 便が を身	充く日 足、常 し他生 て地区 いるは の身 店近 舗に 等の 必要 な で	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			22.2	32.5	11.7	22.9	3.0	7.7
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	22.0	34.4	11.6	20.4	3.5	8.1
	18～29歳	[N= 54]	22.2	40.7	11.1	20.4	1.9	3.7
	30歳代	[N= 60]	23.3	40.0	11.7	15.0	6.7	3.3
	40歳代	[N= 69]	26.1	36.2	15.9	14.5	2.9	4.3
	50歳代	[N= 58]	13.8	41.4	8.6	25.9	3.4	6.9
	60歳代	[N= 109]	27.5	29.4	10.1	22.0	5.5	5.5
	70歳以上	[N= 158]	19.0	30.4	12.0	21.5	1.9	15.2
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	22.6	31.0	11.5	25.0	2.7	7.2
	18～29歳	[N= 95]	28.4	29.5	7.4	23.2	5.3	6.3
	30歳代	[N= 96]	27.1	30.2	9.4	27.1	4.2	2.1
	40歳代	[N= 100]	20.0	42.0	11.0	26.0	1.0	0.0
	50歳代	[N= 92]	26.1	28.3	10.9	29.3	3.3	2.2
	60歳代	[N= 135]	22.2	31.9	14.8	24.4	1.5	5.2
居住地別	70歳以上	[N= 159]	16.4	26.4	13.2	22.0	1.9	20.1
	市役所周辺	[N= 394]	23.1	35.5	10.2	18.3	3.6	9.4
	東部	[N= 62]	25.8	35.5	9.7	14.5	3.2	11.3
	美濃山	[N= 190]	44.2	33.7	3.2	13.7	1.1	4.2
	男山	[N= 309]	16.2	32.7	12.9	27.8	4.2	6.1
居住地別	橋本	[N= 228]	10.5	25.9	19.7	34.6	1.8	7.5

④家族や友人等との食事で利用する飲食店

居住地別では、美濃山地区で「日常生活で必要とする店舗等が身近にあり、便利さを感じている」が全体に比べて多くなっている。一方、橋本地区では「日常生活に必要な店舗等が身近に少なく、暮らしに不便を感じている」が全体に比べて多くなっている。

図表 91 居住地区での店舗等の充足状況(SA)
④家族や友人等との食事で利用する飲食店（性・年齢別、居住地別）

			てが日 い身常 る近生 に活 あで り必 、要 便と 利す さる を店 感舗 じ等	がさ十 でれ分 きれば るは 日常 ない が、 現生 状を 送維 る持 こと	感近日 じに常 て少生 いる活 、で 必、 暮要 らし に店 舗不 等が を身	充く日 足、常 し他生 て地活 区では の身 店舗近 等のに 必要 な利用 なで	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			19.4	29.7	16.3	22.6	3.1	9.0
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	17.1	32.2	16.7	20.8	3.7	9.4
	18～29歳	[N= 54]	20.4	42.6	14.8	14.8	1.9	5.6
	30歳代	[N= 60]	18.3	33.3	25.0	10.0	8.3	5.0
	40歳代	[N= 69]	17.4	47.8	14.5	13.0	1.4	5.8
	50歳代	[N= 58]	12.1	29.3	15.5	32.8	3.4	6.9
	60歳代	[N= 109]	20.2	23.9	14.7	26.6	7.3	7.3
	70歳以上	[N= 158]	15.2	28.5	17.1	22.2	0.6	16.5
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	21.3	27.9	15.8	23.8	2.7	8.6
	18～29歳	[N= 95]	28.4	28.4	20.0	18.9	1.1	3.2
	30歳代	[N= 96]	31.3	25.0	15.6	22.9	4.2	1.0
	40歳代	[N= 100]	18.0	39.0	14.0	24.0	3.0	2.0
	50歳代	[N= 92]	20.7	32.6	16.3	27.2	0.0	3.3
	60歳代	[N= 135]	17.8	28.9	15.6	28.1	2.2	7.4
	70歳以上	[N= 159]	16.4	18.9	14.5	21.4	4.4	24.5
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	17.5	30.7	15.7	22.8	3.0	10.2
	東部	[N= 62]	14.5	32.3	16.1	21.0	4.8	11.3
	美濃山	[N= 190]	42.1	30.5	6.8	10.0	2.6	7.9
	男山	[N= 309]	15.9	31.1	15.2	25.2	4.5	8.1
	橋本	[N= 228]	10.1	25.0	26.3	30.3	0.9	7.5

⑤かかりつけの診療所等の医療機関

居住地別では、東部地区で「日常生活に必要な店舗等が身近に少なく、暮らしに不便を感じている」が全体に比べて多くなっている。

図表 92 居住地区での店舗等の充足状況(SA)
⑤かかりつけの診療所等の医療機関 (性・年齢別、居住地別)

(%)

			てが日 い身常 る近生 に活 あり必 、要 便利と さを 感舗 じ等	がさ十 でれ分 きれば るはない 日常 生が 活、 現状 を送 るが こと 持	感近日 じに常 て少生 いる活 、必 、要 暮ら しに 舗等 が身	充く日 足、常 し他生 て地活 区では の身 近に の必 要な で	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			26.0	43.8	12.2	7.1	3.4	7.4
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		26.3	44.2	10.8	7.5	3.3	7.9
	18～29歳 [N= 54]		20.4	50.0	11.1	9.3	3.7	5.6
	30歳代 [N= 60]		28.3	41.7	16.7	0.0	10.0	3.3
	40歳代 [N= 69]		26.1	44.9	13.0	10.1	2.9	2.9
	50歳代 [N= 58]		17.2	53.4	10.3	8.6	5.2	5.2
	60歳代 [N= 109]		33.9	41.3	10.1	6.4	1.8	6.4
	70歳以上 [N= 158]		25.9	41.8	7.6	8.9	1.3	14.6
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		26.0	43.7	13.1	6.6	3.5	6.9
	18～29歳 [N= 95]		28.4	41.1	9.5	8.4	7.4	5.3
	30歳代 [N= 96]		33.3	36.5	14.6	7.3	6.3	2.1
	40歳代 [N= 100]		20.0	50.0	20.0	4.0	3.0	3.0
	50歳代 [N= 92]		18.5	47.8	14.1	13.0	2.2	4.3
	60歳代 [N= 135]		22.2	51.9	12.6	4.4	3.0	5.9
	70歳以上 [N= 159]		31.4	36.5	10.1	5.0	1.3	15.7
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		25.1	43.4	12.7	6.6	4.1	8.1
	東部 [N= 62]		12.9	40.3	24.2	6.5	3.2	12.9
	美濃山 [N= 190]		33.2	39.5	7.9	9.5	4.7	5.3
	男山 [N= 309]		27.8	47.2	8.7	6.5	3.6	6.1
	橋本 [N= 228]		22.8	45.6	16.2	7.5	0.9	7.0

⑥会合や趣味活動等ができる会議スペース

居住地別では、充足状況に大きな違いはみられない。

図表 93 居住地区での店舗等の充足状況(SA)
⑥会合や趣味活動等ができる会議スペース（性・年齢別、居住地別）

(%)

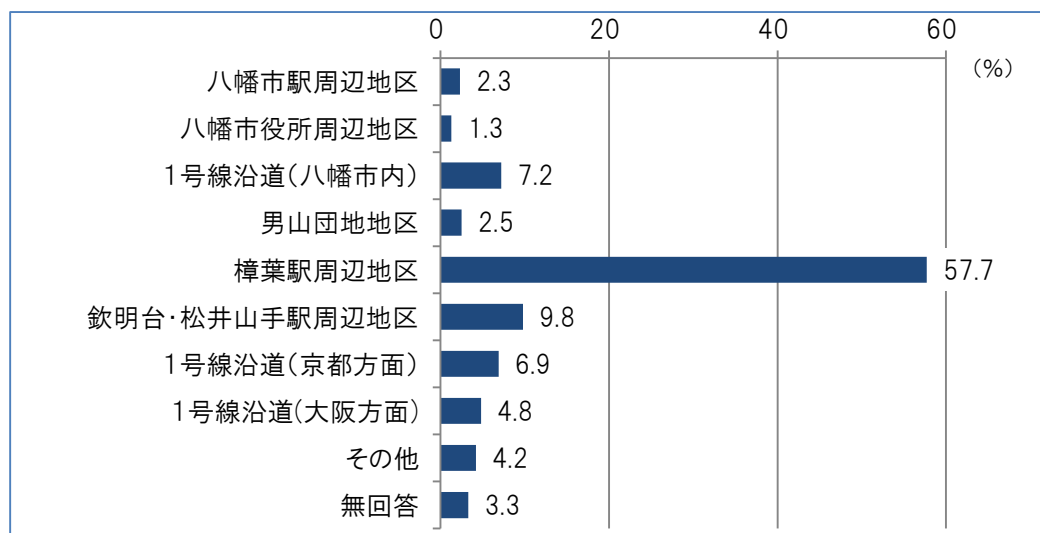
		てが日 い身常 る近生 に活 あり必 、要 便と 利す さを 感店 じ舗 等	がさ十 でれ分 きるは るば ない が、 現 状が 維 持	感近日 じに常 て少生 いる活 、必 暮要 らし に店 舗 等 が 身	充く日 足、常 し他生 て地活 区では の身 店近 舗に 等の 必要 な で	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		8.3	26.3	12.1	8.6	33.1	11.7
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]	8.1	26.9	13.4	9.2	30.8	11.6
	18～29歳 [N= 54]	3.7	33.3	16.7	9.3	27.8	9.3
	30歳代 [N= 60]	6.7	26.7	16.7	10.0	35.0	5.0
	40歳代 [N= 69]	8.7	27.5	15.9	8.7	33.3	5.8
	50歳代 [N= 58]	5.2	27.6	17.2	13.8	31.0	5.2
	60歳代 [N= 109]	9.2	21.1	17.4	6.4	37.6	8.3
	70歳以上 [N= 158]	10.1	28.5	5.7	9.5	24.1	22.2
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]	8.6	25.7	10.9	8.1	34.9	11.8
	18～29歳 [N= 95]	7.4	22.1	11.6	8.4	44.2	6.3
	30歳代 [N= 96]	10.4	16.7	13.5	8.3	47.9	3.1
	40歳代 [N= 100]	4.0	32.0	11.0	7.0	42.0	4.0
	50歳代 [N= 92]	8.7	26.1	14.1	12.0	33.7	5.4
	60歳代 [N= 135]	10.4	29.6	12.6	7.4	29.6	10.4
	70歳以上 [N= 159]	9.4	25.8	5.7	6.9	22.0	30.2
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	9.1	25.1	9.6	7.1	34.8	14.2
	東部 [N= 62]	8.1	27.4	17.7	9.7	21.0	16.1
	美濃山 [N= 190]	11.1	20.5	16.3	10.0	34.7	7.4
	男山 [N= 309]	8.4	27.8	9.1	9.4	35.0	10.4
	橋本 [N= 228]	4.8	31.1	15.4	8.8	29.4	10.5

③ 他地区の店舗等を利用する場合に最もよく利用する地区（問 34）

他地区の店舗等を利用する場合に最もよく利用する地区を聞いたところ、「樟葉駅周辺地区」が57.7%と最も多くなっている。

居住地別では、全ての地区で「樟葉駅周辺地区」の割合が最も多く、特に橋本地区で「樟葉駅周辺地区」の割合が、全体に比べて多くなっている。また、東部地区と美濃山地区で「欽明台・松井山手駅周辺地区」の割合が、全体に比べて多くなっている。

図表 94 他地区の店舗等を利用する場合に最もよく利用する地区(SA) (n=1,192)



図表 95 他地区の店舗等を利用する場合に最もよく利用する地区(SA) (性・年齢別、居住地別)

			八幡市駅 周辺地区	八幡市役 所周辺地 区	1号線沿 道(八幡 市内)	男山団地 地区	樟葉駅周 辺地区	欽明台・ 松井山手 駅周辺地 区	1号線沿 道(京都 方面)	1号線沿 道(大阪 方面)	その他	無回答
全体		[N= 1,192]	2.3	1.3	7.2	2.5	57.7	9.8	6.9	4.8	4.2	3.3
男性・ 年齢別	男性全体	[N= 509]	1.8	1.4	10.8	3.1	52.5	9.8	8.4	4.7	4.9	2.6
	18～29歳	[N= 54]	1.9	0.0	7.4	0.0	63.0	13.0	7.4	3.7	3.7	0.0
	30歳代	[N= 60]	6.7	0.0	3.3	5.0	50.0	11.7	6.7	5.0	8.3	3.3
	40歳代	[N= 69]	0.0	1.4	8.7	2.9	47.8	13.0	11.6	8.7	5.8	0.0
	50歳代	[N= 58]	3.4	1.7	17.2	0.0	51.7	6.9	8.6	5.2	1.7	3.4
	60歳代	[N= 109]	0.9	0.9	11.9	1.8	48.6	11.9	11.0	5.5	5.5	1.8
	70歳以上	[N= 158]	0.6	2.5	12.7	5.7	55.1	5.7	6.3	2.5	4.4	4.4
女性・ 年齢別	女性全体	[N= 677]	2.7	1.3	4.6	1.9	61.6	9.9	5.8	4.9	3.7	3.7
	18～29歳	[N= 95]	1.1	0.0	0.0	0.0	68.4	8.4	7.4	9.5	2.1	3.2
	30歳代	[N= 96]	0.0	0.0	5.2	0.0	66.7	10.4	11.5	5.2	1.0	0.0
	40歳代	[N= 100]	2.0	2.0	6.0	0.0	58.0	10.0	5.0	8.0	8.0	1.0
	50歳代	[N= 92]	2.2	2.2	6.5	1.1	59.8	9.8	10.9	2.2	4.3	1.1
	60歳代	[N= 135]	3.7	0.7	4.4	4.4	64.4	10.4	4.4	2.2	3.7	1.5
	70歳以上	[N= 159]	5.0	2.5	5.0	3.8	55.3	10.1	0.0	3.8	3.1	11.3
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	4.6	2.0	8.6	2.0	50.3	8.4	11.2	5.6	4.1	3.3
	東部	[N= 62]	3.2	1.6	12.9	0.0	35.5	25.8	3.2	4.8	8.1	4.8
	美濃山	[N= 190]	1.6	1.1	6.8	0.0	43.2	24.2	8.9	7.9	3.7	2.6
	男山	[N= 309]	1.0	0.6	6.1	6.1	63.8	5.2	4.5	4.9	4.9	2.9
	橋本	[N= 228]	0.4	1.3	5.3	1.3	80.3	2.6	2.2	0.9	2.6	3.1

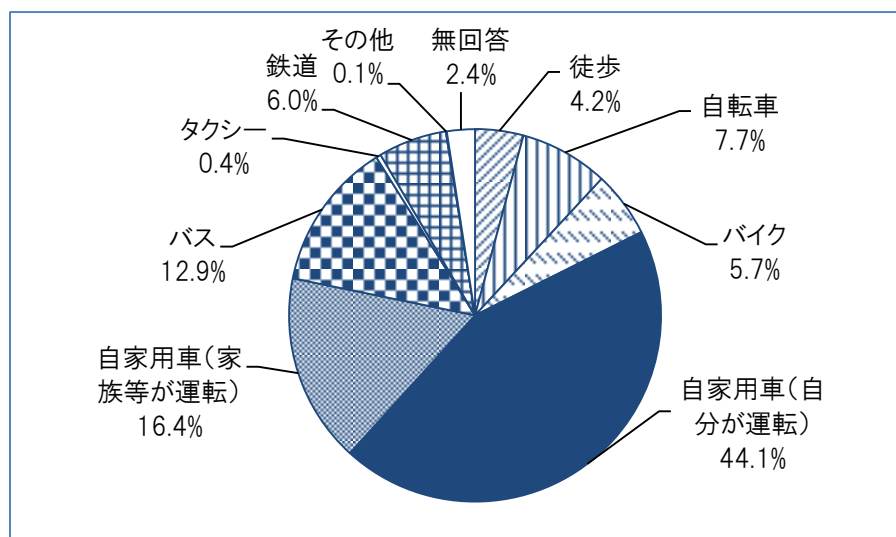
④ 他地区に行く時に主に利用する交通手段（問 35）

他地区に行く時に主に利用する交通手段は、「自家用車（自分が運転）」が 44.1%と最も多く、次いで「自家用車（家族等が運転）」（16.4%）、「バス」（12.9%）となっている。

性・年齢別では、多くの年代において「自家用車（自分が運転）」が最も多くなっているが、18～29歳女性では「自家用車（家族等が運転）」、70歳以上女性では「バス」が最も多くなっている。

居住地別では、東部地区において「バス」の利用割合が全体に比べて少ない。

図表 96 他地区に行く時に主に利用する交通手段(SA) (n=1,192)



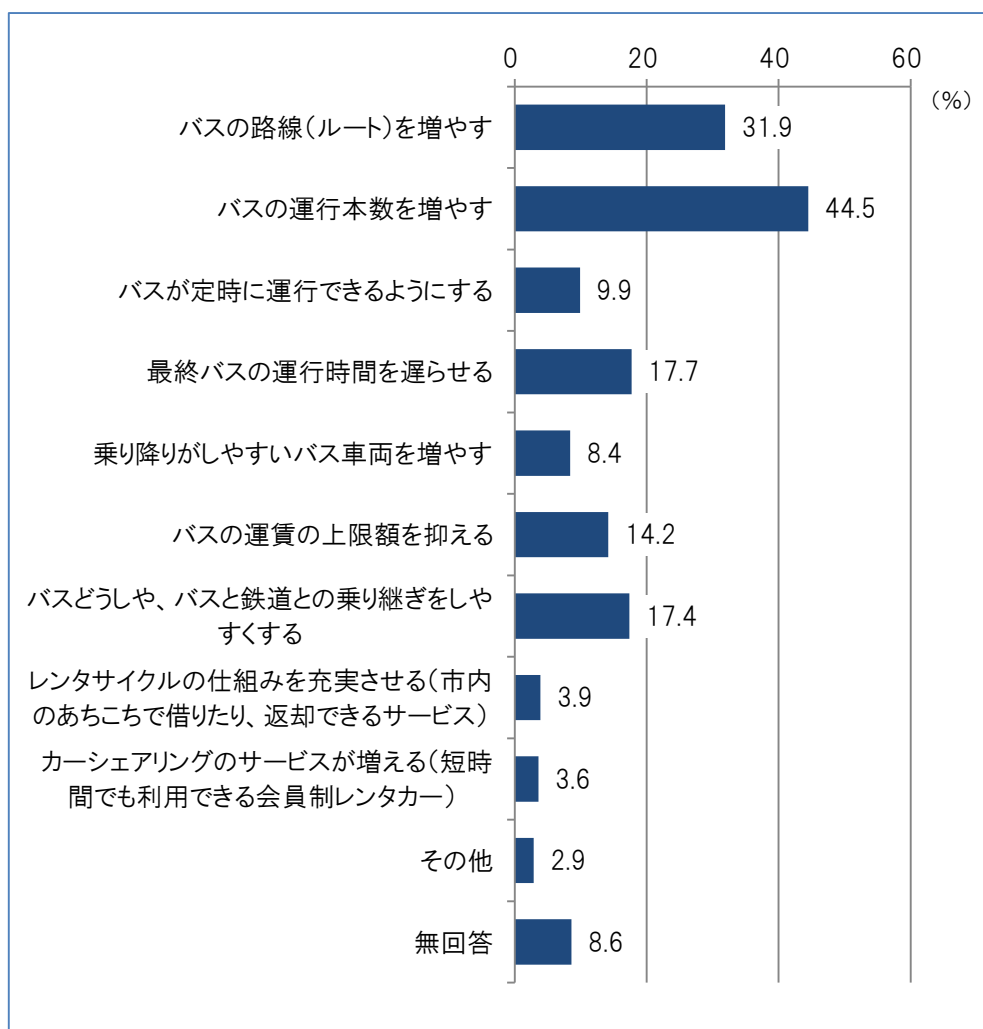
図表 97 他地区に行く時に主に利用する交通手段(SA)（性・年齢別、居住地別）

			徒歩	自転車	バイク	自家用車 （自分が 運転）	自家用車 （家族等 が運転）	バス	タクシー	鉄道	その他	無回答
			(%)									
全体 [N= 1,192]			4.2	7.7	5.7	44.1	16.4	12.9	0.4	6.0	0.1	2.4
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		4.5	8.8	3.9	54.4	11.4	9.8	0.2	5.1	0.0	1.8
	18～29歳 [N= 54]		3.7	16.7	9.3	37.0	13.0	7.4	0.0	13.0	0.0	0.0
	30歳代 [N= 60]		3.3	5.0	3.3	65.0	10.0	8.3	0.0	3.3	0.0	1.7
	40歳代 [N= 69]		5.8	4.3	2.9	66.7	10.1	2.0	0.0	7.2	0.0	0.0
	50歳代 [N= 58]		1.7	3.4	3.4	60.3	12.1	8.6	0.0	6.9	0.0	3.4
	60歳代 [N= 109]		3.7	6.4	3.7	66.1	9.2	5.5	0.0	4.6	0.0	0.9
	70歳以上 [N= 158]		6.3	13.3	3.2	40.5	13.3	17.7	0.6	1.9	0.0	3.2
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]		4.0	6.9	6.9	36.5	20.4	15.2	0.6	6.5	0.1	2.8
	18～29歳 [N= 95]		1.1	6.3	10.5	21.1	25.3	16.8	0.0	16.8	0.0	2.1
	30歳代 [N= 96]		2.1	6.3	3.1	53.1	17.7	12.5	0.0	5.2	0.0	0.0
	40歳代 [N= 100]		5.0	5.0	3.0	55.0	16.0	8.0	0.0	7.0	0.0	1.0
	50歳代 [N= 92]		1.1	6.5	9.8	56.5	10.9	10.9	0.0	3.3	0.0	1.1
	60歳代 [N= 135]		3.0	9.6	8.1	36.3	25.2	13.3	0.0	3.7	0.0	0.7
	70歳以上 [N= 159]		8.8	6.9	6.9	12.6	23.3	24.5	2.5	5.0	0.6	8.8
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		4.1	8.9	6.3	42.1	17.8	12.2	0.3	5.8	0.0	2.5
	東部 [N= 62]		0.0	3.2	4.8	51.6	25.8	1.6	1.6	6.5	1.6	3.2
	美濃山 [N= 190]		6.3	5.3	4.7	49.5	18.4	11.1	0.0	2.6	0.0	2.1
	男山 [N= 309]		5.2	7.8	7.1	40.8	14.2	20.7	0.6	2.3	0.0	1.3
	橋本 [N= 228]		2.6	8.8	3.9	46.5	13.2	7.5	0.4	14.0	0.0	3.1

⑤ 市内での公共的な移動手段について充実を望むこと（問 36）

市内での公共的な移動手段について充実を望むことは、「バスの運行本数を増やす」が 44.5%で最も多く、次いで「バスの路線（ルート）を増やす」（31.9%）、「最終バスの運行時間を遅らせる」（17.7%）となっている。

図表 98 市内での公共的な移動手段について充実を望むこと(2つまで) (n=1,192)



性・年齢別では、18～29歳女性で「最終バスの運行時間を遅らせる」と「バスが定時に運行できるようにする」が、全体に比べて多くなっている。

居住地別では、東部地区では「バスの運行本数を増やす」と「バスの路線(ルート)を増やす」が、美濃山地区では「バスの路線(ルート)を増やす」が、全体に比べて多くなっている。

図表 99 市内での公共的な移動手段について充実を望むこと(2つまで) (性・年齢別、居住地別)

			バスの路線(ルート)を増やす	バスの運行本数を増やす	バスが定時に運行できるようにする	最終バスの運行時間を遅らせる	乗り降りしやすいバス車両を増やす	バスの運賃の上限額を抑える	バスどうしや、バスと鉄道との乗り継ぎをしやすくする	市内のあちこちで借りたレンタサイクルの仕組みを充実させる(返却できるサードピス)	カーシェアリングのサービスが増える(短時間でも利用できる会員制レンタカー)	その他	無回答
全体 [N= 1,192]			31.9	44.5	9.9	17.7	8.4	14.2	17.4	3.9	3.6	2.9	8.6
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	30.3	41.3	8.6	17.7	7.9	15.7	18.3	5.9	6.1	3.1	7.7
	18～29歳	[N= 54]	24.1	44.4	11.1	25.9	5.6	5.6	20.4	11.1	7.4	1.9	1.9
	30歳代	[N= 60]	25.0	43.3	11.7	25.0	3.3	18.3	25.0	6.7	5.0	0.0	1.7
	40歳代	[N= 69]	33.3	40.6	4.3	24.6	5.8	11.6	26.1	5.8	5.8	1.4	2.9
	50歳代	[N= 58]	20.7	43.1	5.2	22.4	5.2	12.1	17.2	5.2	8.6	6.9	5.2
	60歳代	[N= 109]	33.9	34.9	8.3	11.9	8.3	22.9	19.3	5.5	7.3	2.8	11.9
	70歳以上	[N= 158]	33.5	43.7	10.1	11.4	12.0	16.5	11.4	4.4	3.8	4.4	12.0
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	33.2	47.0	10.6	17.9	8.9	13.1	16.7	2.4	1.8	2.7	9.2
	18～29歳	[N= 95]	22.1	48.4	20.0	36.8	3.2	8.4	15.8	1.1	3.2	5.3	4.2
	30歳代	[N= 96]	32.3	45.8	14.6	17.7	7.3	17.7	16.7	3.1	1.0	2.1	4.2
	40歳代	[N= 100]	38.0	53.0	10.0	20.0	4.0	7.0	21.0	2.0	4.0	1.0	6.0
	50歳代	[N= 92]	32.6	48.9	7.6	22.8	3.3	16.3	19.6	3.3	1.1	2.2	10.9
	60歳代	[N= 135]	38.5	43.0	7.4	14.1	13.3	13.3	21.5	3.7	1.5	2.2	6.7
	70歳以上	[N= 159]	33.3	45.3	7.5	5.7	15.7	15.1	8.8	1.3	0.6	3.1	18.2
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	26.9	42.1	9.9	18.3	7.9	14.0	18.5	4.8	3.0	4.1	9.9
	東部	[N= 62]	46.8	62.9	8.1	17.7	9.7	4.8	12.9	4.8	4.8	0.0	6.5
	美濃山	[N= 190]	44.2	43.7	13.7	20.5	4.7	13.2	18.4	3.7	4.2	1.6	4.7
	男山	[N= 309]	25.2	44.7	11.3	20.1	12.9	18.1	16.5	2.9	2.9	2.6	7.4
	橋本	[N= 228]	36.0	44.7	4.4	11.8	5.7	12.3	17.5	3.5	4.8	3.1	11.4

（６）八幡市の観光のまちづくりについて

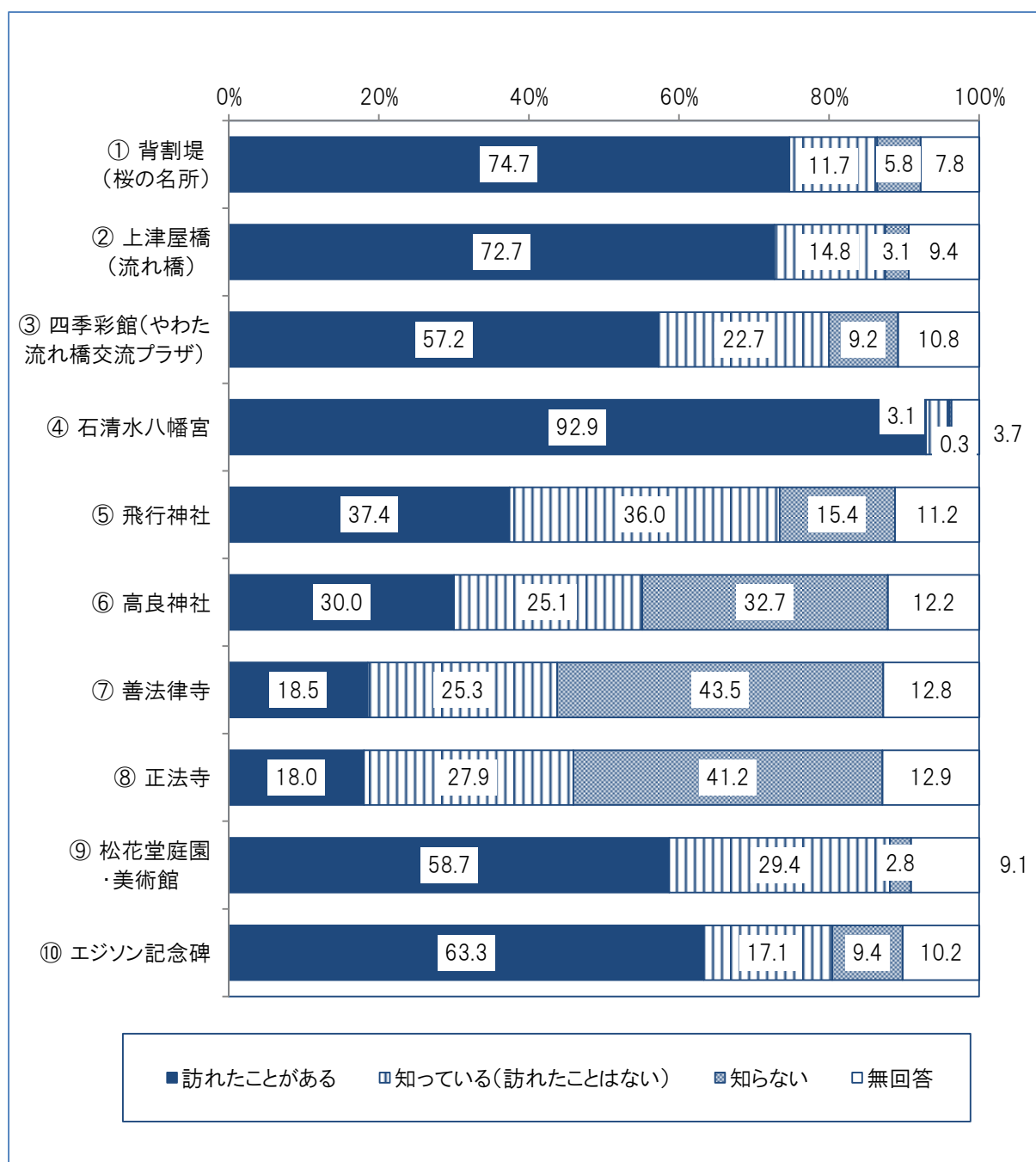
① 八幡市の自然や歴史文化遺産の訪問状況（問 37）

「訪れたことがある」八幡市の自然や歴史文化遺産は、「④石清水八幡宮」が 92.9%と最も多く、次いで「①背割堤（桜の名所）」(74.7%)、「②上津屋橋（流れ橋）」(72.7%)となっている。

「知っている（訪れたことはない）」の割合が高いのは、「⑤飛行神社」が 36.0%と最も多く、次いで「⑨松花堂庭園・美術館」(29.4%)、「⑧正法寺」(27.9%)となっている。

一方、「知らない」の割合が高いのは、「⑦善法律寺」が 43.5%と最も多く、次いで「⑧正法寺」(41.2%)、「⑥高良神社」(32.7%)となっている。

図表 100 八幡市の自然や歴史文化遺産の訪問状況(SA) (n=1,192)



居住地別では、「①背割堤(桜の名所)」の橋本地区の訪問割合が高く、東部地区と美濃山地区の訪問割合が低くなっている。

図表 101 八幡市の自然や歴史文化遺産の訪問状況(SA)

①背割堤(桜の名所) (性・年齢別、居住地別)

			(%)			
			が訪 れた こと	と(知 は訪 なれ たい こ る	知 ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			74.7	11.7	5.8	7.8
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		76.8	10.2	5.1	7.9
	18～29歳 [N= 54]		70.4	16.7	13.0	0.0
	30歳代 [N= 60]		73.3	13.3	6.7	6.7
	40歳代 [N= 69]		71.0	10.1	13.0	5.8
	50歳代 [N= 58]		77.6	15.5	5.2	1.7
	60歳代 [N= 109]		81.7	10.1	2.8	5.5
	70歳以上 [N= 158]		79.1	5.1	0.0	15.8
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]		73.3	12.7	6.4	7.7
	18～29歳 [N= 95]		67.4	14.7	15.8	2.1
	30歳代 [N= 96]		80.2	10.4	6.3	3.1
	40歳代 [N= 100]		68.0	25.0	3.0	4.0
	50歳代 [N= 92]		79.3	12.0	5.4	3.3
	60歳代 [N= 135]		84.4	8.9	2.2	4.4
	70歳以上 [N= 159]		62.9	8.8	6.9	21.4
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		77.9	8.6	4.6	8.9
	東部 [N= 62]		58.1	27.4	3.2	11.3
	美濃山 [N= 190]		64.7	16.3	14.2	4.7
	男山 [N= 309]		72.2	13.3	5.5	9.1
	橋本 [N= 228]		86.4	7.0	1.8	4.8

図表 102 八幡市の自然や歴史文化遺産の訪問状況(SA)

②上津屋橋(流れ橋) (性・年齢別、居住地別)

			(%)			
			が訪 れた こと	と(知 は訪 なれ たい こ る	知 ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			72.7	14.8	3.1	9.4
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		75.2	12.2	3.3	9.2
	18～29歳 [N= 54]		77.8	9.3	11.1	1.9
	30歳代 [N= 60]		68.3	20.0	3.3	8.3
	40歳代 [N= 69]		71.0	17.4	5.8	5.8
	50歳代 [N= 58]		79.3	15.5	3.4	1.7
	60歳代 [N= 109]		80.7	10.1	1.8	7.3
	70歳以上 [N= 158]		73.4	8.2	0.6	17.7
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]		70.6	17.0	3.0	9.5
	18～29歳 [N= 95]		65.3	22.1	9.5	3.2
	30歳代 [N= 96]		65.6	28.1	4.2	2.1
	40歳代 [N= 100]		75.0	22.0	2.0	1.0
	50歳代 [N= 92]		82.6	14.1	0.0	3.3
	60歳代 [N= 135]		75.6	16.3	0.0	8.1
	70歳以上 [N= 159]		62.9	6.3	3.1	27.7
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		74.6	10.9	3.0	11.4
	東部 [N= 62]		82.3	8.1	0.0	9.7
	美濃山 [N= 190]		69.5	20.0	4.7	5.8
	男山 [N= 309]		72.5	14.2	2.9	10.4
	橋本 [N= 228]		70.2	20.6	2.6	6.6

居住地別では、「③四季彩館(やわた流れ橋交流プラザ)」の東部地区の訪問割合が高い。

図表 103 八幡市の自然や歴史文化遺産の訪問状況(SA)

③四季彩館(やわた流れ橋交流プラザ) (性・年齢別、居住地別)

			(%)			
			が訪 れた こと	と(知 は訪 なれ たい こ る	知 ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			57.2	22.7	9.2	10.8
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		53.6	23.6	10.8	12.0
	18～29歳 [N= 54]		42.6	31.5	25.9	0.0
	30歳代 [N= 60]		41.7	31.7	16.7	10.0
	40歳代 [N= 69]		55.1	21.7	17.4	5.8
	50歳代 [N= 58]		60.3	27.6	8.6	3.4
	60歳代 [N= 109]		57.8	25.7	6.4	10.1
	70歳以上 [N= 158]		55.7	15.8	4.4	24.1
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]		60.0	22.0	8.1	9.9
	18～29歳 [N= 95]		45.3	28.4	23.2	3.2
	30歳代 [N= 96]		58.3	30.2	11.5	0.0
	40歳代 [N= 100]		69.0	25.0	5.0	1.0
	50歳代 [N= 92]		72.8	19.6	3.3	4.3
	60歳代 [N= 135]		61.5	25.2	3.7	9.6
	70歳以上 [N= 159]		55.3	10.1	5.7	28.9
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		55.6	23.6	8.1	12.7
	東部 [N= 62]		77.4	6.5	6.5	9.7
	美濃山 [N= 190]		60.0	18.9	12.6	8.4
	男山 [N= 309]		52.4	26.2	9.4	12.0
	橋本 [N= 228]		59.2	24.6	8.3	7.9

図表 104 八幡市の自然や歴史文化遺産の訪問状況(SA)

④石清水八幡宮 (性・年齢別、居住地別)

			(%)			
			が訪 れた こと	と(知 は訪 なれ たい こ る	知 ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			92.9	3.1	0.3	3.7
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		93.9	2.8	0.4	2.9
	18～29歳 [N= 54]		92.6	3.7	3.7	0.0
	30歳代 [N= 60]		93.3	3.3	0.0	3.3
	40歳代 [N= 69]		94.2	5.8	0.0	0.0
	50歳代 [N= 58]		98.3	0.0	0.0	1.7
	60歳代 [N= 109]		92.7	2.8	0.0	4.6
	70歳以上 [N= 158]		93.7	1.9	0.0	4.4
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]		92.0	3.4	0.3	4.3
	18～29歳 [N= 95]		93.7	3.2	1.1	2.1
	30歳代 [N= 96]		92.7	7.3	0.0	0.0
	40歳代 [N= 100]		96.0	3.0	0.0	1.0
	50歳代 [N= 92]		94.6	3.3	0.0	2.2
	60歳代 [N= 135]		94.8	1.5	0.0	3.7
	70歳以上 [N= 159]		84.3	3.1	0.6	11.9
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		91.9	2.8	0.3	5.1
	東部 [N= 62]		93.5	3.2	0.0	3.2
	美濃山 [N= 190]		91.6	6.3	0.5	1.6
	男山 [N= 309]		91.3	3.2	0.6	4.9
	橋本 [N= 228]		97.8	0.9	0.0	1.3

居住地別では、「⑤飛行神社」と「⑥高良神社」の美濃山地区の認知度が低い。

図表 105 八幡市の自然や歴史文化遺産の訪問状況(SA)

⑤飛行神社 (性・年齢別、居住地別)

			(%)			
			が訪 れた こと	と(知 は訪 なれ たい こ る	知 ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			37.4	36.0	15.4	11.2
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		39.3	37.5	12.2	11.0
	18～29歳 [N= 54]		27.8	44.4	27.8	0.0
	30歳代 [N= 60]		36.7	41.7	11.7	10.0
	40歳代 [N= 69]		27.5	46.4	20.3	5.8
	50歳代 [N= 58]		43.1	39.7	12.1	5.2
	60歳代 [N= 109]		40.4	45.0	7.3	7.3
	70歳以上 [N= 158]		47.5	23.4	7.0	22.2
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		36.0	34.7	18.0	11.2
	18～29歳 [N= 95]		26.3	34.7	35.8	3.2
	30歳代 [N= 96]		21.9	41.7	33.3	3.1
	40歳代 [N= 100]		30.0	57.0	11.0	2.0
	50歳代 [N= 92]		43.5	40.2	13.0	3.3
	60歳代 [N= 135]		48.9	34.1	8.1	8.9
	70歳以上 [N= 159]		39.0	13.8	13.8	33.3
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		42.9	34.0	9.9	13.2
	東部 [N= 62]		38.7	41.9	8.1	11.3
	美濃山 [N= 190]		24.7	32.6	34.2	8.4
	男山 [N= 309]		35.6	36.2	15.5	12.6
	橋本 [N= 228]		41.2	40.4	11.4	7.0

図表 106 八幡市の自然や歴史文化遺産の訪問状況(SA)

⑥高良神社 (性・年齢別、居住地別)

			(%)			
			が訪 れた こと	と(知 は訪 なれ たい こ る	知 ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			30.0	25.1	32.7	12.2
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		30.6	24.6	33.0	11.8
	18～29歳 [N= 54]		27.8	29.6	42.6	0.0
	30歳代 [N= 60]		35.0	23.3	31.7	10.0
	40歳代 [N= 69]		29.0	26.1	39.1	5.8
	50歳代 [N= 58]		29.3	31.0	32.8	6.9
	60歳代 [N= 109]		22.9	28.4	39.4	9.2
	70歳以上 [N= 158]		36.7	17.7	23.4	22.2
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		29.5	25.4	32.6	12.4
	18～29歳 [N= 95]		29.5	22.1	45.3	3.2
	30歳代 [N= 96]		24.0	24.0	50.0	2.1
	40歳代 [N= 100]		20.0	40.0	37.0	3.0
	50歳代 [N= 92]		31.5	29.3	33.7	5.4
	60歳代 [N= 135]		34.8	30.4	23.7	11.1
	70歳以上 [N= 159]		33.3	12.6	18.9	35.2
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		45.2	21.3	20.1	13.5
	東部 [N= 62]		35.5	30.6	22.6	11.3
	美濃山 [N= 190]		12.1	20.0	57.9	10.0
	男山 [N= 309]		23.3	28.5	34.3	13.9
	橋本 [N= 228]		27.2	30.3	34.2	8.3

居住地別では、「⑦善法律寺」と「⑧正法寺」の美濃山地区の認知度が低い。

図表 107 八幡市の自然や歴史文化遺産の訪問状況(SA)

⑦善法律寺 (性・年齢別、居住地別)

			(%)			
			が訪 れた こと	と(知 は訪 なれ たい こ る	知 ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			18.5	25.3	43.5	12.8
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		20.0	26.5	40.9	12.6
	18～29歳 [N= 54]		11.1	29.6	59.3	0.0
	30歳代 [N= 60]		10.0	33.3	46.7	10.0
	40歳代 [N= 69]		11.6	24.6	58.0	5.8
	50歳代 [N= 58]		17.2	34.5	43.1	5.2
	60歳代 [N= 109]		19.3	23.9	46.8	10.1
	70歳以上 [N= 158]		32.3	22.8	20.3	24.7
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]		17.1	24.2	45.6	13.0
	18～29歳 [N= 95]		5.3	29.5	62.1	3.2
	30歳代 [N= 96]		7.3	21.9	67.7	3.1
	40歳代 [N= 100]		9.0	27.0	61.0	3.0
	50歳代 [N= 92]		21.7	32.6	40.2	5.4
	60歳代 [N= 135]		28.9	24.4	34.8	11.9
	70歳以上 [N= 159]		22.6	15.7	25.2	36.5
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		22.8	27.7	34.5	15.0
	東部 [N= 62]		14.5	35.5	38.7	11.3
	美濃山 [N= 190]		5.3	14.2	70.5	10.0
	男山 [N= 309]		19.1	27.8	39.2	13.9
	橋本 [N= 228]		22.4	24.6	43.9	9.2

図表 108 八幡市の自然や歴史文化遺産の訪問状況(SA)

⑧正法寺 (性・年齢別、居住地別)

			(%)			
			が訪 れた こと	と(知 は訪 なれ たい こ る	知 ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			18.0	27.9	41.2	12.9
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		19.3	28.1	39.9	12.8
	18～29歳 [N= 54]		7.4	33.3	59.3	0.0
	30歳代 [N= 60]		10.0	28.3	51.7	10.0
	40歳代 [N= 69]		5.8	30.4	58.0	5.8
	50歳代 [N= 58]		20.7	34.5	39.7	5.2
	60歳代 [N= 109]		21.1	30.3	37.6	11.0
	70歳以上 [N= 158]		31.0	21.5	22.8	24.7
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]		17.1	27.5	42.4	13.0
	18～29歳 [N= 95]		8.4	31.6	55.8	4.2
	30歳代 [N= 96]		7.3	24.0	65.6	3.1
	40歳代 [N= 100]		8.0	28.0	61.0	3.0
	50歳代 [N= 92]		17.4	37.0	40.2	5.4
	60歳代 [N= 135]		26.7	33.3	27.4	12.6
	70歳以上 [N= 159]		25.8	16.4	22.6	35.2
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		22.3	31.0	31.5	15.2
	東部 [N= 62]		16.1	33.9	38.7	11.3
	美濃山 [N= 190]		6.3	17.4	65.3	11.1
	男山 [N= 309]		19.1	29.4	37.5	13.9
	橋本 [N= 228]		20.2	27.6	43.9	8.3

居住地別では、「⑩エジソン記念碑」の橋本地区の訪問割合が高い。

図表 109 八幡市の自然や歴史文化遺産の訪問状況(SA)

⑨松花堂庭園・美術館 (性・年齢別、居住地別)

			(%)			
			が訪 れた こと	と(知 は訪 なれ たい こ る	知 ら ない	無 回 答
全体 [N= 1,192]			58.7	29.4	2.8	9.1
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		56.6	31.0	2.9	9.4
	18～29歳 [N= 54]		53.7	40.7	5.6	0.0
	30歳代 [N= 60]		48.3	36.7	5.0	10.0
	40歳代 [N= 69]		44.9	47.8	1.4	5.8
	50歳代 [N= 58]		46.6	46.6	3.4	3.4
	60歳代 [N= 109]		63.3	25.7	2.8	8.3
	70歳以上 [N= 158]		65.2	15.8	1.9	17.1
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		60.3	28.2	2.7	8.9
	18～29歳 [N= 95]		60.0	28.4	8.4	3.2
	30歳代 [N= 96]		46.9	49.0	2.1	2.1
	40歳代 [N= 100]		48.0	47.0	2.0	3.0
	50歳代 [N= 92]		65.2	30.4	0.0	4.3
	60歳代 [N= 135]		69.6	19.3	3.0	8.1
	70歳以上 [N= 159]		65.4	10.1	1.3	23.3
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		60.7	26.9	2.8	9.6
	東部 [N= 62]		54.8	29.0	4.8	11.3
	美濃山 [N= 190]		52.1	37.4	4.2	6.3
	男山 [N= 309]		62.1	24.9	2.6	10.4
	橋本 [N= 228]		57.9	33.3	1.3	7.5

図表 110 八幡市の自然や歴史文化遺産の訪問状況(SA)

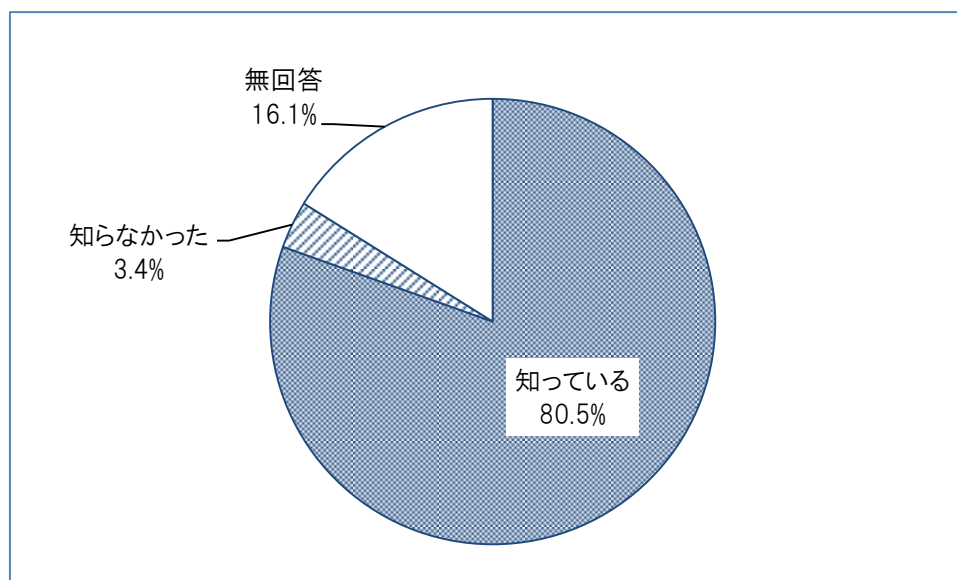
⑩エジソン記念碑 (性・年齢別、居住地別)

			(%)			
			が訪 れた こと	と(知 は訪 なれ たい こ る	知 ら ない	無 回 答
全体 [N= 1,192]			63.3	17.1	9.4	10.2
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		66.6	15.5	7.5	10.4
	18～29歳 [N= 54]		64.8	22.2	13.0	0.0
	30歳代 [N= 60]		68.3	15.0	8.3	8.3
	40歳代 [N= 69]		65.2	15.9	13.0	5.8
	50歳代 [N= 58]		69.0	17.2	8.6	5.2
	60歳代 [N= 109]		67.9	17.4	6.4	8.3
	70歳以上 [N= 158]		65.2	11.4	3.2	20.3
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		60.9	18.5	10.8	9.9
	18～29歳 [N= 95]		57.9	21.1	17.9	3.2
	30歳代 [N= 96]		54.2	27.1	15.6	3.1
	40歳代 [N= 100]		63.0	26.0	10.0	1.0
	50歳代 [N= 92]		65.2	21.7	8.7	4.3
	60歳代 [N= 135]		70.4	14.1	7.4	8.1
	70歳以上 [N= 159]		54.7	8.8	8.2	28.3
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		63.7	16.8	7.1	12.4
	東部 [N= 62]		61.3	19.4	8.1	11.3
	美濃山 [N= 190]		50.0	24.2	18.9	6.8
	男山 [N= 309]		60.5	18.4	9.7	11.3
	橋本 [N= 228]		79.4	9.6	4.8	6.1

② 「石清水八幡宮」が国宝に指定されたことの認知状況（問 38）

「石清水八幡宮」が国宝に指定されたことの認知状況は、「知っている」が 80.5%となっている。
性・年齢別では、30歳代女性の認知度が全体に比べて高くなっている。

図表 111 「石清水八幡宮」が国宝に指定されたことの認知状況(SA) (n=1,192)



図表 112 「石清水八幡宮」が国宝に指定されたことの認知状況(SA)(性・年齢別、居住地別)

			(%)		
			知っている	知らない	無回答
全体 [N= 1,192]			80.5	3.4	16.1
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		80.4	3.5	16.1
	18～29歳 [N= 54]		81.5	9.3	9.3
	30歳代 [N= 60]		75.0	5.0	20.0
	40歳代 [N= 69]		84.1	5.8	10.1
	50歳代 [N= 58]		79.3	3.4	17.2
	60歳代 [N= 109]		80.7	1.8	17.4
	70歳以上 [N= 158]		80.4	1.3	18.4
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		80.6	3.4	16.0
	18～29歳 [N= 95]		82.1	7.4	10.5
	30歳代 [N= 96]		91.7	3.1	5.2
	40歳代 [N= 100]		86.0	3.0	11.0
	50歳代 [N= 92]		81.5	2.2	16.3
	60歳代 [N= 135]		83.0	0.0	17.0
	70歳以上 [N= 159]		67.3	5.0	27.7
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		77.7	3.0	19.3
	東部 [N= 62]		87.1	0.0	12.9
	美濃山 [N= 190]		80.5	8.9	10.5
	男山 [N= 309]		79.0	3.2	17.8
	橋本 [N= 228]		86.4	0.4	13.2

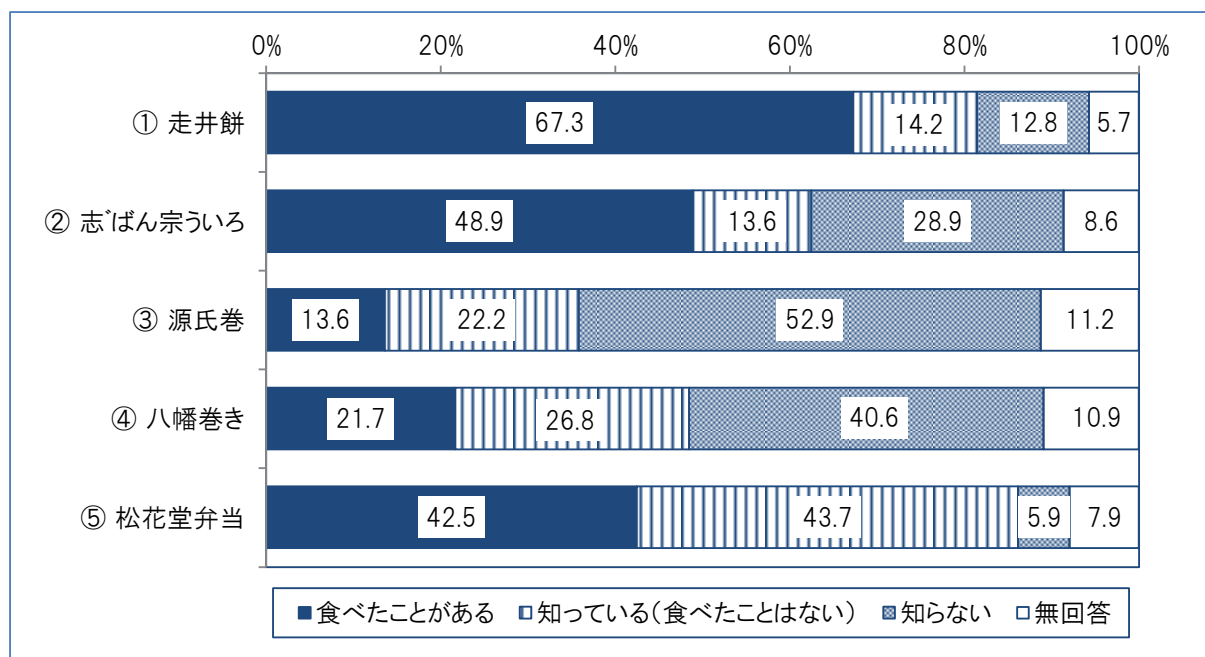
③ 八幡市の名物・郷土料理の食事経験の状況（問 39）

「食べたことがある」八幡市の名物・郷土料理は、「①走井餅」が 67.3%と最も多く、次いで「②志*ばん宗ういろ」(48.9%)、「⑤松花堂弁当」(42.5%)となっている。

「知っている(食べたことはない)」の割合が高いのは、「⑤松花堂弁当」が 43.7%と最も多く、次いで「④八幡巻き」(26.8%)、「③源氏巻」(22.2%)となっている。

一方、「知らない」の割合が高いのは、「③源氏巻」が 52.9%と最も多く、次いで「④八幡巻き」(40.6%)、「②志*ばん宗ういろ」(28.9%)となっている。

図表 113 八幡市の名物・郷土料理の食事経験の状況(SA) (n=1,192)



居住地別では、「①走井餅」と「②志^ばん宗^{そう}ういろ」の東部地区の食事経験ありの割合が高く、「①走井餅」と「②志^ばん宗^{そう}ういろ」の美濃山地区の認知度が低い。

図表 114 八幡市の名物・郷土料理の食事経験の状況(SA)

①走井餅 (性・年齢別、居住地別)

			が食 あべ たこ と	とへ知 は食っ なべて いた いこ る	知 ら な い	無 回 答
			(%)			
全体		[N= 1,192]	67.3	14.2	12.8	5.7
男性・ 年齢別	男性全体	[N= 509]	66.4	14.1	13.6	5.9
	18～29歳	[N= 54]	50.0	16.7	33.3	0.0
	30歳代	[N= 60]	53.3	16.7	23.3	6.7
	40歳代	[N= 69]	66.7	13.0	15.9	4.3
	50歳代	[N= 58]	70.7	15.5	12.1	1.7
	60歳代	[N= 109]	67.9	18.3	11.0	2.8
	70歳以上	[N= 158]	74.1	9.5	4.4	12.0
女性・ 年齢別	女性全体	[N= 677]	67.8	14.2	12.4	5.6
	18～29歳	[N= 95]	48.3	22.1	27.4	4.2
	30歳代	[N= 96]	58.3	19.8	21.9	0.0
	40歳代	[N= 100]	69.0	21.0	10.0	0.0
	50歳代	[N= 92]	79.3	10.9	7.6	2.2
	60歳代	[N= 135]	80.0	6.7	6.7	6.7
	70歳以上	[N= 159]	68.6	10.1	6.9	14.5
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	67.0	16.0	9.4	7.6
	東部	[N= 62]	82.3	8.1	4.8	4.8
	美濃山	[N= 190]	52.1	19.5	23.2	5.3
	男山	[N= 309]	67.3	11.7	15.2	5.8
	橋本	[N= 228]	76.8	11.4	9.6	2.2

図表 115 八幡市の名物・郷土料理の食事経験の状況(SA)

②志^ばん宗^{そう}ういろ (性・年齢別、居住地別)

			が食 あべ たこ と	とへ知 は食っ なべて いた いこ る	知 ら な い	無 回 答
			(%)			
全体		[N= 1,192]	48.9	13.6	28.9	8.6
男性・ 年齢別	男性全体	[N= 509]	44.2	14.7	31.2	9.8
	18～29歳	[N= 54]	40.7	18.5	40.7	0.0
	30歳代	[N= 60]	38.3	13.3	40.0	8.3
	40歳代	[N= 69]	40.6	18.8	36.2	4.3
	50歳代	[N= 58]	51.7	15.5	31.0	1.7
	60歳代	[N= 109]	42.2	15.6	33.9	8.3
	70歳以上	[N= 158]	48.1	10.8	20.9	20.3
女性・ 年齢別	女性全体	[N= 677]	52.1	12.7	27.3	7.8
	18～29歳	[N= 95]	40.0	11.6	44.2	4.2
	30歳代	[N= 96]	40.6	19.8	36.5	3.1
	40歳代	[N= 100]	55.0	19.0	26.0	0.0
	50歳代	[N= 92]	63.0	8.7	26.1	2.2
	60歳代	[N= 135]	62.2	10.4	19.3	8.1
	70歳以上	[N= 159]	49.7	9.4	20.1	20.8
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	54.1	15.2	19.5	11.2
	東部	[N= 62]	74.2	6.5	11.3	8.1
	美濃山	[N= 190]	33.7	7.4	53.2	5.8
	男山	[N= 309]	44.3	14.6	32.0	9.1
	橋本	[N= 228]	52.6	17.1	25.4	4.8

居住地別では、「③源氏巻」と「④八幡巻き」の東部地区の食事経験ありの割合が高く、「③源氏巻」と「④八幡巻き」の美濃山地区の認知度が低い。

図表 116 八幡市の名物・郷土料理の食事経験の状況(SA)

③源氏巻 (性・年齢別、居住地別)

			が食 あべ るた こと	とへ知 は食つ なべて いたい こる	知 ら ない	無 回 答
		全体 [N= 1,192]	13.6	22.2	52.9	11.2
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		11.2	25.7	50.5	12.6
	18～29歳 [N= 54]		9.3	22.2	68.5	0.0
	30歳代 [N= 60]		6.7	21.7	60.0	11.7
	40歳代 [N= 69]		7.2	24.6	62.3	5.8
	50歳代 [N= 58]		22.4	29.3	46.6	1.7
	60歳代 [N= 109]		11.9	31.2	48.6	8.3
	70歳以上 [N= 158]		10.8	24.1	38.0	27.2
	女性全体 [N= 677]		15.2	19.6	54.8	10.3
女性・ 年齢別	18～29歳 [N= 95]		7.4	16.8	71.6	4.2
	30歳代 [N= 96]		6.3	20.8	69.8	3.1
	40歳代 [N= 100]		9.0	25.0	65.0	1.0
	50歳代 [N= 92]		18.5	17.4	58.7	5.4
	60歳代 [N= 135]		25.2	17.8	46.7	10.4
	70歳以上 [N= 159]		18.9	20.1	34.0	27.0
	市役所周辺 [N= 394]		19.0	24.6	41.4	15.0
	東部 [N= 62]		30.6	29.0	29.0	11.3
居住地別	美濃山 [N= 190]		3.2	15.8	73.7	7.4
	男山 [N= 309]		12.3	22.7	54.7	10.4
	橋本 [N= 228]		10.1	21.9	60.1	7.9

図表 117 八幡市の名物・郷土料理の食事経験の状況(SA)

④八幡巻き (性・年齢別、居住地別)

			が食 あべ るた こと	とへ知 は食つ なべて いたい こる	知 ら ない	無 回 答
		全体 [N= 1,192]	21.7	26.8	40.6	10.9
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		16.9	28.3	42.8	12.0
	18～29歳 [N= 54]		13.0	22.2	64.8	0.0
	30歳代 [N= 60]		11.7	26.7	51.7	10.0
	40歳代 [N= 69]		13.0	33.3	47.8	5.8
	50歳代 [N= 58]		27.6	31.0	39.7	1.7
	60歳代 [N= 109]		15.6	27.5	47.7	9.2
	70歳以上 [N= 158]		19.0	28.5	27.2	25.3
	女性全体 [N= 677]		25.0	25.6	39.3	10.2
女性・ 年齢別	18～29歳 [N= 95]		18.9	17.9	58.9	4.2
	30歳代 [N= 96]		15.6	21.9	59.4	3.1
	40歳代 [N= 100]		20.0	33.0	46.0	1.0
	50歳代 [N= 92]		28.3	31.5	35.9	4.3
	60歳代 [N= 135]		34.8	25.9	29.6	9.6
	70歳以上 [N= 159]		27.0	23.9	21.4	27.7
	市役所周辺 [N= 394]		24.6	29.2	32.7	13.5
	東部 [N= 62]		32.3	29.0	27.4	11.3
居住地別	美濃山 [N= 190]		13.2	24.7	53.7	8.4
	男山 [N= 309]		19.1	26.9	43.4	10.7
	橋本 [N= 228]		24.6	24.1	43.9	7.5

「⑤松花堂弁当」については、居住地別では大きな違いはみられない。

図表 118 八幡市の名物・郷土料理の食事経験の状況(SA)

⑤松花堂弁当 (性・年齢別、居住地別)

			(%)			
			が食 あべ たこ と	とへ知 は食っ なべて たいこ る	知 ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			42.5	43.7	5.9	7.9
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		41.1	43.0	6.7	9.2
	18～29歳 [N= 54]		35.2	48.1	16.7	0.0
	30歳代 [N= 60]		25.0	53.3	11.7	10.0
	40歳代 [N= 69]		33.3	55.1	8.7	2.9
	50歳代 [N= 58]		34.5	56.9	6.9	1.7
	60歳代 [N= 109]		45.9	42.2	4.6	7.3
	70歳以上 [N= 158]		51.9	27.2	1.9	19.0
	女性全体 [N= 677]		43.4	44.3	5.3	6.9
女性・ 年齢別	18～29歳 [N= 95]		36.8	47.4	11.6	4.2
	30歳代 [N= 96]		29.2	60.4	7.3	3.1
	40歳代 [N= 100]		33.0	63.0	4.0	0.0
	50歳代 [N= 92]		48.9	44.6	1.1	5.4
	60歳代 [N= 135]		56.3	34.8	3.7	5.2
	70歳以上 [N= 159]		48.4	28.9	5.0	17.6
	市役所周辺 [N= 394]		40.1	43.9	5.3	10.7
居住地別	東部 [N= 62]		48.4	38.7	1.6	11.3
	美濃山 [N= 190]		39.5	47.9	8.4	4.2
	男山 [N= 309]		42.1	42.1	7.8	8.1
	橋本 [N= 228]		48.7	43.9	3.1	4.4

④ その他の八幡市の名物・郷土料理 (問 39)

以下のような名物・郷土料理があげられた。

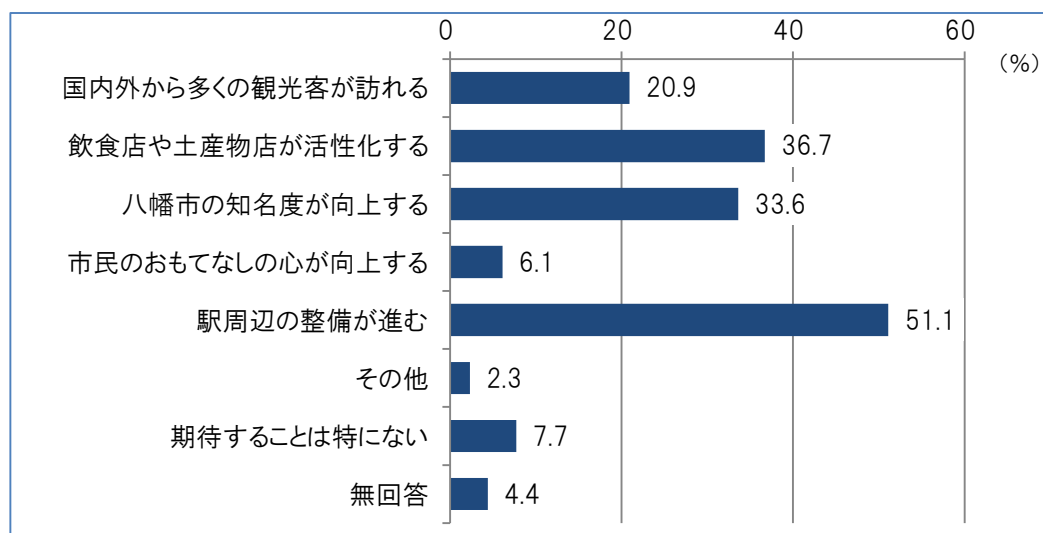
図表 119 その他の八幡市の名物・郷土料理(FA)

	名物・郷土料理
食材等	筍(7件)、梨(6件)、茄子、お茶
加工品	パン(2件)、木綿豆腐
菓子	ちまき、ぼたもち、抹茶チョコ大福
料理	鯖寿司(5件)、カレー中華(2件)、かしわのすきやき、竹炭カレー
その他	竹

⑤ 観光のまちづくりに期待する効果（問 40）

八幡市が観光のまちづくりを進めていくことにより期待する効果としては、「駅周辺の整備が進む」が 51.1%と最も多く、次いで「飲食店や土産物店が活性化する」(36.7%)、「八幡市の知名度が向上する」(33.6%)となっている。

図表 120 観光のまちづくりに期待する効果(2つまで) (n=1,192)



図表 121 観光のまちづくりに期待する効果(2つまで) (性・年齢別、居住地別)

			が国内外から多くの観光客	飲食店や土産物店が活性化	八幡市の知名度が向上	市民のおもてなしの心が	駅周辺の整備が進む	その他	期待することは特にない	無回答
			(%)							
全体 [N= 1,192]			20.9	36.7	33.6	6.1	51.1	2.3	7.7	4.4
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	23.0	36.1	35.4	6.3	48.5	2.4	9.2	3.3
	18～29歳	[N= 54]	20.4	40.7	27.8	7.4	53.7	0.0	7.4	1.9
	30歳代	[N= 60]	8.3	45.0	20.0	11.7	61.7	1.7	5.0	3.3
	40歳代	[N= 69]	24.6	40.6	33.3	5.8	52.2	1.4	10.1	1.4
	50歳代	[N= 58]	31.0	32.8	29.3	3.4	46.6	1.7	15.5	1.7
	60歳代	[N= 109]	25.7	31.2	37.6	3.7	41.3	4.6	13.8	3.7
	70歳以上	[N= 158]	24.1	34.2	45.6	7.0	45.6	2.5	5.7	5.1
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	19.4	37.2	32.3	6.1	53.2	2.1	6.6	5.0
	18～29歳	[N= 95]	16.8	37.9	28.4	7.4	53.7	1.1	9.5	3.2
	30歳代	[N= 96]	14.6	43.8	25.0	5.2	57.3	4.2	10.4	1.0
	40歳代	[N= 100]	28.0	39.0	27.0	2.0	59.0	1.0	4.0	2.0
	50歳代	[N= 92]	22.8	38.0	30.4	4.3	58.7	3.3	2.2	1.1
	60歳代	[N= 135]	16.3	42.2	31.1	8.9	54.1	2.2	6.7	5.2
	70歳以上	[N= 159]	18.9	27.0	44.7	6.9	42.8	1.3	6.9	12.6
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	20.3	37.3	32.0	7.6	54.3	1.8	5.6	4.6
	東部	[N= 62]	29.0	40.3	29.0	1.6	59.7	1.6	8.1	0.0
	美濃山	[N= 190]	19.5	35.8	32.6	5.3	45.3	1.6	10.0	5.3
	男山	[N= 309]	22.0	35.9	39.5	6.8	42.7	2.9	9.7	6.1
	橋本	[N= 228]	19.7	36.4	32.0	4.8	59.2	2.6	6.6	1.8

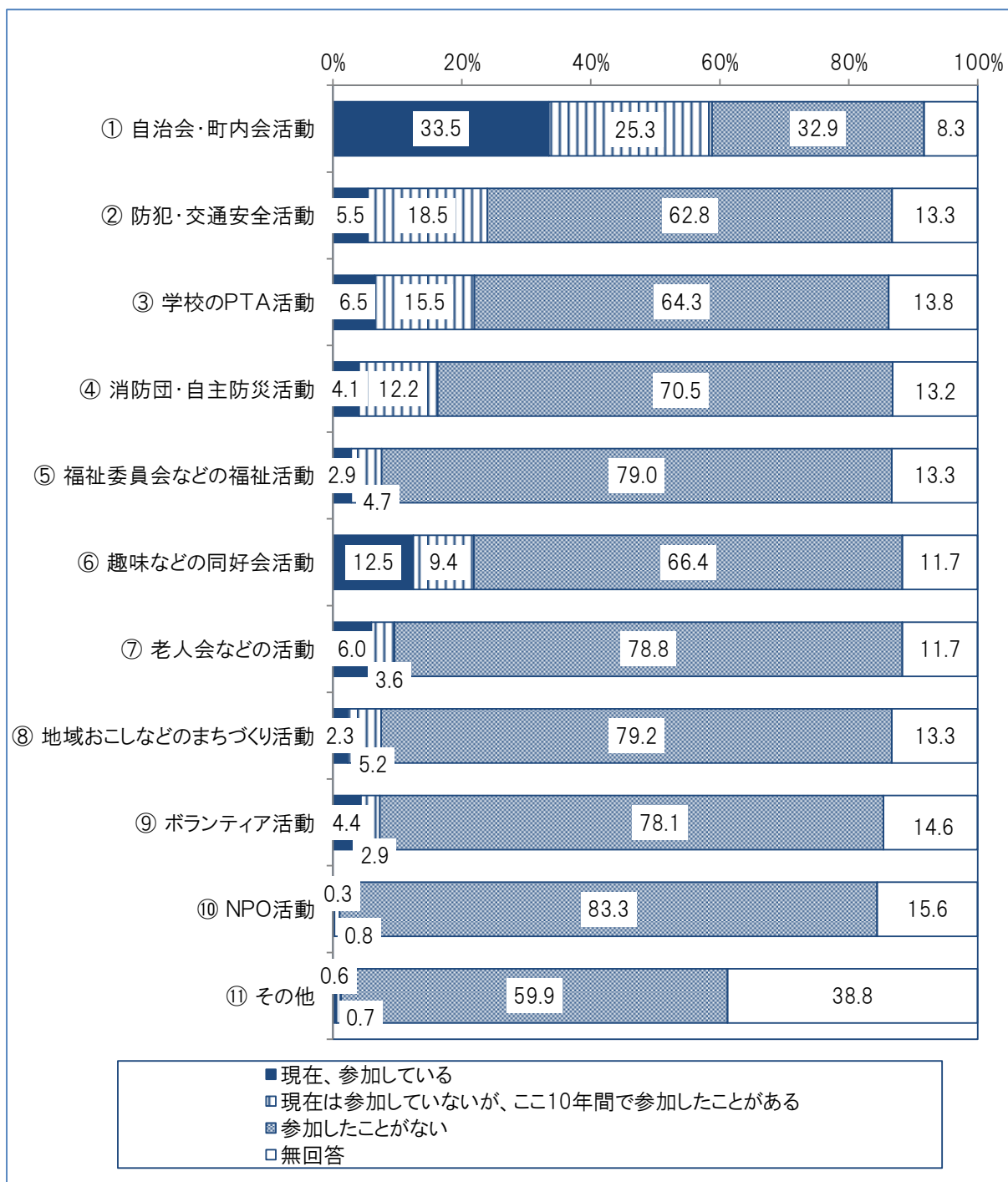
(7) 地域における活動について

① 地域活動への参加状況（問 41）

地域活動への参加状況について、「現在、参加している」割合が高いのは、「①自治会・町内会活動」の33.5%で、次いで「⑥趣味などの同好会活動」(12.5%)となっている。

多くの活動において「参加したことがない」の割合が多くなっている。

図表 122 地域活動への参加状況(SA) (n=1,192)



図表 123 地域活動への参加状況(SA)

①自治会・町内会活動（性・年齢別、居住地別）

			る現在、 参加してい	と年な現 が間い あでが る参、参 加こし た1て こ0い	い参 加し たこ がな	無 回 答
						(%)
全体		[N= 1,192]	33.5	25.3	32.9	8.3
男性・ 年齢別	男性全体	[N= 509]	30.3	26.1	36.1	7.5
	18～29歳	[N= 54]	7.4	18.5	74.1	0.0
	30歳代	[N= 60]	30.0	13.3	50.0	6.7
	40歳代	[N= 69]	36.2	24.6	37.7	1.4
	50歳代	[N= 58]	29.3	36.2	27.6	6.9
	60歳代	[N= 109]	34.9	31.2	30.3	3.7
	70歳以上	[N= 158]	32.3	27.2	24.7	15.8
女性・ 年齢別	女性全体	[N= 677]	36.2	24.8	30.4	8.6
	18～29歳	[N= 95]	11.6	17.9	68.4	2.1
	30歳代	[N= 96]	34.4	20.8	41.7	3.1
	40歳代	[N= 100]	36.0	30.0	32.0	2.0
	50歳代	[N= 92]	46.7	30.4	20.7	2.2
	60歳代	[N= 135]	48.1	29.6	15.6	6.7
	70歳以上	[N= 159]	35.8	20.8	18.2	25.2
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	28.4	25.6	36.5	9.4
	東部	[N= 62]	33.9	24.2	32.3	9.7
	美濃山	[N= 190]	50.0	24.7	20.0	5.3
	男山	[N= 309]	27.5	20.7	43.7	8.1
	橋本	[N= 228]	37.7	32.0	23.7	6.6

図表 124 地域活動への参加状況(SA)

②防犯・交通安全活動（性・年齢別、居住地別）

			る現在、 参加してい	と年な現 が間い あでが る参、参 加こし た1て こ0い	い参 加し たこ がな	無 回 答
						(%)
全体		[N= 1,192]	5.5	18.5	62.8	13.3
男性・ 年齢別	男性全体	[N= 509]	6.3	15.5	65.0	13.2
	18～29歳	[N= 54]	1.9	9.3	87.0	1.0
	30歳代	[N= 60]	3.3	10.0	78.3	8.3
	40歳代	[N= 69]	5.8	13.0	72.5	8.7
	50歳代	[N= 58]	1.7	5.2	86.2	6.9
	60歳代	[N= 109]	8.3	20.2	62.4	9.2
	70歳以上	[N= 158]	8.9	21.5	43.7	25.9
女性・ 年齢別	女性全体	[N= 677]	4.9	20.7	61.4	13.0
	18～29歳	[N= 95]	1.1	7.4	89.5	2.1
	30歳代	[N= 96]	2.1	14.6	80.2	3.1
	40歳代	[N= 100]	6.0	34.0	57.0	3.0
	50歳代	[N= 92]	5.4	32.6	57.6	4.3
	60歳代	[N= 135]	5.2	23.0	59.3	12.6
	70歳以上	[N= 159]	7.5	15.1	40.3	37.1
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	2.5	12.9	69.5	15.0
	東部	[N= 62]	3.2	11.3	71.0	14.5
	美濃山	[N= 190]	10.0	27.9	52.6	9.5
	男山	[N= 309]	6.1	14.9	66.0	12.9
	橋本	[N= 228]	6.6	27.2	54.8	11.4

図表 125 地域活動への参加状況(SA)

③学校のPTA活動（性・年齢別、居住地別）

(%)

			る現在、 参加してい	と年な現 が間い在 あでがは る参、参 加こ加し した1て こ0い	い参 加し たこ とが な	無 回 答
	全体	[N= 1,192]	6.5	15.5	64.3	13.8
男性・ 年齢別	男性全体	[N= 509]	4.9	9.8	72.3	13.0
	18～29歳	[N= 54]	3.7	5.6	88.9	1.9
	30歳代	[N= 60]	11.7	3.3	76.7	8.3
	40歳代	[N= 69]	13.0	21.7	59.4	5.8
	50歳代	[N= 58]	3.4	24.1	67.2	5.2
	60歳代	[N= 109]	1.8	8.3	79.8	10.1
	70歳以上	[N= 158]	1.9	4.4	67.1	26.6
女性・ 年齢別	女性全体	[N= 677]	7.5	19.9	58.5	14.0
	18～29歳	[N= 95]	2.1	6.3	89.5	2.1
	30歳代	[N= 96]	20.8	8.3	68.8	2.1
	40歳代	[N= 100]	23.0	35.0	40.0	2.0
	50歳代	[N= 92]	3.3	48.9	41.3	6.5
	60歳代	[N= 135]	0.7	17.0	65.9	16.3
	70歳以上	[N= 159]	1.3	11.3	49.1	38.4
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	5.1	15.7	64.2	15.0
	東部	[N= 62]	6.5	17.7	58.1	17.7
	美濃山	[N= 190]	10.5	13.7	66.8	8.9
	男山	[N= 309]	3.9	16.8	65.0	14.2
	橋本	[N= 228]	8.3	14.9	64.5	12.3

図表 126 地域活動への参加状況(SA)

④消防団・自主防災活動（性・年齢別、居住地別）

(%)

			る現在、 参加してい	と年な現 が間い在 あでがは る参、参 加こ加し した1て こ0い	い参 加し たこ とが な	無 回 答
	全体	[N= 1,192]	4.1	12.2	70.5	13.2
男性・ 年齢別	男性全体	[N= 509]	4.5	11.6	71.1	12.8
	18～29歳	[N= 54]	3.7	1.9	92.6	1.9
	30歳代	[N= 60]	1.7	6.7	83.3	8.3
	40歳代	[N= 69]	5.8	10.1	75.4	8.7
	50歳代	[N= 58]	1.7	12.1	81.0	5.2
	60歳代	[N= 109]	2.8	15.6	73.4	8.3
	70歳以上	[N= 158]	7.6	13.9	52.5	25.9
女性・ 年齢別	女性全体	[N= 677]	3.8	12.9	70.2	13.1
	18～29歳	[N= 95]	0.0	6.3	91.6	2.1
	30歳代	[N= 96]	3.1	8.3	85.4	3.1
	40歳代	[N= 100]	2.0	15.0	80.0	3.0
	50歳代	[N= 92]	5.4	13.0	77.2	4.3
	60歳代	[N= 135]	3.7	20.0	63.7	12.6
	70歳以上	[N= 159]	6.9	11.9	43.4	37.7
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	3.0	10.4	71.3	15.2
	東部	[N= 62]	8.1	9.7	66.1	16.1
	美濃山	[N= 190]	7.9	21.6	62.1	8.4
	男山	[N= 309]	3.2	9.4	73.5	13.9
	橋本	[N= 228]	3.1	12.7	74.6	9.6

図表 127 地域活動への参加状況(SA)

⑤福祉委員会などの福祉活動（性・年齢別、居住地別）

			(%)			
			る現在、 参加してい	と年な現在 が間い あでがは る参、参 加こ加 したし た1て こ0い	い参加 した こと が な	無 回 答
全体 [N= 1,192]			2.9	4.7	79.0	13.3
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		2.6	3.7	80.9	12.8
	18～29歳 [N= 54]		0.0	1.9	96.3	1.9
	30歳代 [N= 60]		0.0	1.7	90.0	8.3
	40歳代 [N= 69]		1.4	7.2	82.6	8.7
	50歳代 [N= 58]		0.0	0.0	93.1	6.9
	60歳代 [N= 109]		2.8	3.7	84.4	9.2
	70歳以上 [N= 158]		5.7	5.1	64.6	24.7
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]		3.2	5.5	77.8	13.4
	18～29歳 [N= 95]		0.0	2.1	95.8	2.1
	30歳代 [N= 96]		1.0	2.1	93.8	3.1
	40歳代 [N= 100]		0.0	3.0	94.0	3.0
	50歳代 [N= 92]		2.2	6.5	88.0	3.3
	60歳代 [N= 135]		4.4	7.4	76.3	11.9
	70歳以上 [N= 159]		8.2	8.8	42.8	40.3
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		4.1	5.3	76.9	13.7
	東部 [N= 62]		0.0	9.7	74.2	16.1
	美濃山 [N= 190]		1.1	3.7	85.3	10.0
	男山 [N= 309]		3.9	4.5	77.7	13.9
	橋本 [N= 228]		2.2	3.5	82.5	11.8

図表 128 地域活動への参加状況(SA)

⑥趣味などの同好会活動（性・年齢別、居住地別）

			(%)			
			る現在、 参加してい	と年な現在 が間い あでがは る参、参 加こ加 したし た1て こ0い	い参加 した こと が な	無 回 答
全体 [N= 1,192]			12.5	9.4	66.4	11.7
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		11.4	7.1	69.7	11.8
	18～29歳 [N= 54]		1.9	1.9	94.4	1.9
	30歳代 [N= 60]		1.7	8.3	81.7	8.3
	40歳代 [N= 69]		1.4	5.8	82.6	10.1
	50歳代 [N= 58]		3.4	5.2	84.5	6.9
	60歳代 [N= 109]		13.8	7.3	69.7	9.2
	70歳以上 [N= 158]		24.1	9.5	45.6	20.9
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]		13.4	11.2	64.1	11.2
	18～29歳 [N= 95]		1.1	6.3	90.5	2.1
	30歳代 [N= 96]		8.3	3.1	85.4	3.1
	40歳代 [N= 100]		7.0	13.0	77.0	3.0
	50歳代 [N= 92]		18.5	14.1	64.1	3.3
	60歳代 [N= 135]		19.3	16.3	54.8	9.6
	70歳以上 [N= 159]		20.1	11.9	35.2	32.7
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		12.2	8.9	67.0	11.9
	東部 [N= 62]		12.9	11.3	59.7	16.1
	美濃山 [N= 190]		10.5	8.9	71.1	9.5
	男山 [N= 309]		12.9	10.4	65.4	11.3
	橋本 [N= 228]		14.5	9.2	66.2	10.1

図表 129 地域活動への参加状況(SA)

⑦老人会などの活動（性・年齢別、居住地別）

(%)

		る現在、 参加して い	と年な現 が間いは あでがは る参、参 加こ加 したし たて こ0い	い参 加 した こと が な	無 回 答
	全体 [N= 1,192]	6.0	3.6	78.8	11.7
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	7.5	3.7	78.0	10.8
	18～29歳 [N= 54]	0.0	0.0	98.1	1.9
	30歳代 [N= 60]	0.0	1.7	90.0	8.3
	40歳代 [N= 69]	0.0	1.4	89.9	8.7
	50歳代 [N= 58]	1.7	0.0	91.4	6.9
	60歳代 [N= 109]	6.4	3.7	81.7	8.3
	70歳以上 [N= 158]	19.0	8.2	53.8	19.0
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	4.9	3.5	79.5	12.1
	18～29歳 [N= 95]	0.0	1.1	96.8	2.1
	30歳代 [N= 96]	1.0	0.0	95.8	3.1
	40歳代 [N= 100]	1.0	0.0	96.0	3.0
	50歳代 [N= 92]	0.0	3.3	91.3	5.4
	60歳代 [N= 135]	5.9	2.2	82.2	9.6
	70歳以上 [N= 159]	14.5	10.7	39.6	35.2
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	7.6	3.8	76.4	12.2
	東部 [N= 62]	8.1	9.7	71.0	11.3
	美濃山 [N= 190]	3.2	2.6	84.7	9.5
	男山 [N= 309]	6.1	2.3	79.0	12.6
	橋本 [N= 228]	4.4	4.4	81.6	9.6

図表 130 地域活動への参加状況(SA)

⑧地域おこしなどのまちづくり活動（性・年齢別、居住地別）

(%)

		る現在、 参加して い	と年な現 が間いは あでがは る参、参 加こ加 したし たて こ0い	い参 加 した こと が な	無 回 答
	全体 [N= 1,192]	2.3	5.2	79.2	13.3
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	2.8	4.7	79.2	13.4
	18～29歳 [N= 54]	1.9	1.9	94.4	1.0
	30歳代 [N= 60]	0.0	3.3	88.3	8.3
	40歳代 [N= 69]	1.4	5.8	84.1	8.7
	50歳代 [N= 58]	3.4	1.7	87.9	6.9
	60歳代 [N= 109]	2.8	4.6	82.6	10.1
	70歳以上 [N= 158]	4.4	7.0	62.7	25.9
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	2.1	5.6	79.5	12.9
	18～29歳 [N= 95]	0.0	5.3	92.6	2.1
	30歳代 [N= 96]	0.0	1.0	95.8	3.1
	40歳代 [N= 100]	1.0	3.0	93.0	3.0
	50歳代 [N= 92]	2.2	5.4	88.0	4.3
	60歳代 [N= 135]	0.7	8.1	81.5	9.6
	70歳以上 [N= 159]	6.3	8.2	46.5	39.0
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	3.3	4.6	77.9	14.2
	東部 [N= 62]	3.2	12.9	67.7	16.1
	美濃山 [N= 190]	1.6	5.8	83.7	8.9
	男山 [N= 309]	2.9	4.9	79.0	13.3
	橋本 [N= 228]	0.4	4.4	82.9	12.3

図表 131 地域活動への参加状況(SA)

⑨ボランティア活動 (性・年齢別、居住地別)

(%)

			る現在、 参加してい	と年な現在 が間いがは あでがは る参、参加 加ここして した1て こ0い	い参加 したこ ことが な	無 回 答
全体 [N= 1,192]			4.4	2.9	78.1	14.6
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		4.5	2.9	78.0	14.5
	18～29歳 [N= 54]		3.7	3.7	88.9	3.7
	30歳代 [N= 60]		1.7	3.3	81.7	13.3
	40歳代 [N= 69]		1.4	2.9	84.1	11.6
	50歳代 [N= 58]		1.7	0.0	86.2	12.1
	60歳代 [N= 109]		2.8	1.8	85.3	10.1
	70歳以上 [N= 158]		9.5	4.4	62.0	24.1
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		4.4	2.8	78.4	14.3
	18～29歳 [N= 95]		2.1	2.1	87.4	8.4
	30歳代 [N= 96]		0.0	0.0	93.8	6.3
	40歳代 [N= 100]		1.0	1.0	95.0	3.0
	50歳代 [N= 92]		3.3	4.3	85.9	6.5
	60歳代 [N= 135]		5.2	1.5	81.5	11.9
	70歳以上 [N= 159]		10.7	6.3	46.5	36.5
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		4.3	3.0	76.9	15.7
	東部 [N= 62]		3.2	1.6	75.8	19.4
	美濃山 [N= 190]		2.6	0.5	85.8	11.1
	男山 [N= 309]		6.1	2.9	75.7	15.2
	橋本 [N= 228]		4.4	4.4	79.4	11.8

図表 132 地域活動への参加状況(SA)

⑩NPO活動 (性・年齢別、居住地別)

(%)

			る現在、 参加してい	と年な現在 が間いがは あでがは る参、参加 加ここして した1て こ0い	い参加 したこ ことが な	無 回 答
全体 [N= 1,192]			0.3	0.8	83.3	15.6
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		0.2	1.0	83.5	15.3
	18～29歳 [N= 54]		0.0	0.0	96.3	3.7
	30歳代 [N= 60]		0.0	1.7	83.3	15.0
	40歳代 [N= 69]		0.0	1.4	87.0	11.6
	50歳代 [N= 58]		0.0	0.0	89.7	10.3
	60歳代 [N= 109]		0.0	0.0	88.1	11.9
	70歳以上 [N= 158]		0.6	1.9	72.2	25.3
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		0.4	0.6	83.5	15.5
	18～29歳 [N= 95]		0.0	0.0	91.6	8.4
	30歳代 [N= 96]		0.0	0.0	92.7	7.3
	40歳代 [N= 100]		0.0	0.0	96.0	4.0
	50歳代 [N= 92]		1.1	2.2	89.1	7.6
	60歳代 [N= 135]		0.0	0.0	88.9	11.1
	70歳以上 [N= 159]		1.3	1.3	57.2	40.3
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		0.3	0.8	82.5	16.5
	東部 [N= 62]		0.0	0.0	82.3	17.7
	美濃山 [N= 190]		0.5	0.5	86.8	12.1
	男山 [N= 309]		0.6	0.6	82.2	16.5
	橋本 [N= 228]		0.0	1.3	86.0	12.7

図表 133 地域活動への参加状況(SA)

①その他（性・年齢別、居住地別）

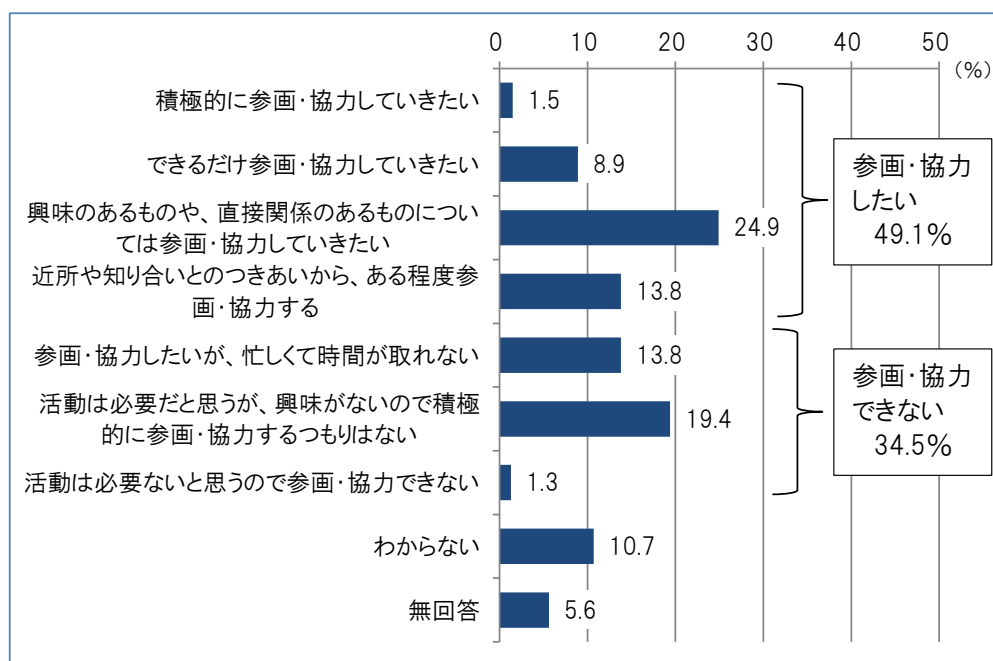
(%)

		現在、 参加して いる	現在が ある	現在が ある 参加し たこと がない	参加 した こと がない	無 回 答
全体 [N= 1,192]		0.6	0.7	59.9	38.8	
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	0.8	0.6	60.9	37.7	
	18～29歳 [N= 54]	0.0	0.0	83.3	16.7	
	30歳代 [N= 60]	1.7	0.0	73.3	25.0	
	40歳代 [N= 69]	0.0	1.4	75.4	23.2	
	50歳代 [N= 58]	1.7	0.0	69.0	29.3	
	60歳代 [N= 109]	0.0	0.0	61.5	38.5	
	70歳以上 [N= 158]	1.3	1.3	33.6	58.9	
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	0.4	0.7	59.4	39.4	
	18～29歳 [N= 95]	0.0	0.0	80.0	20.0	
	30歳代 [N= 96]	0.0	1.0	70.8	28.1	
	40歳代 [N= 100]	0.0	0.0	75.0	25.0	
	50歳代 [N= 92]	1.1	1.1	65.2	32.6	
	60歳代 [N= 135]	0.7	0.7	51.1	47.4	
	70歳以上 [N= 159]	0.6	1.3	34.0	64.2	
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	0.5	0.8	58.4	40.4	
	東部 [N= 62]	0.0	0.0	69.4	30.6	
	美濃山 [N= 190]	0.5	0.0	64.7	34.7	
	男山 [N= 309]	1.0	1.3	57.9	39.8	
	橋本 [N= 228]	0.4	0.4	60.1	39.0	

② 今後のまちづくり活動や地域活動等への参画・協力意向（問 42）

今後のまちづくり活動や地域活動等への参画・協力意向については、「興味のあるものや、直接関係のあるものについては参画・協力していきたい」が 24.9%と最も多く、次いで「活動は必要だと思うが、興味がないので積極的に参画・協力するつもりはない」(19.4%)となっている。

図表 134 今後のまちづくり活動や地域活動等への参画・協力意向(SA) (n=1,192)



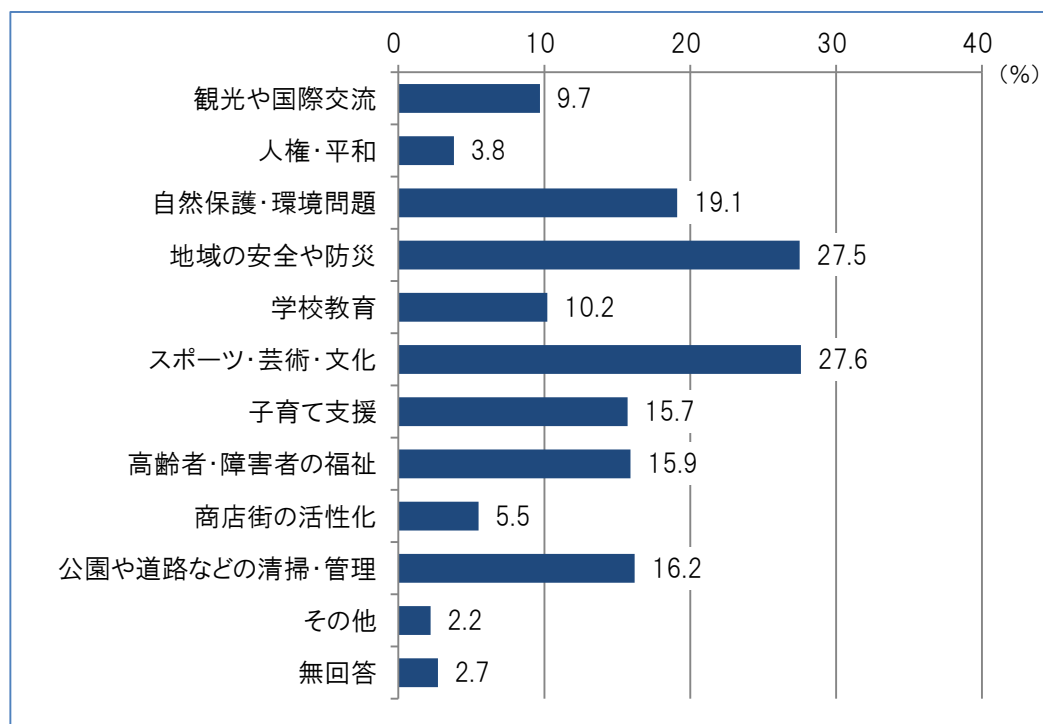
図表 135 今後のまちづくり活動や地域活動等への参画・協力意向(SA) (性・年齢別、居住地別)

		積極的に参画・協力したい	できるだけ参画・協力したい	興味のあるものや、直接関係のあるものについては参画・協力していきたい	近所や知り合いとのつきあいから、ある程度参画・協力する	参画・協力したいが、忙しくて時間が取れない	活動は必要だと思うが、興味がないので積極的に参画・協力するつもりはない	活動は必要ないと思うので参画・協力できない	わからない	無回答	参画・協力したい	参画・協力できない	わからない
	全体 [N= 1,192]	1.5	8.9	24.9	13.8	13.8	19.4	1.3	10.7	5.6	49.1	34.5	10.7
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]	2.8	11.2	22.0	11.4	12.8	24.8	2.0	8.8	4.3	47.4	39.6	8.8
	18～29歳 [N= 54]	0.0	5.6	20.4	5.6	14.8	33.3	3.7	16.7	0.0	31.6	51.8	16.7
	30歳代 [N= 60]	3.3	3.3	20.0	15.0	20.0	25.0	0.0	11.7	1.7	41.6	45.0	11.7
	40歳代 [N= 69]	1.4	8.7	20.3	14.5	13.0	30.4	0.0	10.1	1.4	44.9	43.4	10.1
	50歳代 [N= 58]	0.0	10.3	25.9	8.6	20.7	20.7	1.7	6.9	5.2	44.8	43.1	6.9
	60歳代 [N= 109]	2.8	12.8	18.3	13.8	11.9	27.5	3.7	6.4	2.8	47.7	43.1	6.4
	70歳以上 [N= 158]	5.1	16.5	25.3	10.1	7.0	18.4	1.9	7.0	8.9	57.0	27.3	7.0
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]	0.6	7.2	27.2	15.8	14.8	15.1	0.7	12.1	6.5	50.8	30.6	12.1
	18～29歳 [N= 95]	0.0	2.1	25.3	12.6	25.3	14.7	2.1	14.7	3.2	40.0	42.1	14.7
	30歳代 [N= 96]	0.0	5.2	29.2	10.4	18.8	16.7	3.1	12.5	4.2	44.8	38.6	12.5
	40歳代 [N= 100]	0.0	6.0	24.0	20.0	21.0	19.0	0.0	9.0	1.0	50.0	40.0	9.0
	50歳代 [N= 92]	0.0	4.3	31.5	16.3	19.6	13.0	0.0	12.0	3.3	52.1	32.6	12.0
	60歳代 [N= 135]	1.5	8.1	32.6	15.6	6.7	19.3	0.0	10.4	5.9	57.8	26.0	10.4
	70歳以上 [N= 159]	1.3	13.2	22.0	18.2	6.3	9.4	0.0	13.8	15.7	54.7	15.7	13.8
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	2.3	7.4	26.6	12.9	13.2	20.3	0.5	10.7	6.1	49.2	34.0	10.7
	東部 [N= 62]	0.0	12.9	19.4	22.6	12.9	12.9	3.2	12.9	3.2	54.9	29.0	12.9
	美濃山 [N= 190]	1.1	12.6	25.3	19.5	14.2	17.4	1.1	5.8	3.2	58.5	32.7	5.8
	男山 [N= 309]	1.3	10.0	23.6	8.4	13.6	19.7	1.6	15.9	5.8	43.3	34.9	15.9
	橋本 [N= 228]	1.3	6.1	24.6	16.2	15.8	21.5	1.8	6.6	6.1	48.2	39.1	6.6

③ 参加したい活動分野（問 43）

「参画・協力意向がある」回答者の参加したい活動分野は、「スポーツ・芸術・文化」が 27.6%で最も多く、次いで「地域の安全や防災」(27.5%)、「自然保護・環境問題」(19.1%)となっている。

図表 136 参加したい活動分野(2つまで)（「参画・協力意向がある」回答者）（n=586）



図表 137 参加したい活動分野(2つまで)（「参画・協力意向がある」回答者：n=586）

		観光や国際交流	人権・平和	自然保護・環境問題	地域の安全や防災	学校教育	スポーツ・芸術・文化	子育て支援	高齢者・障害者の福祉	商店街の活性化	公園や道路などの清掃・管理	その他	無回答
全体 [N= 586]		9.7	3.8	19.1	27.5	10.2	27.6	15.7	15.9	5.5	16.2	2.2	2.7
男性・年齢別	男性全体 [N= 241]	9.5	2.9	24.5	30.3	7.5	29.9	7.9	11.6	7.1	17.8	1.7	2.1
	18～29歳 [N= 17]	11.8	0.0	23.5	23.5	11.8	35.3	5.9	11.8	5.9	5.9	0.0	0.0
	30歳代 [N= 25]	12.0	0.0	4.0	24.0	16.0	28.0	36.0	8.0	12.0	8.0	0.0	4.0
	40歳代 [N= 31]	16.1	9.7	12.9	19.4	22.6	32.3	6.5	9.7	3.2	19.4	3.2	3.2
	50歳代 [N= 26]	7.7	3.8	11.5	34.6	7.7	38.5	7.7	7.7	11.5	15.4	3.8	0.0
	60歳代 [N= 52]	9.6	1.9	38.5	28.8	0.0	25.0	3.8	9.6	5.8	30.8	0.0	1.9
	70歳以上 [N= 90]	6.7	2.2	30.0	36.7	3.3	28.9	3.3	15.6	6.7	15.6	2.2	2.2
女性・年齢別	女性全体 [N= 344]	9.9	4.4	15.4	25.6	11.9	26.2	20.9	18.9	4.4	15.1	2.6	3.2
	18～29歳 [N= 38]	13.2	5.3	5.3	7.9	23.7	39.5	28.9	2.6	7.9	15.8	2.6	0.0
	30歳代 [N= 43]	23.3	4.7	2.3	11.6	30.2	23.3	51.2	7.0	7.0	9.3	2.3	0.0
	40歳代 [N= 50]	10.0	2.0	12.0	24.0	26.0	16.0	34.0	12.0	0.0	18.0	2.0	2.0
	50歳代 [N= 48]	14.6	6.3	18.8	37.5	4.2	25.0	20.8	12.5	2.1	14.6	4.2	2.1
	60歳代 [N= 78]	5.1	6.4	21.8	29.5	2.6	34.6	9.0	17.9	3.8	12.8	3.8	5.1
	70歳以上 [N= 87]	3.4	2.3	20.7	31.0	2.3	20.7	5.7	40.2	5.7	18.4	1.1	5.7
居住地別	市役所周辺 [N= 194]	12.4	6.2	20.1	24.7	7.7	29.9	13.9	15.5	7.7	14.4	3.1	2.6
	東部 [N= 34]	2.9	2.9	20.6	38.2	8.8	23.5	14.7	14.7	2.9	20.6	0.0	5.9
	美濃山 [N= 111]	9.9	1.8	16.2	35.1	10.8	26.1	17.1	9.9	0.0	25.2	1.8	5.4
	男山 [N= 134]	8.2	4.5	16.4	30.6	9.7	23.1	15.7	23.1	6.7	9.7	3.0	2.2
	橋本 [N= 110]	9.1	0.0	23.6	18.2	13.6	32.7	17.3	13.6	6.4	17.3	0.9	0.0

(8) 八幡市がめざしてきた「めざす姿」の達成状況について

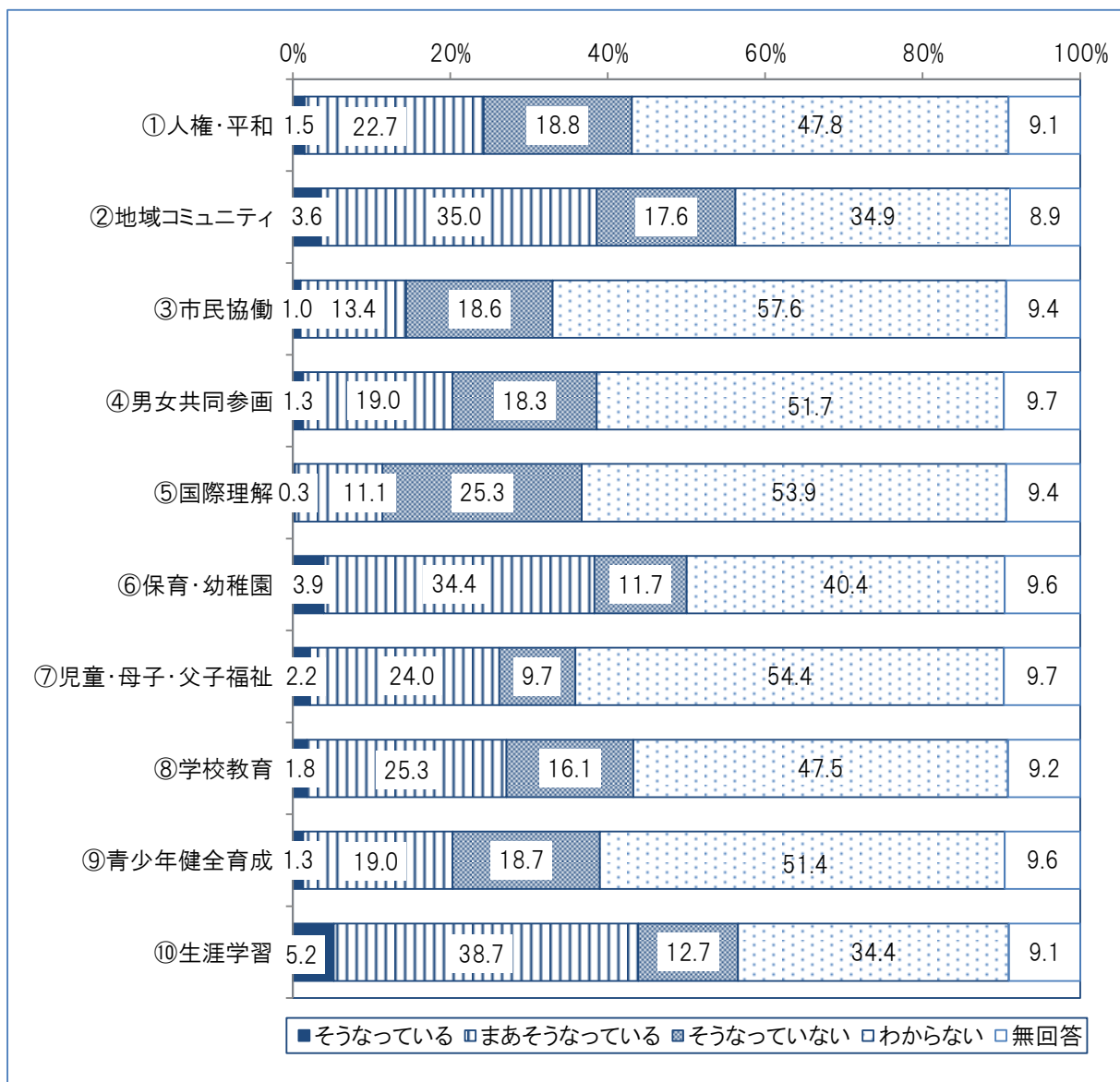
① 「第4次八幡市総合計画」の39の政策分野毎の「めざす姿」の達成状況（問44）

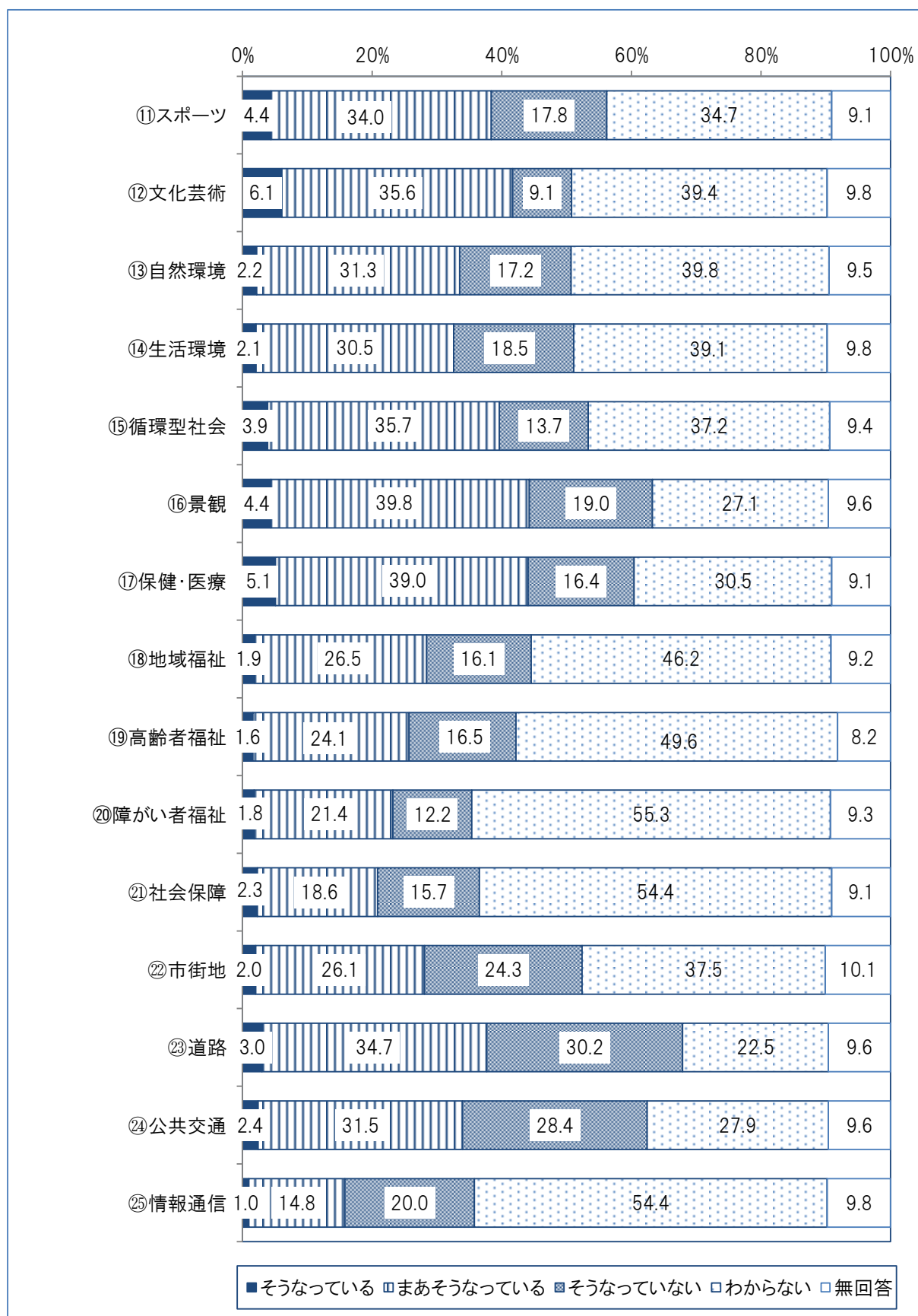
「第4次八幡市総合計画」の39の政策分野毎の「めざす姿」の達成状況について、「達成している」「そうになっている」と「まあそうになっている」の合計の割合が高いのは、「③①上下水道」の58.2%で、次いで「③②公園・緑地・河川」(54.1%)、「①⑥景観」(44.2%)となっている。

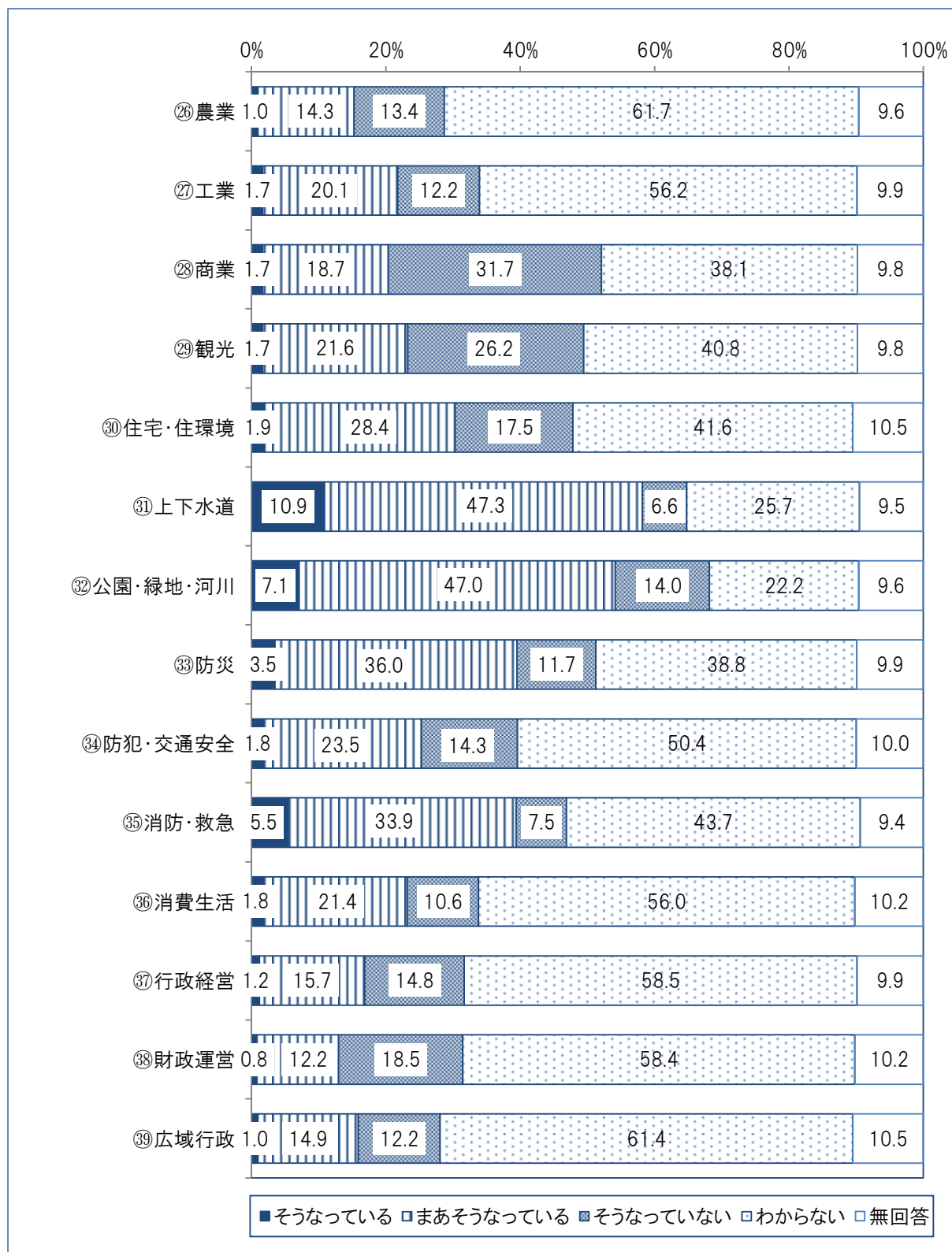
一方、「そうっていない」の割合が高いのは、「②⑧商業」の31.7%で、次いで「②③道路」(30.2%)、「②④公共交通」(28.4%)となっている。

「わからない」の割合が高いのは、「②⑥農業」の61.7%で、次いで「③⑨広域行政」(61.4%)、「③⑦行政経営」(58.5%)、「③⑧財政運営」(58.4%)となっている。

図表 138 「第4次八幡市総合計画」の39の政策分野毎の「めざす姿」の達成状況(SA) (n=1,192)

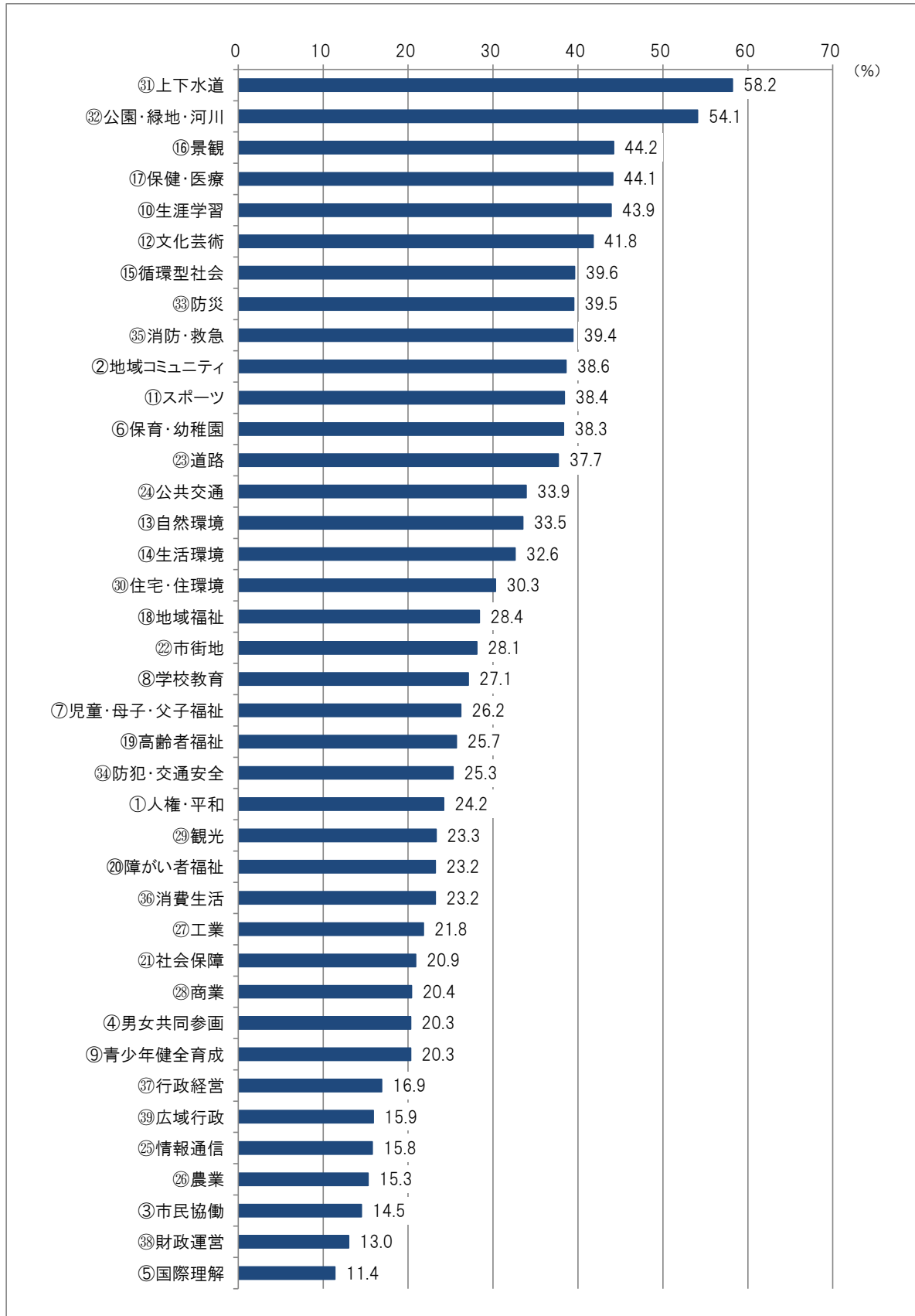






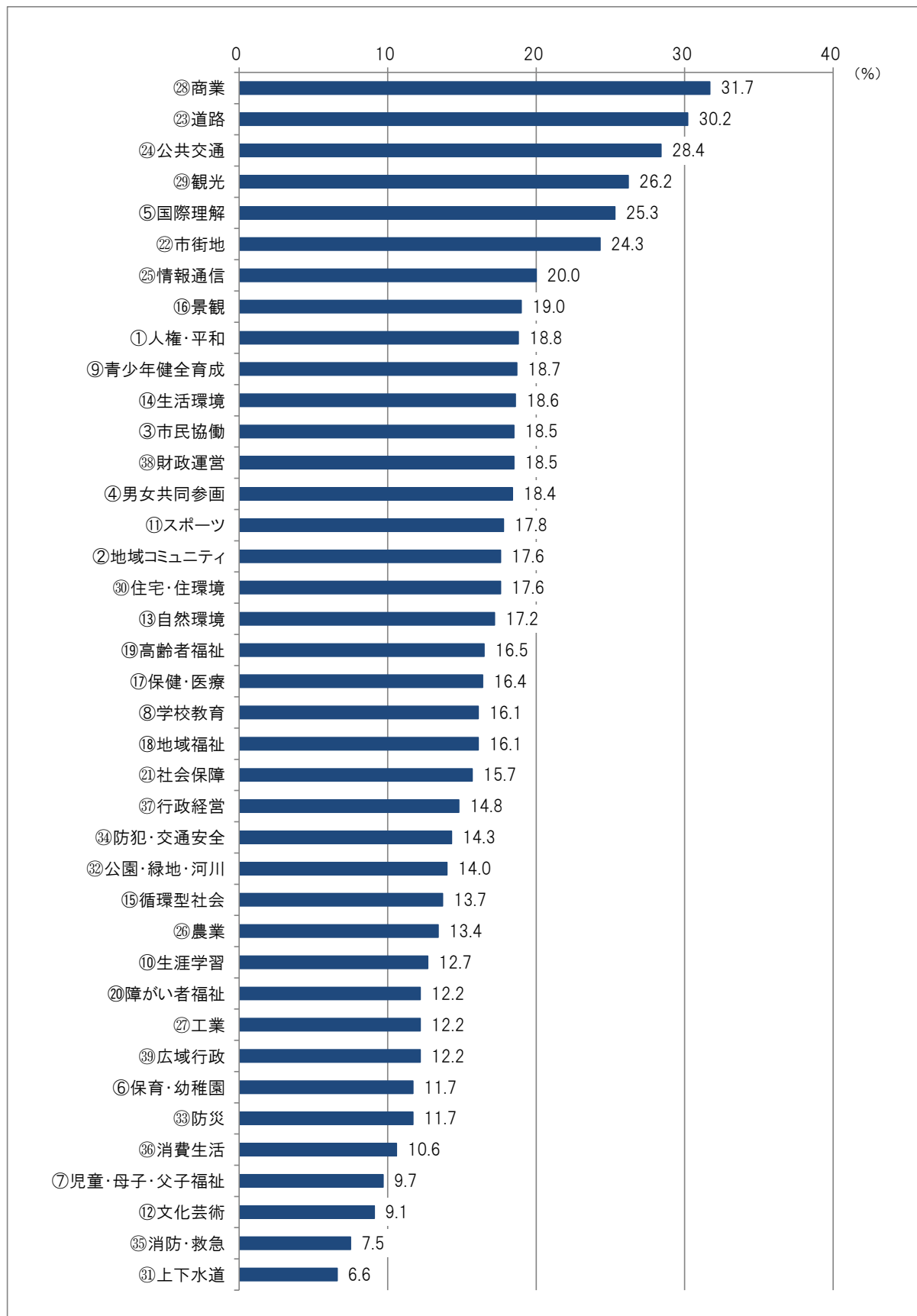
図表 139 「第4次八幡市総合計画」の39の政策分野毎の「めざす姿」の達成状況(SA) (n=1,192)

【 「そうになっている」と「まあそうになっている」の合計 】



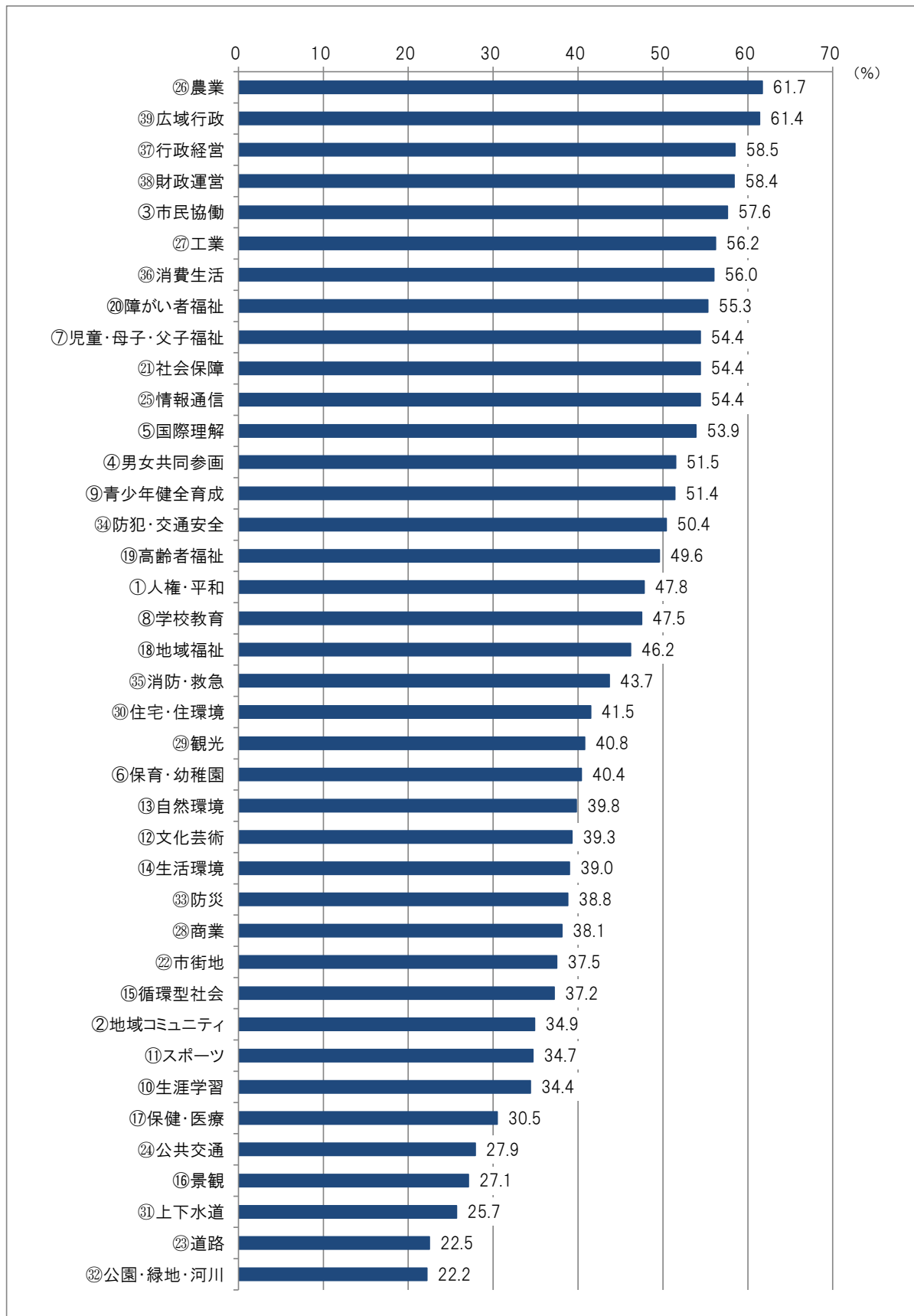
図表 140 「第4次八幡市総合計画」の39の政策分野毎の「めざす姿」の達成状況(SA) (n=1,192)

【「そうっていない」】



図表 141 「第4次八幡市総合計画」の39の政策分野毎の「めざす姿」の達成状況(SA) (n=1,192)

【「わからない」】



図表 142 ①人権・平和(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		1.5	22.7	18.8	47.8	9.1
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]	1.2	24.6	20.2	45.2	8.8
	18～29歳 [N= 54]	1.9	27.8	14.8	53.7	1.9
	30歳代 [N= 60]	0.0	13.3	28.3	51.7	6.7
	40歳代 [N= 69]	0.0	27.5	17.4	52.2	2.9
	50歳代 [N= 58]	3.4	20.7	27.6	43.1	5.2
	60歳代 [N= 109]	2.8	20.2	22.9	46.8	7.3
	70歳以上 [N= 158]	0.0	31.0	15.2	30.7	17.1
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]	1.8	21.3	17.7	50.1	9.2
	18～29歳 [N= 95]	1.1	21.1	28.4	46.3	3.2
	30歳代 [N= 96]	3.1	15.6	19.8	59.4	2.1
	40歳代 [N= 100]	1.0	23.0	19.0	54.0	3.0
	50歳代 [N= 92]	1.1	25.0	21.7	48.9	3.3
	60歳代 [N= 135]	1.5	19.3	14.8	59.3	5.2
	70歳以上 [N= 159]	2.5	23.3	9.4	37.1	27.7
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	1.3	23.1	20.3	45.7	9.6
	東部 [N= 62]	6.5	24.2	12.9	45.2	11.3
	美濃山 [N= 190]	2.1	22.1	17.4	52.6	5.8
	男山 [N= 309]	1.0	23.6	20.1	44.3	11.0
	橋本 [N= 228]	0.9	21.9	17.5	53.1	6.6

図表 143 ②地域コミュニティ(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		3.6	35.0	17.6	34.9	8.9
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]	2.9	32.4	18.7	37.3	8.6
	18～29歳 [N= 54]	5.6	25.9	20.4	46.3	1.9
	30歳代 [N= 60]	1.7	26.7	23.3	41.7	6.7
	40歳代 [N= 69]	0.0	49.3	18.8	29.0	2.9
	50歳代 [N= 58]	3.4	25.9	22.4	43.1	5.2
	60歳代 [N= 109]	2.8	34.9	20.2	36.7	5.5
	70歳以上 [N= 158]	3.8	30.4	13.9	34.2	17.7
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]	4.1	36.9	16.7	33.4	8.9
	18～29歳 [N= 95]	1.1	42.1	16.8	36.8	3.2
	30歳代 [N= 96]	6.3	29.2	17.7	44.8	2.1
	40歳代 [N= 100]	5.0	51.0	17.0	24.0	3.0
	50歳代 [N= 92]	4.3	40.2	17.4	34.8	3.3
	60歳代 [N= 135]	2.2	34.1	17.0	41.5	5.2
	70歳以上 [N= 159]	5.7	30.2	15.1	22.6	26.4
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	4.3	33.0	18.5	34.8	9.4
	東部 [N= 62]	6.5	33.9	14.5	33.9	11.3
	美濃山 [N= 190]	4.2	36.8	21.1	32.1	5.8
	男山 [N= 309]	3.6	37.2	14.9	33.7	10.7
	橋本 [N= 228]	1.3	35.1	17.5	39.9	6.1

図表 144 ③市民協働(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

			い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
	全体	[N= 1,192]	1.0	13.4	18.6	57.6	9.4
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	0.8	12.4	20.4	57.4	9.0
	18～29歳	[N= 54]	1.9	20.4	14.8	61.1	1.9
	30歳代	[N= 60]	0.0	5.0	21.7	66.7	6.7
	40歳代	[N= 69]	1.4	5.8	23.2	66.7	2.9
	50歳代	[N= 58]	0.0	10.3	24.1	60.3	5.2
	60歳代	[N= 109]	0.0	13.8	25.7	54.1	6.4
	70歳以上	[N= 158]	1.3	15.2	15.8	49.4	18.4
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	1.0	14.3	17.4	57.8	9.5
	18～29歳	[N= 95]	1.1	12.6	22.1	61.1	3.2
	30歳代	[N= 96]	2.1	13.5	16.7	65.6	2.1
	40歳代	[N= 100]	0.0	16.0	22.0	59.0	3.0
	50歳代	[N= 92]	1.1	15.2	25.0	55.4	3.3
	60歳代	[N= 135]	0.0	11.9	12.6	68.9	6.7
	70歳以上	[N= 159]	1.9	16.4	11.9	42.1	27.7
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	1.0	15.0	19.8	54.6	9.6
	東部	[N= 62]	3.2	11.3	24.2	50.0	11.3
	美濃山	[N= 190]	1.6	12.1	17.9	62.6	5.8
	男山	[N= 309]	0.6	14.6	16.8	56.0	12.0
	橋本	[N= 228]	0.4	11.4	18.9	62.7	6.6

図表 145 ④男女共同参画(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

			い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
	全体	[N= 1,192]	1.3	19.0	18.3	51.7	9.7
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	1.2	20.2	19.4	49.9	9.2
	18～29歳	[N= 54]	3.7	33.3	9.3	51.9	1.9
	30歳代	[N= 60]	0.0	15.0	23.3	55.0	6.7
	40歳代	[N= 69]	1.4	15.9	27.5	50.7	4.3
	50歳代	[N= 58]	1.7	27.6	20.7	44.8	5.2
	60歳代	[N= 109]	0.9	14.7	25.7	52.3	6.4
	70歳以上	[N= 158]	0.6	20.9	13.3	46.8	18.4
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	1.5	17.9	17.4	53.3	9.9
	18～29歳	[N= 95]	2.1	18.9	21.1	54.7	3.2
	30歳代	[N= 96]	2.1	16.7	15.6	63.5	2.1
	40歳代	[N= 100]	0.0	17.0	26.0	54.0	3.0
	50歳代	[N= 92]	0.0	25.0	19.6	52.2	3.3
	60歳代	[N= 135]	0.7	13.3	17.0	60.7	8.1
	70歳以上	[N= 159]	3.1	18.2	10.1	40.3	28.3
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	1.0	21.1	20.6	47.2	10.2
	東部	[N= 62]	1.6	19.4	22.6	45.2	11.3
	美濃山	[N= 190]	1.6	18.9	15.8	56.8	6.8
	男山	[N= 309]	1.9	17.5	16.5	52.1	12.0
	橋本	[N= 228]	0.9	17.5	18.0	57.0	6.6

図表 146 ⑤国際理解(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な あ っ て い る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		0.3	11.1	25.3	53.9	9.4
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]	0.0	10.2	28.7	52.1	9.0
	18～29歳 [N= 54]	0.0	16.7	31.5	50.0	1.9
	30歳代 [N= 60]	0.0	10.0	28.3	55.0	6.7
	40歳代 [N= 69]	0.0	8.7	36.2	50.7	4.3
	50歳代 [N= 58]	0.0	12.1	36.2	46.6	5.2
	60歳代 [N= 109]	0.0	9.2	28.4	56.9	5.5
	70歳以上 [N= 158]	0.0	8.9	22.2	50.6	18.4
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]	0.6	11.7	22.7	55.5	9.5
	18～29歳 [N= 95]	0.0	14.7	30.5	52.6	2.1
	30歳代 [N= 96]	1.0	9.4	20.8	66.7	2.1
	40歳代 [N= 100]	0.0	16.0	25.0	55.0	4.0
	50歳代 [N= 92]	0.0	13.0	29.3	54.3	3.3
	60歳代 [N= 135]	0.0	8.9	21.5	64.4	5.2
	70歳以上 [N= 159]	1.9	10.1	15.1	44.0	28.9
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	0.8	12.7	27.2	49.5	9.9
	東部 [N= 62]	0.0	6.5	27.4	54.8	11.3
	美濃山 [N= 190]	0.5	11.1	23.2	59.5	5.8
	男山 [N= 309]	0.0	10.4	23.6	54.0	12.0
	橋本 [N= 228]	0.0	11.0	26.3	56.6	6.1

図表 147 ⑥保育・幼稚園(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な あ っ て い る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		3.9	34.4	11.7	40.4	9.6
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]	3.7	36.7	12.6	37.5	9.4
	18～29歳 [N= 54]	9.3	31.5	11.1	46.3	1.9
	30歳代 [N= 60]	3.3	36.7	15.0	38.3	6.7
	40歳代 [N= 69]	2.9	49.3	15.9	27.5	4.3
	50歳代 [N= 58]	5.2	39.7	15.5	34.5	5.2
	60歳代 [N= 109]	2.8	33.0	14.7	43.1	6.4
	70歳以上 [N= 158]	2.5	34.8	8.2	35.4	19.0
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]	4.1	32.5	11.2	42.7	9.5
	18～29歳 [N= 95]	3.2	26.3	10.5	57.9	2.1
	30歳代 [N= 96]	5.2	40.6	19.8	32.3	2.1
	40歳代 [N= 100]	7.0	45.0	14.0	31.0	3.0
	50歳代 [N= 92]	2.2	37.0	15.2	42.4	3.3
	60歳代 [N= 135]	3.0	31.9	6.7	51.9	6.7
	70歳以上 [N= 159]	4.4	21.4	6.3	39.6	28.3
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	3.0	32.7	12.2	42.1	9.9
	東部 [N= 62]	3.2	37.1	9.7	37.1	12.9
	美濃山 [N= 190]	9.5	41.6	13.2	28.9	6.8
	男山 [N= 309]	2.9	32.4	11.3	41.4	12.0
	橋本 [N= 228]	2.6	33.3	11.4	46.5	6.1

図表 148 ⑦児童・母子・父子福祉(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

			い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			2.2	24.0	9.7	54.4	9.7
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		2.4	23.8	11.2	53.0	9.6
	18～29歳 [N= 54]		7.4	24.1	11.1	55.6	1.9
	30歳代 [N= 60]		0.0	28.3	11.7	51.7	8.3
	40歳代 [N= 69]		4.3	27.5	13.0	50.7	4.3
	50歳代 [N= 58]		0.0	31.0	13.8	50.0	5.2
	60歳代 [N= 109]		0.9	17.4	11.0	64.2	6.4
	70歳以上 [N= 158]		2.5	22.2	9.5	46.8	19.0
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		2.1	24.1	8.6	55.7	9.6
	18～29歳 [N= 95]		0.0	21.1	7.4	69.5	2.1
	30歳代 [N= 96]		4.2	26.0	15.6	52.1	2.1
	40歳代 [N= 100]		3.0	32.0	10.0	51.0	4.0
	50歳代 [N= 92]		1.1	33.7	13.0	48.9	3.3
	60歳代 [N= 135]		1.5	17.0	6.7	69.6	5.2
	70歳以上 [N= 159]		2.5	20.1	3.1	44.7	29.6
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		1.8	24.4	9.9	53.8	10.2
	東部 [N= 62]		3.2	22.6	14.5	46.8	12.9
	美濃山 [N= 190]		4.7	28.4	9.5	51.1	6.3
	男山 [N= 309]		1.3	22.0	8.1	56.3	12.3
	橋本 [N= 228]		1.8	23.2	10.5	58.3	6.1

図表 149 ⑧学校教育(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

			い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			1.8	25.3	16.1	47.5	9.2
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		1.6	24.4	17.5	47.3	9.2
	18～29歳 [N= 54]		3.7	37.0	14.8	42.6	1.9
	30歳代 [N= 60]		0.0	21.7	21.7	50.0	6.7
	40歳代 [N= 69]		4.3	26.1	26.1	39.1	4.3
	50歳代 [N= 58]		1.7	29.3	27.6	37.9	3.4
	60歳代 [N= 109]		1.8	20.2	12.8	58.7	6.4
	70歳以上 [N= 158]		0.0	21.5	12.7	46.8	19.0
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		2.1	26.1	14.9	47.9	9.0
	18～29歳 [N= 95]		2.1	29.5	17.9	48.4	2.1
	30歳代 [N= 96]		2.1	26.0	18.8	51.0	2.1
	40歳代 [N= 100]		1.0	37.0	19.0	40.0	3.0
	50歳代 [N= 92]		2.2	26.1	22.8	45.7	3.3
	60歳代 [N= 135]		0.7	21.5	12.6	60.0	5.2
	70歳以上 [N= 159]		3.8	21.4	5.7	41.5	27.7
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		2.0	23.4	18.0	47.2	9.4
	東部 [N= 62]		1.6	40.3	12.9	33.9	11.3
	美濃山 [N= 190]		4.2	32.1	12.6	44.7	6.3
	男山 [N= 309]		1.0	21.4	16.8	48.9	12.0
	橋本 [N= 228]		0.9	25.0	15.4	52.6	6.1

図表 150 ⑨青少年健全育成(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		1.3	19.0	18.7	51.4	9.6
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	1.2	17.5	22.4	49.5	9.4
	18～29歳 [N= 54]	3.7	29.6	22.2	42.6	1.9
	30歳代 [N= 60]	1.7	10.0	25.0	56.7	6.7
	40歳代 [N= 69]	1.4	21.7	31.9	40.8	4.3
	50歳代 [N= 58]	0.0	22.4	27.6	44.8	5.2
	60歳代 [N= 109]	1.8	13.8	16.5	62.4	5.5
	70歳以上 [N= 158]	0.0	15.2	19.6	45.6	19.6
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	1.3	19.9	15.8	53.2	9.7
	18～29歳 [N= 95]	2.1	16.8	22.1	56.8	2.1
	30歳代 [N= 96]	1.0	15.6	18.8	61.5	3.1
	40歳代 [N= 100]	1.0	31.0	19.0	46.0	3.0
	50歳代 [N= 92]	1.1	23.9	19.6	52.2	3.3
	60歳代 [N= 135]	0.7	15.6	14.8	63.7	5.2
	70歳以上 [N= 159]	1.9	18.9	6.9	42.1	30.2
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	1.5	17.8	21.8	49.0	9.9
	東部 [N= 62]	1.6	29.0	12.9	45.2	11.3
	美濃山 [N= 190]	2.1	22.1	16.8	52.6	6.3
	男山 [N= 309]	0.6	18.8	16.8	51.5	12.3
	橋本 [N= 228]	0.9	16.7	18.9	57.0	6.6

図表 151 ⑩生涯学習(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		5.2	38.7	12.7	34.4	9.1
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	3.3	35.6	16.7	35.2	9.2
	18～29歳 [N= 54]	9.3	29.6	18.5	40.7	1.9
	30歳代 [N= 60]	1.7	30.0	6.7	55.0	6.7
	40歳代 [N= 69]	1.4	39.1	23.2	31.9	4.3
	50歳代 [N= 58]	3.4	29.3	17.2	44.8	5.2
	60歳代 [N= 109]	2.8	37.6	18.3	34.9	6.4
	70歳以上 [N= 158]	3.2	39.2	15.8	23.4	18.4
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	6.5	41.2	9.6	33.8	8.9
	18～29歳 [N= 95]	3.2	35.8	10.5	48.4	2.1
	30歳代 [N= 96]	6.3	31.3	12.5	47.9	2.1
	40歳代 [N= 100]	8.0	45.0	11.0	32.0	4.0
	50歳代 [N= 92]	6.5	52.2	9.8	28.3	3.3
	60歳代 [N= 135]	8.1	43.7	11.1	31.1	5.9
	70歳以上 [N= 159]	6.3	39.6	5.0	23.3	25.8
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	4.8	39.6	10.7	35.3	9.6
	東部 [N= 62]	4.8	30.6	14.5	38.7	11.3
	美濃山 [N= 190]	4.7	35.3	14.7	38.9	6.3
	男山 [N= 309]	6.8	41.4	11.3	29.8	10.7
	橋本 [N= 228]	4.4	39.5	15.8	34.2	6.1

図表 152 ⑪スポーツ(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		4.4	34.0	17.8	34.7	9.1
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	2.8	31.4	20.8	36.3	8.6
	18～29歳 [N= 54]	5.6	44.4	11.1	38.9	0.0
	30歳代 [N= 60]	1.7	21.7	23.3	48.3	5.0
	40歳代 [N= 69]	4.3	33.3	23.2	34.8	4.3
	50歳代 [N= 58]	1.7	25.9	20.7	46.6	5.2
	60歳代 [N= 109]	1.8	33.9	24.8	33.9	5.5
	70歳以上 [N= 158]	2.5	30.4	19.6	29.1	18.4
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	5.6	36.0	15.5	33.7	9.2
	18～29歳 [N= 95]	2.1	38.9	16.8	40.0	2.1
	30歳代 [N= 96]	6.3	28.1	16.7	46.9	2.1
	40歳代 [N= 100]	7.0	44.0	11.0	34.0	4.0
	50歳代 [N= 92]	5.4	41.3	22.8	26.1	4.3
	60歳代 [N= 135]	5.2	36.3	17.0	35.6	5.9
	70歳以上 [N= 159]	6.9	30.8	11.3	24.5	26.4
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	4.8	35.0	18.8	31.5	9.9
	東部 [N= 62]	6.5	40.3	8.1	35.5	9.7
	美濃山 [N= 190]	4.2	30.5	16.8	42.1	6.3
	男山 [N= 309]	5.5	33.7	16.5	33.3	11.0
	橋本 [N= 228]	2.2	34.2	21.1	36.4	6.1

図表 153 ⑫文化芸術(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		6.1	35.6	9.1	39.4	9.8
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	5.9	36.0	10.4	38.1	9.6
	18～29歳 [N= 54]	20.4	37.0	7.4	35.2	0.0
	30歳代 [N= 60]	6.7	26.7	10.0	50.0	6.7
	40歳代 [N= 69]	8.7	47.8	10.1	30.4	2.9
	50歳代 [N= 58]	3.4	34.5	12.1	43.1	6.9
	60歳代 [N= 109]	0.9	33.0	10.1	48.6	7.3
	70歳以上 [N= 158]	3.8	36.7	11.4	29.5	19.6
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	6.2	35.5	8.0	40.6	9.7
	18～29歳 [N= 95]	5.3	42.1	7.4	42.1	3.2
	30歳代 [N= 96]	6.3	34.4	7.3	50.0	2.1
	40歳代 [N= 100]	9.0	44.0	7.0	35.0	5.0
	50歳代 [N= 92]	3.3	41.3	7.6	44.6	3.3
	60歳代 [N= 135]	5.2	31.1	10.4	46.7	6.7
	70歳以上 [N= 159]	7.5	27.0	7.5	30.2	27.7
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	8.1	32.2	9.9	38.6	11.2
	東部 [N= 62]	4.8	46.8	8.1	30.6	9.7
	美濃山 [N= 190]	6.8	32.6	10.0	43.7	6.8
	男山 [N= 309]	4.9	35.0	7.1	41.4	11.7
	橋本 [N= 228]	4.4	42.5	9.6	37.3	6.1

図表 154 ⑬自然環境(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		2.2	31.3	17.2	39.8	9.5
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	2.2	30.6	20.0	38.5	8.6
	18～29歳 [N= 54]	7.4	35.2	13.0	44.4	0.0
	30歳代 [N= 60]	1.7	20.0	18.3	53.3	6.7
	40歳代 [N= 69]	0.0	36.2	23.2	37.7	2.9
	50歳代 [N= 58]	1.7	29.3	15.5	48.3	5.2
	60歳代 [N= 109]	0.9	30.3	25.7	37.6	5.5
	70歳以上 [N= 158]	2.5	31.6	19.6	27.9	18.4
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	2.2	31.8	15.1	41.1	9.9
	18～29歳 [N= 95]	1.1	29.5	14.7	52.6	2.1
	30歳代 [N= 96]	3.1	20.8	21.9	52.1	2.1
	40歳代 [N= 100]	1.0	34.0	14.0	46.0	5.0
	50歳代 [N= 92]	2.2	37.0	15.2	42.4	3.3
	60歳代 [N= 135]	1.5	36.3	16.3	37.8	8.1
	70歳以上 [N= 159]	3.8	31.4	10.7	26.4	27.7
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	3.6	28.7	18.8	38.6	10.4
	東部 [N= 62]	3.2	30.6	17.7	38.7	9.7
	美濃山 [N= 190]	1.1	28.4	20.0	44.2	6.3
	男山 [N= 309]	1.9	33.0	13.3	40.1	11.7
	橋本 [N= 228]	0.9	37.3	17.5	38.2	6.1

図表 155 ⑭生活環境(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		2.1	30.5	18.5	39.1	9.8
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	2.0	32.2	21.0	35.6	9.2
	18～29歳 [N= 54]	5.6	42.6	11.1	38.9	1.9
	30歳代 [N= 60]	1.7	23.3	21.7	46.7	6.7
	40歳代 [N= 69]	2.9	34.8	26.1	33.3	2.9
	50歳代 [N= 58]	0.0	31.0	19.0	44.8	5.2
	60歳代 [N= 109]	0.9	31.2	27.5	34.9	5.5
	70歳以上 [N= 158]	1.9	32.3	18.4	27.9	19.6
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	2.2	29.1	16.5	42.1	10.0
	18～29歳 [N= 95]	2.1	25.3	12.6	57.9	2.1
	30歳代 [N= 96]	2.1	24.0	18.8	53.1	2.1
	40歳代 [N= 100]	2.0	36.0	18.0	40.0	4.0
	50歳代 [N= 92]	2.2	30.4	21.7	41.3	4.3
	60歳代 [N= 135]	0.7	31.9	18.5	40.7	8.1
	70歳以上 [N= 159]	3.8	27.0	11.9	28.9	28.3
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	2.3	29.4	18.8	39.1	10.4
	東部 [N= 62]	0.0	24.2	24.2	40.3	11.3
	美濃山 [N= 190]	2.1	30.5	21.6	38.9	6.8
	男山 [N= 309]	2.9	30.4	17.2	36.9	12.6
	橋本 [N= 228]	1.3	35.1	15.8	42.1	5.7

図表 156 ⑮循環型社会(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		3.9	35.7	13.7	37.2	9.4
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	4.1	33.0	16.5	37.1	9.2
	18～29歳 [N= 54]	3.7	31.5	14.8	48.1	1.9
	30歳代 [N= 60]	3.3	26.7	20.0	43.3	6.7
	40歳代 [N= 69]	5.8	30.4	23.2	37.7	2.9
	50歳代 [N= 58]	5.2	29.3	20.7	39.7	5.2
	60歳代 [N= 109]	2.8	35.8	16.5	38.5	6.4
	70歳以上 [N= 158]	4.4	36.7	11.4	28.5	19.0
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	3.8	37.8	11.4	37.7	9.3
	18～29歳 [N= 95]	0.0	26.3	10.5	61.1	2.1
	30歳代 [N= 96]	2.1	24.0	20.8	51.0	2.1
	40歳代 [N= 100]	1.0	46.0	10.0	39.0	4.0
	50歳代 [N= 92]	7.6	35.9	17.4	35.9	3.3
	60歳代 [N= 135]	3.0	53.3	9.6	28.1	5.9
	70歳以上 [N= 159]	7.5	35.8	5.0	28.9	27.7
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	3.8	36.5	14.7	35.3	9.6
	東部 [N= 62]	4.8	29.0	17.7	37.1	11.3
	美濃山 [N= 190]	5.3	32.6	13.7	41.6	6.8
	男山 [N= 309]	4.5	34.3	13.9	35.6	11.7
	橋本 [N= 228]	2.2	41.7	10.1	39.5	6.6

図表 157 ⑯景観(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		4.4	39.8	19.0	27.1	9.6
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	3.5	37.1	22.2	27.5	9.6
	18～29歳 [N= 54]	7.4	29.6	20.4	40.7	1.9
	30歳代 [N= 60]	1.7	26.7	30.0	33.3	8.3
	40歳代 [N= 69]	4.3	49.3	21.7	21.7	2.9
	50歳代 [N= 58]	3.4	46.6	19.0	24.1	6.9
	60歳代 [N= 109]	1.8	38.5	25.7	27.5	6.4
	70歳以上 [N= 158]	3.8	34.2	19.0	24.1	19.0
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	5.0	42.2	16.5	26.9	9.3
	18～29歳 [N= 95]	5.3	43.2	16.8	32.6	2.1
	30歳代 [N= 96]	4.2	34.4	20.8	38.5	2.1
	40歳代 [N= 100]	3.0	48.0	19.0	26.0	4.0
	50歳代 [N= 92]	3.3	43.5	19.6	28.3	5.4
	60歳代 [N= 135]	2.2	50.4	17.8	23.0	6.7
	70歳以上 [N= 159]	10.1	35.2	9.4	19.5	25.8
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	4.8	39.8	18.3	26.6	10.4
	東部 [N= 62]	4.8	48.4	6.5	29.0	11.3
	美濃山 [N= 190]	4.2	40.0	25.8	23.7	6.3
	男山 [N= 309]	4.5	38.5	18.4	26.9	11.7
	橋本 [N= 228]	3.9	40.4	18.4	30.3	7.0

図表 158 ⑰保健・医療(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		5.1	39.0	16.4	30.5	9.1
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	4.1	41.3	16.3	29.1	9.2
	18～29歳 [N= 54]	3.7	35.2	11.1	48.1	1.9
	30歳代 [N= 60]	1.7	31.7	25.0	35.0	6.7
	40歳代 [N= 69]	5.8	43.5	21.7	26.1	2.9
	50歳代 [N= 58]	0.0	36.2	22.4	36.2	5.2
	60歳代 [N= 109]	4.6	45.9	12.8	30.3	6.4
	70歳以上 [N= 158]	5.7	44.9	12.7	17.7	19.0
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	5.8	37.7	16.2	31.6	8.7
	18～29歳 [N= 95]	3.2	31.6	14.7	48.4	2.1
	30歳代 [N= 96]	4.2	20.8	25.0	47.9	2.1
	40歳代 [N= 100]	6.0	41.0	20.0	30.0	3.0
	50歳代 [N= 92]	4.3	43.5	22.8	26.1	3.3
	60歳代 [N= 135]	3.0	47.4	13.3	30.4	5.9
	70歳以上 [N= 159]	11.3	37.7	8.2	17.0	25.8
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	6.1	39.6	16.5	28.2	9.6
	東部 [N= 62]	6.5	41.9	16.1	24.2	11.3
	美濃山 [N= 190]	3.7	34.2	20.5	35.8	5.8
	男山 [N= 309]	4.5	40.1	14.2	30.1	11.0
	橋本 [N= 228]	5.3	41.2	14.9	32.0	6.6

図表 159 ⑱地域福祉(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		1.9	26.5	16.1	46.2	9.2
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	2.0	27.7	17.1	43.8	9.4
	18～29歳 [N= 54]	5.6	37.0	7.4	48.1	1.9
	30歳代 [N= 60]	1.7	18.3	11.7	60.0	8.3
	40歳代 [N= 69]	1.4	31.9	21.7	43.5	1.4
	50歳代 [N= 58]	0.0	29.3	24.1	41.4	5.2
	60歳代 [N= 109]	0.9	25.7	18.3	48.6	6.4
	70歳以上 [N= 158]	2.5	27.2	17.1	39.5	19.6
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	1.8	25.8	15.4	48.2	8.9
	18～29歳 [N= 95]	1.1	28.4	11.6	56.8	2.1
	30歳代 [N= 96]	1.0	18.8	19.8	58.3	2.1
	40歳代 [N= 100]	1.0	22.0	11.0	63.0	3.0
	50歳代 [N= 92]	2.2	27.2	22.8	44.6	3.3
	60歳代 [N= 135]	0.7	26.7	17.8	48.1	6.7
	70歳以上 [N= 159]	3.8	29.6	11.3	29.6	25.8
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	2.5	26.6	16.8	44.4	9.6
	東部 [N= 62]	4.8	29.0	11.3	43.5	11.3
	美濃山 [N= 190]	1.6	22.6	18.4	51.1	6.3
	男山 [N= 309]	1.9	28.2	15.9	42.7	11.3
	橋本 [N= 228]	0.4	27.6	14.9	50.9	6.1

図表 160 ⑱高齢者福祉(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		1.6	24.1	16.5	49.6	8.2
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]	2.2	24.2	19.1	45.8	8.8
	18～29歳 [N= 54]	7.4	29.6	7.4	53.7	1.9
	30歳代 [N= 60]	1.7	18.3	11.7	61.7	6.7
	40歳代 [N= 69]	1.4	24.6	23.2	47.8	2.9
	50歳代 [N= 58]	1.7	20.7	29.3	43.1	5.2
	60歳代 [N= 109]	0.9	25.7	21.1	46.8	5.5
	70歳以上 [N= 158]	1.9	24.7	19.0	36.1	18.4
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]	1.0	24.1	14.6	52.7	7.5
	18～29歳 [N= 95]	0.0	18.9	10.5	68.4	2.1
	30歳代 [N= 96]	0.0	16.7	17.7	63.5	2.1
	40歳代 [N= 100]	1.0	20.0	13.0	63.0	3.0
	50歳代 [N= 92]	1.1	27.2	19.6	48.9	3.3
	60歳代 [N= 135]	0.7	23.0	17.0	55.6	3.7
	70歳以上 [N= 159]	2.5	33.3	11.3	30.2	22.6
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	2.8	24.1	18.3	46.4	8.4
	東部 [N= 62]	1.6	27.4	14.5	46.8	9.7
	美濃山 [N= 190]	0.5	13.7	15.8	64.2	5.8
	男山 [N= 309]	1.0	29.4	15.5	43.7	10.4
	橋本 [N= 228]	1.3	25.0	16.2	52.2	5.3

図表 161 ㉔障がい者福祉(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		1.8	21.4	12.2	55.3	9.3
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]	2.6	21.0	14.3	52.7	9.4
	18～29歳 [N= 54]	7.4	29.6	3.7	57.4	1.9
	30歳代 [N= 60]	0.0	15.0	11.7	66.7	6.7
	40歳代 [N= 69]	1.4	24.6	18.8	52.2	2.9
	50歳代 [N= 58]	1.7	20.7	22.4	50.0	5.2
	60歳代 [N= 109]	1.8	16.5	19.3	55.0	7.3
	70歳以上 [N= 158]	3.2	22.2	10.8	44.9	19.0
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]	1.3	21.6	10.6	57.6	8.9
	18～29歳 [N= 95]	1.1	24.2	6.3	66.3	2.1
	30歳代 [N= 96]	0.0	13.5	13.5	70.8	2.1
	40歳代 [N= 100]	0.0	22.0	11.0	64.0	3.0
	50歳代 [N= 92]	1.1	22.8	16.3	56.5	3.3
	60歳代 [N= 135]	1.5	22.2	12.6	58.5	5.2
	70歳以上 [N= 159]	3.1	23.3	6.3	40.3	27.0
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	1.8	25.9	11.9	50.8	9.6
	東部 [N= 62]	4.8	19.4	12.9	51.6	11.3
	美濃山 [N= 190]	0.5	11.1	11.6	71.1	5.8
	男山 [N= 309]	1.9	24.9	13.3	48.2	11.7
	橋本 [N= 228]	2.2	18.9	11.8	61.0	6.1

図表 162 ㊴社会保障(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		2.3	18.6	15.7	54.4	9.1
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	1.4	19.6	18.9	51.1	9.0
	18～29歳 [N= 54]	3.7	22.2	11.1	61.1	1.9
	30歳代 [N= 60]	0.0	15.0	18.3	60.0	6.7
	40歳代 [N= 69]	2.9	20.3	20.3	53.6	2.9
	50歳代 [N= 58]	3.4	20.7	22.4	48.3	5.2
	60歳代 [N= 109]	0.0	17.4	22.9	53.2	6.4
	70歳以上 [N= 158]	0.6	21.5	17.1	42.4	18.4
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	2.8	17.9	13.4	57.2	8.7
	18～29歳 [N= 95]	1.1	17.9	11.6	67.4	2.1
	30歳代 [N= 96]	2.1	9.4	14.6	71.9	2.1
	40歳代 [N= 100]	2.0	23.0	15.0	58.0	2.0
	50歳代 [N= 92]	3.3	16.3	20.7	56.5	3.3
	60歳代 [N= 135]	3.0	15.6	15.6	60.7	5.2
	70歳以上 [N= 159]	4.4	22.6	6.9	39.0	27.0
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	2.0	21.6	16.5	50.5	9.4
	東部 [N= 62]	3.2	21.0	16.1	48.4	11.3
	美濃山 [N= 190]	1.1	12.6	16.3	64.2	5.8
	男山 [N= 309]	3.9	17.8	16.8	50.2	11.3
	橋本 [N= 228]	1.3	19.7	12.7	60.5	5.7

図表 163 ㊵市街地(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		2.0	26.1	24.3	37.5	10.1
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	2.0	27.5	28.1	32.2	10.2
	18～29歳 [N= 54]	1.9	31.5	24.1	40.7	1.9
	30歳代 [N= 60]	0.0	23.3	23.3	43.3	10.0
	40歳代 [N= 69]	2.9	40.6	29.0	23.2	4.3
	50歳代 [N= 58]	1.7	31.0	25.9	36.2	5.2
	60歳代 [N= 109]	2.8	27.5	32.1	30.3	7.3
	70歳以上 [N= 158]	1.9	20.9	29.1	28.5	19.6
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	2.1	24.7	21.6	41.8	9.9
	18～29歳 [N= 95]	2.1	25.3	21.1	49.5	2.1
	30歳代 [N= 96]	3.1	24.0	19.8	51.0	2.1
	40歳代 [N= 100]	3.0	36.0	20.0	37.0	4.0
	50歳代 [N= 92]	0.0	28.3	33.7	34.8	3.3
	60歳代 [N= 135]	1.5	20.7	22.2	49.6	5.9
	70歳以上 [N= 159]	2.5	18.9	16.4	32.1	30.2
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	1.0	26.6	23.9	38.1	10.4
	東部 [N= 62]	4.8	16.1	27.4	40.3	11.3
	美濃山 [N= 190]	3.2	28.4	24.2	36.8	7.4
	男山 [N= 309]	1.6	23.9	21.0	40.5	12.9
	橋本 [N= 228]	2.6	29.4	28.5	32.9	6.6

図表 164 ㉓道路(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		3.0	34.7	30.2	22.5	9.6
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	3.5	34.8	33.4	18.5	9.8
	18～29歳 [N= 54]	3.7	33.3	37.0	24.1	1.9
	30歳代 [N= 60]	3.3	33.3	30.0	26.7	6.7
	40歳代 [N= 69]	4.3	44.9	36.2	11.6	2.9
	50歳代 [N= 58]	6.9	27.6	34.5	25.9	5.2
	60歳代 [N= 109]	1.8	42.2	32.1	17.4	6.4
	70歳以上 [N= 158]	3.2	29.1	32.9	13.9	20.9
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	2.5	34.6	27.9	25.7	9.3
	18～29歳 [N= 95]	6.3	38.9	24.2	28.4	2.1
	30歳代 [N= 96]	2.1	30.2	36.5	29.2	2.1
	40歳代 [N= 100]	0.0	40.0	29.0	27.0	4.0
	50歳代 [N= 92]	1.1	32.6	35.9	27.2	3.3
	60歳代 [N= 135]	0.7	41.5	28.9	23.0	5.9
	70歳以上 [N= 159]	4.4	26.4	18.9	22.6	27.7
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	3.0	35.3	30.2	21.3	10.2
	東部 [N= 62]	3.2	38.7	25.8	21.0	11.3
	美濃山 [N= 190]	4.7	37.4	36.3	15.3	6.3
	男山 [N= 309]	2.3	36.6	21.7	26.9	12.6
	橋本 [N= 228]	2.6	28.9	38.2	25.0	5.3

図表 165 ㉔公共交通(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		2.4	31.5	28.4	27.9	9.6
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	2.4	31.0	30.5	26.7	9.4
	18～29歳 [N= 54]	3.7	27.8	33.3	33.3	1.9
	30歳代 [N= 60]	1.7	26.7	31.7	31.7	8.3
	40歳代 [N= 69]	1.4	36.2	42.0	17.4	2.9
	50歳代 [N= 58]	3.4	43.1	24.1	24.1	5.2
	60歳代 [N= 109]	2.8	27.5	28.4	35.8	5.5
	70歳以上 [N= 158]	1.9	29.7	27.8	20.9	19.6
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	2.5	31.8	27.0	29.0	9.7
	18～29歳 [N= 95]	5.3	32.6	28.4	31.6	2.1
	30歳代 [N= 96]	2.1	32.3	29.2	33.3	3.1
	40歳代 [N= 100]	1.0	38.0	33.0	24.0	4.0
	50歳代 [N= 92]	1.1	33.7	33.7	27.2	4.3
	60歳代 [N= 135]	1.5	26.7	25.2	40.0	6.7
	70歳以上 [N= 159]	3.8	30.2	18.9	19.5	27.7
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	2.8	33.2	27.9	25.9	10.2
	東部 [N= 62]	0.0	25.8	35.5	27.4	11.3
	美濃山 [N= 190]	1.6	25.8	37.4	29.5	5.8
	男山 [N= 309]	2.6	36.6	21.4	27.5	12.0
	橋本 [N= 228]	3.1	29.4	29.8	30.7	7.0

図表 166 ⑤情報通信(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

			い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			1.0	14.8	20.0	54.4	9.8
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		1.2	16.7	23.4	49.1	9.6
	18～29歳 [N= 54]		0.0	20.4	14.8	63.0	1.9
	30歳代 [N= 60]		1.7	10.0	26.7	55.0	6.7
	40歳代 [N= 69]		0.0	15.9	39.1	42.0	2.9
	50歳代 [N= 58]		3.4	12.1	25.9	53.4	5.2
	60歳代 [N= 109]		0.9	21.1	23.9	47.7	6.4
	70歳以上 [N= 158]		1.3	17.1	17.1	44.3	20.3
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		0.9	13.1	17.4	58.6	9.9
	18～29歳 [N= 95]		1.1	9.5	20.0	67.4	2.1
	30歳代 [N= 96]		3.1	7.3	20.8	66.7	2.1
	40歳代 [N= 100]		1.0	16.0	17.0	62.0	4.0
	50歳代 [N= 92]		0.0	10.9	26.1	58.7	4.3
	60歳代 [N= 135]		0.0	11.9	17.0	65.2	5.9
	70歳以上 [N= 159]		0.6	19.5	9.4	40.9	29.6
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		1.0	16.2	20.1	52.0	10.7
	東部 [N= 62]		3.2	12.9	21.0	51.6	11.3
	美濃山 [N= 190]		1.6	16.3	20.0	55.3	6.8
	男山 [N= 309]		0.3	12.3	18.8	56.3	12.3
	橋本 [N= 228]		0.9	15.4	21.5	56.6	5.7

図表 167 ⑥農業(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

			い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			1.0	14.3	13.4	61.7	9.6
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		1.0	14.7	13.9	60.3	10.0
	18～29歳 [N= 54]		0.0	29.6	14.8	53.7	1.9
	30歳代 [N= 60]		1.7	5.0	20.0	66.7	6.7
	40歳代 [N= 69]		0.0	15.9	20.3	60.9	2.9
	50歳代 [N= 58]		3.4	19.0	20.7	51.7	5.2
	60歳代 [N= 109]		0.0	13.8	10.1	68.8	7.3
	70歳以上 [N= 158]		1.3	12.0	8.9	57.0	20.9
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		1.0	13.7	13.0	62.9	9.3
	18～29歳 [N= 95]		1.1	15.8	18.9	62.1	2.1
	30歳代 [N= 96]		1.0	11.5	12.5	72.9	2.1
	40歳代 [N= 100]		2.0	17.0	10.0	67.0	4.0
	50歳代 [N= 92]		1.1	15.2	20.7	59.8	3.3
	60歳代 [N= 135]		0.0	11.1	9.6	74.1	5.2
	70歳以上 [N= 159]		1.3	13.2	10.1	47.2	28.3
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		1.0	18.0	14.5	56.1	10.4
	東部 [N= 62]		0.0	33.9	19.4	35.5	11.3
	美濃山 [N= 190]		1.6	9.5	13.2	68.9	6.8
	男山 [N= 309]		1.3	10.4	9.4	66.7	12.3
	橋本 [N= 228]		0.4	12.3	15.8	66.2	5.3

図表 168 ㉗工業(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

			い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			1.7	20.1	12.2	56.2	9.9
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		2.2	21.8	14.7	51.3	10.0
	18～29歳 [N= 54]		3.7	20.4	14.8	59.3	1.9
	30歳代 [N= 60]		1.7	23.3	13.3	55.0	6.7
	40歳代 [N= 69]		0.0	23.2	27.5	46.4	2.9
	50歳代 [N= 58]		10.3	27.6	17.2	39.7	5.2
	60歳代 [N= 109]		0.9	22.0	12.8	56.9	7.3
	70歳以上 [N= 158]		0.6	19.0	10.1	49.4	20.9
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		1.2	18.8	10.2	60.1	9.7
	18～29歳 [N= 95]		3.2	16.8	10.5	67.4	2.1
	30歳代 [N= 96]		1.0	17.7	14.6	63.5	3.1
	40歳代 [N= 100]		0.0	23.0	8.0	65.0	4.0
	50歳代 [N= 92]		0.0	21.7	15.2	59.8	3.3
	60歳代 [N= 135]		0.0	18.5	8.9	66.7	5.9
	70歳以上 [N= 159]		2.5	16.4	6.9	45.3	28.9
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		1.0	23.9	13.2	51.5	10.4
	東部 [N= 62]		4.8	35.5	11.3	37.1	11.3
	美濃山 [N= 190]		2.1	17.4	12.1	61.6	6.8
	男山 [N= 309]		1.9	16.5	7.8	60.5	13.3
	橋本 [N= 228]		1.3	17.1	16.7	59.6	5.3

図表 169 ㉘商業(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

			い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			1.7	18.7	31.7	38.1	9.8
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		1.8	17.9	36.1	34.0	10.2
	18～29歳 [N= 54]		3.7	29.6	24.1	40.7	1.9
	30歳代 [N= 60]		1.7	18.3	35.0	38.3	6.7
	40歳代 [N= 69]		2.9	10.1	47.8	36.2	2.9
	50歳代 [N= 58]		3.4	20.7	43.1	27.6	5.2
	60歳代 [N= 109]		0.0	22.0	37.6	33.9	6.4
	70歳以上 [N= 158]		1.3	13.3	32.3	31.0	22.2
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		1.5	19.2	28.5	41.4	9.5
	18～29歳 [N= 95]		4.2	20.0	27.4	46.3	2.1
	30歳代 [N= 96]		1.0	14.6	35.4	46.9	2.1
	40歳代 [N= 100]		1.0	21.0	31.0	43.0	4.0
	50歳代 [N= 92]		0.0	28.3	34.8	33.7	3.3
	60歳代 [N= 135]		0.0	14.1	31.1	49.6	5.2
	70歳以上 [N= 159]		2.5	19.5	17.6	31.4	28.9
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		1.5	17.0	32.7	38.3	10.4
	東部 [N= 62]		1.6	14.5	35.5	35.5	12.9
	美濃山 [N= 190]		2.1	28.9	21.6	41.1	6.3
	男山 [N= 309]		1.6	17.8	27.8	40.1	12.6
	橋本 [N= 228]		1.8	15.8	43.0	33.8	5.7

図表 170 ㊸観光(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

			い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			1.7	21.6	26.2	40.8	9.8
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		1.6	19.3	31.4	37.9	9.8
	18～29歳 [N= 54]		3.7	27.8	25.9	40.7	1.9
	30歳代 [N= 60]		3.3	23.3	30.0	35.0	8.3
	40歳代 [N= 69]		2.9	21.7	33.3	39.1	2.9
	50歳代 [N= 58]		1.7	17.2	37.9	36.2	6.9
	60歳代 [N= 109]		0.0	16.5	36.7	41.3	5.5
	70歳以上 [N= 158]		0.6	16.5	27.2	35.4	20.3
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]		1.6	23.2	22.2	43.1	9.9
	18～29歳 [N= 95]		4.2	31.6	20.0	41.1	3.2
	30歳代 [N= 96]		1.0	27.1	25.0	44.8	2.1
	40歳代 [N= 100]		2.0	28.0	23.0	43.0	4.0
	50歳代 [N= 92]		1.1	25.0	29.3	41.3	3.3
	60歳代 [N= 135]		0.0	14.8	25.9	54.1	5.2
	70歳以上 [N= 159]		1.9	18.9	13.8	35.2	30.2
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		2.0	21.3	26.4	39.8	10.4
	東部 [N= 62]		1.6	29.0	24.2	32.3	12.9
	美濃山 [N= 190]		2.1	20.5	26.3	44.2	6.8
	男山 [N= 309]		1.0	19.1	23.0	44.3	12.6
	橋本 [N= 228]		1.8	24.6	30.7	37.3	5.7

図表 171 ㊹住宅・住環境(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

			い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			1.9	28.4	17.5	41.6	10.5
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		1.4	32.2	18.9	36.5	11.0
	18～29歳 [N= 54]		5.6	40.7	7.4	44.4	1.9
	30歳代 [N= 60]		3.3	28.3	20.0	40.0	8.3
	40歳代 [N= 69]		0.0	43.5	23.2	30.4	2.9
	50歳代 [N= 58]		1.7	31.0	22.4	39.7	5.2
	60歳代 [N= 109]		0.0	32.1	22.9	36.7	8.3
	70歳以上 [N= 158]		0.6	26.6	16.5	33.5	22.8
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]		2.4	25.6	16.4	45.6	10.0
	18～29歳 [N= 95]		2.1	29.5	13.7	52.6	2.1
	30歳代 [N= 96]		4.2	21.9	19.8	52.1	2.1
	40歳代 [N= 100]		3.0	27.0	16.0	49.0	5.0
	50歳代 [N= 92]		0.0	31.5	19.6	45.7	3.3
	60歳代 [N= 135]		1.5	24.4	17.0	50.4	6.7
	70歳以上 [N= 159]		3.1	22.0	13.8	31.4	29.6
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		0.8	26.1	19.3	42.6	11.2
	東部 [N= 62]		3.2	19.4	21.0	41.9	14.5
	美濃山 [N= 190]		5.3	38.9	11.1	37.9	6.8
	男山 [N= 309]		1.3	25.6	16.8	43.0	13.3
	橋本 [N= 228]		1.8	31.1	19.7	41.2	6.1

図表 172 ㊸上下水道(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

			い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			10.9	47.3	6.6	25.7	9.5
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		13.6	47.3	7.7	21.6	9.8
	18～29歳 [N= 54]		22.2	35.2	3.7	37.0	1.9
	30歳代 [N= 60]		6.7	43.3	8.3	35.0	6.7
	40歳代 [N= 69]		17.4	37.7	18.8	23.2	2.9
	50歳代 [N= 58]		17.2	50.0	6.9	20.7	5.2
	60歳代 [N= 109]		11.0	58.7	8.3	14.7	7.3
	70歳以上 [N= 158]		12.0	48.7	3.8	15.2	20.3
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]		8.9	47.3	5.9	28.8	9.2
	18～29歳 [N= 95]		9.5	36.8	6.3	45.3	2.1
	30歳代 [N= 96]		9.4	39.6	6.3	42.7	2.1
	40歳代 [N= 100]		11.0	48.0	6.0	31.0	4.0
	50歳代 [N= 92]		4.3	55.4	7.6	29.3	3.3
	60歳代 [N= 135]		6.7	57.8	5.9	23.7	5.9
	70歳以上 [N= 159]		11.3	44.0	4.4	13.2	27.0
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		10.2	48.2	7.1	24.6	9.9
	東部 [N= 62]		14.5	41.9	9.7	22.6	11.3
	美濃山 [N= 190]		12.6	46.3	5.3	27.9	7.9
	男山 [N= 309]		10.0	46.3	6.1	25.9	11.7
	橋本 [N= 228]		10.5	50.9	7.0	25.9	5.7

図表 173 ㊹公園・緑地・河川(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

			い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			7.1	47.0	14.0	22.2	9.6
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		7.5	48.1	15.7	18.7	10.0
	18～29歳 [N= 54]		9.3	51.9	11.1	25.9	1.9
	30歳代 [N= 60]		6.7	41.7	20.0	25.0	6.7
	40歳代 [N= 69]		11.6	56.5	11.6	17.4	2.9
	50歳代 [N= 58]		10.3	43.1	22.4	19.0	5.2
	60歳代 [N= 109]		5.5	45.9	22.9	17.4	8.3
	70歳以上 [N= 158]		5.7	49.4	10.1	14.6	20.3
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]		6.9	45.9	12.9	25.0	9.3
	18～29歳 [N= 95]		7.4	44.2	15.8	30.5	2.1
	30歳代 [N= 96]		11.5	37.5	18.8	30.2	2.1
	40歳代 [N= 100]		8.0	55.0	9.0	24.0	4.0
	50歳代 [N= 92]		2.2	51.1	16.3	27.2	3.3
	60歳代 [N= 135]		5.2	48.9	14.8	25.9	5.2
	70歳以上 [N= 159]		7.5	40.9	6.3	17.0	28.3
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		5.8	46.2	16.5	21.1	10.4
	東部 [N= 62]		4.8	41.9	16.1	22.6	14.5
	美濃山 [N= 190]		10.0	55.8	10.0	18.4	5.8
	男山 [N= 309]		7.1	44.0	11.7	25.2	12.0
	橋本 [N= 228]		7.9	47.8	15.8	22.8	5.7

図表 174 ㊸防災(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

			い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			3.5	36.0	11.7	38.8	9.9
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		2.9	35.8	13.9	36.9	10.4
	18～29歳 [N= 54]		1.9	42.6	9.3	44.4	1.9
	30歳代 [N= 60]		0.0	31.7	16.7	43.3	8.3
	40歳代 [N= 69]		2.9	43.5	15.9	34.8	2.9
	50歳代 [N= 58]		3.4	36.2	15.5	39.7	5.2
	60歳代 [N= 109]		0.9	36.7	15.6	39.4	7.3
	70歳以上 [N= 158]		5.7	31.0	12.0	29.7	21.5
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]		4.0	36.0	10.2	40.3	9.5
	18～29歳 [N= 95]		3.2	29.5	6.3	57.9	3.2
	30歳代 [N= 96]		3.1	25.0	15.6	54.2	2.1
	40歳代 [N= 100]		6.0	46.0	8.0	36.0	4.0
	50歳代 [N= 92]		1.1	38.0	15.2	42.4	3.3
	60歳代 [N= 135]		2.2	40.7	12.6	39.3	5.2
	70歳以上 [N= 159]		6.9	35.2	5.7	23.9	28.3
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		2.8	33.2	13.7	39.3	10.9
	東部 [N= 62]		3.2	41.9	14.5	29.0	11.3
	美濃山 [N= 190]		4.7	40.0	11.1	36.8	7.4
	男山 [N= 309]		3.2	35.0	10.7	38.5	12.6
	橋本 [N= 228]		4.4	37.7	9.6	43.0	5.3

図表 175 ㊹防犯・交通安全(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

			い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			1.8	23.5	14.3	50.4	10.0
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]		1.8	25.7	14.5	47.9	10.0
	18～29歳 [N= 54]		1.9	31.5	9.3	55.6	1.9
	30歳代 [N= 60]		0.0	23.3	21.7	48.3	6.7
	40歳代 [N= 69]		0.0	20.3	33.3	43.5	2.9
	50歳代 [N= 58]		0.0	29.3	17.2	48.3	5.2
	60歳代 [N= 109]		0.9	24.8	11.0	55.0	8.3
	70歳以上 [N= 158]		4.4	26.6	7.0	41.8	20.3
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]		1.8	21.4	14.2	52.7	9.9
	18～29歳 [N= 95]		2.1	21.1	12.6	61.1	3.2
	30歳代 [N= 96]		3.1	11.5	18.8	64.6	2.1
	40歳代 [N= 100]		3.0	19.0	16.0	58.0	4.0
	50歳代 [N= 92]		0.0	21.7	20.7	54.3	3.3
	60歳代 [N= 135]		0.7	25.9	13.3	54.8	5.2
	70歳以上 [N= 159]		1.9	25.2	8.2	34.6	30.2
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		2.0	22.8	16.5	48.0	10.7
	東部 [N= 62]		1.6	22.6	12.9	51.6	11.3
	美濃山 [N= 190]		2.6	22.1	14.7	53.2	7.4
	男山 [N= 309]		1.0	24.6	13.3	48.5	12.6
	橋本 [N= 228]		1.8	24.6	12.3	55.7	5.7

図表 176 ㊸消防・救急(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

			い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			5.5	33.9	7.5	43.7	9.4
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		4.9	39.5	7.3	38.9	9.4
	18～29歳 [N= 54]		9.3	35.2	3.7	50.0	1.9
	30歳代 [N= 60]		0.0	26.7	8.3	58.3	6.7
	40歳代 [N= 69]		4.3	44.9	14.5	33.3	2.9
	50歳代 [N= 58]		5.2	34.5	10.3	44.8	5.2
	60歳代 [N= 109]		1.8	43.1	4.6	43.1	7.3
	70歳以上 [N= 158]		7.6	43.0	5.7	24.7	19.0
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		6.1	29.7	7.7	47.3	9.3
	18～29歳 [N= 95]		2.1	20.0	6.3	69.5	2.1
	30歳代 [N= 96]		5.2	18.8	13.5	60.4	2.1
	40歳代 [N= 100]		3.0	34.0	7.0	52.0	4.0
	50歳代 [N= 92]		3.3	27.2	10.9	54.3	4.3
	60歳代 [N= 135]		6.7	39.3	7.4	42.2	4.4
	70歳以上 [N= 159]		11.9	32.7	3.8	23.3	28.3
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		6.9	33.8	8.1	41.4	9.9
	東部 [N= 62]		4.8	38.7	9.7	35.5	11.3
	美濃山 [N= 190]		5.3	35.3	8.4	45.3	5.8
	男山 [N= 309]		4.5	35.0	6.8	41.4	12.3
	橋本 [N= 228]		5.3	31.6	6.1	51.3	5.7

図表 177 ㊸消費生活(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

			い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]			1.8	21.4	10.6	56.0	10.2
男性・年齢別	男性全体 [N= 509]		1.6	22.0	12.0	53.6	10.8
	18～29歳 [N= 54]		3.7	25.9	7.4	61.1	1.9
	30歳代 [N= 60]		1.7	18.3	10.0	63.3	6.7
	40歳代 [N= 69]		0.0	23.2	20.3	53.6	2.9
	50歳代 [N= 58]		1.7	22.4	20.7	46.6	8.6
	60歳代 [N= 109]		0.0	20.2	10.1	61.5	8.3
	70歳以上 [N= 158]		2.5	22.8	8.9	44.3	21.5
女性・年齢別	女性全体 [N= 677]		2.1	20.8	9.5	58.1	9.6
	18～29歳 [N= 95]		2.1	15.8	7.4	72.6	2.1
	30歳代 [N= 96]		2.1	7.3	13.5	75.0	2.1
	40歳代 [N= 100]		2.0	21.0	12.0	61.0	4.0
	50歳代 [N= 92]		0.0	27.2	13.0	56.5	3.3
	60歳代 [N= 135]		1.5	23.7	6.7	62.2	5.9
	70歳以上 [N= 159]		3.8	25.8	6.9	34.6	28.9
居住地別	市役所周辺 [N= 394]		1.3	21.8	13.2	53.0	10.7
	東部 [N= 62]		3.2	22.6	11.3	50.0	12.9
	美濃山 [N= 190]		1.6	19.5	7.9	63.2	7.9
	男山 [N= 309]		1.9	21.4	9.1	55.0	12.6
	橋本 [N= 228]		2.6	22.8	10.1	58.8	5.7

図表 178 ㊸行政経営(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		1.2	15.7	14.8	58.5	9.9
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	1.0	16.7	17.1	55.0	10.2
	18～29歳 [N= 54]	3.7	20.4	13.0	61.1	1.9
	30歳代 [N= 60]	1.7	8.3	16.7	66.7	6.7
	40歳代 [N= 69]	1.4	23.2	21.7	50.7	2.9
	50歳代 [N= 58]	1.7	17.2	20.7	55.2	5.2
	60歳代 [N= 109]	0.0	18.3	15.6	57.8	8.3
	70歳以上 [N= 158]	0.0	14.6	16.5	43.1	20.9
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	1.3	14.8	13.0	61.3	9.6
	18～29歳 [N= 95]	1.1	14.7	11.6	69.5	3.2
	30歳代 [N= 96]	1.0	7.3	14.6	75.0	2.1
	40歳代 [N= 100]	1.0	15.0	13.0	68.0	3.0
	50歳代 [N= 92]	2.2	14.1	18.5	60.9	4.3
	60歳代 [N= 135]	0.7	14.8	17.0	62.2	5.2
	70歳以上 [N= 159]	1.9	19.5	6.3	43.4	28.9
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	1.0	16.0	15.2	56.9	10.9
	東部 [N= 62]	1.6	12.9	21.0	53.2	11.3
	美濃山 [N= 190]	2.1	12.6	13.7	65.3	6.3
	男山 [N= 309]	0.6	18.1	12.9	55.7	12.6
	橋本 [N= 228]	1.3	15.8	15.8	61.4	5.7

図表 179 ㊸財政運営(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い う る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		0.8	12.2	18.5	58.4	10.2
男性・ 年齢別	男性全体 [N= 509]	1.0	13.4	20.4	54.6	10.6
	18～29歳 [N= 54]	1.9	20.4	13.0	63.0	1.9
	30歳代 [N= 60]	1.7	6.7	18.3	65.0	8.3
	40歳代 [N= 69]	0.0	17.4	23.2	56.5	2.9
	50歳代 [N= 58]	1.7	17.2	25.9	50.0	5.2
	60歳代 [N= 109]	0.9	10.1	22.9	57.8	8.3
	70歳以上 [N= 158]	0.6	12.7	19.0	46.2	21.5
女性・ 年齢別	女性全体 [N= 677]	0.7	11.1	17.0	61.4	9.7
	18～29歳 [N= 95]	1.1	13.7	12.6	70.5	2.1
	30歳代 [N= 96]	0.0	8.3	16.7	71.9	3.1
	40歳代 [N= 100]	1.0	11.0	20.0	64.0	4.0
	50歳代 [N= 92]	0.0	12.0	26.1	58.7	3.3
	60歳代 [N= 135]	0.0	8.1	20.0	66.7	5.2
	70歳以上 [N= 159]	1.9	13.2	10.1	45.9	29.6
居住地別	市役所周辺 [N= 394]	1.0	12.4	18.8	57.1	10.7
	東部 [N= 62]	1.6	11.3	19.4	54.8	12.9
	美濃山 [N= 190]	0.5	9.5	17.4	65.3	7.4
	男山 [N= 309]	0.6	12.9	16.5	57.3	12.6
	橋本 [N= 228]	0.9	13.6	21.5	57.9	6.1

図表 180 ㊸広域行政(SA) (性・年齢別、居住地別)

(%)

		い そ う な っ て	な ま あ っ て い る	い そ う な っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 1,192]		1.0	14.9	12.2	61.4	10.5
男 性 ・ 年 齢 別	男性全体 [N= 509]	1.0	16.3	13.2	58.2	11.4
	18～29歳 [N= 54]	1.9	25.9	13.0	57.4	1.9
	30歳代 [N= 60]	1.7	8.3	10.0	71.7	8.3
	40歳代 [N= 69]	0.0	15.9	15.9	65.2	2.9
	50歳代 [N= 58]	0.0	24.1	13.8	56.9	5.2
	60歳代 [N= 109]	0.9	14.7	13.8	60.6	10.1
	70歳以上 [N= 158]	1.3	14.6	12.7	49.7	22.8
女 性 ・ 年 齢 別	女性全体 [N= 677]	1.0	13.7	11.5	64.0	9.7
	18～29歳 [N= 95]	1.1	15.8	10.5	70.5	2.1
	30歳代 [N= 96]	0.0	7.3	13.5	77.1	2.1
	40歳代 [N= 100]	2.0	13.0	9.0	72.0	4.0
	50歳代 [N= 92]	0.0	18.5	14.1	63.0	4.3
	60歳代 [N= 135]	0.0	11.9	14.1	68.1	5.9
	70歳以上 [N= 159]	2.5	15.7	8.8	44.0	28.9
居 住 地 別	市役所周辺 [N= 394]	1.0	15.5	12.2	60.7	10.7
	東部 [N= 62]	3.2	16.1	11.3	56.5	12.9
	美濃山 [N= 190]	1.1	14.2	13.7	63.7	7.4
	男山 [N= 309]	0.6	14.2	9.7	62.1	13.3
	橋本 [N= 228]	0.9	15.8	14.9	61.4	7.0

② 「めざす姿」が達成できていないと評価した理由（問 45）

「めざす姿」が達成できていないと評価した理由について、意見を政策別に整理すると、延べ1,110 件の意見があった。政策別にみると、「道路」が109 件と最も多く、次いで「商業」(108 件)、「公共交通」(98 件)となっている。

図表 181 「そうっていない」と回答した理由の政策別意見件数(FA)

政策	意見件数
人権・平和	20
地域コミュニティ	23
市民協働	8
男女共同参画	12
国際理解	34
保育・幼稚園	16
児童・母子・父子福祉	8
学校教育	31
青少年健全育成	33
生涯学習	13
スポーツ	28
自然環境	7
生活環境	25
循環型社会	12
景観	18
保健・医療	37
地域福祉	7
高齢者福祉	17
障がい者福祉	5
社会保障	24
市街地	24
道路	109
公共交通	98
情報通信	17
農業	22
工業	15
商業	108
観光	63
住宅・住環境	16
上下水道	9
公園・緑地・河川	45
防災	22
防犯・交通安全	64
消防・救急	4
消費生活	8
行政経営	40
財政運営	40
広域行政	3
全般	14
その他	11
合計	1,110

「そうっていない」と回答した理由として、5件以上あげられた意見は次のとおりである。

図表 182 「そうっていない」と回答した理由として、5件以上あげられた意見(FA)

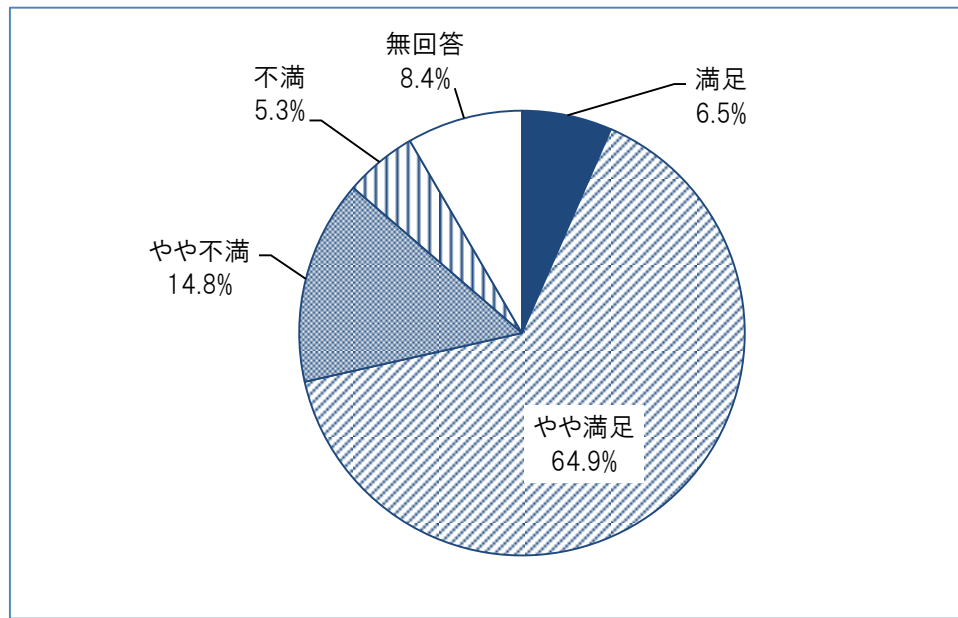
政策	施策	意見の概要	件数
商業	商業拠点の活性化の推進	駅周辺の商業が活性化していない	32
道路	道路環境の整備	歩道の段差を解消して欲しい	22
商業	商業拠点の活性化の推進	八幡市駅周辺の商業が活性化していない	22
社会保障	低所得者福祉の充実と適正化	生活保護制度を適正に運営して欲しい	21
公共交通	バス交通の充実	バスの運行本数が少なく不便である	20
防犯・交通安全	防犯体制の強化	犯罪が発生している	19
公園・緑地・河川	公園の整備	公園の管理が不十分である	18
学校教育	学校ユニバーサルデザイン化構想の推進	学力向上が必要である	15
道路	市内幹線道路の整備	山手幹線の交通渋滞を解消して欲しい	14
観光	歴史文化を活かした観光の推進	石清水八幡宮を活かした取り組みがみられない	13
観光	観光協会との連携及び情報提供の推進	八幡市のことが知られてない	13
公共交通	バス交通の充実	美濃山地区と市役所を結ぶ路線がなくて不便	12
全般	全般	行政の成果が分からない	12
道路	生活道路の整備	狭い道路が多い	11
道路	道路環境の整備	歩道を整備して欲しい	11
行政経営	計画的な行政経営の推進	行政についての情報提供を充実してほしい	11
保健・医療	医療体制の充実	救急医療を充実して欲しい	10
市街地	八幡市駅周辺の整備	八幡市駅前の整備が必要である	10
道路	市内幹線道路の整備	交通渋滞を解消して欲しい	10
商業	商業環境の充実	地元の商店に活気がない	10
公園・緑地・河川	河川の整備	河川や堤防がきれいでない	10
国際理解	全般(国際理解)	あまり外国人を見かけない	9
工業	企業誘致の推進	企業の立地が進んでいない	9
商業	商業拠点の活性化の推進	橋本駅周辺での買い物が不便である	9
商業	商業拠点の活性化の推進	男山団地の商業が活性化していない	9
観光	全般(観光)	観光を通じた産業活性化がみられない	9
地域コミュニティ	自治意識の醸成	コミュニティ活動が活発でない	8
青少年健全育成	健全育成推進体制の充実	夜間にバイクの暴走行為が見られる	8
スポーツ	スポーツ施設の充実	施設が遠いため利用しにくい	7
保健・医療	医療体制の充実	大きな病院が少ない	7
道路	道路環境の整備	自転車道を整備して欲しい	7
商業	商業拠点の活性化の推進	橋本駅と駅周辺の整備が必要である	7
住宅・住環境	住環境整備の推進	空き家対策が必要である	7
財政運営	健全な財政運営の推進	無駄の排除を徹底してほしい	7
財政運営	健全な財政運営の推進	職員数が多すぎる	7
国際理解	国際理解の促進	外国人と交流する機会が少ない	6
生活環境	環境にやさしい市民、事業者の育成	ごみのポイ捨てが見られる	6
循環型社会	収集システムの確立	ごみの分別ルールが守られていない	6
公共交通	バス交通の充実	バスが遅れて困る	6
情報通信	全般(情報通信)	めざす姿が実現していないと思う(情報通信)	6
防災	防災基盤の整備	大雨で浸水しないようにしてほしい	6
防犯・交通安全	交通安全の推進	住宅地での交通量が多く危険である	6
消費生活	消費者保護対策の推進	詐欺やトラブルが発生している	6
その他	その他	その他	6
国際理解	全般(国際理解)	多文化理解が進んでいない	5
青少年健全育成	健全育成推進体制の充実	夜間に歩く青少年を見かける	5
スポーツ	生涯スポーツ活動の推進	生涯にわたってスポーツできる環境が欲しい	5
自然環境	自然環境との調和を目指した都市基盤の整備	開発により自然が減っている	5
生活環境	公害防止活動の推進	騒音で困っている	5
景観	都市景観の向上	自動車処理業の集積地付近の景観が良くない	5
市街地	全般(市街地)	中心となる市街地のイメージが湧かない	5
道路	広域幹線道路の整備	国道1号線に歩道を整備して欲しい	5
公共交通	全般(公共交通)	公共交通が不便である	5
公共交通	バス交通の充実	バス路線を充実して欲しい	5
公共交通	バス交通の充実	最終バスの時間が早い	5
農業	多様な担い手の育成・強化	若い農業の担い手が減っている	5
農業	生産基盤の強化	農地が減っている	5
商業	商業拠点の活性化の推進	商業が活性化していない	5
商業	商業環境の充実	身近で買い物ができず不便である	5
観光	全般(観光)	観光客が増えていない	5
上下水道	経営の安定化	水道料金が安い	5
公園・緑地・河川	公園の整備	公園が利用されていない	5
防犯・交通安全	交通安全の推進	交通事故が発生している	5
防犯・交通安全	交通安全の推進	夜中の車やバイクの音がうるさい	5
防犯・交通安全	交通安全の推進	駐車違反がみられる	5
行政経営	職員の資質向上	職員の育成が必要である	5
財政運営	健全な財政運営の推進	財政が健全ではないように思われる	5
財政運営	効率的な財政運営の推進	税金が高い	5

(9) 八幡市役所の取組について

① 八幡市の行政の取組への満足度（問 46）

八幡市の行政の取組への満足度については、「やや満足」が 64.9%と最も多く、「満足」(6.5%)と合わせて約 7 割が満足している。性・年齢別では、30 歳代男性の「不満」(「やや不満」と「不満」の合計)の割合が約 3 割と全体に比べて高くなっている。

図表 183 八幡市の行政の取組への満足度(SA) (n=1,192)



図表 184 八幡市の行政の取組への満足度(SA) (性・年齢別、居住地別)

			満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	満足	不満
全体 [N= 1,192]			6.5	64.9	14.8	5.3	8.4	71.4	20.1
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	8.1	62.1	16.5	6.3	7.1	70.2	22.8
	18～29歳	[N= 54]	9.3	63.0	14.8	5.6	7.4	72.3	20.4
	30歳代	[N= 60]	0.0	65.0	20.0	11.7	3.3	65.0	31.7
	40歳代	[N= 69]	4.3	69.6	18.8	7.2	0.0	73.9	26.0
	50歳代	[N= 58]	8.6	62.1	17.2	1.7	10.3	70.7	18.9
	60歳代	[N= 109]	8.3	59.6	16.5	5.5	10.1	67.9	22.0
	70歳以上	[N= 158]	12.0	59.5	13.9	6.3	8.2	71.5	20.2
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	5.3	67.2	13.6	4.4	9.5	72.5	18.0
	18～29歳	[N= 95]	4.2	69.5	10.5	6.3	9.5	73.7	16.8
	30歳代	[N= 96]	3.1	61.5	16.7	6.3	12.5	64.6	23.0
	40歳代	[N= 100]	5.0	63.0	18.0	8.0	6.0	68.0	26.0
	50歳代	[N= 92]	0.0	63.0	21.7	3.3	12.0	63.0	25.0
	60歳代	[N= 135]	3.7	73.3	9.6	4.4	8.9	77.0	14.0
	70歳以上	[N= 159]	11.9	69.2	9.4	0.6	8.8	81.1	10.0
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	6.9	67.8	11.2	6.1	8.1	74.7	17.3
	東部	[N= 62]	6.5	72.6	12.9	3.2	4.8	79.1	16.1
	美濃山	[N= 190]	6.3	66.3	17.4	4.2	5.8	72.6	21.6
	男山	[N= 309]	7.4	60.8	16.5	4.5	10.7	68.2	21.0
	橋本	[N= 228]	4.4	63.6	17.5	5.7	8.8	68.0	23.2

② 八幡市の行政の取組について不満の理由（問 47）

八幡市の行政の取組について不満に思う理由について、意見を政策別に整理すると、延べ 211 件の意見があった。政策別にみると、「行政経営」が 112 件と最も多く、次いで「財政運営」(21 件)となっている。

図表 185 八幡市の行政の取組について不満の理由の政策別意見件数(FA)

政策	件数
人権・平和	1
保育・幼稚園	4
学校教育	4
青少年健全育成	1
生涯学習	1
スポーツ	1
自然環境	1
生活環境	4
循環型社会	3
景観	1
保健・医療	2
地域福祉	1
高齢者福祉	2
障がい者福祉	4
社会保障	2
市街地	6
道路	2
公共交通	9
農業	1
商業	3
観光	6
住宅・住環境	1
公園・緑地・河川	2
防災	3
防犯・交通安全	2
行政経営	112
財政運営	21
その他	11
合計	211

不満な理由として、3件以上あげられた意見は次のとおりである。

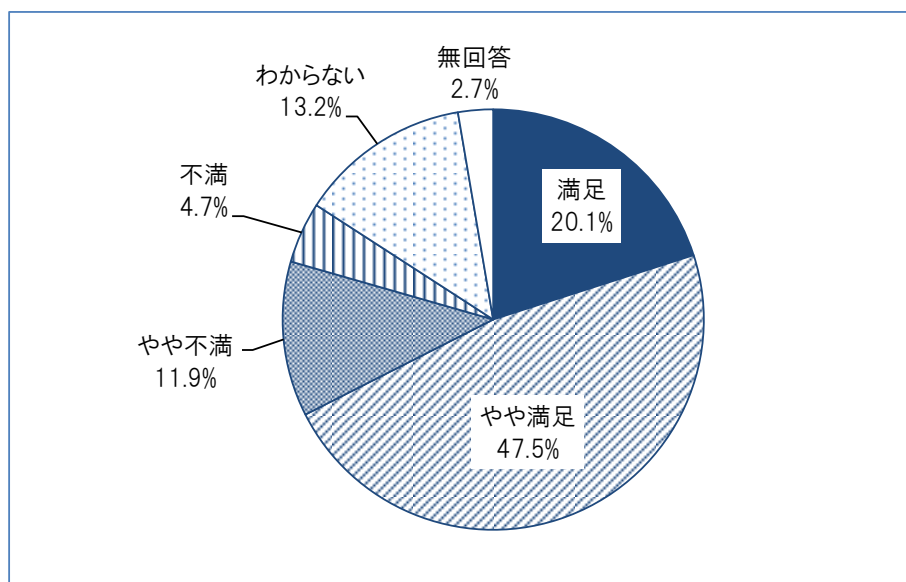
図表 186 八幡市の行政の取組について不満の理由として、3件以上あげられた意見(FA)

政策	意見の概要	件数
行政経営	市政の状況がわからない	29
行政経営	市職員の対応を改善してほしい	15
行政経営	住民の意見を行政に活かしてほしい	7
財政運営	税金を適切に使ってほしい	7
財政運営	税金等が高い	6
行政経営	市政の広報を充実してほしい	5
行政経営	市の職員数が多い	5
行政経営	夜間や土日に窓口サービスをしてほしい	4
財政運営	水道料金が安い	4
循環型社会	プラスチック製容器包装ごみの収集回数を増やしてほしい	3
市街地	橋本駅周辺の整備が必要である	3
行政経営	まちの変化を感じない	3
行政経営	各地公平に行政をしてほしい	3
行政経営	支所の取扱業務を増やしてほしい	3

③ 八幡市職員の対応(窓口、電話)への満足度 (問 48)

八幡市職員の対応(窓口、電話)への満足度については、「やや満足」が47.5%と最も多く、「満足」(20.1%)と合わせて約7割が満足している。年齢別では、70歳以上の「満足」(「満足」と「やや満足」の合計)、30歳代の「不満」(「やや不満」と「不満」の合計)が全体と比べて多くなっている。

図表 187 八幡市職員の対応(窓口、電話)への満足度(SA) (n=1,192)



図表 188 八幡市職員の対応(窓口、電話)への満足度(SA)(性・年齢別、居住地別)

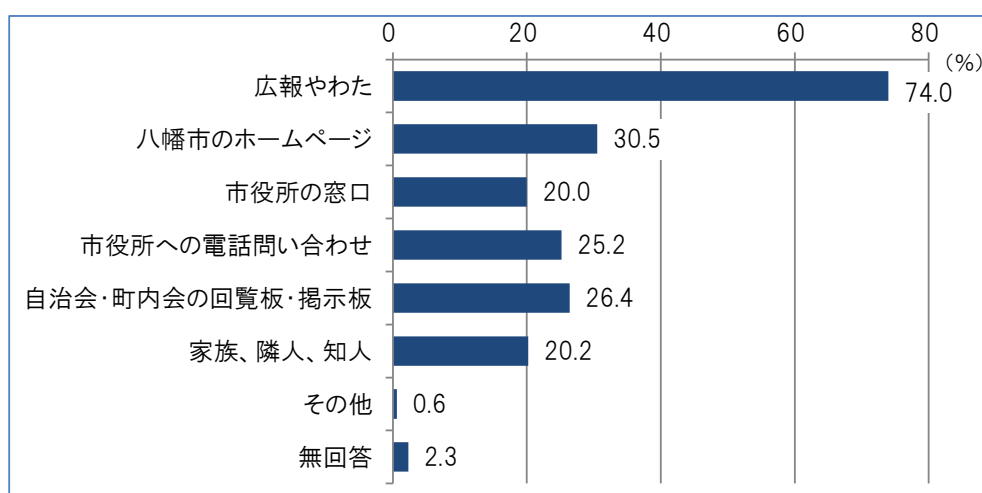
			満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	満足	不満	わからない
											(%)
全体		[N= 1,192]	20.1	47.5	11.9	4.7	13.2	2.7	67.6	16.6	13.2
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	19.8	49.5	10.6	4.7	12.4	2.9	69.3	15.3	12.4
	18～29歳	[N= 54]	18.5	35.2	9.3	1.9	35.2	0.0	53.7	11.2	35.2
	30歳代	[N= 60]	15.0	46.7	15.0	13.3	8.3	1.7	61.7	28.3	8.3
	40歳代	[N= 69]	17.4	46.4	14.5	4.3	15.9	1.4	63.8	18.8	15.9
	50歳代	[N= 58]	17.2	46.6	12.1	3.4	15.5	5.2	63.8	15.5	15.5
	60歳代	[N= 109]	23.9	45.0	12.8	5.5	9.2	3.7	68.9	18.3	9.2
	70歳以上	[N= 158]	21.5	60.8	5.7	2.5	5.7	3.8	82.3	8.2	5.7
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	19.9	46.2	12.9	4.7	13.7	2.5	66.1	17.6	13.7
	18～29歳	[N= 95]	10.5	35.8	14.7	5.3	33.7	0.0	46.3	20.0	33.7
	30歳代	[N= 96]	18.8	32.3	19.8	11.5	14.6	3.1	51.1	31.3	14.6
	40歳代	[N= 100]	19.0	46.0	19.0	4.0	12.0	0.0	65.0	23.0	12.0
	50歳代	[N= 92]	9.8	55.4	14.1	4.3	14.1	2.2	65.2	18.4	14.1
	60歳代	[N= 135]	20.0	54.1	9.6	5.2	8.1	3.0	74.1	14.8	8.1
	70歳以上	[N= 159]	32.7	49.1	5.7	0.6	6.9	5.0	81.8	6.3	6.9
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	19.8	49.5	10.9	4.1	12.9	2.8	69.3	15.0	12.9
	東部	[N= 62]	16.1	51.6	9.7	6.5	14.5	1.6	67.7	16.2	14.5
	美濃山	[N= 190]	24.7	38.9	12.1	5.3	17.4	1.6	63.6	17.4	17.4
	男山	[N= 309]	20.1	47.6	13.3	4.2	11.0	3.9	67.7	17.5	11.0
	橋本	[N= 228]	17.1	50.9	12.3	5.7	12.3	1.8	68.0	18.0	12.3

④ 市役所に関する情報を得る方法（問 49）

市役所に関する情報を得る方法としては、「広報やわた」が 74.0%で最も多く、次いで「八幡市のホームページ」(30.5%)、「自治会・町内会の回覧板・掲示板」(26.4%)となっている。

性・年齢別では、18歳～40歳代の「八幡市のホームページ」の割合が全体に比べて高くなっている。

図表 189 市役所に関する情報を得る方法(MA) (n=1,192)



図表 190 市役所に関する情報を得る方法(MA) (性・年齢別、居住地別)

			広報やわた	八幡市のホームページ	市役所の窓口	市役所への電話問い合わせ	自治会・町内会の回覧板・掲示板	家族、隣人、知人	その他	無回答
全体 [N= 1,192]			74.0	30.5	20.0	25.2	26.4	20.2	0.6	2.3
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	71.5	32.4	19.6	21.2	25.5	17.7	0.6	2.0
	18～29歳	[N= 54]	40.7	46.3	18.5	9.3	7.4	37.0	1.9	1.9
	30歳代	[N= 60]	61.7	58.3	16.7	11.7	10.0	21.7	0.0	0.0
	40歳代	[N= 69]	69.6	43.5	15.9	18.8	24.6	20.3	0.0	0.0
	50歳代	[N= 58]	56.9	31.0	17.2	20.7	20.7	20.7	1.7	3.4
	60歳代	[N= 109]	76.1	30.3	21.1	26.6	31.2	12.8	0.0	3.7
	70歳以上	[N= 158]	88.6	15.2	22.8	26.6	36.1	10.8	0.6	1.9
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	75.8	29.0	20.1	27.9	27.2	22.0	0.6	2.5
	18～29歳	[N= 95]	37.9	52.6	18.9	11.6	13.7	44.2	0.0	1.1
	30歳代	[N= 96]	71.9	43.8	12.5	26.0	12.5	27.1	0.0	3.1
	40歳代	[N= 100]	82.0	45.0	21.0	34.0	26.0	21.0	0.0	0.0
	50歳代	[N= 92]	82.6	34.8	26.1	27.2	26.1	14.1	1.1	1.1
	60歳代	[N= 135]	88.1	13.3	20.7	28.1	31.9	12.6	1.5	3.0
	70歳以上	[N= 159]	82.4	5.7	20.8	35.2	41.5	18.9	0.6	5.0
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	74.9	25.1	19.3	20.3	27.7	19.8	0.5	3.3
	東部	[N= 62]	82.3	21.0	11.3	17.7	38.7	37.1	0.0	0.0
	美濃山	[N= 190]	71.6	38.4	16.3	25.3	24.7	20.0	0.5	2.1
	男山	[N= 309]	74.4	30.1	24.9	27.8	20.4	19.7	0.6	2.9
	橋本	[N= 228]	71.5	36.8	19.7	31.6	31.6	17.5	0.9	0.0

市役所に関する情報を得る方法としては、18歳～29歳男女では「八幡市のホームページ」が、30歳以上男女では「広報やわた」が最も多くなっている。2位を見ると、18歳～29歳男性では「広報やわた」、18歳～29歳女性では「家族、隣人、知人」、30歳～50歳代男女では「八幡市のホームページ」、60歳～70歳以上男女では「自治会・町内会の回覧板・掲示板」となっている。

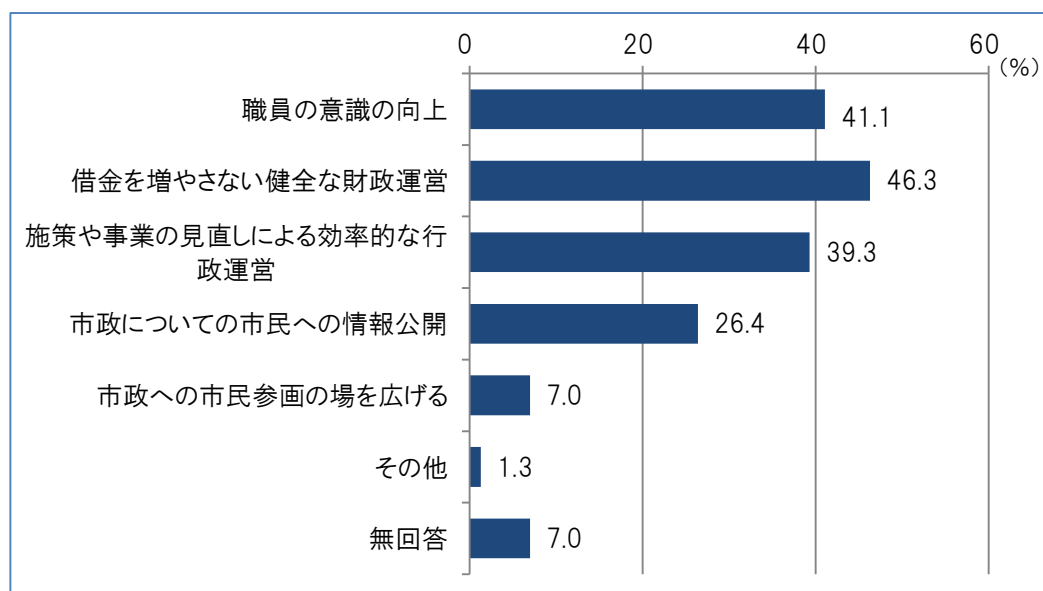
図表 191 市役所に関する情報を得る方法(上位5位) (性・年齢別)

		(n数)	1位	2位	3位	4位	5位
全体		1,192	広報やわた (74.0%)	ホームページ (30.5%)	回覧板・掲示板(26.4%)	電話問い合わせ(25.2%)	家族、隣人、知人(20.2%)
男性・年齢別	男性全体	509	広報やわた (71.5%)	ホームページ (32.4%)	回覧板・掲示板(25.5%)	電話問い合わせ(21.2%)	市役所窓口 (19.6%)
	18歳～29歳	54	ホームページ (46.3%)	広報やわた (40.7%)	家族、隣人、知人(37.0%)	市役所窓口 (18.5%)	電話問い合わせ(9.3%)
	30歳代	60	広報やわた (61.7%)	ホームページ (58.3%)	家族、隣人、知人(21.7%)	市役所窓口 (16.7%)	電話問い合わせ(11.7%)
	40歳代	69	広報やわた (69.6%)	ホームページ (43.5%)	回覧板・掲示板(24.6%)	家族、隣人、知人(20.3%)	電話問い合わせ(18.8%)
	50歳代	58	広報やわた (56.9%)	ホームページ (31.0%)	電話問い合わせ/回覧板・掲示板/家族、隣人、知人(20.7%)		
	60歳代	109	広報やわた (76.1%)	回覧板・掲示板(31.2%)	ホームページ (30.3%)	電話問い合わせ(26.6%)	市役所窓口 (21.1%)
	70歳以上	158	広報やわた (88.6%)	回覧板・掲示板(36.1%)	電話問い合わせ(26.6%)	市役所窓口 (22.8%)	ホームページ (15.2%)
女性・年齢別	女性全体	677	広報やわた (75.8%)	ホームページ (29.0%)	電話問い合わせ(27.9%)	回覧板・掲示板(27.2%)	家族、隣人、知人(22.0%)
	18歳～29歳	95	ホームページ (52.6%)	家族、隣人、知人(44.2%)	広報やわた (37.9%)	市役所窓口 (18.9%)	回覧板・掲示板(13.7%)
	30歳代	96	広報やわた (71.9%)	ホームページ (43.8%)	家族、隣人、知人(27.1%)	電話問い合わせ(26.0%)	市役所窓口/ 回覧板・掲示板(12.5%)
	40歳代	100	広報やわた (82.0%)	ホームページ (45.0%)	電話問い合わせ(34.0%)	回覧板・掲示板(26.0%)	市役所窓口/ 家族、隣人、知人(21.0%)
	50歳代	92	広報やわた (82.6%)	ホームページ (34.8%)	電話問い合わせ(27.2%)	市役所窓口/回覧板・掲示板(26.1%)	
	60歳代	135	広報やわた (88.1%)	回覧板・掲示板(31.9%)	電話問い合わせ(28.1%)	市役所窓口 (20.7%)	ホームページ (13.3%)
	70歳以上	159	広報やわた (82.4%)	回覧板・掲示板(41.5%)	電話問い合わせ(35.2%)	市役所窓口 (20.8%)	家族、隣人、知人(18.9%)

⑤ 行財政改革として期待する取組（問 50）

行財政改革として期待する取組としては、「借金を増やさない健全な財政運営」が 46.3%と最も多く、次いで「職員の意識の向上」(41.1%)、「施策や事業の見直しによる効率的な行政運営」(39.3%)となっている。

図表 192 八幡市の行財政改革に期待する取組(2つ以内) (n=1,192)



図表 193 八幡市の行財政改革に期待する取組(2つ以内) (性・年齢別、居住地別)

			職員の意識の向上	借金を増やさない健全な財政運営	施策や事業の見直しによる効率的な行政運営	市政への情報公開	市政への市民参画の場を広げる	その他	無回答
全体 [N= 1,192]			41.1	46.3	39.3	26.4	7.0	1.3	7.0
男性・年齢別	男性全体	[N= 509]	40.7	47.3	38.5	28.7	10.0	1.2	5.3
	18～29歳	[N= 54]	35.2	53.7	38.9	25.9	5.6	0.0	1.9
	30歳代	[N= 60]	36.7	58.3	40.0	16.7	8.3	5.0	3.3
	40歳代	[N= 69]	42.0	50.7	46.4	27.5	5.8	0.0	2.9
	50歳代	[N= 58]	46.6	53.4	27.6	22.4	10.3	1.7	5.2
	60歳代	[N= 109]	31.2	43.1	38.5	34.9	20.2	0.9	5.5
	70歳以上	[N= 158]	48.1	40.5	38.0	32.3	7.0	0.6	8.2
女性・年齢別	女性全体	[N= 677]	41.4	45.6	40.0	24.5	4.4	1.3	8.3
	18～29歳	[N= 95]	34.7	46.3	43.2	25.3	5.3	2.1	3.2
	30歳代	[N= 96]	37.5	46.9	44.8	17.7	6.3	2.1	6.3
	40歳代	[N= 100]	44.0	49.0	42.0	17.0	3.0	1.0	8.0
	50歳代	[N= 92]	47.8	54.3	39.1	21.7	3.3	0.0	5.4
	60歳代	[N= 135]	42.2	44.4	42.2	28.1	5.9	1.5	8.1
	70歳以上	[N= 159]	41.5	38.4	32.7	31.4	3.1	1.3	14.5
居住地別	市役所周辺	[N= 394]	44.7	50.8	35.3	26.4	8.6	0.5	5.8
	東部	[N= 62]	53.2	48.4	45.2	16.1	3.2	1.6	4.8
	美濃山	[N= 190]	33.2	46.3	43.7	26.8	6.8	0.0	6.8
	男山	[N= 309]	42.7	47.2	34.0	27.5	4.2	3.2	8.1
	橋本	[N= 228]	36.4	38.2	49.1	26.8	8.8	0.9	7.5

(10) 自由意見

八幡市の取組や生活環境の改善、将来のまちづくりに向けた具体的なアイデアなどについて自由意見を聞いたところ、延べ 541 件の回答を得た。

政策別にみると、「行政経営」が 75 件と最も多く、次いで「公共交通」(57 件)、「商業」(51 件)となっている。

図表 194 八幡市のまちづくりに関する政策別意見件数(FA)

政策	意見件数
人権・平和	1
地域コミュニティ	14
市民協働	6
男女共同参画	1
保育・幼稚園	8
児童・母子・父子福祉	1
学校教育	18
青少年健全育成	2
生涯学習	13
スポーツ	9
文化芸術	2
自然環境	4
生活環境	15
循環型社会	12
景観	5
保健・医療	18
地域福祉	6
高齢者福祉	9
社会保障	5
市街地	13
道路	28
公共交通	57
農業	1
工業	6
商業	51
観光	40
住宅・住環境	11
上下水道	2
公園・緑地・河川	8
防災	9
防犯・交通安全	26
消防・救急	3
行政経営	75
財政運営	18
広域行政	3
その他	41
合計	541

3件以上あげられた意見は次のとおりである。

図表 195 八幡市のまちづくりについて、3件以上あげられた意見(FA)

政策	施策	意見概要	件数
公共交通	バス交通の充実	美濃山地区から市役所方面へのバスを運行してほしい	15
商業	商業拠点の活性化の推進	八幡市駅周辺の商業を活性化してほしい	15
商業	商業拠点の活性化の推進	橋本駅周辺の商業を活性化してほしい	13
行政経営	職員の資質向上	市職員の対応が良い	10
防犯・交通安全	防犯体制の強化	街灯を増やしてほしい	9
行政経営	職員の資質向上	市職員は勤務態度を改善してほしい	8
観光	歴史文化を活かした観光の推進	石清水八幡宮を活用してほしい	6
防犯・交通安全	防犯体制の強化	治安を向上してほしい	6
生涯学習	図書館の充実	美濃山地区に図書館がほしい	5
道路	生活道路の整備	道路の舗装を補修してほしい	5
商業	商業拠点の活性化の推進	駅周辺の商業を活性化してほしい	5
商業	既存商業地の活性化	商店街や小売店舗、飲食店を充実してほしい	5
行政経営	計画的な行政経営の推進	市民の意見を取り入れてほしい	5
その他	議会	議員の政務活動費を適切に使ってほしい	5
市民協働	市民参画の推進	市政のことをあまり知らない	4
保健・医療	医療体制の充実	市内に総合病院を増やしてほしい	4
市街地	橋本駅周辺の整備	橋本駅周辺を整備してほしい	4
公共交通	バス交通の充実	バスを便利にしてほしい	4
商業	既存商業地の活性化	男山団地の商業を活性化してほしい	4
観光	観光協会との連携及び情報提供の推進	八幡市のPRを充実してほしい	4
住宅・住環境	良好な住宅の供給促進	男山団地を再生してほしい	4
行政経営	効率的な行政経営の推進	スピーディーに業務をしてほしい	4
財政運営	健全な財政運営の推進	職員数が多い	4
財政運営	効率的な財政運営の推進	ふるさと納税を活用してほしい	4
地域コミュニティ	コミュニティ施設の整備	多世代が交流できる取組や場を増やしてほしい	3
学校教育	学校ユニバーサルデザイン化構想の推進	学力向上に取り組んでほしい	3
生活環境	公害防止活動の推進	犬の糞対策をしてほしい	3
道路	市内幹線道路の整備	渋滞を解消してほしい	3
道路	道路環境の整備	側溝に蓋をしてほしい	3
公共交通	鉄道の充実	八幡市駅に急行を停車してほしい	3
公共交通	バス交通の充実	コミュニティバスの運行本数を増やしてほしい	3
工業	企業誘致の推進	企業誘致に積極的に取り組むことが望まれる	3
防災	防災基盤の整備	水害対策を進めてほしい	3
防災	防災基盤の整備	行政防災無線のスピーカーの音声が聞き取りにくい	3
防犯・交通安全	交通安全の推進	通学路を安全にしてほしい	3
消防・救急	救急・救助体制の充実	救急医療を充実してほしい	3
行政経営	計画的な行政経営の推進	若い世代が住みやすいまちづくりを進めてほしい	3
行政経営	計画的な行政経営の推進	八幡市をもっとアピールしてほしい	3
行政経営	計画的な行政経営の推進	八幡市のイメージを改善してほしい	3
行政経営	計画的な行政経営の推進	現場の職員の意見を取り入れてほしい	3
行政経営	効率的な行政経営の推進	無駄な公共工事を減らしてほしい	3
その他	アンケート	アンケートの結果を公表してほしい	3

八幡市のまちづくりのための「市民アンケート調査」

ご協力のお願い

みなさまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

八幡市では、市民の皆様にとって住みよいまちづくりを目指し、行政運営の基本方針となる新たな総合計画の策定を進めております。この総合計画の策定に当たっては、八幡市のこれまでの取組への評価や、まちづくりのあり方などについて市民の皆様のご意見を伺い、新たな総合計画に反映して参りたいと考えております。つきましては、市内に住民登録されている18歳以上の方の中から3,000人を無作為に選ばせていただき、アンケート調査をお願いすることにいたしました。

この調査は無記名で実施され、ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理し、調査の目的以外に使用することは一切ありません。

お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、みなさまの率直なご意見をお聞かせいただきますようお願いいたします。

平成28年10月

八幡市長 堀口 文昭

ご記入にあたってのお願い

1. あて名ご本人のお考えやご意見を回答してください。
(ただし、障がいや年齢などによって、ご本人が記入できない場合には、ご家族や介助者の方が、ご本人の意見を聞きながら、もしくはご本人の気持ちを考えながら記入してください。分からないことがありましたら、下記までご相談ください。)
2. 原則として、質問ごとにあてはまる番号を○で囲んでください。
3. 「その他」と回答される場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
4. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**10月24日(月)**までに投函してください。(切手は不要です)

<お問合せ・相談先>

八幡市政策推進部 政策推進課 担当：田制（たせい）、堀川、永谷

電話：075- 983-1004 Eメール：seisaku@mb.city.yawata.kyoto.jp

八幡市のまちづくりのための「市民アンケート調査」

あなたご自身のことについておたずねします

問1. あなたのお住まいはどちらですか。あてはまる地区を1つ選び、番号を○で囲んでください。

※地区名がわからない場合は下の（ ）内に住所をご記入ください(番地は記入不要です 例：八幡園内)。

1. 八幡地区	2. 橋本地区	3. 川口地区	4. 岩田地区
5. 野尻地区	6. 上津屋地区	7. 上奈良地区	8. 下奈良地区
9. 内里地区	10. 戸津地区	11. 美濃山地区	12. 男山地区
13. 西山地区	14. 欽明台地区	(地区名がわからない場合：)	

問2. あなたの年齢はどれにあたりますか。あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。(平成28年9月1日現在)

1. 20歳未満	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
5. 50歳代	6. 60～64歳	7. 65～69歳	8. 70歳以上

問3. あなたの性別はどちらですか。あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問4. あなたは、配偶者（パートナー）がいらっしゃいますか。あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 未婚（独身）	2. 既婚（事実婚を含む）	3. 離死別（離婚・死別、事実婚の解消により現在は独身）
-----------	---------------	------------------------------

問5. 同居の家族構成をおうかがいします。あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみ（事実婚を含む）
3. 二世帯同居（親（あなた）と子ども）	4. 二世帯同居（親と子ども（あなた））
5. 三世帯同居	6. その他（具体的に：)

問6. 同居のご家族には次にあてはまる方がおられますか。あなた自身を含め、あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 未就学の子ども	2. 小学生	3. 中学生
4. 高校生	5. 大学生・専門学校生	6. 65歳～74歳の方
7. 75歳以上の方	8. 介護を必要とする方	9. 該当する人はいない

問7. あなたは、携帯電話やスマートフォン、タブレット端末を保有していますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 携帯電話を保有	2. スマートフォンを保有
3. タブレット端末を保有	4. いずれも保有していない

問8. あなたは、必要な情報を入手したり、情報を共有するために、パソコンやスマートフォンなどを使ってインターネットで情報を検索したり、SNS※を利用していますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

1. インターネット検索を活用	2. SNSを活用	3. どちらも活用していない
-----------------	-----------	----------------

※SNS：ソーシャル・ネットワーク・サービスの略、ツイッター、LINE、フェイスブック等がある

問9. あなたは八幡市に何年お住まいですか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

※生まれてからずっと八幡市にお住まいの方は、居住年数にかかわらず「1. 生まれてからずっと」を選択してください。

1. 生まれてからずっと	} 問 13 へ	5. 1年以上5年未満	} 問 10～問 13 へ
2. 20年以上		6. 1年未満	
3. 10年以上20年未満			
4. 5年以上10年未満			

問10. あなたが八幡市に居住するきっかけは、どれにあたりますか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 住宅の購入	2. 子どもの誕生・成長	3. 結婚 (事実婚含む)	4. 親世帯からの独立
5. 就職・転勤	6. 入学・進学	7. 離婚 (事実婚の解消含む)	8. 家族との同居・近居
9. 世帯規模の縮小	10. 退職	11. その他(具体的に:)	

問11. 転入されたときに、あなたが居住地として八幡市を選ばれた理由は、どれにあたりますか。あてはまるものを すべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 以前住んでいたところだから	2. 家族等が近くに住んでいるところだから
3. 通勤・通学に便利なところだから	4. 生活の利便性がよいところだから
5. 日常の医療を受けやすいところだから	6. 子育ての環境がよいところだから
7. 自然環境がよいところだから	8. その他(具体的に:)

問12. 八幡市に転入する前のお住まいの地域はどこですか。(例: ●●府△△市)

	都道府県		市区町村		区
----------------------	------	----------------------	------	----------------------	---

問13. あなたのお住まいは、どれにあたりますか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. あなた・配偶者(パートナー)の持家(一戸建て)	2. あなた・配偶者(パートナー)の持家(マンション)
3. あなた・配偶者(パートナー)の親の持家(一戸建て)	4. あなた・配偶者(パートナー)の親の持家(マンション)
5. 民間の賃貸	6. 公営住宅の賃貸(市営、府営)
7. URの賃貸	8. 社宅・寮
9. その他(具体的に:)	

問14. あなたのご職業等は、どれにあたりますか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。なお、あてはまるものが 複数ある場合は主なもの1つをお選びください。

1. 無職	} 問 16 へ	3. 農林水産業	} 問 15 へ
2. 家事専業		4. 自営業および家族従業員	
	5. 会社員、公務員、団体職員		
	6. 専門職・自由業(医師、弁護士など)		
	7. 学生		
	8. パート・アルバイトなど		
	9. その他(具体的に:)		

問15. 問14で「3」～「9」のいずれかに回答された方におたずねします。通勤・通学先として、あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。なお、あてはまるものが 複数ある場合は主なもの1つをお選びください。

1. 八幡市内	2. 京都市
3. 京都府内(八幡市・京都市を除く)	4. 大阪市
5. 大阪府内(大阪市を除く)	6. その他の地域(具体的に:)

問 16. あなたの世帯年収（税込み、配偶者（パートナー）がいる場合は配偶者（パートナー）分を含む。親・きょうだい・子どもの収入は含まない）はどれにあたりますか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 100 万円未満 | 2. 100～200 万円未満 |
| 3. 200～400 万円未満 | 4. 400～600 万円未満 |
| 5. 600～800 万円未満 | 6. 800～1,000 万円未満 |
| 7. 1,000 万円～1,200 万円未満 | 8. 1,200 万円以上 |

問 17. あなたにとって、八幡市は住み良いまちであると思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 住み良いまちである | 2. どちらかといえば住み良いまちである |
| 3. どちらかといえば住みにくいまちである | 4. 住みにくいまちである |
| 5. どちらともいえない | |

問 18. あなたにとって、八幡市は、これからも住み続けたいところであると思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. ずっと住み続けたい | } 問 19 へ |
| 2. どちらかといえば住み続けたい | |
| 3. どちらかといえば市外に移りたい | } 問 20 へ |
| 4. 市外に移りたい | |

問 19. 問 18 で「1」または「2」と回答された方（住み続けたいとお考えの方）におたずねします。八幡市に住み続けたい主な理由は何ですか。次の中から 2つ以内で選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|--|
| 1. 緑や公園が多く、まちな環境が良いから |
| 2. 近隣に商店や病院などが充実し、生活する上で便利だから |
| 3. 市外に通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良いから |
| 4. 娯楽や文化などの生活の楽しみがあるから |
| 5. 福祉などの市民サービスが整っているから |
| 6. 子どもの教育環境が良いから |
| 7. 治安が良いから |
| 8. 地域に愛着があるから |
| 9. 職場が近いから |
| 10. 住宅の事情から |
| 11. コミュニティ活動拠点が充実しており、地域活動、まちづくり活動がしやすい環境だから |
| 12. その他（具体的に：_____） |

問 20. 問 18 で「3」または「4」と回答された方（市外に移りたいとお考えの方）におたずねします。市外に移りたい主な理由は何ですか。次の中から 2つ以内で選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|--|
| 1. 緑や公園が少なく、まちな環境が良くないから |
| 2. 近隣に商店や病院などが少なく、生活する上で不便だから |
| 3. 市外に通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良くないから |
| 4. 娯楽や文化などの生活の楽しみが少ないから |
| 5. 福祉などの市民サービスが整っていないから |
| 6. 子どもの教育環境が良くないから |
| 7. 治安に不安があるから |
| 8. 地域に愛着を感じないから |
| 9. 仕事の都合（自分や家族の転勤など） |
| 10. 住宅の事情から |
| 11. コミュニティ活動拠点がなく、地域活動、まちづくり活動がしにくい環境だから |
| 12. その他（具体的に：_____） |

あなたの幸福感についておたずねします

- 問 21. 現在、あなたはどの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を 1つだけ選び、番号を○で囲んでください。

※わからない場合は直観的に選択してください。

	とても不幸										とても幸せ
現在の幸せ	0 点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 点

- 問 22. 「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とした場合、あなたはどの程度幸福であることを理想の状態と考えますか。いずれかの数字を 1つだけ選び、番号を○で囲んでください。 ※わからない場合は直観的に選択してください。

	とても不幸										とても幸せ
理想の幸せ	0 点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 点

- 問 23. あなたが幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。あてはまるものを すべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 家計の状況（所得・消費）	2. 就業状況（仕事の有無・安定）	3. 健康状況
4. 自由な時間	5. 充実した余暇	6. 仕事の充実度
7. 精神的なゆとり	8. 趣味、社会貢献などの生きがい	9. 家族関係
10. 友人関係	11. 職場の人間関係	12. 地域コミュニティとの関係
13. その他（ ）		

八幡市のこれからのまちづくりについておたずねします

- 問 24. あなたは「八幡市らしさ」をイメージするものとして、何を思い浮かべますか。次の中から 3つ以内で選び、番号を○で囲んでください。

1. 石清水八幡宮	2. 男山団地	3. 男山の自然
4. 木津川	5. 広域幹線道路（国道、高速道路）	6. 桜（背割堤など）
7. 三川合流域	8. 松花堂	9. 竹（エジソンの逸話など）
10. 流れ橋	11. 田園	12. 碾（てん）茶（浜茶の景観など）
13. その他（ ）		

- 問 25. あなたは「わがまち・八幡」に愛着や誇りを感じていますか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 大いに愛着や誇りを感じている	2. 愛着や誇りを感じている
3. あまり愛着や誇りを感じることはない	4. 愛着や誇りを感じたことはない

- 問 26. あなたは「わがまち・八幡」の魅力を、友人・知人に説明することができますか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 八幡の魅力をたくさん説明することができる
2. 八幡の魅力をいくつか説明することができる
3. 八幡の魅力がわからない

- 問 27. あなたは、八幡市での暮らしにどの程度満足されていますか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. とても満足している	2. まあ満足している	3. あまり満足していない
4. まったく満足していない	5. わからない	

問 28. あなたは、これからの八幡市がどのようなまちであってほしいと思いますか。次に示すイメージの中から、お考えに近いものを **3つ以内で選び**、番号を○で囲んでください。

1. 自然環境にめぐまれ、緑豊かでうるおいのあるまち
2. 鉄道・バスなどの公共交通機関や道路が充実し、便利で快適なまち
3. NPO※のまちづくり活動やボランティア活動など、社会のための活動が活発なまち
4. スポーツや芸術・文化など趣味やレクリエーション活動に関する環境が充実したまち
5. みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしい福祉・健康づくりのまち
6. 良好な近所づきあいがある地域の中で、地域のつながりを大切にするふれあいのまち
7. 商業・工業・流通などの産業が盛んな活力のあるまち
8. 多くの観光客や来訪者が集う交流のまち
9. 災害に強く、防犯や交通安全対策等が充実した、安全で安心できるまち
10. まちなみなどの景観が美しく、快適な住環境が整備されているまち
11. 子育てや教育の環境が充実したまち
12. 歴史や文化、地域個性を活かした個性的で魅力あるまち
13. その他（具体的に： _____）

※NPO（Non Profit Organization）とは、民間非営利団体（組織）と訳され、福祉やまちづくりなど様々な分野の市民活動をする団体のことをいいます。

問 29. 人口増加、経済成長を前提としたまちづくりから、人口減少、少子化・高齢化に対応した「新たなまちづくり」が求められています。国では、今後、郊外への住宅開発をできるだけ抑制し、現在の市街地の範囲内で医療や子育て施設等を集約したコンパクトなまちづくりを進めるべきとの考えが示されていますが、あなたのお考えに近いものを **1つ選び**、番号を○で囲んでください。

1. コンパクトなまちづくりを進めるべきである
2. どちらかといえば、コンパクトなまちづくりを進めた方がよい
3. 郊外での住宅開発を進めるべきである
4. どちらでもよい
5. わからない

問 30. 少子高齢化などの影響から、長い間人が住んでいなかったり、管理されていない空き家が増加しています。これらは、防犯や防災上、また景観上も好ましくないと考えられます。あなたは、お住まいの地区で「空き家」が増加していると思われますか。次の中からあてはまるものを **1つ選び**、番号を○で囲んでください。

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. とても増えている | 2. 増えている | 3. 変わらない |
| 4. 減っている | 5. わからない | |

問 31. あなたは、老朽化したり、手入れの行き届いてない空き家を適切に管理したり、解体・撤去を行うために、税金を投入することについてどのように思われますか。あなたのお考えに近いものを **1つ選び**、番号を○で囲んでください。

1. 空き家の管理は所有者が責任をもって実施すべきである
2. 空き家の所有者が管理できないのであれば、住民の安全を守るなど一定の目的・条件を満たす場合は、税金を投入することもやむを得ない
3. 空き家の所有者が管理できないのであれば、住民の安全を守るなど一定の目的・条件を満たす場合は、積極的に税金を投入して問題を未然に防ぐべきである
4. その他（具体的に： _____）
5. わからない

問 32. あなたが、日常の買い物や飲食、医療など、次の①～⑦の店舗・施設を利用する際に、ア) 最もよく利用する店舗・施設がある地区と施設の名称（市外の店舗・施設を含む）、イ) 店舗・施設への交通手段をお聞かせください。

	ア) 最もよく利用する店舗・施設		イ) 交通手段 (番号を記入、複数可)
	地区の番号	施設の名称(略称可)	
(記入例) 食料品や日用雑貨などを購入する店舗	例) 男山地区のスーパーの場合 4	●●スーパー男山店	例) 徒歩とバスで行く場合 自宅→1→6→店舗
①食料品や日用雑貨などを購入する店舗			自宅→ →店舗
②衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗			自宅→ →店舗
③家電製品や家具を購入する店舗			自宅→ →店舗
④家族や友人等との食事 で利用する飲食店			自宅→ →店舗
⑤かかりつけの診療所等 の医療機関			自宅→ →診療所
⑥検査等が必要な場合に 利用する大きな病院			自宅→ →病院
⑦よく利用する公共施設 (市役所、図書館等)			自宅→ →施設



店舗等の立地地区の選択肢
1. 八幡地区(八幡、川口)
2. 橋本地区(橋本、西山)
3. 美濃山地区(美濃山、欽明台)
4. 男山地区(男山)
5. 東部地区(岩田、野尻、上津屋、上奈良、下奈良、内里、戸津)
6. 樟葉駅周辺
7. 松井山手駅周辺
8. その他市外()



交通手段の選択肢
1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク
4. 自家用車(自分が運転)
5. 自家用車(家族等が運転)
6. バス
7. タクシー
8. 鉄道
9. その他 (具体的に:)

問 33. あなたは、お住まいの地区において、どのような店舗等が充足あるいは不足していると感じていますか。①～⑥の店舗等についてそれぞれあてはまるものを 1つ 選び、番号を○で囲んでください。

店舗等	店舗等の状況（○印はそれぞれ1つ）				
	日常生活で必要とする店舗等が身近にあり、便利さを感じている	十分ではないが、現状が維持されれば日常生活を送ることができる	日常生活で必要な店舗等が身近に少なく、暮らしに不便を感じている	日常生活では身近に必要なく、他地区の店舗等の利用で充足している	わからない
（記入例）食料品や日用雑貨などを購入する店舗	1	②	3	4	5
①食料品や日用雑貨などを購入する店舗	1	2	3	4	5
②衣料品や靴、アクセサリなどを購入する店舗	1	2	3	4	5
③家電製品や家具を購入する店舗	1	2	3	4	5
④家族や友人等との食事で利用する飲食店	1	2	3	4	5
⑤かかりつけの診療所等の医療機関	1	2	3	4	5
⑥会合や趣味活動等ができる会議スペース	1	2	3	4	5

問 34. 他地区（八幡市内、枚方市、京田辺市、京都市等の隣接地域を含む）の店舗等を利用する場合、あなたはどの地区を最もよく利用しますか。あてはまる地区を 1つ 選び、番号を○で囲んでください。

1. 八幡市駅周辺地区	2. 八幡市役所周辺地区	3. 1号線沿道（八幡市内）
4. 男山団地地区	5. 樟葉駅周辺地区	6. 欽明台・松井山手駅周辺地区
7. 1号線沿道（京都方面）	8. 1号線沿道（大阪方面）	9. その他（具体的に： ）

問 35. 上記の地区へ行く時に、あなたが主に利用する交通手段は何ですか。あてはまる交通手段を 1つ 選び、番号を○で囲んでください。

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 自家用車（自分が運転）	5. 自家用車（家族等が運転）	6. バス
7. タクシー	8. 鉄道	9. その他（ ）

問 36. あなたは、市内での公共的な移動手段について、どのような充実を望まれますか。あなたのお考えに近いものを 2つまで 選び、番号を○で囲んでください。

1. バスの路線（ルート）を増やす	2. バスの運行本数を増やす
3. バスが定時に運行できるようにする	4. 最終バスの運行時間を遅らせる
5. 乗り降りがしやすいバス車両を増やす	6. バスの運賃の上限額を抑える
7. バスどうしや、バスと鉄道との乗り継ぎをしやすくする	
8. レンタサイクルの仕組みを充実させる（市内のあちこちで借りたり、返却できるサービス）	
9. カーシェアリングのサービスが増える（短時間でも利用できる会員制レンタカー）	
10. その他（具体的に： ）	

八幡市の観光のまちづくりについておたずねします

問 37. あなたは、八幡市の自然や歴史文化遺産を知っていますか。また、実際に訪れたことがありますか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

自然や歴史文化遺産		訪れたことがある	知っている (訪れたことはない)	知らない
	(記入例)背割堤(桜の名所)	1	②	3
自然等	① 背割堤(桜の名所)	1	2	3
	② 上津屋橋(流れ橋)	1	2	3
	③ 四季彩館(やわた流れ橋交流プラザ)	1	2	3
歴史文化	④ 石清水八幡宮	1	2	3
	⑤ 飛行神社	1	2	3
	⑥ 高良神社	1	2	3
	⑦ 善法律寺	1	2	3
	⑧ 正法寺	1	2	3
	⑨ 松花堂庭園・美術館	1	2	3
	⑩ エジソン記念碑	1	2	3

問 38. あなたは「石清水八幡宮」が国宝に指定されたことを知っていますか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 知っている	2. 知らなかった
----------	-----------

問 39. あなたは、八幡市の名物や郷土料理を知っていますか。また、実際に食べたことがありますか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

名物や郷土料理		食べたことがある	知っている (食べたことはない)	知らない
	(記入例)走井餅	①	2	3
名物等	① 走井餅	1	2	3
	② 志'ばん宗ういろ	1	2	3
	③ 源氏巻	1	2	3
	④ 八幡巻き	1	2	3
	⑤ 松花堂弁当	1	2	3
上記以外に、あなたがご存知の八幡市の名物や郷土料理があれば教えてください				

問 40. あなたは、八幡市が観光のまちづくりを進めていくことにより、主にどのような効果を期待されますか。次の中から 2つ以内で選び、番号を○で囲んでください。

1. 国内外から多くの観光客が訪れる	
2. 飲食店や土産物店が活性化する	
3. 八幡市の知名度が向上する	
4. 市民のおもてなしの心が向上する	
5. 駅周辺の整備が進む	
6. その他(具体的に:)	
7. 期待することは特にない	

地域における活動についておたずねします

問 41. あなたは、現在、地域でどのような活動に参加されていますか。次の①～⑪の活動について、それぞれ参加状況を 1つ選び、番号を○で囲んでください。

	現在、 参加して いる	現在は参加していない が、ここ 10 年間で参加 したことがある	参加したこ とがない
(記入例)自治会・町内会活動	①	2	3
① 自治会・町内会活動	1	2	3
② 防犯・交通安全活動	1	2	3
③ 学校のPTA活動	1	2	3
④ 消防団・自主防災活動	1	2	3
⑤ 福祉委員会などの福祉活動	1	2	3
⑥ 趣味などの同好会活動	1	2	3
⑦ 老人会などの活動	1	2	3
⑧ 地域おこしなどのまちづくり活動	1	2	3
⑨ ボランティア活動 (具体的に:)	1	2	3
⑩ NPO活動 (具体的に:)	1	2	3
⑪ その他 (具体的に:)	1	2	3

問 42. あなたは今後のまちづくり活動や地域活動等への参画・協力について、どのような考えをお持ちですか。次の中からあなたのお考えに近いものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 積極的に参画・協力していきたい	}	問 43 へ
2. できるだけ参画・協力していきたい		
3. 興味のあるものや、直接関係のあるものについては参画・協力していきたい		
4. 近所や知り合いとのつきあいから、ある程度参画・協力する		
5. 参画・協力したいが、忙しくて時間が取れない	}	問 44 へ
6. 活動は必要だと思うが、興味がないので積極的に参画・協力するつもりはない		
7. 活動は必要ないと思うので参画・協力できない		
8. わからない		

問 43. 問 42 で「1」～「4」のいずれかに回答された方におたずねします。それではどのような分野の活動に参加したいと思いますか。次の中からあてはまるものを 2つ以内で選び、番号を○で囲んでください。

1. 観光や国際交流	2. 人権・平和
3. 自然保護・環境問題	4. 地域の安全や防災
5. 学校教育	6. スポーツ・芸術・文化
7. 子育て支援	8. 高齢者・障害者の福祉
9. 商店街の活性化	10. 公園や道路などの清掃・管理
11. その他(具体的に:)	

八幡市がめざしてきた「めざす姿」の達成状況についておたずねします

問 44. 八幡市では「第 4 次八幡市総合計画」において 39 の政策分野毎に「めざす姿」を設定し、まちづくりに取り組んできました。それぞれの項目について今の八幡市の現状をどのように感じていますか。各項目について、あなたのお考えに近いものを、1 つずつ選び、番号を○で囲んでください。

項目名	八幡市の「めざす姿」	市の現状についての考え(○は1つ)			
		そう なっ てい る	まあ そ うな って い る	そう なっ てい ない	わ か ら な い
例 (人権・平和)	市民の人権意識が高まっている。市民主体の平和活動が盛んに行われている。	1	2	3	4
人権・平和	市民の人権意識が高まっている。市民主体の平和活動が盛んに行われている。	1	2	3	4
地域コミュ ニティ	コミュニティ活動が盛んに行われ、住民交流が活発で、互いに助け合える環境がある。	1	2	3	4
市民協働	市民、NPO等、事業者、行政が対等に協働する仕組みが整い、担い手が育っている。	1	2	3	4
男女共同 参画	女性の社会進出が進んでいる。仕事と生活の調和が取れた環境整備が進んでいる。	1	2	3	4
国際理解	外国人との交流等を通じて、市民の国際感覚が高まり、多文化理解が進んでいる。	1	2	3	4
保育・ 幼稚園	子育て環境や保育等の充実により、子どもがいきいきと活動し、親も喜びを感じている。	1	2	3	4
児童・母子・ 父子福祉	関係機関の連携強化により、児童・母子・父子福祉のための相談・支援体制が充実している。	1	2	3	4
学校教育	確かな学力、豊かな人間性、健康な体力が育成される学校教育が進んでいる。	1	2	3	4
青少年健全 育成	家庭、学校、地域社会の連携により、青少年の健全育成が進んでいる。	1	2	3	4
生涯学習	多様な講座や施設整備、資料の充実により、多くの市民が学習できる環境がある。	1	2	3	4
スポーツ	年齢や体力、目的に応じて生涯にわたって気軽にスポーツに楽しめる環境がある。	1	2	3	4
文化芸術	市民の文化芸術活動が支援されている。貴重な文化的遺産が保全・活用されている。	1	2	3	4
自然環境	市民の環境意識が高まり、環境負荷を減らす取組が行われ、自然環境が保全されている。	1	2	3	4
生活環境	公害の防止や環境意識の高まりにより、快適な生活環境が確保されている。	1	2	3	4
循環型社会	廃棄物の発生抑制、資源の再利用、資源の再生利用により循環型社会が形成されている。	1	2	3	4
景観	豊かな自然景観や歴史的景観が保全され、市街地では良好な景観の創出が進んでいる。	1	2	3	4
保健・医療	市民主体の健康づくりの取組や、救急医療などの医療体制が確保されている。	1	2	3	4
地域福祉	全ての市民が住み慣れた地域で安心して暮らせるための地域福祉が実現している。	1	2	3	4
高齢者福祉	介護予防や一人暮らし高齢者の支援等により高齢者が地域社会で安心して暮らせている。	1	2	3	4
障がい者 福祉	障がいのある人の尊厳と権利が保障され、支援等により地域で安心して暮らせている。	1	2	3	4
社会保障	生活保護等の低所得者福祉制度が適正に運用され、適正な社会保障制度が実現している。	1	2	3	4

項目名	八幡市の「めざす姿」	市の現状についての考え（○は1つ）			
		そうなっている	まあそうなっている	そうっていない	わからない
市街地	秩序ある土地利用を基本に、都市拠点が形成され、良好な市街地が形成されている。	1	2	3	4
道路	幹線道路により快適で迅速な移動ができる。歩道整備やバリアフリー化が進んでいる。	1	2	3	4
公共交通	バリアフリー化やダイヤ・路線の工夫等により、公共交通の利便性が高まっている。	1	2	3	4
情報通信	情報通信技術（IT）の活用により、行政コストの削減や、市民サービスの向上ができています。	1	2	3	4
農業	農業の担い手が育成され、地産地消の取組等により、農業が持続的に発展している。	1	2	3	4
工業	広域幹線道路の整備に対応した産業用地が整備され、企業の立地が進んでいる。	1	2	3	4
商業	駅周辺、団地、広域幹線道路周辺等、地域特性に応じた商業の活性化が進んでいる。	1	2	3	4
観光	豊かな自然と歴史文化を活かした魅力ある観光の振興により、産業が活性化している。	1	2	3	4
住宅・住環境	適正水準を満たした住宅が確保され、地域特性を活かした魅力的な住環境が形成されている。	1	2	3	4
上下水道	安全な水が安定的に供給されている。下水道により、河川等の水質が保全されている。	1	2	3	4
公園・緑地・河川	公園が憩いの場、健康づくりの場として活用されている。緑地や河川が適切に保たれている。	1	2	3	4
防災	市民の防災意識や自主防災組織の機能向上により自助・共助・公助の防災力が高まっている。	1	2	3	4
防犯・交通安全	犯罪や交通事故の防止の取組により、被害にあう市民の数が減っている。	1	2	3	4
消防・救急	意識の向上により地域の防火・消防体制が充実している。質の高い救急体制が確保されている。	1	2	3	4
消費生活	情報提供や相談体制の充実により消費者意識が高まり、トラブルに巻き込まれにくくなっている。	1	2	3	4
行政経営	複雑・多様化する行政需要に計画的・効率的に対応している。職員が育成されている。	1	2	3	4
財政運営	徹底的な無駄の排除等により、財政が健全で効率的・効果的に運営されている。	1	2	3	4
広域行政	福祉・防災・環境・観光等で広域的な対応ができるよう近隣市町との交流・連携が進んでいる。	1	2	3	4

問 45. 問 44 のいずれかについて、「3 そうなっていない」と回答された方におたずねします。左端の「項目名」を記入し、理由をお聞かせください。

項目名	「3 そうなっていない」と回答した理由

※「3 そうなっていない」を3項目以上書かれた方は、特にめざす姿から遠いとお感じになられるものなど、主なもの3つに絞って、そう思われた理由をお書きください。

問 46. あなたは、八幡市の行政の取組に満足していますか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

問 47. 問 46 で「3」または「4」と回答された方（やや不満、不満の方）におたずねします。不満に思われる理由をお聞かせください。

問 48. あなたは、八幡市職員の対応（窓口、電話）に満足していますか。あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

問 49. あなたは、市役所に関する情報を得るときに、どこから情報を得ますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

問 50. 八幡市ではより良い市政を目指して、行財政改革に取り組んでいます。この取組について、特に期待するものを次の中から 2つ以内で選び、番号を○で囲んでください。

八幡市の取組や生活環境の改善、将来のまちづくりに向けた具体的なアイデアなどをお寄せください。

ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、無記名で **10月24日(月)** までにお近くのポストに投函してください。(切手は不要です)

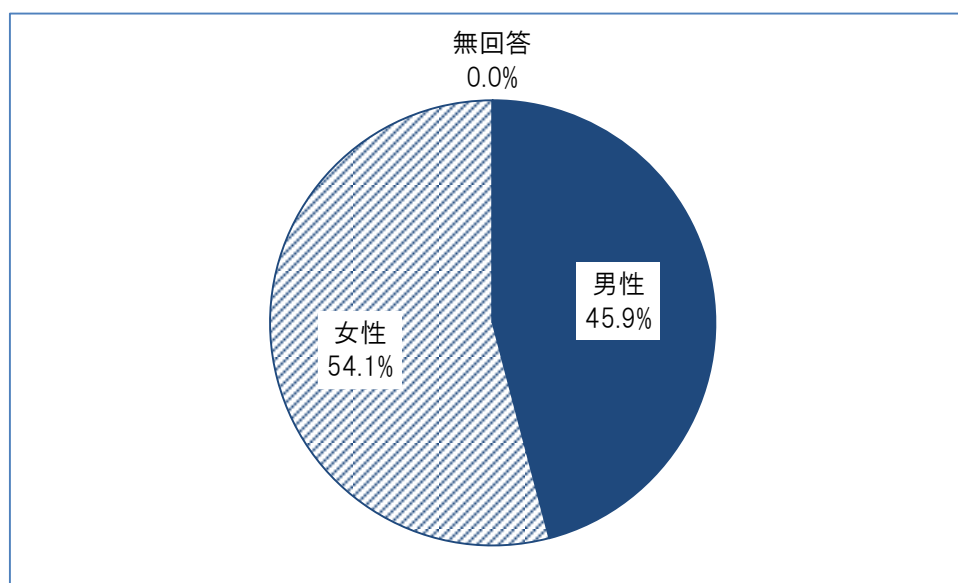
3. 転入者調査

(1)回答者の属性

① 性別（問1）

回答者の性別は、「男性」45.9%、「女性」54.1%で、女性がやや多い。

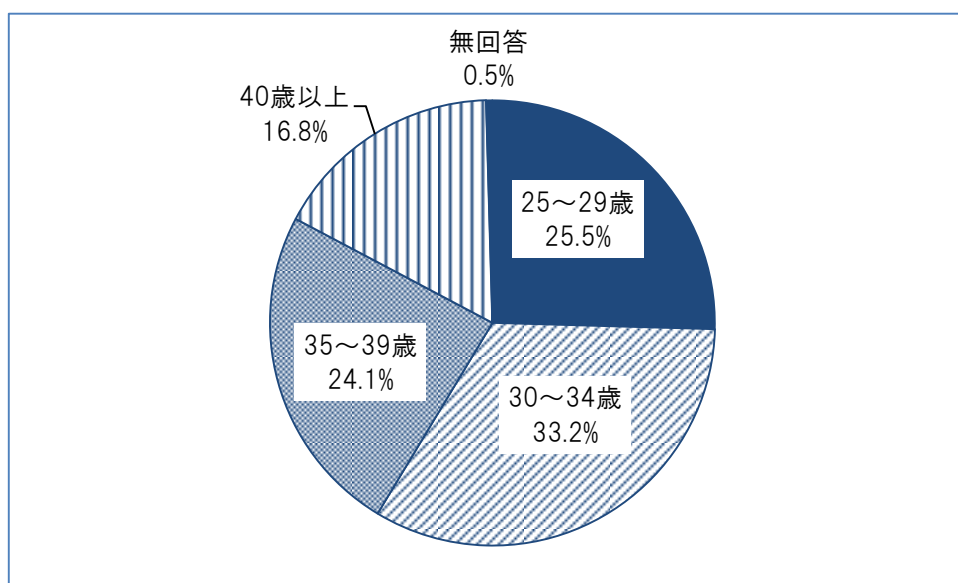
図表 196 性別(SA) (n=220)



② 年齢（問2）

回答者の年齢は、「30～34 歳」(33.2%)が最も多く、次いで「25～29 歳」(25.5%)、「35～39 歳」(24.1%)となっている。

図表 197 年齢(SA) (n=220)

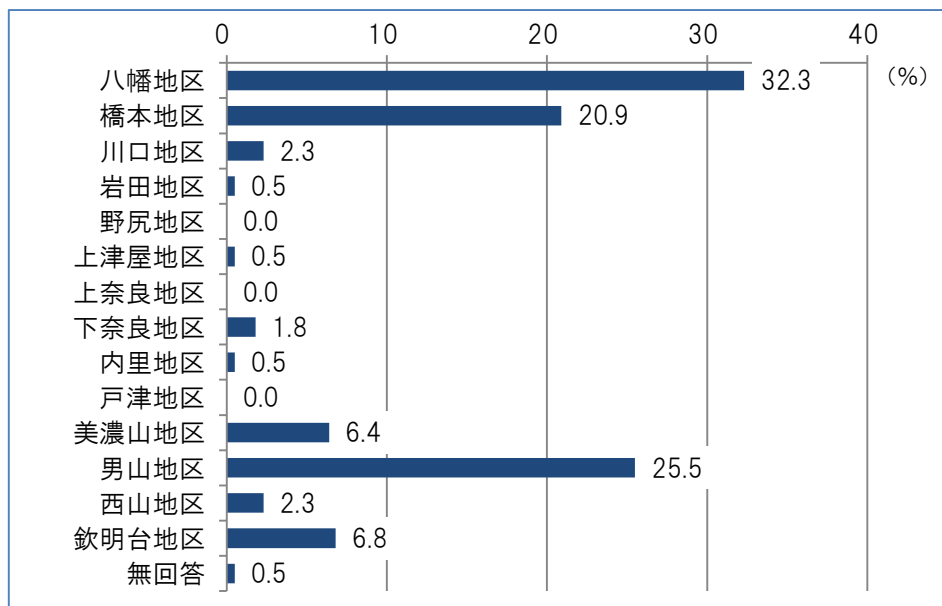


③ 現在の居住地区（問3）

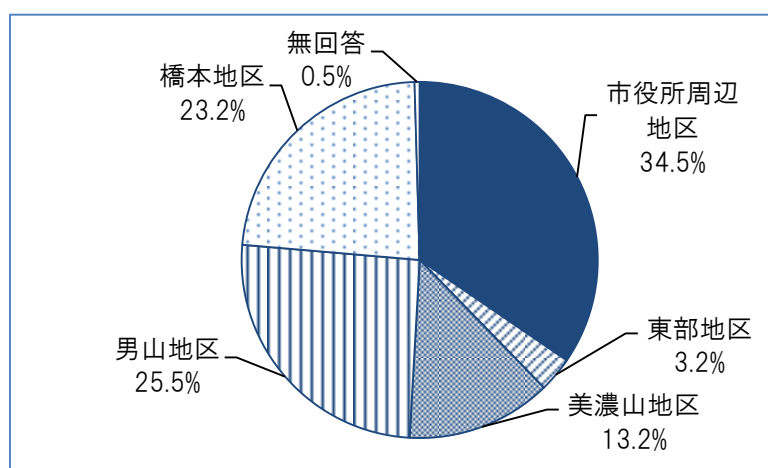
現在の居住地区は、「八幡地区」が 32.3%と最も多く、次いで「男山地区」(25.5%)、「橋本地区」(20.9%)となっている。この 3 地区で約 8 割を占めている。

5 地区別に見ると、「市役所周辺地区」が 34.5%と最も多く、次いで「男山地区」(25.5%)、「橋本地区」(23.2%)となっている。この 3 地区で約 8 割を占めている。

図表 198 現在の居住地区(SA) (n=220)



図表 199 現在の居住地区(5地区別)(SA) (n=220)



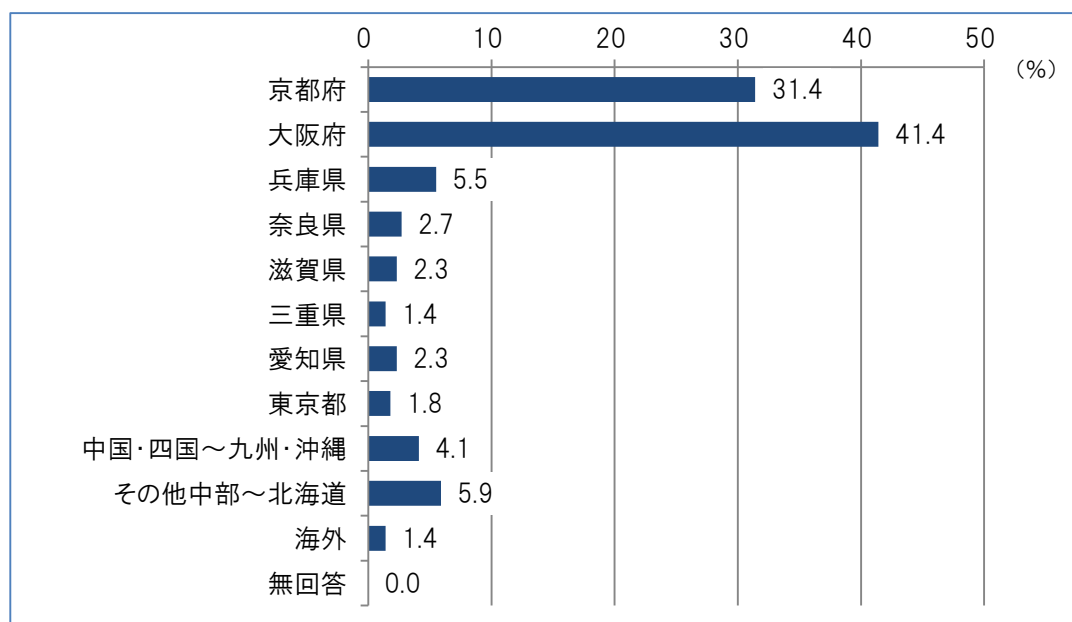
【5地区】

市役所周辺地区	八幡地区、川口地区
東部地区	岩田地区、野尻地区、上津屋地区、上奈良地区、下奈良地区、内里地区、戸津地区
美濃山地区	美濃山地区、欽明台地区
男山地区	男山地区
橋本地区	橋本地区、西山地区

④ 八幡市転入前の居住地（問4）

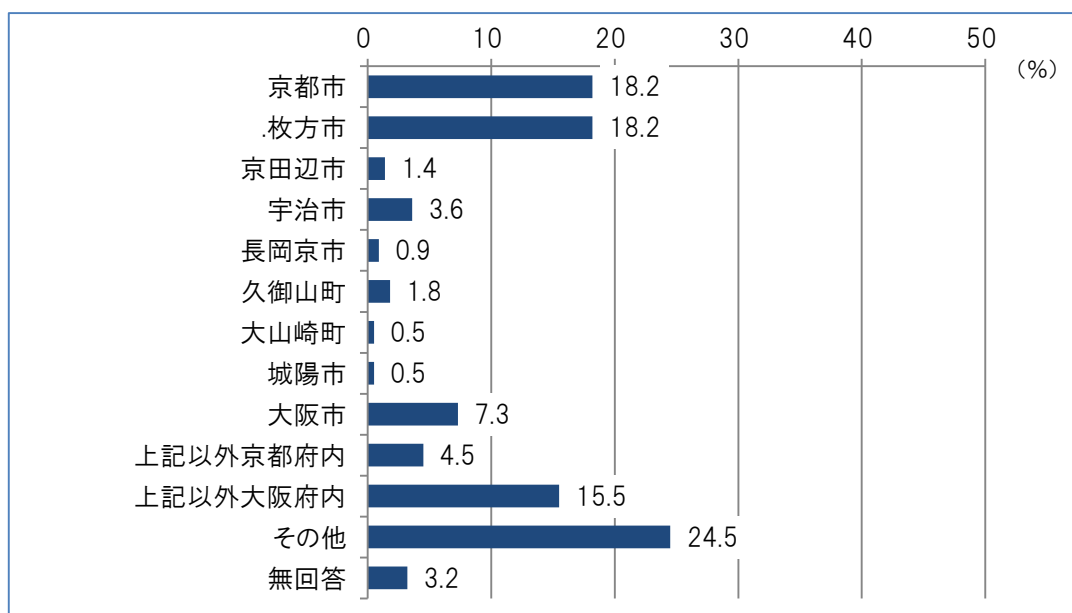
八幡市への転入前の居住地は、都道府県単位で見ると、「大阪府」が 41.4%、「京都府」が 31.4%で、あわせて約 7 割を占めている。市町村単位で見ると、「京都市」と「枚方市」が各 18.2%と最も多く、次いで「大阪市と枚方市を除く大阪府内」が 15.5%となっている。

図表 200 八幡市転入前の居住地(都道府県別)(FA) (n=220)



(注)回答数が3件以上の都道府県名を表示

図表 201 八幡市転入前の居住地(市町村別)(FA) (n=220)



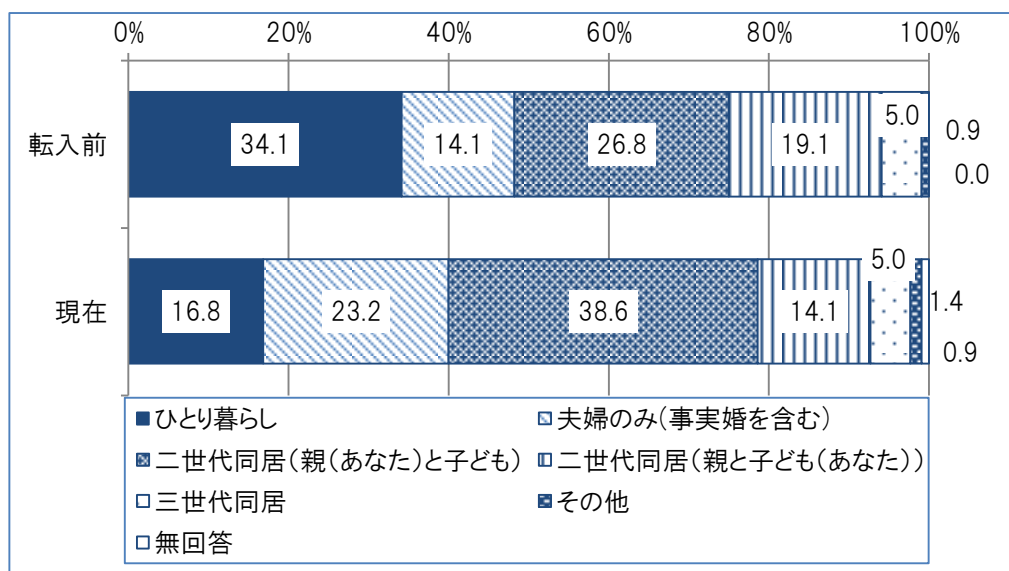
(注)回答数が3件以上の市町村名を表示

⑤ 家族構成（問5）

家族構成は、転入前は、「ひとり暮らし」(34.1%)が最も多く、次いで「二世帯同居(親(あなた)と子ども)」(26.8%)、「二世帯同居(親と子ども(あなた))」(19.1%)となっている。

現在は、「二世帯同居(親(あなた)と子ども)」(38.6%)が最も多く、次いで「夫婦のみ(事実婚を含む)」(23.2%)、「ひとり暮らし」(16.8%)となっている。

図表 202 家族構成(転入前、現在)(SA) (n=220)

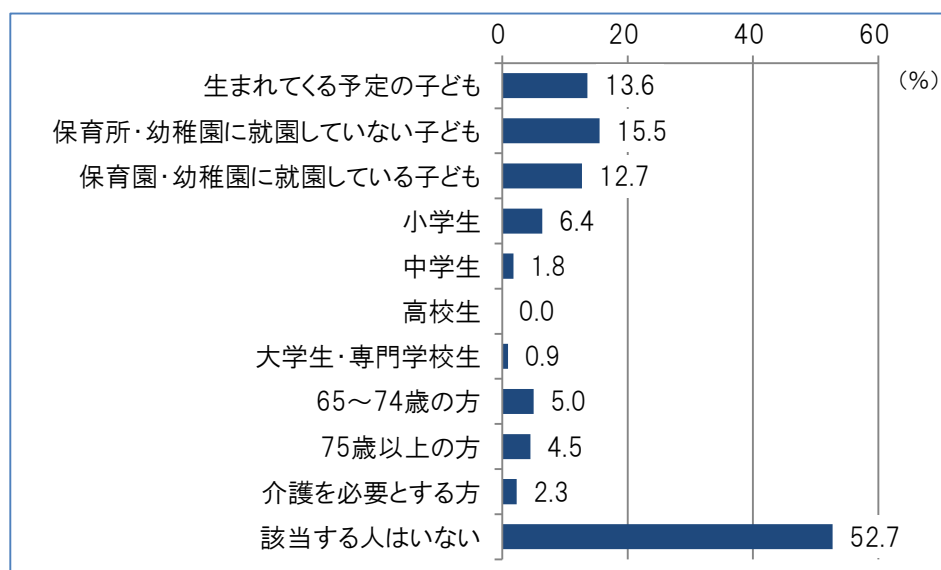


⑥ 八幡市転入決定時の同居家族（問6）

八幡市への転入決定時の同居家族(本人も含む)は、選択肢に「該当する人はいない」が52.7%となっている。

「保育所・幼稚園に就園していない子ども」(15.5%)、「生まれてくる予定の子ども」(13.6%)、「保育園・幼稚園に就園している子ども」(12.7%)が多い。

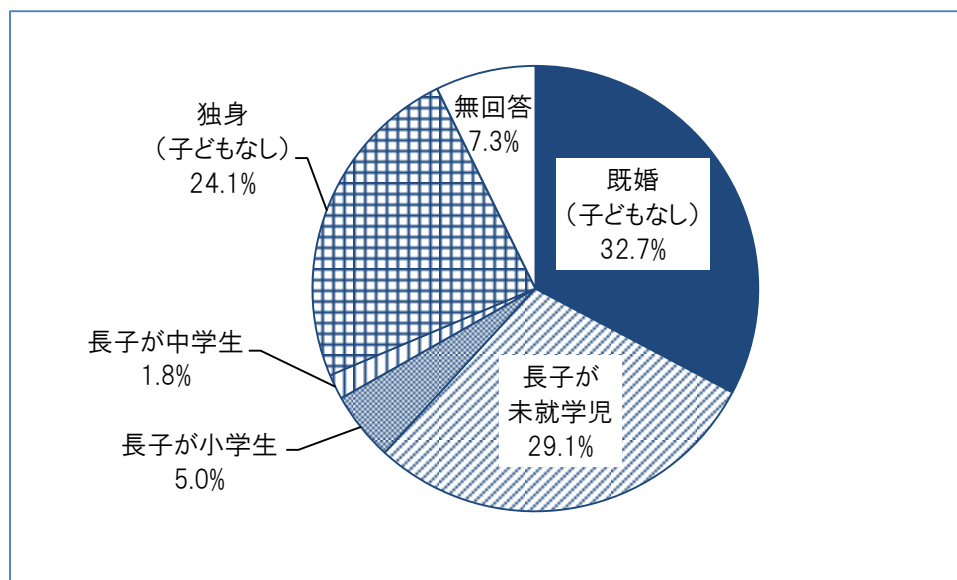
図表 203 八幡市転入決定時の同居家族(MA) (n=220)



⑦ 家族構成(子どもの状況別) (問5、問6など)

現在の家族構成及び八幡市への転入決定時の同居家族等をもとに、子どもの状況別での家族構成(回答者の既婚・未婚(独身)、子どもの有無)を推定すると、「既婚(子どもなし)」(32.7%)が最も多く、次いで、「長子が未就学児」(29.1%)、「独身(子どもなし)」(24.1%)となっている。

図表 204 家族構成(子どもの状況別) (n=220)

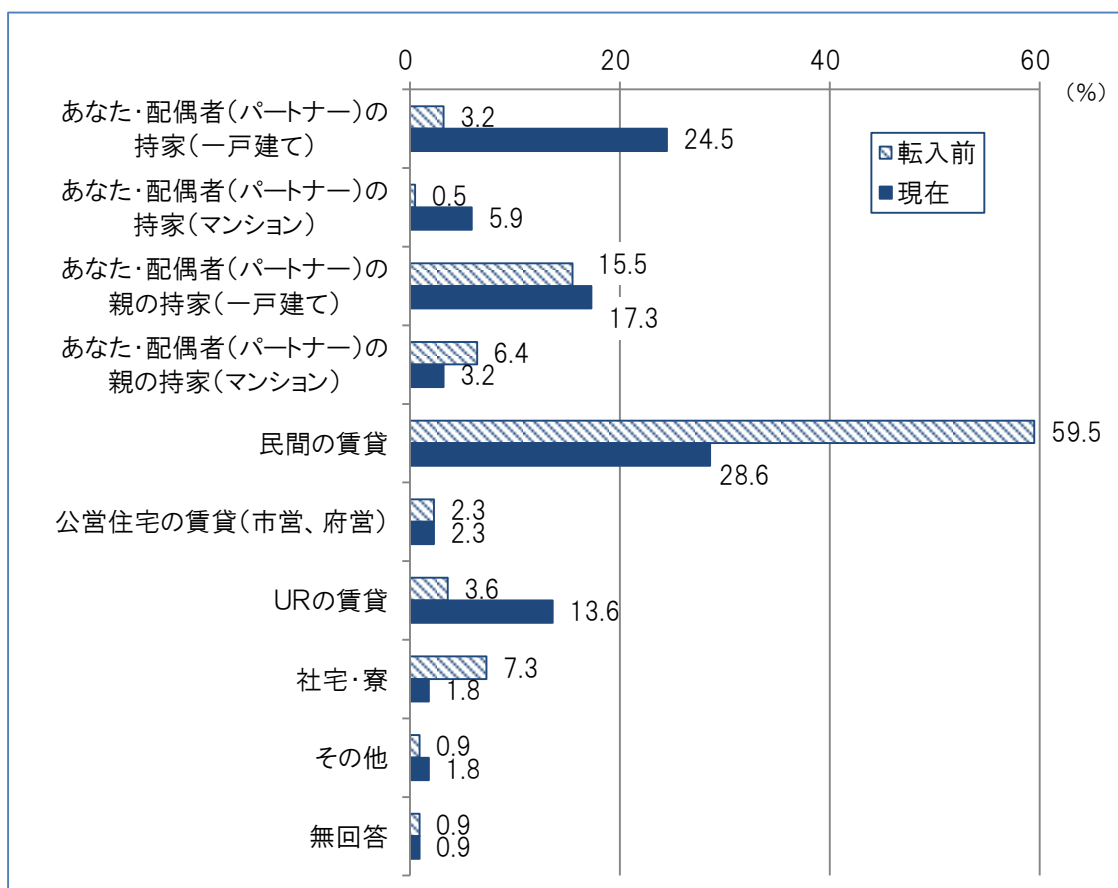


⑧ 住居形態（問7）

住居形態は、転入前は「民間の賃貸」が6割近く(59.5%)を占めている。その他では「あなた・配偶者(パートナー)の親の持家(一戸建て)」(15.5%)が多い。

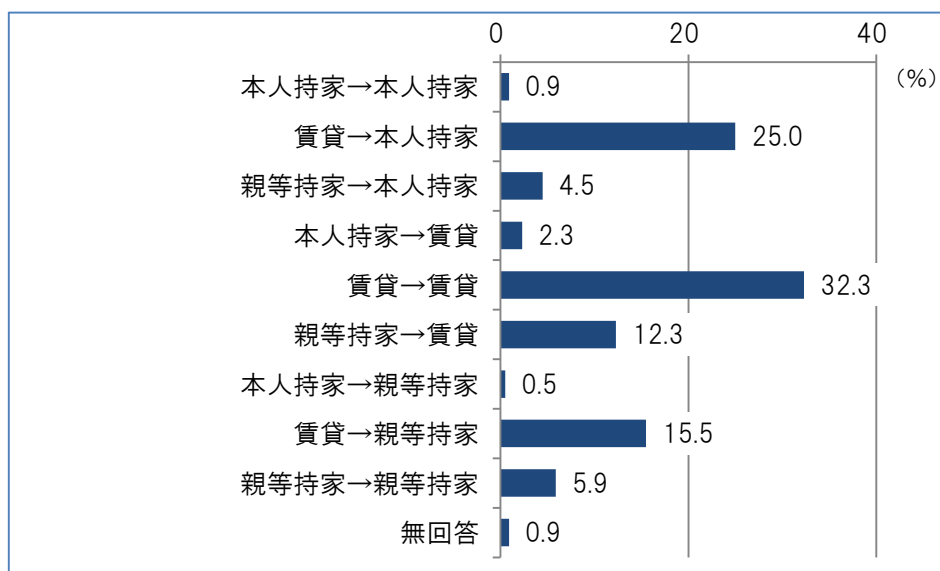
転入後は、「民間の賃貸」(28.6%)、「あなた・配偶者(パートナー)の持家(一戸建て)」(24.5%)が多く、次いで「あなた・配偶者(パートナー)の親の持家(一戸建て)」(17.3%)、「URの賃貸」(13.6%)となっている。

図表 205 住居形態(転入前後) (n=220)



住居形態の転入前後での変化を見ると、「賃貸(民間賃貸、公営住宅、UR賃貸、社宅・寮)→賃貸」(32.3%)が最も多く、次いで、「賃貸→本人持家」(25.0%)、「賃貸→親等持家」(15.5%)となっている。

図表 206 住居形態(転入前後) (n=220)



家族構成(子どもの状況別)で住居形態の変化を見ると、「長子が未就学児」や「長子が小学生」では、「賃貸(民間賃貸、公営住宅、UR賃貸、社宅・寮)→本人持家」が多くなっている。

図表 207 住居形態(転入前後)(家族構成(子どもの状況別))

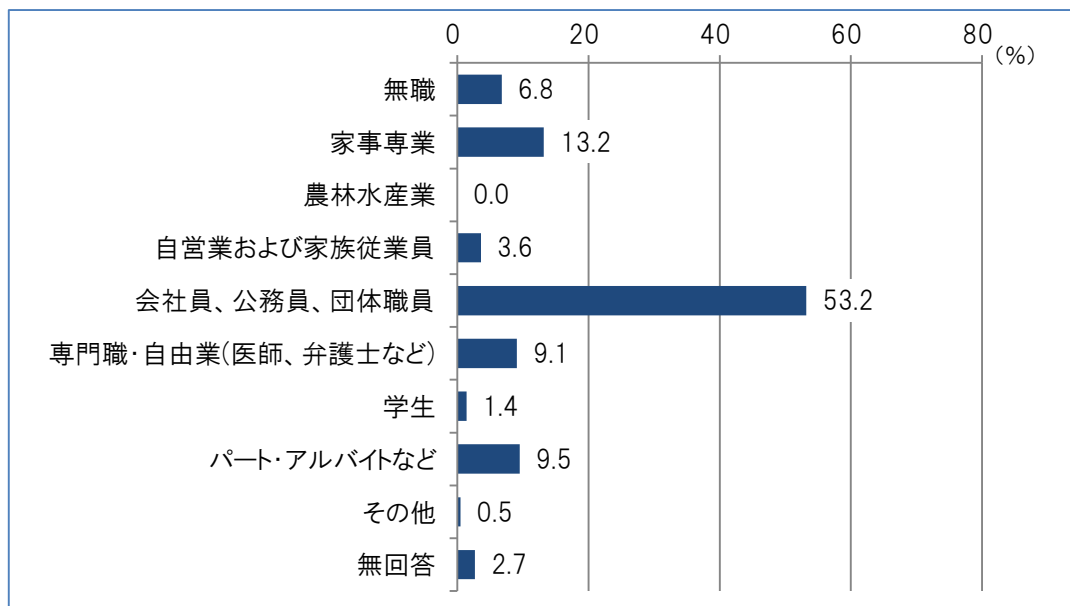
		(n数)	1位	2位	3位
全体		220	賃貸→賃貸 (32.3%)	賃貸→本人持家 (25.0%)	賃貸→親等持家 (15.5%)
(子どもの 家族 構成 状況別)	既婚(子どもなし)	72	賃貸→賃貸 (38.9%)	賃貸→本人持家 (20.8%)	親等持家→賃貸 (15.3%)
	長子が未就学児	64	賃貸→本人持家 (46.9%)	賃貸→賃貸 (23.4%)	賃貸→親等持家 (10.9%)
	長子が小学生	11	賃貸→本人持家 (45.5%)	賃貸→賃貸/親等持家→賃貸(18.2%)	
	長子が中学生	4	賃貸→賃貸 (100%)	—	
	独身(子どもなし)	53	賃貸→賃貸 (35.8%)	賃貸→親等持家 (28.3%)	親等持家→賃貸 (17.0%)

⑨ 職業（問8）

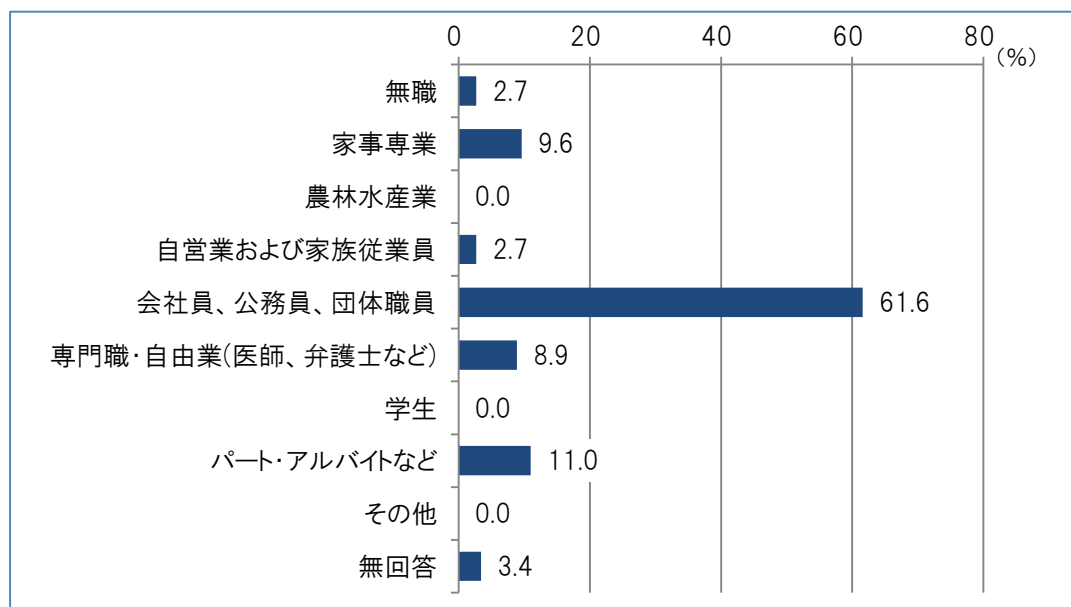
本人の職業は「会社員、公務員、団体職員」が53.2%と半数強を占めている。その他、「家事専業」(13.2%)、「パート・アルバイトなど」(9.5%)などとなっている。

配偶者（パートナー）の職業も、「会社員、公務員、団体職員」が 61.6%と最も多く、その他、「パート・アルバイトなど」(11.0%)、「家事専業」(9.6%)などとなっている。

図表 208 職業(本人) (n=220)

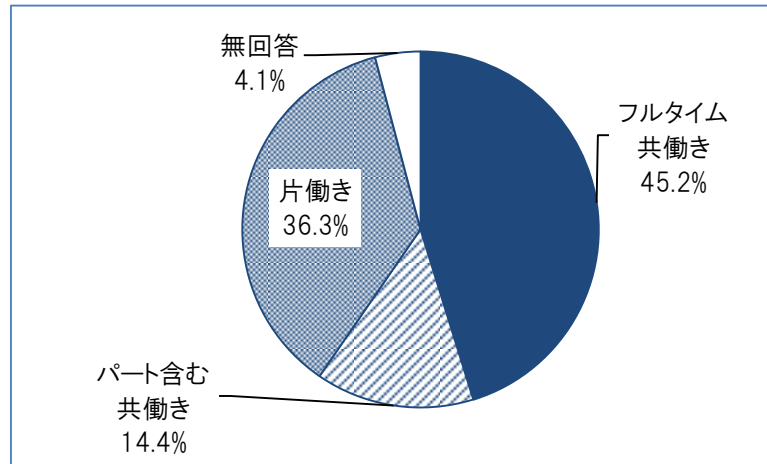


図表 209 職業(配偶者・パートナー) (既婚者のみ:n=146)



既婚者の本人及び配偶者(パートナー)の職業の状況から共働きの状況を推定すると、「フルタイム共働き」が 45.2%と最も多く、次いで「片働き」(36.3%)、「パート含む共働き」(14.4%)となっている。

図表 210 共働き状況（既婚者のみ:n=146）



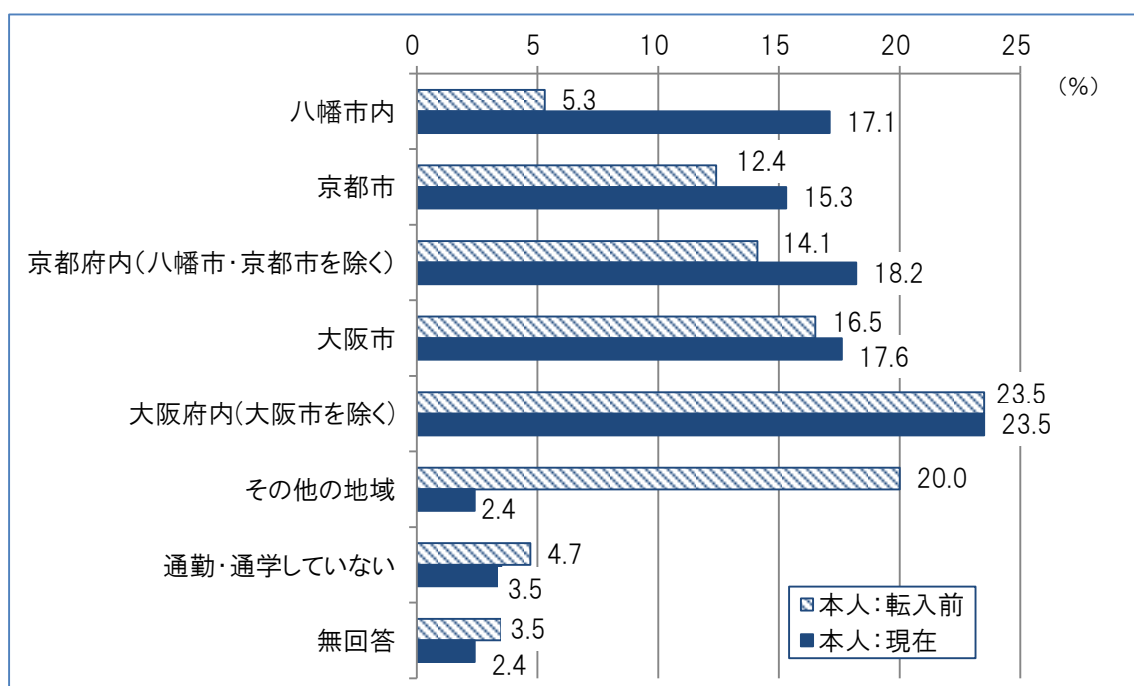
(注)フルタイム就業:「農林水産業」、「自営業および家族従業員」、「会社員、公務員、団体職員」、
「専門職・自由業(医師、弁護士など)」、「その他」
パート就業:「パート・アルバイトなど」
就業していない:「無職」、「家事専業」、「学生」

⑩ 通勤・通学先(八幡市転入前、現在) (問9)

本人の通勤・通学先(無職・家事専業を除く)は、八幡市転入前は、「大阪府内(大阪市を除く)」(23.5%)、「その他の地域」(20.0%)が多く、次いで「大阪市」(16.5%)、「京都府内(八幡市・京都市を除く)」(14.1%)、「京都市」(12.4%)となっている。

現在は、転入前と同じく、「大阪府内(大阪市を除く)」(23.5%)が最も多く、次いで「大阪市」(17.6%)、「京都府内(八幡市・京都市を除く)」(18.2%)が多いが、それらに次ぎ「八幡市内」(17.1%)も多くなっている。

図表 211 通勤・通学先(SA)(本人) (無職・家事専業を除く:n=170)



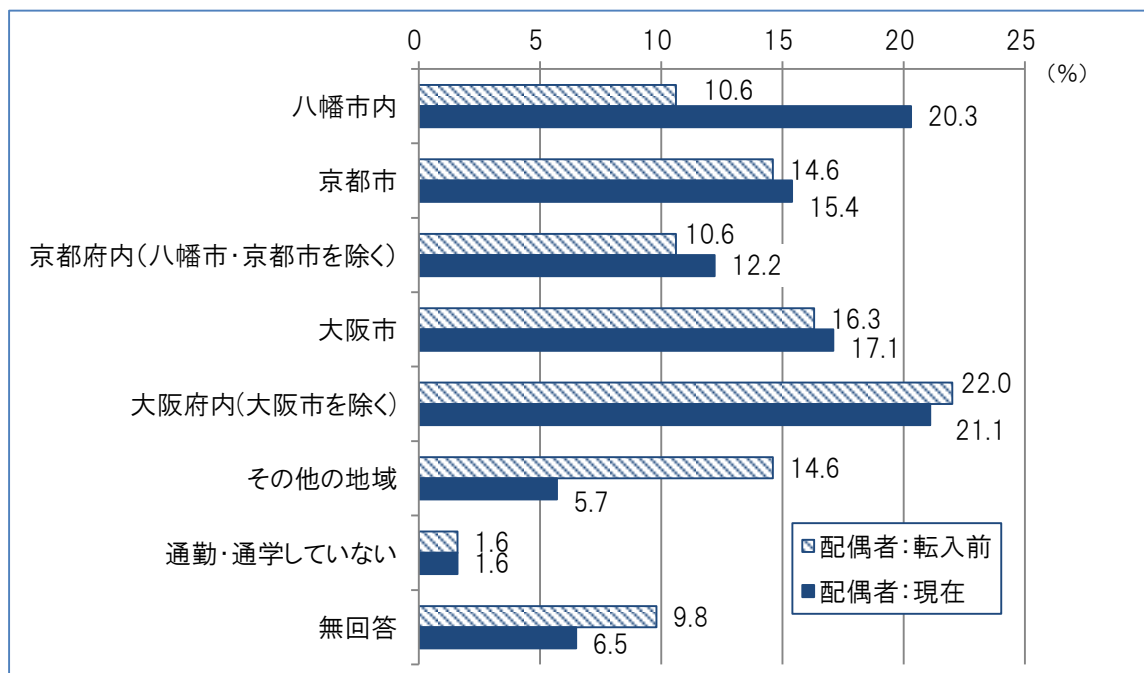
図表 212 通勤・通学先(SA)(本人) (八幡市転入前の勤務地別)

			八幡市内	京都市	を幡京都大阪阪大市府内(八幡市・京都市を除く)	阪大市府内(八幡市・京都市を除く)	その他の地域	て通勤・通学しない	無回答	(%)
全体 [N= 170]			17.1	15.3	18.2	17.6	23.5	2.4	3.5	2.4
八幡市転入前の勤務地	八幡市内	[N= 9]	88.9	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	京都市	[N= 21]	9.5	76.2	9.5	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0
	京都府内(八幡市・京都市を除く)	[N= 24]	0.0	0.0	95.8	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	大阪市	[N= 28]	7.1	10.7	0.0	71.4	3.6	0.0	7.1	0.0
	大阪府内(大阪市を除く)	[N= 40]	10.0	5.0	0.0	5.0	77.5	0.0	2.5	0.0
	その他の地域	[N= 34]	26.5	11.8	11.8	14.7	17.6	11.8	5.9	0.0
	通勤・通学していない	[N= 8]	50.0	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0

配偶者(パートナー)の通勤・通学先(無職・家事専業を除く)は、八幡市転入前は、「大阪府内(大阪市を除く)」(22.0%)が最も多く、次いで「大阪市」(16.3%)、「京都市」「その他の地域」(各14.6%)が多い。

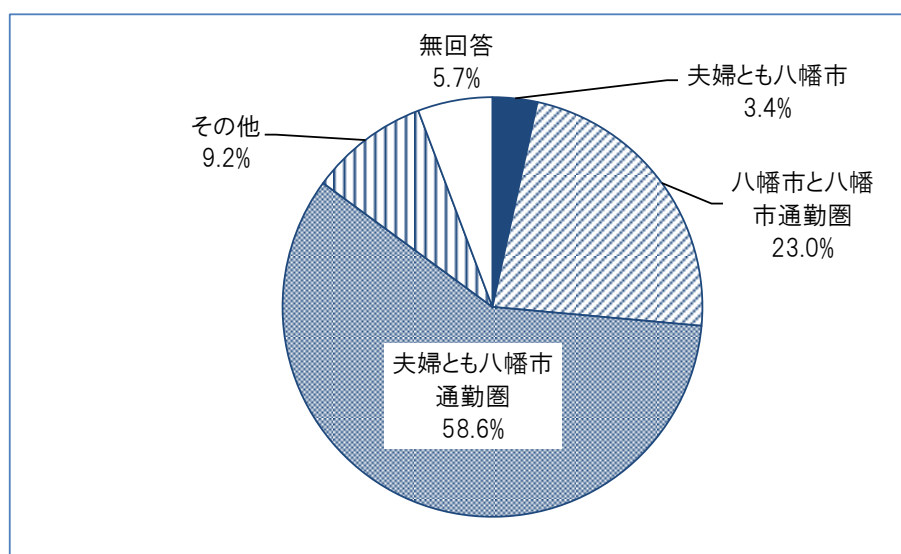
現在は、「八幡市内」が 20.3%と最も多く、次いで「大阪府内(大阪市を除く)」(21.1%)、「大阪市」(17.1%)、「京都市」(15.4%)が多くなっている。

図表 213 通勤・通学先(配偶者・パートナー) (無職・家事専業を除く:n=123)



共働きをしている本人・配偶者(パートナー)の通勤・通学先の組み合わせを見ると、「夫婦とも八幡市通勤圏」が 58.6%と最も多く、次いで「八幡市と八幡市通勤圏」が 23.0%となっている。

図表 214 通勤・通学先(配偶者・パートナー) (夫婦の通勤先別) (n=87)



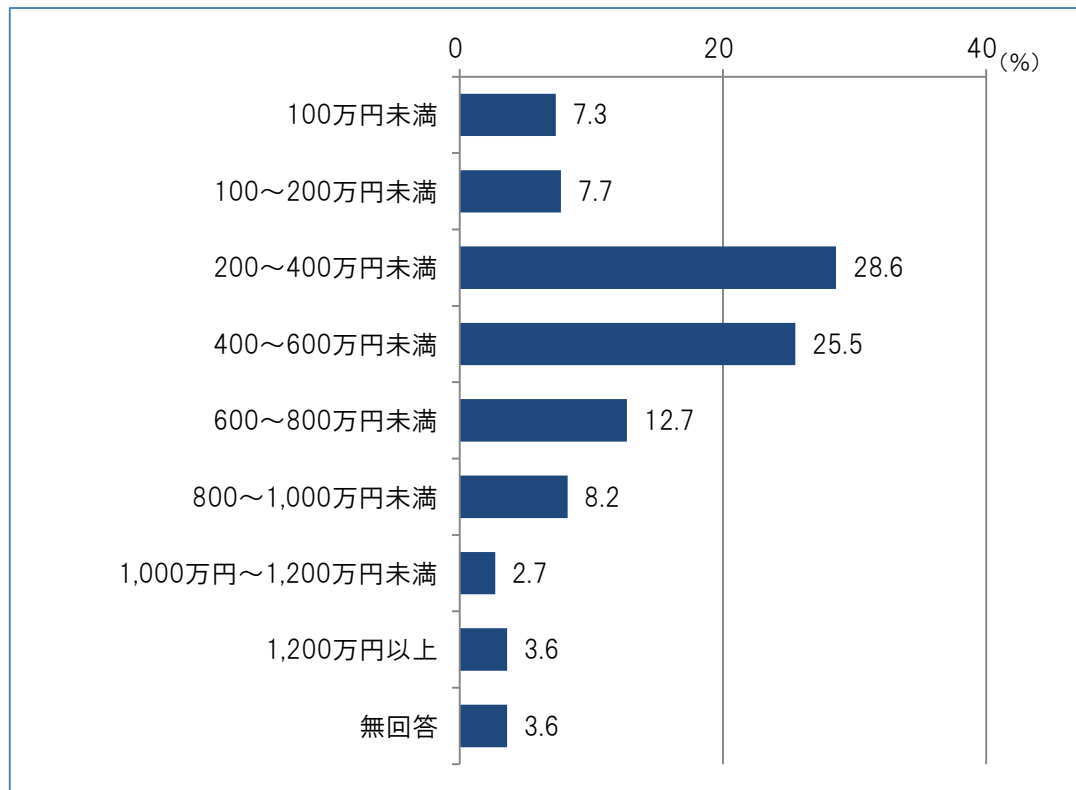
(注)「八幡市通勤圏」とは、通勤先が八幡市外の2府5県の市町村

⑪ 世帯年収（問 10）

世帯年収は、「200～400 万円未満」が 28.6%と最も多い。次いで「400～600 万円未満」（25.5%）、「600～800 万円未満」（12.7%）となっている。

共働き状況別に見ると、「フルタイム共働き」では、半数以上が世帯年収が600 万円を超えている。

図表 215 世帯年収（n=220）



図表 216 世帯年収（共働き状況別）

			(%)								
			100万 円未満	100～ 200万 円未満	200～ 400万 円未満	400～ 600万 円未満	600～ 800万 円未満	800～ 1,000万 円未満	1,000万 円～ 1,200万 円未満	1,200万 円以上	無 回 答
全体 [N= 220]			7.3	7.7	28.6	25.5	12.7	8.2	2.7	3.6	3.6
共 働 き 状 況 別	フルタイム共働き	[N= 66]	0.0	1.5	10.6	16.7	28.8	24.2	7.6	10.6	0.0
	パート含む共働き	[N= 21]	0.0	9.5	38.1	38.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	片働き	[N= 53]	9.4	3.8	28.3	37.7	9.4	1.9	1.9	1.9	5.7
	独身	[N= 58]	13.8	12.1	39.7	27.6	1.7	0.0	0.0	0.0	5.2

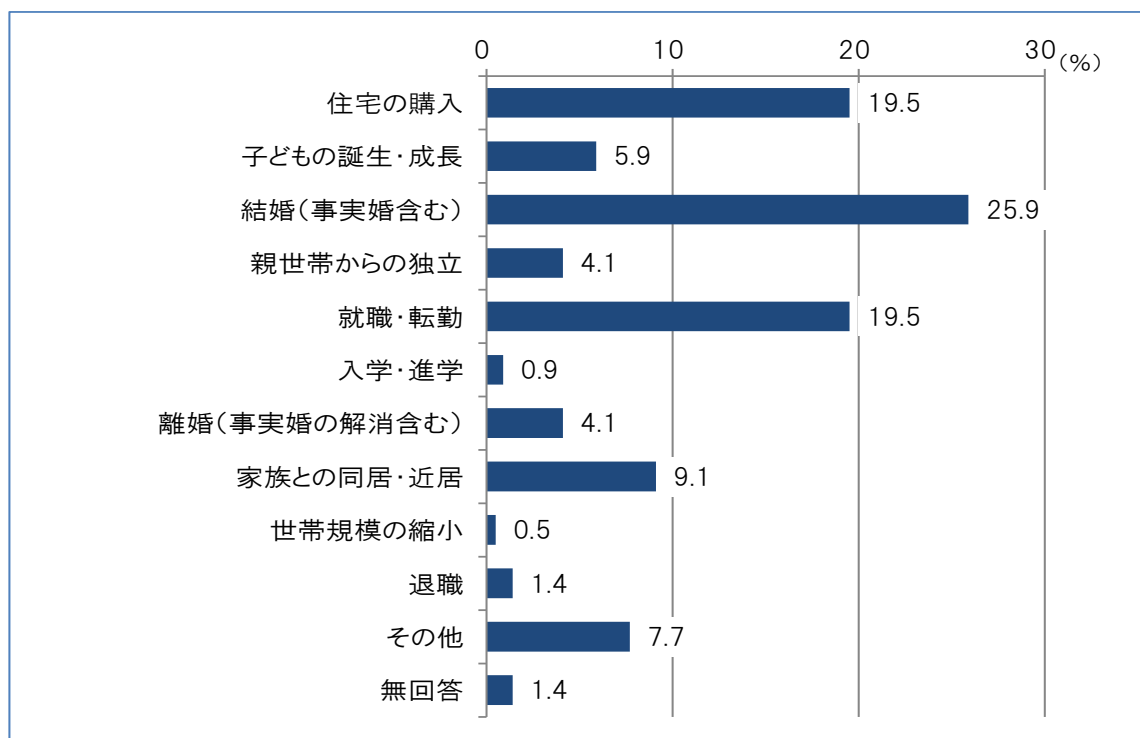
(2) 転入理由や転入先の決定について

① 八幡市に転入した主な理由（問 11）

八幡市に転入した主な理由は、「結婚(事実婚を含む)」(25.9%)が最も多く、次いで「住宅の購入」と「就職・転勤」が 19.5%となっている。

居住地別に見ると、美濃山地区と橋本地区では、「住宅の購入」が全体に比べて多い。

図表 217 転入理由(SA) (n=220)



図表 218 転入理由(SA) (居住地別)

		住宅の購入	子どもの誕生・成長	結婚(事実婚含む)	親世帯からの独立	就職・転勤	入学・進学	離婚(事実婚の解消含む)	家族との同居・近居	世帯規模の縮小	退職	その他	無回答
全体 [N= 220]		19.5	5.9	25.9	4.1	19.5	0.9	4.1	9.1	0.5	1.4	7.7	1.4
居住地別	市役所周辺 [N= 76]	13.2	3.9	30.3	2.6	21.1	0.0	2.6	10.5	1.3	2.6	10.5	1.3
	東部 [N= 7]	0.0	0.0	28.6	0.0	42.9	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	美濃山 [N= 29]	41.4	6.9	20.7	0.0	10.3	0.0	0.0	10.3	0.0	3.4	6.9	0.0
	男山 [N= 56]	7.1	5.4	32.1	5.4	25.0	1.8	7.1	5.4	0.0	0.0	8.9	1.8
	橋本 [N= 51]	31.4	9.8	15.7	7.8	13.7	2.0	5.9	7.8	0.0	0.0	3.9	2.0

八幡市に転入した主な理由は、「長子が未就学児」、「長子が小学生」、「片働き」では「住宅の購入」の割合が全体に比べて多い。また、「既婚(子どもなし)」、「フルタイム共働き」では「結婚(事実婚含む)」の割合が全体に比べて多い。「独身」では「就職・転勤」が全体に比べて多い。

図表 219 転入理由(SA) (家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別)

			住宅の購入	子どもの誕生・成長	結婚(事実婚含む)	親世帯からの独立	就職・転勤	入学・進学	離婚(事実婚の解消含む)	家族との同居・近居	世帯規模の縮小	退職	その他	無回答
全体		[N= 220]	19.5	5.9	25.9	4.1	19.5	0.9	4.1	9.1	0.5	1.4	7.7	1.4
(子どもの状況別)	既婚(子どもなし)	[N= 72]	12.5	0.0	68.1	1.4	6.9	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	6.9	1.4
	長子が未就学児	[N= 64]	35.9	20.3	12.5	0.0	18.8	1.6	6.3	3.1	0.0	0.0	1.6	0.0
	長子が小学生	[N= 11]	36.4	0.0	0.0	9.1	27.3	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	長子が中学生	[N= 4]	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	独身(子どもなし)	[N= 53]	7.5	0.0	0.0	11.3	35.8	0.0	5.7	18.9	0.0	3.8	17.0	0.0
共働き状況別	フルタイム共働き	[N= 66]	21.2	7.6	45.5	3.0	12.1	1.5	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0
	パート含む共働き	[N= 21]	23.8	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0
	片働き	[N= 53]	32.1	15.1	28.3	0.0	11.3	1.9	0.0	5.7	0.0	0.0	3.8	1.9
	独身	[N= 58]	6.9	0.0	0.0	10.3	32.8	0.0	13.8	17.2	0.0	3.4	15.5	0.0
住居形態別	本人・配偶者の持家	[N= 67]	61.2	7.5	20.9	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	1.5	0.0
	親等の持家	[N= 48]	4.2	6.3	22.9	2.1	22.9	0.0	0.0	25.0	0.0	4.2	12.5	0.0
	賃貸住宅	[N= 99]	0.0	5.1	31.3	8.1	26.3	2.0	9.1	5.1	1.0	1.0	10.1	1.0
	寮・社宅	[N= 4]	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 220 転入理由(上位 5 位)(SA)

(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別、居住地別)

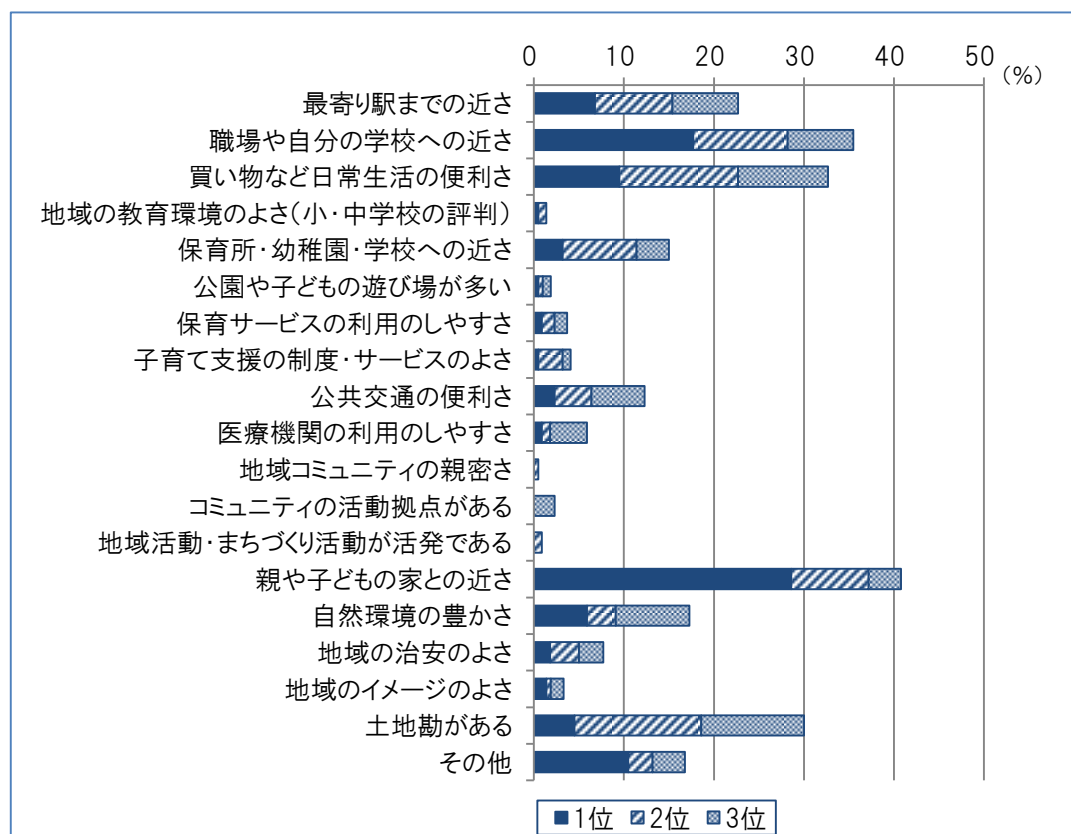
	(n数)	1位	2位	3位	4位	5位
全体	220	結婚(事実婚含む)(25.9%)	住宅の購入/就職・転勤(19.5%)	家族との同居・近居(9.1%)	その他(7.7%)	
(子どもの家族構成状況別)	既婚(子どもなし)	72 結婚(事実婚含む)(68.1%)	住宅の購入(12.5%)	就職・転勤/その他(6.9%)	家族との同居・近居(2.8%)	
	長子が未就学児	64 住宅の購入(35.9%)	子どもの誕生・成長(20.3%)	就職・転勤(18.8%)	結婚(事実婚含む)(12.5%)	離婚(事実婚の解消含む)(6.3%)
	長子が小学生	11 住宅の購入(36.4%)	就職・転勤(27.3%)	家族との同居・近居(18.2%)	親世帯からの独立/離婚(事実婚の解消含む)(9.1%)	
	長子が中学生	4 就職・転勤/入学・進学/離婚(事実婚の解消含む)/その他(25.0%)				-
	独身(子どもなし)	53 就職・転勤(35.8%)	家族との同居・近居(18.9%)	その他(17.0%)	親世帯からの独立(11.3%)	住宅の購入(7.5%)
共働き状況別	フルタイム共働き	66 結婚(事実婚含む)(45.5%)	住宅の購入(21.2%)	就職・転勤(12.1%)	子どもの誕生・成長(7.6%)	家族との同居・近居/その他(4.5%)
	パート含む共働き	21 結婚(事実婚含む)/就職・転勤(33.3%)	住宅の購入(23.8%)	その他(9.5%)		-
	片働き	53 住宅の購入(32.1%)	結婚(事実婚含む)(28.3%)	子どもの誕生・成長(15.1%)	就職・転勤(11.3%)	家族との同居・近居(5.7%)
	独身	58 就職・転勤(32.8%)	家族との同居・近居(17.2%)	その他(15.5%)	離婚(事実婚の解消含む)(13.8%)	親世帯からの独立(10.3%)
住居形態別	本人・配偶者の持家	67 住宅の購入(61.2%)	結婚(事実婚含む)(20.9%)	子どもの誕生・成長(7.5%)	就職・転勤/家族との同居・近居(4.5%)	
	親等の持家	48 家族との同居・近居(25.0%)	結婚(事実婚含む)/就職・転勤(22.9%)	その他(12.5%)	子どもの誕生・成長(6.3%)	
	賃貸住宅	99 結婚(事実婚含む)(31.3%)	就職・転勤(26.3%)	その他(10.1%)	離婚(事実婚の解消含む)(9.1%)	親世帯からの独立(8.1%)
	寮・社宅	4 就職・転勤(75.0%)	結婚(事実婚含む)(25.0%)	-		
居住地別	市役所周辺	76 結婚(事実婚含む)(30.3%)	就職・転勤(21.1%)	住宅の購入(13.2%)	家族との同居・近居/その他(10.5%)	
	東部	7 就職・転勤(42.9%)	結婚(事実婚含む)/家族との同居・近居(28.6%)		-	
	美濃山	29 住宅の購入(41.4%)	結婚(事実婚含む)(20.7%)	就職・転勤/家族との同居・近居(10.3%)	子どもの誕生・成長/その他(6.9%)	
	男山	56 結婚(事実婚含む)(32.1%)	就職・転勤(25.0%)	その他(8.9%)	住宅の購入/離婚(事実婚の解消含む)(7.1%)	
	橋本	51 住宅の購入(31.4%)	結婚(事実婚含む)(15.7%)	就職・転勤(13.7%)	子どもの誕生・成長(9.8%)	親世帯からの独立/家族との同居・近居(7.8%)

② 転入先を決める際に考慮したこと（問 12）

転入先（八幡市）を決める際に考慮したことを1位から3位まで聞いたところ、1位から3位の合計では、「親や子どもの家との近さ」が40.8%と最も多く、次いで「職場や自分の学校への近さ」（35.5%）、「買い物など日常生活の便利さ」（32.7%）、「土地勘がある」（30.0%）となっている。

1位では、「親や子どもの家との近さ」が28.6%と最も多く、次いで「職場や自分の学校への近さ」（17.7%）となっている。

図表 221 転入先を決める際に考慮したこと（1位、2位、3位）（n=220）



カテゴリ	1位	2位	3位	合計
最寄り駅までの近さ	6.8	8.6	7.3	22.7
職場や自分の学校への近さ	17.7	10.5	7.3	35.5
買い物など日常生活の便利さ	9.5	13.2	10.0	32.7
地域の教育環境のよさ(小・中学校の評判)	0.5	0.9	0.0	1.4
保育所・幼稚園・学校への近さ	3.2	8.2	3.6	15.0
公園や子どもの遊び場が多い	0.5	0.5	0.9	1.9
保育サービスの利用のしやすさ	0.9	1.4	1.4	3.7
子育て支援の制度・サービスのよさ	0.5	2.7	0.9	4.1
公共交通の便利さ	2.3	4.1	5.9	12.3
医療機関の利用のしやすさ	0.9	0.9	4.1	5.9
地域コミュニティの親密さ	0.0	0.5	0.0	0.5
コミュニティの活動拠点がある	0.0	0.0	2.3	2.3
地域活動・まちづくり活動が活発である	0.0	0.9	0.0	0.9
親や子どもの家との近さ	28.6	8.6	3.6	40.8
自然環境の豊かさ	5.9	3.2	8.2	17.3
地域の治安のよさ	1.8	3.2	2.7	7.7
地域のイメージのよさ	1.4	0.5	1.4	3.3
土地勘がある	4.5	14.1	11.4	30.0
その他	10.5	2.7	3.6	16.8
無回答	4.5	15.5	25.5	45.5

図表 222 転入先を決める際に考慮したこと(1位)

(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別、居住地別)

			(%)																			
			最寄り駅までの近さ	職場や自分の学校への近さ	買い物など日常生活の利便さ	地域の教育環境のよさ（小・中学校の評判）	保育所・幼稚園・学校への近さ	公園や子どもの遊び場が多い	保育サービスの利用のしやすさ	子育て支援の制度・サービスのよさ	公共交通の利便さ	医療機関の利用のしやすさ	地域コミュニティの親密さ	コミュニティの活動拠点がある	地域活動・まちづくり活動が活発である	親や子どもの家との近さ	自然環境の豊かさ	地域の治安のよさ	地域のイメージのよさ	土地勘がある	その他	無回答
全体 [N= 220]			6.8	17.7	9.5	0.5	3.2	0.5	0.9	0.5	2.3	0.9	0.0	0.0	0.0	28.6	5.9	1.8	1.4	4.5	10.5	4.5
（子どもの状況別）	既婚（子どもなし）	[N= 72]	11.1	12.5	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	26.4	6.9	4.2	0.0	0.0	18.1	4.2
	長子が未就学児	[N= 64]	3.1	17.2	6.3	1.6	7.8	0.0	3.1	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	35.9	3.1	1.6	3.1	6.3	6.3	1.6
	長子が小学生	[N= 11]	0.0	18.2	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1
	長子が中学生	[N= 4]	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	独身（子どもなし）	[N= 53]	7.5	26.4	13.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	24.5	7.5	0.0	1.9	1.9	9.4	5.7
共働き状況別	フルタイム共働き	[N= 66]	7.6	18.2	4.5	0.0	3.0	0.0	1.5	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	34.8	4.5	3.0	1.5	0.0	13.6	3.0
	パート含む共働き	[N= 21]	4.8	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	19.0	9.5	0.0	0.0	4.8	23.8	0.0
	片働き	[N= 53]	7.5	7.5	13.2	1.9	7.5	0.0	0.0	1.9	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	34.0	7.5	1.9	1.9	3.8	5.7	1.9
	独身	[N= 58]	6.9	25.9	13.8	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	24.1	6.9	0.0	1.7	3.4	8.6	5.2
住居形態別	本人・配偶者の持家	[N= 67]	6.0	13.4	9.0	1.5	4.5	0.0	0.0	0.0	3.0	1.5	0.0	0.0	0.0	41.8	4.5	4.5	1.5	3.0	4.5	1.5
	親等の持家	[N= 48]	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	39.6	2.1	0.0	2.1	6.3	16.7	12.5
	賃貸住宅	[N= 99]	8.1	27.3	12.1	0.0	4.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	16.2	9.1	1.0	1.0	5.1	9.1	0.0
	寮・社宅	[N= 4]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0
居住地別	市役所周辺	[N= 76]	13.2	22.4	5.3	0.0	3.9	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	21.1	5.3	1.3	0.0	7.9	10.5	6.6
	東部	[N= 7]	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
	美濃山	[N= 29]	0.0	10.3	17.2	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	34.5	6.9	6.9	10.3	0.0	0.0	3.4
	男山	[N= 56]	1.8	19.6	14.3	0.0	5.4	0.0	3.6	0.0	5.4	1.8	0.0	0.0	0.0	25.0	8.9	0.0	0.0	3.6	10.7	0.0
	橋本	[N= 51]	7.8	13.7	3.9	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.2	3.9	2.0	0.0	3.9	15.7	5.9

転入を決める際に考慮したことの1位について、家族構成別(子どもの状況別)に見ると、「親や子どもの家との近さ」が、「既存(子どもなし)」や「長子が未就学児」、「長子が小学生」で多くなっている。

転入を決める際に考慮したことの1位について、共働き状況別に見ると、「フルタイム共働き」と「片働き」では「親と子どもの家との近さ」が最も多く、「パート含む共働き」では「職場や自分の学校への近さ」が最も多くなっている。

図表 223 転入先を決める際に考慮したこと(1位)(上位5位)
(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別、居住地別)

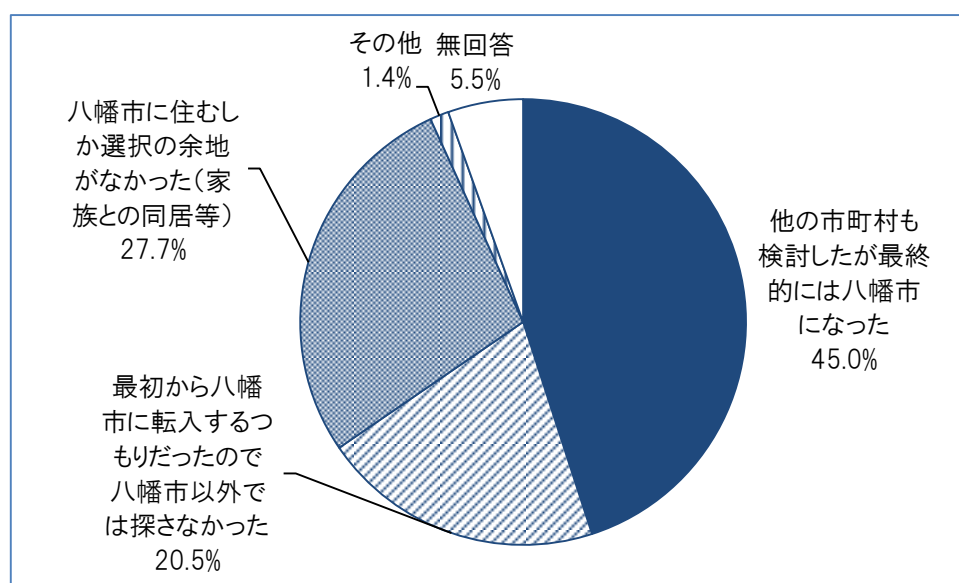
		(n数)	1位	2位	3位	4位	5位
全体		220	親や子どもの家との近さ(28.6%)	職場や自分の学校への近さ(17.7%)	その他(10.5%)	買い物など日常生活の便利さ(9.5%)	最寄り駅までの近さ(6.8%)
(子どもの状況別)	既婚(子どもなし)	72	親や子どもの家との近さ(26.4%)	その他(18.1%)	職場や自分の学校への近さ(12.5%)	最寄り駅までの近さ/買い物など日常生活の便利さ(11.1%)	
	長子が未就学児	64	親や子どもの家との近さ(35.9%)	職場や自分の学校への近さ(17.2%)	保育所・幼稚園・学校への近さ(7.8%)	買い物など日常生活の便利さ/土地勘がある/その他(6.3%)	
	長子が小学生	11	親や子どもの家との近さ(45.5%)	職場や自分の学校への近さ(18.2%)	保育所・幼稚園・学校への近さ/公園や子どもの遊び場が多い/自然環境の豊かさ(9.1%)		
	長子が中学生	4	職場や自分の学校への近さ(50.0%)	公共交通の便利さ/自然環境の豊かさ(25.0%)			-
	独身(子どもなし)	53	職場や自分の学校への近さ(26.4%)	親や子どもの家との近さ(24.5%)	買い物など日常生活の便利さ(13.2%)	その他(9.4%)	最寄り駅までの近さ/自然環境の豊かさ(7.5%)
共働き状況別	フルタイム共働き	66	親や子どもの家との近さ(34.8%)	職場や自分の学校への近さ(18.2%)	その他(13.6%)	最寄り駅までの近さ(7.6%)	買い物など日常生活の便利さ/公共交通の便利さ/自然環境の豊かさ(4.5%)
	パート含む共働き	21	職場や自分の学校への近さ(28.6%)	その他(23.8%)	親や子どもの家との近さ(19.0%)	自然環境の豊かさ(9.5%)	最寄り駅までの近さ/保育サービスの利用のしやすさ/医療機関の利用のしやすさ/土地勘がある(4.8%)
	片働き	53	親や子どもの家との近さ(34.0%)	買い物など日常生活の便利さ(13.2%)	最寄り駅までの近さ/職場や自分の学校への近さ/保育所・幼稚園・学校への近さ/自然環境の豊かさ(7.5%)		
	独身	58	職場や自分の学校への近さ(25.9%)	親や子どもの家との近さ(24.1%)	買い物など日常生活の便利さ(13.8%)	その他(8.6%)	最寄り駅までの近さ/自然環境の豊かさ(6.9%)
住居形態別	本人・配偶者の持家	67	親や子どもの家との近さ(41.8%)	職場や自分の学校への近さ(13.4%)	買い物など日常生活の便利さ(9.0%)	最寄り駅までの近さ(6.0%)	保育所・幼稚園・学校への近さ/自然環境の豊かさ/地域の治安のよさ/その他(4.5%)
	親等の持家	48	親や子どもの家との近さ(39.6%)	その他(16.7%)	最寄り駅までの近さ/職場や自分の学校への近さ/買い物など日常生活の便利さ/土地勘がある(6.3%)		
	賃貸住宅	99	職場や自分の学校への近さ(27.3%)	親や子どもの家との近さ(16.2%)	買い物など日常生活の便利さ(12.1%)	自然環境の豊かさ/その他(9.1%)	
	寮・社宅	4	その他(75.0%)				-
居住地別	市役所周辺	76	職場や自分の学校への近さ(22.4%)	親や子どもの家との近さ(21.1%)	最寄り駅までの近さ(13.2%)	その他(10.5%)	土地勘がある(7.9%)
	東部	7	親や子どもの家との近さ(28.6%)	職場や自分の学校への近さ/買い物など日常生活の便利さ/子育て支援の制度・サービスのよさ/その他(14.3%)			
	美濃山	29	親や子どもの家との近さ(34.5%)	買い物など日常生活の便利さ(17.2%)	職場や自分の学校への近さ/地域のイメージのよさ(10.3%)	公共交通の便利さ/自然環境の豊かさ/地域の治安のよさ(6.9%)	
	男山	56	親や子どもの家との近さ(25.0%)	職場や自分の学校への近さ(19.6%)	買い物など日常生活の便利さ(14.3%)	その他(10.7%)	自然環境の豊かさ(8.9%)
	橋本	51	親や子どもの家との近さ(41.2%)	その他(15.7%)	職場や自分の学校への近さ(13.7%)	最寄り駅までの近さ(7.8%)	買い物など日常生活の便利さ/自然環境の豊かさ(3.9%)

③ 転出先の検討経過（問 13）

転入前の居住地から転出先を決める際にどのような市町村への転出を検討したか（転出先の検討経過）については、「他の市町村も検討したが最終的には八幡市になった」が 45.0%と最も多い。次いで「八幡市に住むしか選択の余地がなかった（家族との同居等）」（27.7%）、「最初から八幡市に転入するつもりだったので八幡市以外では探さなかった」（20.5%）となっている。

居住地別に見ると、美濃山地区では「他の市町村も検討したが最終的には八幡市になった」が全体に比べて多くなっている。

図表 224 転出先の検討経過(SA) (n=220)



図表 225 転出先の検討経過(SA) (居住地別)

		市た他	探の入最	（択八	そ	無
		にがの	さです初	家幡	他	回
		な最市	な八か	の余市		答
		つ終町	か幡つ	の地に		
		た的村	つ市も	が住む		
		には検	た以り	同な		
		八討	外だ市	居かし		
		幡し	でつに	等つか		
			はた転	～た選		
全体 [N= 220]		45.0	20.5	27.7	1.4	5.5
居住地別	市役所周辺 [N= 76]	36.8	18.4	38.2	1.3	5.3
	東部 [N= 7]	57.1	0.0	42.9	0.0	0.0
	美濃山 [N= 29]	58.6	17.2	20.7	0.0	3.4
	男山 [N= 56]	42.9	26.8	23.2	0.0	7.1
	橋本 [N= 51]	49.0	21.6	19.6	3.9	5.9

転出先の検討経過については、家族形態(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別による大きな違いは見られない。

図表 226 転入先の検討経過(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別)

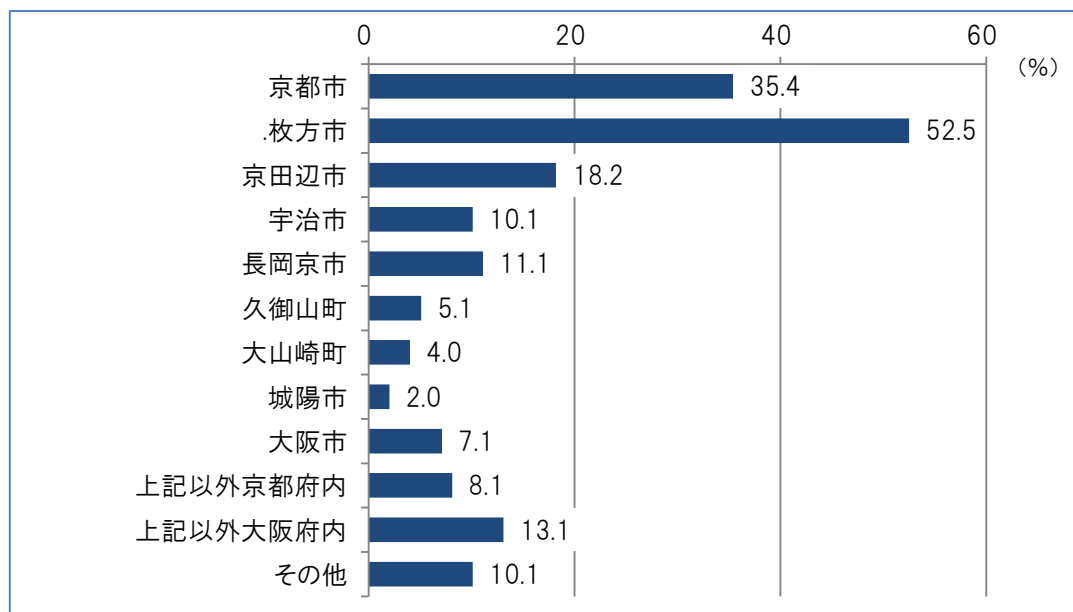
(%)

			市た他 にがの な最市 つ終町 た的村 にも は検 八討 幡し	探の入最 さです初 なハるか か幡つら つ市も八 た以り幡 外だ市に でっは転	（択八 家の幡 族余市 とのが 住なむ 居かし 等つか ）た選	そ の 他	無 回 答
全体 [N= 220]			45.0	20.5	27.7	1.4	5.5
(子 ども の 状 況 別)	既婚(子どもなし)	[N= 72]	40.3	22.2	30.6	0.0	6.9
	長子が未就学児	[N= 64]	48.4	20.3	21.9	1.6	7.8
	長子が小学生	[N= 11]	72.7	9.1	9.1	9.1	0.0
	長子が中学生	[N= 4]	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0
	独身(子どもなし)	[N= 53]	47.2	20.8	32.1	0.0	0.0
共 働 き 状 況 別	フルタイム共働き	[N= 66]	43.9	19.7	25.8	1.5	9.1
	パート含む共働き	[N= 21]	66.7	14.3	9.5	0.0	9.5
	片働き	[N= 53]	41.5	26.4	26.4	1.9	3.8
	独身	[N= 58]	46.6	20.7	32.8	0.0	0.0
住 居 形 態 別	本人・配偶者の持家	[N= 67]	59.7	19.4	14.9	3.0	3.0
	親等の持家	[N= 48]	12.5	14.6	68.8	0.0	4.2
	賃貸住宅	[N= 99]	53.5	24.2	15.2	1.0	6.1
	寮・社宅	[N= 4]	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0

④ 転出先を決める際に検討した市町村（問 14）

「他の市町村も検討したが最終的には八幡市になった」と回答した人に、八幡市以外に検討した市町村(3つまで)を聞いたところ、「枚方市」が52.5%と最も多く、次いで「京都市」が35.4%と多い。他に、「京田辺市」(18.2%)、「大阪市・枚方市以外の大阪府内」(13.1%)、「長岡京市」(11.1%)などとなっている。

図表 227 転出先を決める際に八幡市以外に検討した市町村(FA3つまで) (n=93)



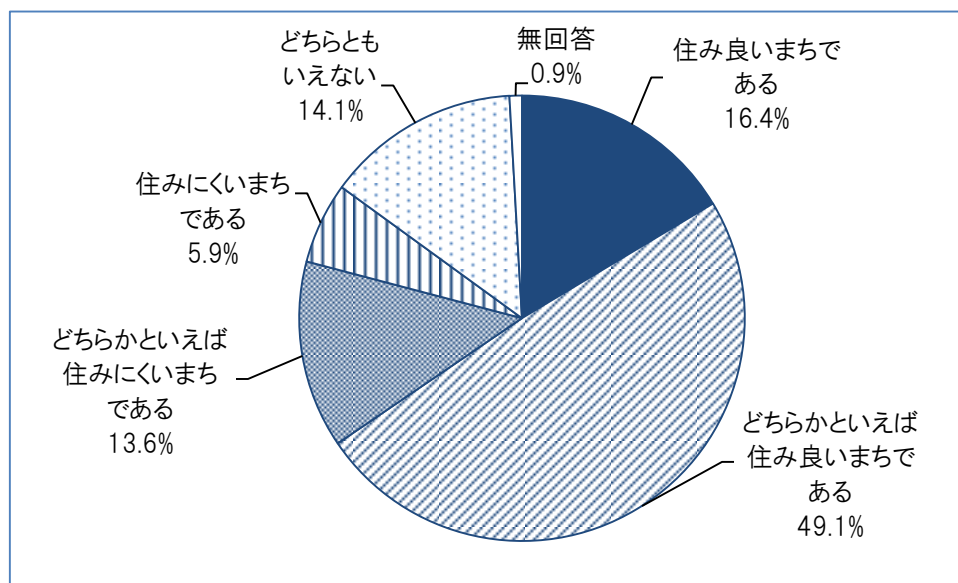
(3) 八幡市のイメージや住みやすさについて

① 八幡市の住み良さ（問 15）

八幡市の住み良さについて、「どちらかといえば住み良いまちである」が 49.1%と最も多く、「住み良いまちである」(16.4%)と合わせて、約6割が住み良いと評価している。

一方、住みにくい(「どちらかといえば住みにくい」(13.6%)と「住みにくい」(5.9%)の合計)と評価した人は約2割となっている。

図表 228 八幡市の住み良さ(SA) (n=220)



居住地別に見ると、美濃山地区で「住み良い」(「住み良いまちである」と「どちらかといえば住み良いまちである」の合計)の割合が全体よりも高くなっている。

一方、東部地区で「住みにくい」(「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合計)の割合が全体よりも高くなっている。

図表 229 八幡市の住み良さ(SA) (居住地別)

			(%)			
			住み 良 い	住 み に く い	ど ち ら か と も い え な い	無 回 答
全体 [N= 220]			65.5	19.5	14.1	0.9
居住地 別	市役所周辺	[N= 76]	67.1	19.7	11.8	1.3
	東部	[N= 7]	42.9	42.9	14.3	0.0
	美濃山	[N= 29]	79.3	13.8	6.9	0.0
	男山	[N= 56]	73.2	10.7	16.1	0.0
	橋本	[N= 51]	51.0	27.5	19.6	2.0

八幡市の住み良さについては、家族形態(子どもの状況別)、共働き状況、住居形態による大きな違いは見られない。

図表 230 八幡市の住み良さ(SA)

(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別)

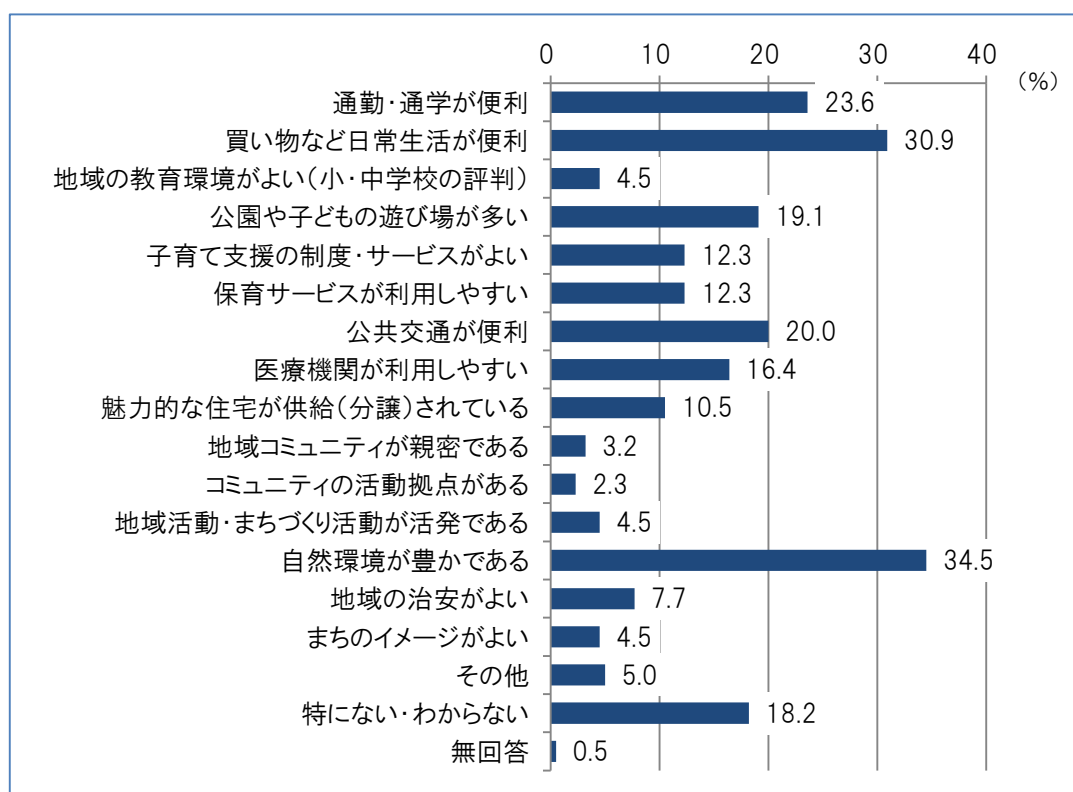
(%)

			住 み 良 い	住 み に く い	ど ち ら と も い え な い	無 回 答
全体 [N= 220]			65.5	19.5	14.1	0.9
(子 ど も の 家 族 構 成 状 況 別)	既婚(子どもなし)	[N= 72]	69.4	16.7	13.9	0.0
	長子が未就学児	[N= 64]	67.2	20.3	12.5	0.0
	長子が小学生	[N= 11]	54.5	18.2	27.3	0.0
	長子が中学生	[N= 4]	75.0	0.0	25.0	0.0
	独身(子どもなし)	[N= 53]	62.3	24.5	13.2	0.0
共 働 き 状 況 別	フルタイム共働き	[N= 66]	69.7	19.7	10.6	0.0
	パート含む共働き	[N= 21]	66.7	23.8	9.5	0.0
	片働き	[N= 53]	69.8	13.2	17.0	0.0
	独身	[N= 58]	62.1	24.1	13.8	0.0
住 居 形 態 別	本人・配偶者の持家	[N= 67]	77.6	10.4	11.9	0.0
	親等の持家	[N= 48]	50.0	39.6	10.4	0.0
	賃貸住宅	[N= 99]	68.7	14.1	17.2	0.0
	寮・社宅	[N= 4]	0.0	75.0	25.0	0.0

② 八幡市の魅力（問 16）

以前住んでいた地域に比べて感じる八幡市の魅力は、「自然環境が豊かである」(34.5%)が最も多くなっている。次いで「買い物など日常生活が便利」(30.9%)、「通勤・通学が便利」(23.6%)となっている。

図表 231 八幡市の魅力(MA) (n=220)



図表 232 八幡市の魅力(MA) (居住地別)

																				(%)
		通勤・通学が便利	買い物など日常生活が便利	地域の教育環境がよい (小・中学校の評判)	公園や子どもの遊び場が多い	子育て支援の制度・サービスがよい	保育サービスが利用しやすい	公共交通が便利	医療機関が利用しやすい	魅力的な住宅が供給 (分譲)されている	密である地域コミュニティが親	点がある コミュニティの活動拠	地域活動・まちづくり活動が活発である	自然環境が豊かである	地域の治安がよい	まちのイメージがよい	その他	特にない・わからない	無回答	
居住地別	全体	[N= 220]	23.6	30.9	4.5	19.1	12.3	12.3	20.0	16.4	10.5	3.2	2.3	4.5	34.5	7.7	4.5	5.0	18.2	0.5
	市役所周辺	[N= 76]	34.2	36.8	3.9	11.8	7.9	3.9	25.0	11.8	6.6	5.3	2.6	2.6	35.5	3.9	2.6	5.3	18.4	0.0
	東部	[N= 7]	14.3	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	美濃山	[N= 29]	13.8	37.9	17.2	17.2	20.7	24.1	17.2	17.2	24.1	6.9	3.4	3.4	31.0	24.1	20.7	3.4	13.8	0.0
	男山	[N= 56]	17.9	48.2	1.8	33.9	17.9	16.1	25.0	28.6	8.9	1.8	1.8	7.1	33.9	7.1	1.8	8.9	14.3	1.8
	橋本	[N= 51]	19.6	2.0	2.0	11.8	9.8	15.7	11.8	9.8	11.8	0.0	2.0	5.9	33.3	2.0	2.0	2.0	27.5	0.0

図表 233 八幡市の魅力(MA)

(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別、住み良さ別、居住意向別)

			通勤・通学が便利	買い物など日常生活が便利	地域の教育環境がよい（小・中学校の評判）	公園や子どもの遊び場が多い	子育て支援の制度・サービスがよい	保育サービスが利用しやすい	公共交通が便利	医療機関が利用しやすい	魅力的な住宅が供給（分譲）されている	地域コミュニティが親密である	コミュニティの活動拠点がある	地域活動・まちづくり活動が活発である	自然環境が豊かである	地域の治安がよい	まちのイメージがよい	その他	特にない・わからない	無回答	(%)
全体 [N= 220]			23.6	30.9	4.5	19.1	12.3	12.3	20.0	16.4	10.5	3.2	2.3	4.5	34.5	7.7	4.5	5.0	18.2	0.5	
（子どもの状況別）	家族構成	既婚（子どもなし）	[N= 72]	18.1	31.9	4.2	15.3	4.2	2.8	19.4	9.7	13.9	1.4	2.8	4.2	38.9	5.6	4.2	5.6	18.1	1.4
		長子が未就学児	[N= 64]	20.3	39.1	7.8	28.1	26.6	35.9	21.9	20.3	12.5	4.7	1.6	4.7	29.7	14.1	7.8	3.1	9.4	0.0
		長子が小学生	[N= 11]	45.5	45.5	9.1	27.3	27.3	9.1	18.2	18.2	27.3	9.1	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
		長子が中学生	[N= 4]	25.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	75.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
		独身（子どもなし）	[N= 53]	30.2	17.0	0.0	15.1	0.0	0.0	13.2	17.0	1.9	1.9	3.8	3.8	39.6	7.5	1.9	7.5	28.3	0.0
共働き状況別	フルタイム共働き		[N= 66]	24.2	30.3	6.1	18.2	9.1	21.2	13.6	4.5	16.7	3.0	3.0	4.5	36.4	7.6	7.6	7.6	12.1	0.0
	パート含む共働き		[N= 21]	28.6	42.9	0.0	28.6	14.3	19.0	28.6	28.6	9.5	4.8	0.0	4.8	33.3	23.8	4.8	4.8	19.0	0.0
	片働き		[N= 53]	17.0	41.5	11.3	18.9	26.4	13.2	28.3	30.2	13.2	3.8	1.9	5.7	32.1	3.8	3.8	0.0	13.2	1.9
	独身		[N= 58]	29.3	17.2	0.0	19.0	3.4	3.4	13.8	15.5	3.4	1.7	3.4	3.4	39.7	6.9	1.7	6.9	27.6	0.0
住居形態別	本人・配偶者の持家		[N= 67]	31.3	25.4	9.0	17.9	19.4	25.4	17.9	17.9	14.9	3.0	1.5	4.5	35.8	7.5	7.5	3.0	13.4	0.0
	親等の持家		[N= 48]	10.4	18.8	4.2	12.5	4.2	6.3	16.7	6.3	2.1	4.2	0.0	0.0	35.4	8.3	2.1	8.3	25.0	0.0
	賃貸住宅		[N= 99]	26.3	42.4	2.0	24.2	12.1	7.1	23.2	21.2	11.1	2.0	4.0	6.1	34.3	8.1	3.0	5.1	16.2	1.0
	寮・社宅		[N= 4]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
住み良さ別	住み良い		[N= 144]	27.1	38.2	6.3	25.0	13.2	15.3	25.0	22.9	11.1	3.5	3.5	6.3	43.8	11.1	6.3	4.9	9.7	0.7
	住みにくい		[N= 43]	23.3	14.0	0.0	4.7	9.3	11.6	9.3	2.3	7.0	2.3	0.0	0.0	18.6	2.3	0.0	7.0	30.2	0.0
	どちらともいえない		[N= 31]	9.7	22.6	3.2	12.9	12.9	0.0	9.7	6.5	9.7	0.0	0.0	0.0	16.1	0.0	0.0	3.2	41.9	0.0
居住意向別	八幡市に住み続けたい		[N= 140]	25.0	35.7	6.4	24.3	16.4	15.7	27.1	21.4	11.4	4.3	2.9	6.4	42.9	10.0	6.4	5.0	10.7	0.0
	市外に移りたい		[N= 78]	21.8	23.1	1.3	10.3	5.1	6.4	7.7	7.7	9.0	1.3	1.3	1.3	20.5	3.8	1.3	5.1	30.8	0.0

図表 234 八幡市の魅力(MA) (上位5位)

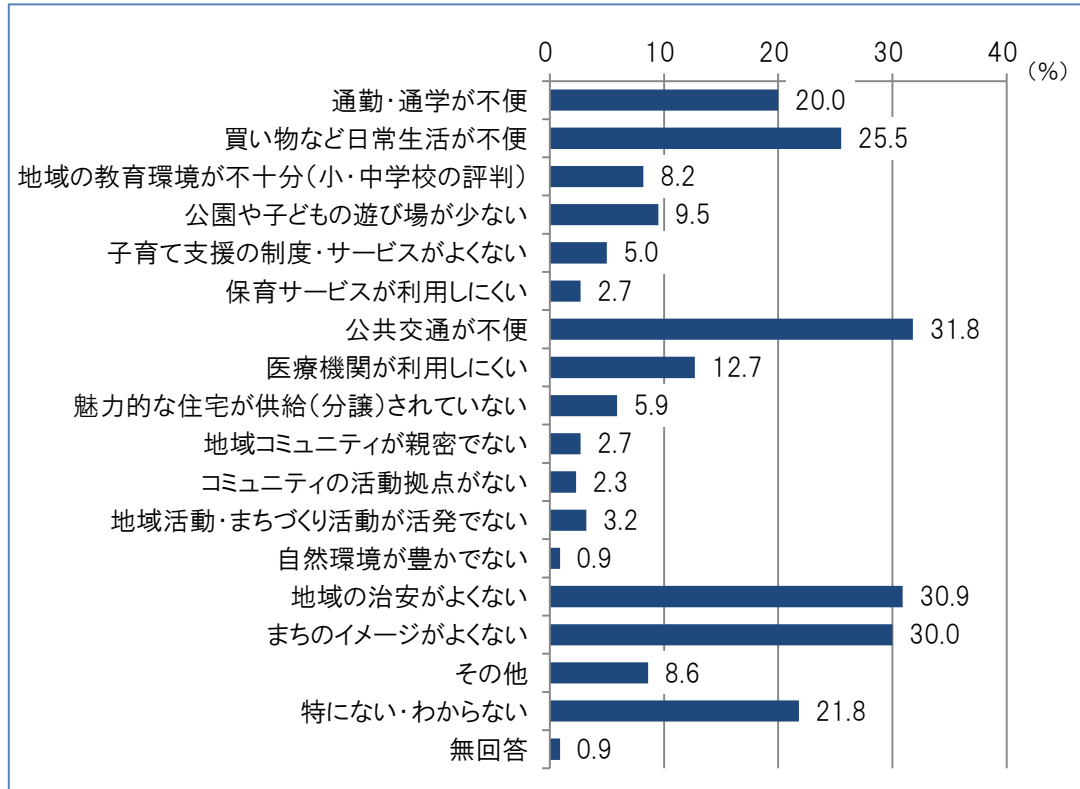
(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別、居住地別)

		(n数)	1位	2位	3位	4位	5位
全体		220	自然環境が豊か (34.5%)	買い物など日常生活が便利(30.9%)	通勤・通学が便利 (23.6%)	公共交通が便利 (20.0%)	公園や子どもの遊び場が多い(19.1%)
(子どもの状況別)	既婚(子どもなし)	72	自然環境が豊か (38.9%)	買い物など日常生活が便利(31.9%)	公共交通が便利 (19.4%)	通勤・通学が便利/特にない・わからない(18.1%)	
	長子が未就学児	64	買い物など日常生活が便利(39.1%)	保育サービスが利用しやすい(35.9%)	自然環境が豊か (29.7%)	公園や子どもの遊び場が多い(28.1%)	子育て支援の制度・サービスがよい(26.6%)
	長子が小学生	11	通勤・通学が便利/買い物など日常生活が便利(45.5%)		公園や子どもの遊び場が多い/子育て支援の制度・サービスがよい/魅力的な住宅が供給(分譲)されている/自然環境が豊か(27.3%)		
	長子が中学生	4	公共交通が便利/医療機関が利用しやすい(75.0%)		買い物など日常生活が便利/子育て支援の制度・サービスがよい/自然環境が豊か(50.0%)		
	独身(子どもなし)	53	自然環境が豊か (39.6%)	通勤・通学が便利 (30.2%)	特にない・わからない(28.3%)	買い物など日常生活が便利/医療機関が利用しやすい(17.0%)	
共働き状況別	フルタイム共働き	66	自然環境が豊か (36.4%)	買い物など日常生活が便利(30.3%)	通勤・通学が便利 (24.2%)	保育サービスが利用しやすい(21.2%)	公園や子どもの遊び場が多い(18.2%)
	パート含む共働き	21	買い物など日常生活が便利(42.9%)	自然環境が豊か (33.3%)	通勤・通学が便利/公園や子どもの遊び場が多い/公共交通が便利/医療機関が利用しやすい(28.6%)		
	片働き	53	買い物など日常生活が便利(41.5%)	自然環境が豊か (32.1%)	医療機関が利用しやすい(30.2%)	公共交通が便利 (28.3%)	子育て支援の制度・サービスがよい(26.4%)
	独身	58	自然環境が豊か (39.7%)	通勤・通学が便利 (29.3%)	特にない・わからない(27.6%)	公園や子どもの遊び場が多い(19.0%)	買い物など日常生活が便利(17.2%)
住居形態別	本人・配偶者の持家	67	自然環境が豊か (35.8%)	通勤・通学が便利 (31.3%)	買い物など日常生活が便利/保育サービスが利用しやすい(25.4%)		子育て支援の制度・サービスがよい(19.4%)
	親等の持家	48	自然環境が豊か (35.4%)	特にない・わからない(25.0%)	買い物など日常生活が便利(18.8%)	公共交通が便利 (16.7%)	公園や子どもの遊び場が多い(12.5%)
	賃貸住宅	99	買い物など日常生活が便利(42.4%)	自然環境が豊か (34.3%)	通勤・通学が便利 (26.3%)	公園や子どもの遊び場が多い(24.2%)	公共交通が便利 (23.2%)
	寮・社宅	4	特にない・わからない(75.0%)	自然環境が豊か (25.0%)	-		
居住地別	市役所周辺	76	買い物など日常生活が便利(36.8%)	自然環境が豊か (35.5%)	通勤・通学が便利 (34.2%)	公共交通が便利 (25.0%)	特にない・わからない(18.4%)
	東部	7	自然環境が豊か (57.1%)	公園や子どもの遊び場が多い(42.9%)	地域の治安がよい (28.6%)	通勤・通学が便利/医療機関が利用しやすい(14.3%)	
	美濃山	29	買い物など日常生活が便利(37.9%)	自然環境が豊か (31.0%)	保育サービスが利用しやすい/魅力的な住宅が供給(分譲)されている/地域の治安がよい(24.1%)		
	男山	56	買い物など日常生活が便利(48.2%)	公園や子どもの遊び場が多い/自然環境が豊か(33.9%)	医療機関が利用しやすい(28.6%)	公共交通が便利 (25.0%)	
	橋本	51	自然環境が豊か (33.3%)	特にない・わからない(27.5%)	通勤・通学が便利 (19.6%)	保育サービスが利用しやすい(15.7%)	公園や子どもの遊び場が多い/公共交通が便利/魅力的な住宅が供給(分譲)されている(11.8%)

③ 八幡市の不満（問 17）

以前住んでいた地域に比べて感じる八幡市の不満は、「公共交通が不便」(31.8%)が最も多く、次いで「地域の治安がよくない」(30.9%),「まちのイメージがよくない」(30.0%)となっている。

図表 235 八幡市の不満(MA) (n=220)



図表 236 八幡市の不満(MA) (居住地別)

		通勤・通学が不便	買い物など日常生活が不便	地域の教育環境が不十分(小・中学校の評判)	公園や子どもの遊び場が少ない	子育て支援の制度・サービスがよくない	保育サービスが利用しにくい	公共交通が不便	医療機関が利用しにくい	魅力的な住宅が供給(分譲)されていない	地域コミュニティが親密でない	コミュニティの活動拠点が無い	地域活動・まちづくり活動が活発でない	自然環境が豊かでない	地域の治安がよくない	まちのイメージがよくない	その他	特になし・わからない	無回答
全体 [N= 220]		20.0	25.5	8.2	9.5	5.0	2.7	31.8	12.7	5.9	2.7	2.3	3.2	0.9	30.9	30.0	8.6	21.8	0.9
居住地別	市役所周辺 [N= 76]	21.1	19.7	6.6	11.8	1.3	1.3	28.9	13.2	6.6	1.3	0.0	3.9	1.3	34.2	32.9	6.6	26.3	0.0
	東部 [N= 7]	28.6	28.6	28.6	14.3	14.3	0.0	85.7	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	42.9	57.1	0.0	14.3	0.0
	美濃山 [N= 29]	13.8	20.7	6.9	3.4	3.4	0.0	44.8	17.2	3.4	3.4	3.4	6.9	0.0	31.0	24.1	3.4	20.7	0.0
	男山 [N= 56]	14.3	1.8	5.4	3.6	3.6	1.8	4.3	5.4	8.9	1.8	3.6	0.0	1.8	26.8	23.2	14.3	33.9	1.8
	橋本 [N= 51]	27.5	62.7	9.8	13.7	11.8	7.8	41.2	17.6	3.9	5.9	2.0	3.9	0.0	29.4	31.4	9.8	3.9	2.0

図表 237 八幡市の不満(MA)

(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別、住み良さ別、居留意向別)

			(%)																	
			通勤・通学が不便	買い物など日常生活が不便	地域の教育環境が不十分（小・中学校の評判）	公園や子どもの遊び場が少ない	子育て支援の制度・サービスがよい	保育サービスが利用しにくい	公共交通が不便	医療機関が利用しにくい	魅力的な住宅が供給（分譲）されていない	地域コミュニティが親密でない	コミュニティの活動拠点がいない	地域活動・まちづくり活動が活発でない	自然環境が豊かでない	地域の治安がよくない	まちのイメージがよくない	その他	特にない・わからない	無回答
全体 [N= 220]			20.0	25.5	8.2	9.5	5.0	2.7	31.8	12.7	5.9	2.7	2.3	3.2	0.9	30.9	30.0	8.6	21.8	0.9
（子どもの状況別）	既婚(子どもなし)	[N= 72]	22.2	26.4	5.6	4.2	4.2	1.4	31.9	11.1	6.9	0.0	2.8	2.8	0.0	29.2	30.6	11.1	20.8	1.4
	長子が未就学児	[N= 64]	18.8	28.1	10.9	18.8	7.8	4.7	29.7	20.3	6.3	3.1	1.6	3.1	3.1	34.4	25.0	3.1	20.3	1.6
	長子が小学生	[N= 11]	18.2	38.4	0.0	0.0	18.2	9.1	27.3	18.2	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0	36.4	45.5	0.0	18.2	0.0
	長子が中学生	[N= 4]	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0
	独身(子どもなし)	[N= 53]	17.0	20.8	5.7	5.7	0.0	0.0	37.7	3.8	5.7	3.8	3.8	3.8	0.0	32.1	30.2	13.2	24.5	0.0
共働き状況別	フルタイム共働き	[N= 66]	27.3	30.3	10.6	6.1	6.1	3.0	37.9	16.7	4.5	1.5	0.0	3.0	0.0	31.8	24.2	6.1	13.6	1.5
	パート含む共働き	[N= 21]	19.0	23.8	4.8	19.0	0.0	0.0	23.8	9.5	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	42.9	33.3	0.0	23.8	0.0
	片働き	[N= 53]	15.1	28.3	5.7	13.2	9.4	5.7	26.4	15.1	9.4	5.7	5.7	3.8	3.8	32.1	34.0	7.5	22.6	1.9
	独身	[N= 58]	15.5	20.7	5.2	6.9	0.0	0.0	34.5	5.2	6.9	3.4	3.4	3.4	0.0	31.0	27.6	13.8	27.6	0.0
住居形態別	本人・配偶者の持家	[N= 67]	13.4	32.8	10.4	19.4	7.5	4.5	31.3	19.4	4.5	4.5	1.5	4.5	1.5	31.3	34.3	6.0	14.9	1.5
	親等の持家	[N= 48]	37.5	31.3	8.3	4.2	6.3	4.2	45.8	8.3	0.0	4.2	4.2	4.2	0.0	29.2	22.9	2.1	27.1	0.0
	賃貸住宅	[N= 99]	12.1	15.2	7.1	6.1	3.0	1.0	24.2	9.1	9.1	0.0	1.0	1.0	1.0	30.3	29.3	14.1	25.3	1.0
	寮・社宅	[N= 4]	100.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0
住み良さ別	住み良い	[N= 144]	13.2	16.0	4.9	7.6	2.8	1.4	23.6	8.3	3.5	0.0	1.4	0.7	0.7	20.8	19.4	5.6	30.6	1.4
	住みにくい	[N= 43]	46.5	53.5	16.3	23.3	11.6	4.7	60.5	30.2	14.0	9.3	7.0	11.6	0.0	58.1	53.5	7.0	2.3	0.0
	どちらともいえない	[N= 31]	12.9	29.0	12.9	0.0	6.5	6.5	32.3	9.7	6.5	6.5	0.0	3.2	3.2	41.9	45.2	25.8	9.7	0.0
居住意向別	八幡市に住み続けたい	[N= 140]	9.3	22.9	5.7	8.6	3.6	2.1	27.1	10.0	4.3	0.7	2.1	1.4	1.4	24.3	20.7	7.9	25.0	0.7
	市外に移りたい	[N= 78]	39.7	30.8	12.8	11.5	7.7	2.6	39.7	17.9	9.0	6.4	2.6	6.4	0.0	42.3	46.2	9.0	16.7	0.0

図表 238 八幡市の不満(MA)(上位5位)

(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別、居住地別)

		(n数)	1位	2位	3位	4位	5位
全体		220	公共交通が不便 (31.8%)	地域の治安がよくない (30.9%)	まちのイメージがよくない (30.0%)	買い物など日常生活が不便 (25.5%)	特にない・わからない (21.8%)
(子どもの状況別) 家族構成	既婚(子どもなし)	72	公共交通が不便 (31.9%)	まちのイメージがよくない (30.6%)	地域の治安がよくない (29.2%)	買い物など日常生活が不便 (26.4%)	通勤・通学が不便 (22.2%)
	長子が未就学児	64	地域の治安がよくない (34.4%)	公共交通が不便 (29.7%)	買い物など日常生活が不便 (28.1%)	まちのイメージがよくない (25.0%)	医療機関が利用しにくい・特にない・わからない (20.3%)
	長子が小学生	11	まちのイメージがよくない (45.5%)	買い物など日常生活が不便 /地域の治安がよくない(36.4%)		公共交通が不便 (27.3%)	通勤・通学が不便/子育て支援の制度・サービスがよくない/医療機関が利用しにくい・特にない・わからない(18.2%)
	長子が中学生	4	地域の治安がよくない (50.0%)	公園や子どもの遊び場が少ない/その他/特にない・わからない (25.0%)		-	
	独身(子どもなし)	53	公共交通が不便 (37.7%)	地域の治安がよくない (32.1%)	まちのイメージがよくない (30.2%)	特にない・わからない (24.5%)	買い物など日常生活が不便 (20.8%)
共働き状況別	フルタイム共働き	66	公共交通が不便 (37.9%)	地域の治安がよくない (31.8%)	買い物など日常生活が不便 (30.3%)	通勤・通学が不便 (27.3%)	まちのイメージがよくない (24.2%)
	パート含む共働き	21	地域の治安がよくない (42.9%)	まちのイメージがよくない (33.3%)	買い物など日常生活が不便/公共交通が不便/特にない・わからない (23.8%)		
	片働き	53	まちのイメージがよくない (34.0%)	地域の治安がよくない (32.1%)	買い物など日常生活が不便 (28.3%)	公共交通が不便 (26.4%)	特にない・わからない (22.6%)
	独身	58	公共交通が不便 (34.5%)	地域の治安がよくない (31.0%)	まちのイメージがよくない /特にない・わからない(27.6%)		買い物など日常生活が不便 (20.7%)
住居形態別	本人・配偶者の持家	67	まちのイメージがよくない (34.3%)	買い物など日常生活が不便 (32.8%)	公共交通が不便/地域の治安がよくない (31.3%)		公園や子どもの遊び場が少ない/医療機関が利用しにくい(19.4%)
	親等の持家	48	公共交通が不便 (45.8%)	通勤・通学が不便 (37.5%)	買い物など日常生活が不便 (31.3%)	地域の治安がよくない (29.2%)	特にない・わからない (27.1%)
	賃貸住宅	99	地域の治安がよくない (30.3%)	まちのイメージがよくない (29.3%)	特にない・わからない (25.3%)	公共交通が不便 (24.2%)	買い物など日常生活が不便 (15.2%)
	寮・社宅	4	通勤・通学が不便 (100.0%)	買い物など日常生活が不便/公共交通が不便/地域の治安がよくない (75.0%)			医療機関が利用しにくい (50.0%)
居住地別	市役所周辺	76	地域の治安がよくない (34.2%)	まちのイメージがよくない (32.9%)	公共交通が不便 (28.9%)	特にない・わからない (26.3%)	通勤・通学が不便 (21.1%)
	東部	7	公共交通が不便 (85.7%)	まちのイメージがよくない (57.1%)	地域の治安がよくない (42.9%)	通勤・通学が不便/買い物など日常生活が不便/ 地域の教育環境が不十分(小・中学校の評判) (28.6%)	
	美濃山	29	公共交通が不便 (44.8%)	地域の治安がよくない (31.0%)	まちのイメージがよくない (24.1%)	買い物など日常生活が不便 /特にない・わからない(20.7%)	
	男山	56	特にない・わからない (33.9%)	地域の治安がよくない (26.8%)	まちのイメージがよくない (23.2%)	通勤・通学が不便/公共交通が不便/ その他(14.3%)	
	橋本	51	買い物など日常生活が不便 (62.7%)	公共交通が不便 (41.2%)	まちのイメージがよくない (31.4%)	地域の治安がよくない (29.4%)	通勤・通学が不便 (27.5%)

(4) 今後の八幡市での居留意向

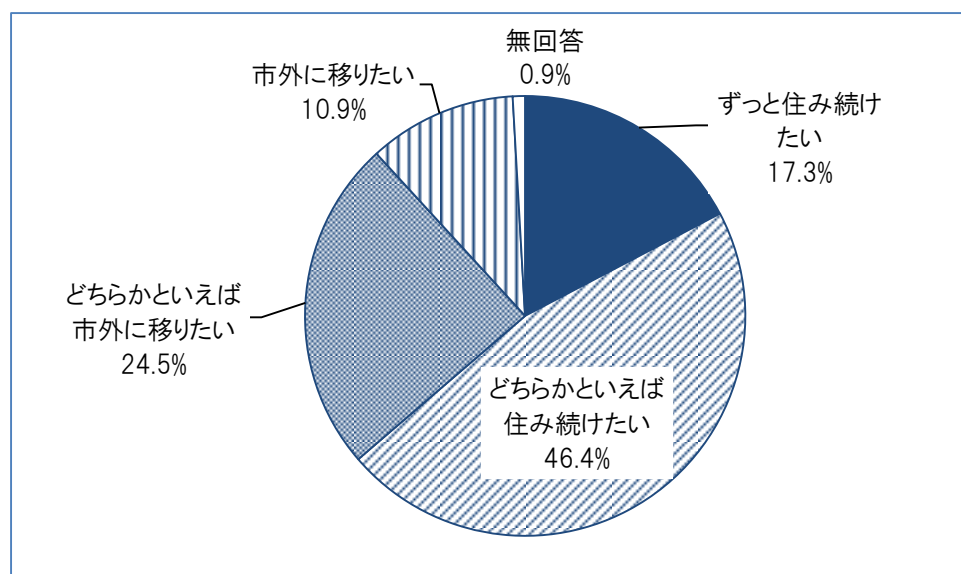
① 今後の居留意向（問 18）

今後の八幡市での居留意向については、「どちらかといえば住み続けたい」が 46.4%と最も多く、「ずっと住み続けたい」(17.3%)と合わせて、約6割が八幡市での継続居住の意向を示している。

一方、市外への転出意向者は 35.4%（「どちらかといえば市外に移りたい」(24.5%)と「市外に移りたい」(10.9%)の合計）となっている。

居住地別に見ると、美濃山地区では継続居住の意向が、全体に比べて高くなっている。

図表 239 今後の居留意向(SA) (n=220)



図表 240 今後の居留意向(SA) (居住地別)

								(%)
			た ず い っ と 住 み 続 け	ば ど ち み ら 続 け と たい え	い ば ど ち 外 ら に か 移 と り たい え	市 外 に 移 り たい	無 回 答	
全体 [N= 220]			17.3	46.4	24.5	10.9	0.9	
居住地別	市役所周辺	[N= 76]	18.4	50.0	23.7	6.6	1.3	
	東部	[N= 7]	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0	
	美濃山	[N= 29]	17.2	62.1	10.3	10.3	0.0	
	男山	[N= 56]	14.3	39.3	28.6	16.1	1.8	
	橋本	[N= 51]	21.6	41.2	23.5	13.7	0.0	

住み良さ別で見ると、住み良いまちであると認識している人の定住意向は高く、住みにくさを感じている人は「市外に移りたい」という転出意向が高い。

図表 241 今後の居住意向(SA)

(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別、住み良さ別)

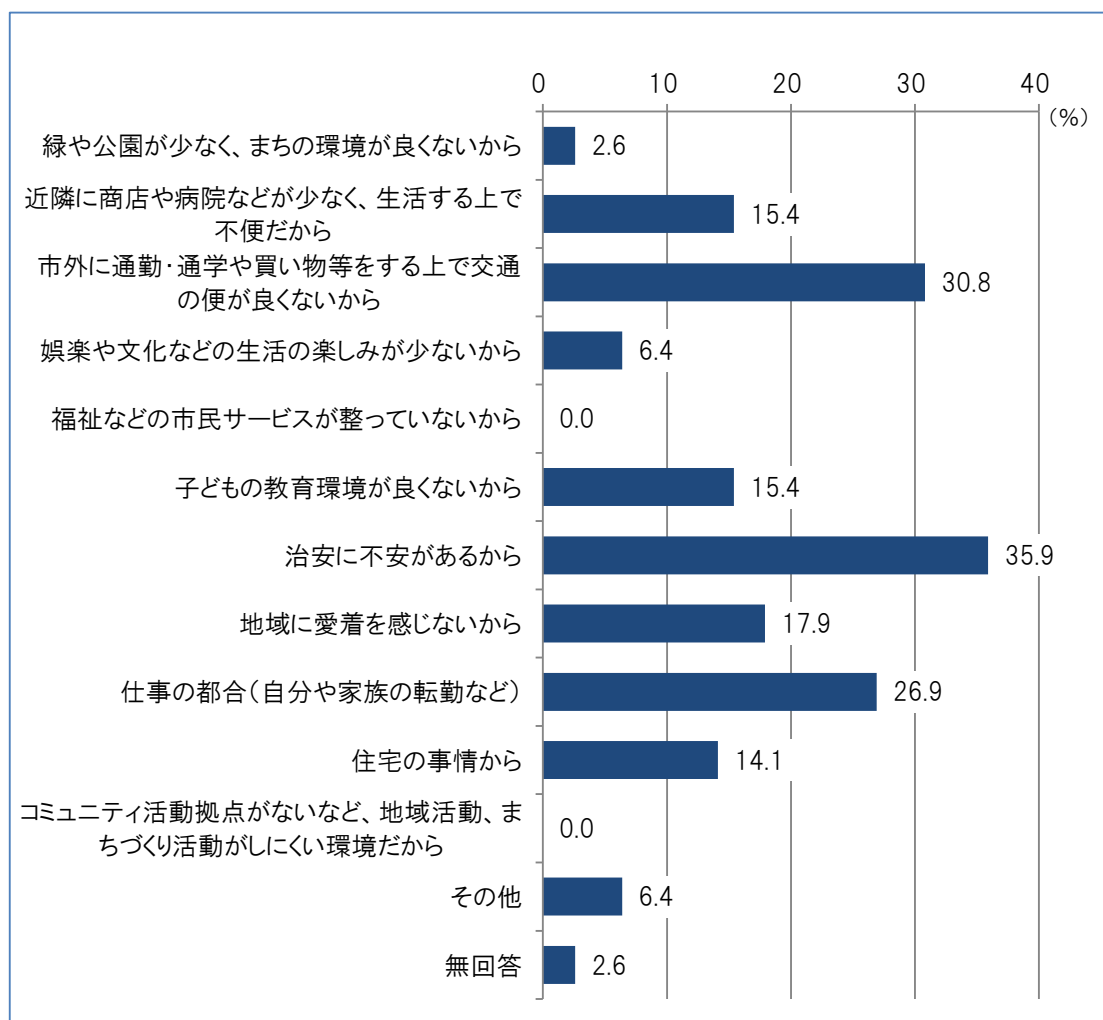
(%)

			ずっと住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば市外に移りたい	市外に移りたい	無回答	住み続けたい	市外に移りたい
全体 [N= 220]			17.3	46.4	24.5	10.9	0.9	63.7	35.4
(子どもの状況別)	家族構成別	既婚(子どもなし) [N= 72]	13.9	41.7	29.2	13.9	1.4	55.6	43.1
		長子が未就学児 [N= 64]	21.9	46.9	17.2	12.5	1.6	68.8	29.7
		長子が小学生 [N= 11]	0.0	72.7	18.2	9.1	0.0	72.7	27.3
		長子が中学生 [N= 4]	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		独身(子どもなし) [N= 53]	17.0	41.5	34.0	7.5	0.0	58.5	41.5
共働き状況別	フルタイム共働き [N= 66]		16.7	42.4	24.2	16.7	0.0	59.1	40.9
	パート含む共働き [N= 21]		19.0	42.9	23.8	14.3	0.0	61.9	38.1
	片働き [N= 53]		17.0	49.1	20.8	9.4	3.8	66.1	30.2
	独身 [N= 58]		17.2	41.4	34.5	6.9	0.0	58.6	41.4
住居形態別	本人・配偶者の持家 [N= 67]		31.3	50.7	9.0	7.5	1.5	82.0	16.5
	親等の持家 [N= 48]		6.3	47.9	35.4	10.4	0.0	54.2	45.8
	賃貸住宅 [N= 99]		13.1	44.4	31.3	10.1	1.0	57.5	41.4
	寮・社宅 [N= 4]		0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
住み良さ別	住み良い [N= 144]		23.6	53.5	16.7	5.6	0.7	77.1	22.3
	住みにくい [N= 43]		2.3	20.9	46.5	30.2	0.0	23.2	76.7
	どちらともいえない [N= 31]		6.5	48.4	32.3	9.7	3.2	54.9	42.0

② 転出したい理由（問 19）

市外への転出意向者に転出したい理由（2つまで）をきいたところ、「治安に不安があるから」（35.9％）が最も多く、次いで「市外に通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良くないから」（30.8％）、「仕事の都合（自分や家族の転勤など）」（26.9％）が多い。

図表 242 転出したい理由（2つまで）（転出意向者：n=78）



図表 243 転出したい理由(2つまで)

(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別、居住地別)

			無回答	その他	コミュニティ活動拠点がないなど、地域活動、まちづくり活動がしにくい環境だから	住宅の事情から	仕事の都合（自分や家族の転勤など）	地域に愛着を感じないから	治安に不安があるから	子どもの教育環境が良くないから	福祉などの市民サービスが整っていないから	娯楽や文化などの生活の楽しみが少ないから	市外に通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良くないから	近隣に商店や病院などが少なく、生活する上で不便だから	緑や公園が少なく、まちなみの環境が良くないから	
全体 [N= 78]			2.6	15.4	30.8	6.4	0.0	15.4	35.9	17.9	26.9	14.1	0.0	6.4	2.6	
（子どもの状況別）	既婚(子どもなし)	[N= 31]	0.0	16.1	32.3	9.7	0.0	16.1	32.3	16.1	25.8	19.4	0.0	6.5	0.0	
	長子が未就学児	[N= 19]	0.0	15.8	21.1	0.0	0.0	26.3	36.8	10.5	31.6	15.8	0.0	5.3	5.3	
	長子が小学生	[N= 3]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	
	長子が中学生	[N= 0]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	独身(子どもなし)	[N= 22]	4.5	18.2	40.9	9.1	0.0	4.5	40.9	13.6	27.3	4.5	0.0	4.5	4.5	
共働き状況別	フルタイム共働き	[N= 27]	0.0	11.1	37.0	11.1	0.0	29.6	25.9	11.1	33.3	11.1	0.0	7.4	0.0	
	パート含む共働き	[N= 8]	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	12.5	25.0	0.0	12.5	37.5	0.0	0.0	12.5	
	片働き	[N= 16]	0.0	18.8	12.5	0.0	0.0	6.3	50.0	43.8	25.0	18.8	0.0	6.3	0.0	
	独身	[N= 24]	4.2	16.7	37.5	8.3	0.0	8.3	41.7	12.5	25.0	4.2	0.0	8.3	4.2	
住居形態別	本人・配偶者の持家	[N= 11]	9.1	9.1	18.2	0.0	0.0	18.2	36.4	27.3	27.3	9.1	0.0	9.1	9.1	
	親等の持家	[N= 22]	0.0	22.7	50.0	4.5	0.0	18.2	31.8	13.6	31.8	9.1	0.0	4.5	0.0	
	賃貸住宅	[N= 41]	2.4	12.2	22.0	7.3	0.0	14.6	41.5	17.1	24.4	19.5	0.0	7.3	0.0	
	寮・社宅	[N= 4]	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	
居住地別	市役所周辺	[N= 23]	4.3	13.0	34.8	8.7	0.0	13.0	43.5	13.0	39.1	13.0	0.0	0.0	4.3	
	東部	[N= 4]	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	美濃山	[N= 6]	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	
	男山	[N= 25]	0.0	0.0	16.0	8.0	0.0	16.0	32.0	24.0	20.0	28.0	0.0	16.0	0.0	
	橋本	[N= 19]	0.0	42.1	42.1	5.3	0.0	21.1	26.3	15.8	21.1	0.0	0.0	5.3	0.0	

図表 244 転出したい理由(上位5位)(2つまで)

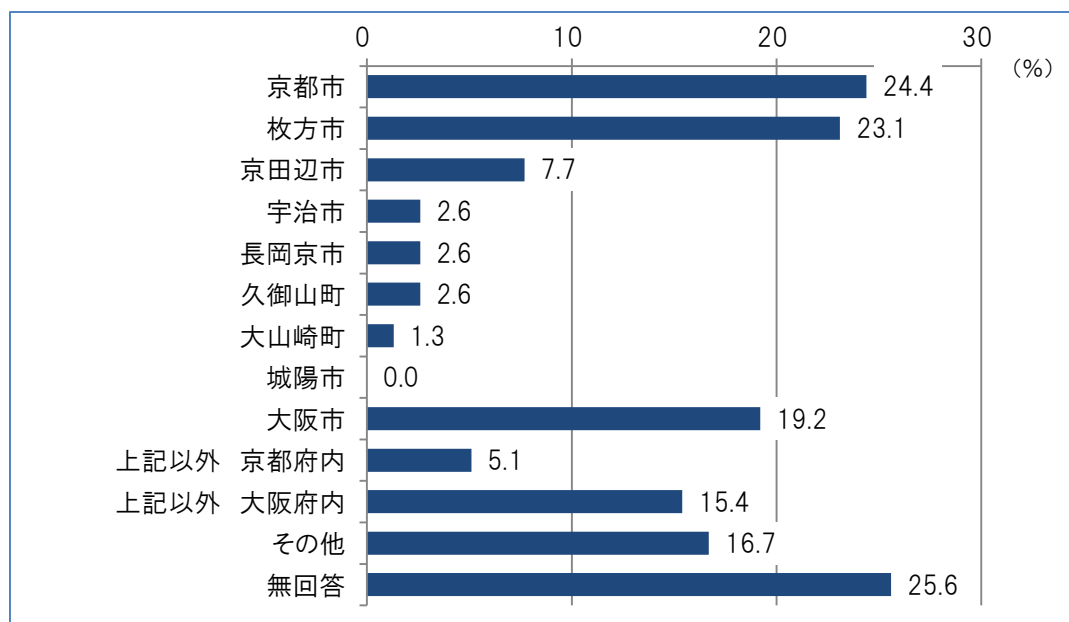
(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態、居住地別)

		(n数)	1位	2位	3位	4位	5位	
全体		78	治安に不安(35.9%)	市外への交通不便(30.8%)	仕事の都合(自分や家族の転勤など)(26.9%)	地域に愛着を感じない(17.9%)	商店や病院などが少なく、生活上不便/教育環境が良くない(15.4%)	
(子どもの家族構成)	既婚(子どもなし)	31	市外への交通不便/治安に不安(32.3%)		仕事の都合(自分や家族の転勤など)(25.8%)	住宅事情(19.4%)	商店や病院などが少なく、生活上不便/教育環境が良くない/地域に愛着を感じない(16.1%)	
	長子が未就学児	19	治安に不安(36.8%)	仕事の都合(自分や家族の転勤など)(31.6%)	教育環境が良くない(26.3%)	市外への交通不便(21.1%)	商店や病院などが少なく、生活上不便/住宅事情(15.8%)	
	長子が小学生	3	地域に愛着を感じない(100.0%)	教育環境が良くない/治安に不安/その他(33.3%)				—
	長子が中学生	0	—					
	独身(子どもなし)	22	市外への交通不便/治安に不安(40.9%)		仕事の都合(自分や家族の転勤など)(27.3%)	商店や病院などが少なく、生活上不便(18.2%)	地域に愛着を感じない(13.6%)	
共働き状況別	フルタイム共働き	27	市外への交通不便(37.0%)	仕事の都合(自分や家族の転勤など)(33.3%)	教育環境が良くない(29.6%)	治安に不安(25.9%)	商店や病院などが少なく、生活上不便/娯楽や文化などが少ない/地域に愛着を感じない/住宅事情(11.1%)	
	パート含む共働き	8	住宅事情(37.5%)	商店や病院などが少なく、生活上不便/市外への交通不便/治安に不安(25.0%)			教育環境が良くない/仕事の都合(自分や家族の転勤など)(12.5%)	
	片働き	16	治安に不安(50.0%)	地域に愛着を感じない(43.8%)	仕事の都合(自分や家族の転勤など)(25.0%)	商店や病院などが少なく、生活上不便/住宅事情(18.8%)		
	独身	24	治安に不安(41.7%)	市外への交通不便(37.5%)	仕事の都合(自分や家族の転勤など)(25.0%)	商店や病院などが少なく、生活上不便(16.7%)	地域に愛着を感じない(12.5%)	
住居形態別	本人・配偶者の持家	11	治安に不安(36.4%)	地域に愛着を感じない/仕事の都合(自分や家族の転勤など)(27.3%)		市外への交通不便/教育環境が良くない(18.2%)		
	親等の持家	22	市外への交通不便(50.0%)	治安に不安/仕事の都合(自分や家族の転勤など)(31.8%)		商店や病院などが少なく、生活上不便(22.7%)	教育環境が良くない(18.2%)	
	賃貸住宅	41	治安に不安(41.5%)	仕事の都合(自分や家族の転勤など)(24.4%)	市外への交通不便(22.0%)	住宅事情(19.5%)	地域に愛着を感じない(17.1%)	
	寮・社宅	4	市外への交通不便(50.0%)	商店や病院などが少なく、生活上不便/娯楽や文化などが少ない/地域に愛着を感じない/仕事の都合(自分や家族の転勤など)(25.0%)				
居住地別	市役所周辺	23	治安に不安(43.5%)	仕事の都合(自分や家族の転勤など)(39.1%)	市外への交通不便(34.8%)	商店や病院などが少なく、生活上不便/教育環境が良くない/地域に愛着を感じない/住宅事情(13.0%)		
	東部	4	市外への交通不便/治安に不安(50.0%)		商店や病院などが少なく、生活上不便/地域に愛着を感じない/仕事の都合(自分や家族の転勤など)(25.0%)			
	美濃山	6	市外への交通不便/治安に不安/仕事の都合(自分や家族の転勤など)(33.3%)			教育環境が良くない/地域に愛着を感じない/住宅事情(16.7%)		
	男山	25	治安に不安(32.0%)	住宅事情(28.0%)	地域に愛着を感じない(24.0%)	仕事の都合(自分や家族の転勤など)(20.0%)	市外への交通不便/教育環境が良くない/その他(16.0%)	
	橋本	19	商店や病院などが少なく、生活上不便/市外への交通不便(42.1%)		治安に不安(26.3%)	教育環境が良くない/仕事の都合(自分や家族の転勤など)(21.1%)		

③ 検討する転出先（問 20）

市外への転出意向者が転出を検討する際に、どの市町村への転出を検討するか（自由回答：3つまで）については、「京都市」が 24.4%と最も多く、次いで「枚方市」(23.1%)、「大阪市」(19.2%)となっている。

図表 245 検討する転出先(FA:3つまで) (n=78)



八幡市のまちづくりのための「市民アンケート調査」

ご協力のお願い

みなさまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

八幡市では、市民の皆様にとって住みよいまちづくりを目指し、行政運営の基本方針となる新たな総合計画の策定を進めております。この総合計画の策定に当たっては、市民の皆様のご意見を伺い、新たな総合計画に反映して参りたいと考えております。

つきましては、他市から本市に転入されてきた 25～44 歳（平成 28 年 9 月 1 日時点）の方の中から約 1,000 人を無作為に選ばせていただき、アンケート調査をお願いすることにいたしました。

この調査は無記名で実施され、ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理し、調査の目的以外に使用することは一切ありません。

お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、みなさまの率直なご意見をお聞かせいただきますようお願いいたします。

平成 28 年 10 月

八幡市長 堀口 文昭

ご記入にあたってのお願い

1. あて名ご本人のお考えやご意見を回答してください。
(ただし、障がいや年齢などによって、ご本人が記入できない場合には、ご家族や介助者の方が、ご本人の意見を聞きながら、もしくはご本人の気持ちを考えながら記入してください。分からないことがありましたら、下記までご相談ください。)
2. 原則として、質問ごとにあてはまる番号を○で囲んでください。
3. 「その他」と回答される場合は、() 内に具体的な内容をご記入ください。
4. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**10 月 24 日(月)**までに投函してください。(切手は不要です)

<お問合せ・相談先>

八幡市政策推進部 政策推進課 担当：田制（たせい）、堀川、永谷

電話：075- 983-1004 Eメール：seisaku@mb.city.yawata.kyoto.jp

転入者調査

八幡市のまちづくりのための「市民アンケート調査」

あなたご自身のことについておたずねします

問1. あなたの性別はどちらですか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問2. あなたの年齢はどれにあたりますか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 25～29 歳	2. 30～34 歳
3. 35～39 歳	4. 40 歳以上

問3. 現在お住まいの地区はどちらですか。あてはまる地区を 1つ選び、番号を○で囲んでください。

※地区名がわからない場合は下の（ ）内に住所をご記入ください(番地は記入不要です 例：八幡園内)。

1. 八幡地区	2. 橋本地区	3. 川口地区	4. 岩田地区
5. 野尻地区	6. 上津屋地区	7. 上奈良地区	8. 下奈良地区
9. 内里地区	10. 戸津地区	11. 美濃山地区	12. 男山地区
13. 西山地区	14. 欽明台地区	(地区名がわからない場合：)	

問4. 八幡市に転入前のお住まいの地域はどこですか。(例：●●府△△市)

	都道府県		市区町村		区
----------------------	------	----------------------	------	----------------------	---

問5. 転入前後のあなたの家族構成はどれにあたりますか。それぞれあてはまる番号を 1つ選び、番号をご記入ください。

1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみ(事実婚を含む)
3. 二世帯同居(親(あなた)と子ども)	4. 二世帯同居(親と子ども(あなた))
5. 三世帯同居	6. その他(具体的に：)

【八幡市に転入前】

【現在】

問6. 八幡市への転入を決めた時、同居のご家族には次にあてはまる方がおられましたか。あなた自身を含め、あてはまるものを全て選び、番号を○で囲んでください。

1. 生まれてくる予定の子ども	2. 保育所・幼稚園に就園していない子ども
3. 保育園・幼稚園に就園している子ども	4. 小学生
5. 中学生	6. 高校生
7. 大学生・専門学校生	8. 65～74 歳の方
9. 75 歳以上の方	10. 介護を必要とする方
11. 該当する人はいない	

問 7. 転入前後のあなたのお住まいはどれにあたりますか。それぞれあてはまる番号をすべて選び、番号をご記入ください。

1. あなた・配偶者（パートナー）の持家（一戸建て）
2. あなた・配偶者（パートナー）の持家（マンション）
3. あなた・配偶者（パートナー）の親の持家（一戸建て）
4. あなた・配偶者（パートナー）の親の持家（マンション）
5. 民間の賃貸
6. 公営住宅の賃貸（市営、府営）
7. URの賃貸
8. 社宅・寮
9. その他（具体的に： ）

【八幡市に転入前】

【現在】

11/11/2019

問8. あなたや配偶者（パートナー）のご職業等は、どれにあたりますか。あてはまるものを1つ選び、番号をご記入ください。なお、あてはまるものが複数ある場合は主なもの1つをお選びください。【独身の方はご自身のみお答えください】

- | | | | |
|------------------|----------|--|---------|
| 1. 無職
2. 家事専業 | } 問 10 へ | 3. 農林水産業
4. 自営業および家族従業員
5. 会社員、公務員、団体職員
6. 専門職・自由業(医師、弁護士など)
7. 学生
8. パート・アルバイトなど
9. その他(具体的に：) | } 問 9 へ |
|------------------|----------|--|---------|

【あなたご自身】

11

【配偶者（パートナー）】

11

問9. 問8で、あなたご自身もしくは配偶者（パートナー）が「3」～「9」のいずれかに回答された方におたずねします。転入前後の通勤・通学先として、あてはまるものを1つ選び、番号をご記入ください。なお、あてはまるものが複数ある場合は主なもの1つをお選びください。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 八幡市内 | 2. 京都市 |
| 3. 京都府内(八幡市・京都市を除く) | 4. 大阪市 |
| 5. 大阪府内(大阪市を除く) | 6. その他の地域(具体的に:) |
| 7. 通勤・通学していない | |

	八幡市に転入前	現在
【あなたご自身】		
【配偶者（パートナー）】		

問 10. あなたの世帯年収（税込み、配偶者（パートナー）がいる場合は配偶者（パートナー）分を含む。親・きょうだい・子どもの収入は含まない）はどれにあたりますか。あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 100 万円未満 | 2. 100～200 万円未満 |
| 3. 200～400 万円未満 | 4. 400～600 万円未満 |
| 5. 600～800 万円未満 | 6. 800～1,000 万円未満 |
| 7. 1,000 万円～1,200 万円未満 | 8. 1,200 万円以上 |

転入の理由や転入先の決定についておたずねします。

問 11. あなたが八幡市に転入された主な理由は、どれにあたりますか。あてはまるものを **1つ選び**、番号を○で囲んでください。

1. 住宅の購入	2. 子どもの誕生・成長	3. 結婚 (事実婚含む)	4. 親世帯からの独立
5. 就職・転勤	6. 入学・進学	7. 離婚 (事実婚の解消含む)	8. 家族との同居・近居
9. 世帯規模の縮小	10. 退職	11. その他(具体的に:)	

問 12. あなたが新たな転入先(八幡市)を決める際に考慮されたことは、どれにあたりますか。考慮されたことを **3つまで選び**、1位から3位まで順に番号をご記入ください。

1. 最寄り駅までの近さ	2. 職場や自分の学校への近さ
3. 買い物など日常生活の便利さ	4. 地域の教育環境のよさ(小・中学校の評判)
5. 保育所・幼稚園・学校への近さ	6. 公園や子どもの遊び場が多い
7. 保育サービスの利用のしやすさ	8. 子育て支援の制度・サービスのよさ
9. 公共交通の便利さ	10. 医療機関の利用のしやすさ
11. 地域コミュニティの親密さ	12. コミュニティの活動拠点がある
13. 地域活動・まちづくり活動が活発である	14. 親や子どもの家との近さ
15. 自然環境の豊かさ	16. 地域の治安のよさ
17. 地域のイメージのよさ	18. 土地勘がある
19. その他(具体的に:)	



1位

2位

3位

問 13. あなたは転入先を決める際に、どのような市町村への転入を検討されましたか。あてはまるものを **1つ選び**、番号を○で囲んでください。

1. 他の市町村も検討したが最終的には八幡市になった	} 問 14 へ
2. 最初から八幡市に転入するつもりだったので八幡市以外では探さなかった	
3. 八幡市に住むしか選択の余地がなかった(家族との同居等)	} 問 15 へ
4. その他(具体的に:)	

問 14. 問 13 で「1」と回答された方におたずねします。転入先を決める際に、八幡市以外にどこを検討されましたか。具体的な市町村名を3つまでご記入ください。

--

市・町・村

--

市・町・村

--

市・町・村

八幡市のイメージや住みやすさについておたずねします。

問 15. あなたにとって、八幡市は住み良いまちだと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを **1つ選び**、番号を○で囲んでください。

1. 住み良いまちである	2. どちらかといえば住み良いまちである
3. どちらかといえば住みにくいまちである	4. 住みにくいまちである
5. どちらともいえない	

問 16. あなたが以前お住まいだった地域に比べて、八幡市にどのような魅力を感じていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-------------------------|--------------------------------------|
| 1. 通勤・通学が便利 | 2. 買い物など日常生活が便利 |
| 3. 地域の教育環境がよい（小・中学校の評判） | 4. 公園や子どもの遊び場が多い |
| 5. 子育て支援の制度・サービスがよい | 6. 保育サービスが利用しやすい |
| 7. 公共交通が便利 | 8. 医療機関が利用しやすい |
| 9. 魅力的な住宅が供給（分譲）されている | 10. 地域コミュニティが親密である |
| 11. コミュニティの活動拠点がある | 12. 地域活動・まちづくり活動が活発である |
| 13. 自然環境が豊かである | 14. 地域の治安がよい |
| 15. まちのイメージがよい | 16. その他（具体的に： ） |
| 17. 特にない・わからない | |

問 17. あなたが以前お住まいだった地域に比べて、八幡市にどのような不満を感じていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------------------|
| 1. 通勤・通学が不便 | 2. 買い物など日常生活が不便 |
| 3. 地域の教育環境が不十分（小・中学校の評判） | 4. 公園や子どもの遊び場が少ない |
| 5. 子育て支援の制度・サービスがよくない | 6. 保育サービスが利用しにくい |
| 7. 公共交通が不便 | 8. 医療機関が利用しにくい |
| 9. 魅力的な住宅が供給（分譲）されていない | 10. 地域コミュニティが親密でない |
| 11. コミュニティの活動拠点がなくない | 12. 地域活動・まちづくり活動が活発でない |
| 13. 自然環境が豊かでない | 14. 地域の治安がよくない |
| 15. まちのイメージがよくない | 16. その他（具体的に： ） |
| 17. 特にない・わからない | |

今後の八幡市での居留意向についておたずねします。

問 18. あなたは、これからも八幡市に住み続けたいところであると思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | | |
|-------------------|--------------------|-------------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 3. どちらかといえば市外に移りたい | } 問 19、
問 20 へ |
| 2. どちらかといえば住み続けたい | 4. 市外に移りたい | |

問 19. 問 18 で「3」または「4」と回答された方（転出したいとお考えの方）におたずねします。市外に移りたい主な理由は何ですか。次の中から 2つ以内で選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|--|
| 1. 緑や公園が少なく、まちの環境が良くないから |
| 2. 近隣に商店や病院などが少なく、生活する上で不便だから |
| 3. 市外に通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良くないから |
| 4. 娯楽や文化などの生活の楽しみが少ないから |
| 5. 福祉などの市民サービスが整っていないから |
| 6. 子どもの教育環境が良くないから |
| 7. 治安に不安があるから |
| 8. 地域に愛着を感じないから |
| 9. 仕事の都合（自分や家族の転勤など） |
| 10. 住宅の事情から |
| 11. コミュニティ活動拠点がなくないなど、地域活動、まちづくり活動がしにくい環境だから |
| 12. その他（具体的に： ） |

問 20. 転出先を検討する際には、どの市町村への転出を検討されたいですか。具体的な市町村名を3つまでご記入ください。

市・町・村
 市・町・村
 市・町・村

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、無記名で 10月24日（月）までにお近くのポストに投函してください。（切手は不要です）

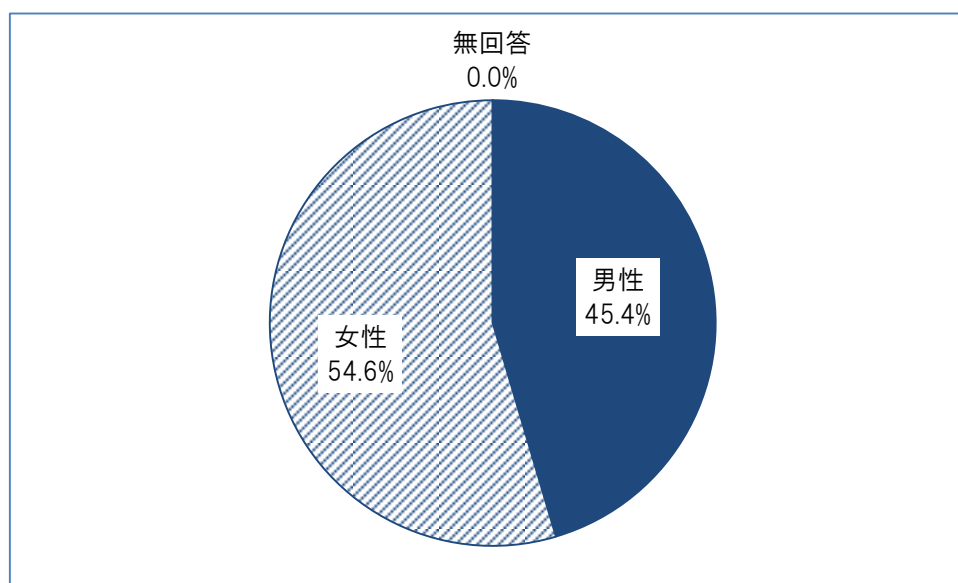
4. 転出者調査

(1)回答者の属性

① 性別（問1）

回答者の性別は「男性」45.4%、「女性」54.6%で、女性がやや多い。

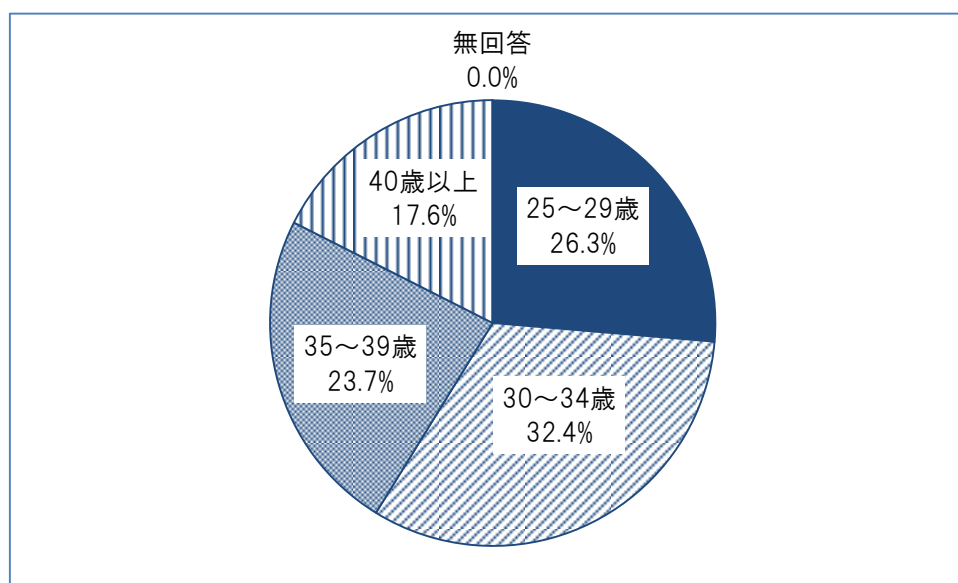
図表 246 性別（n=262）



② 年齢（問2）

回答者の年齢は、「30～34 歳」(32.4%)が最も多く、次いで「25～29 歳」(26.3%)、「35～39 歳」(23.7%)となっている。

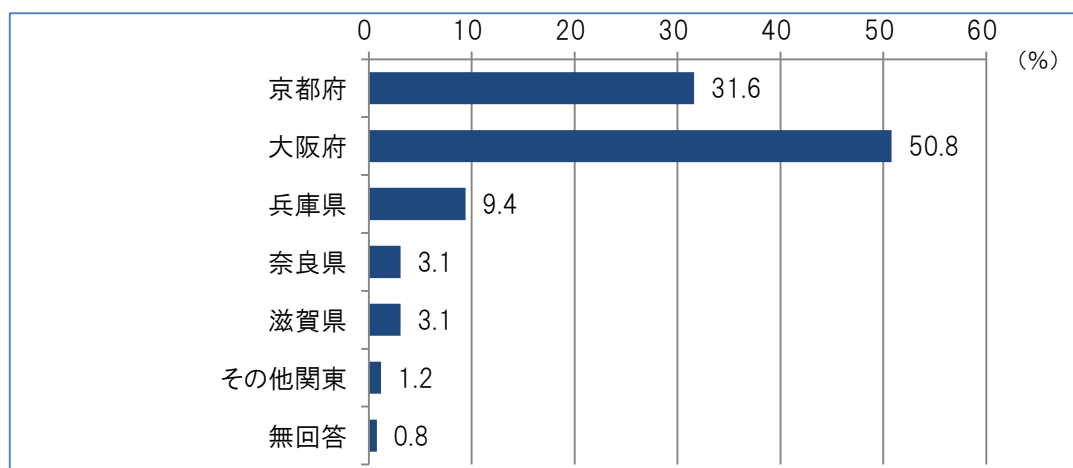
図表 247 年齢（n=262）



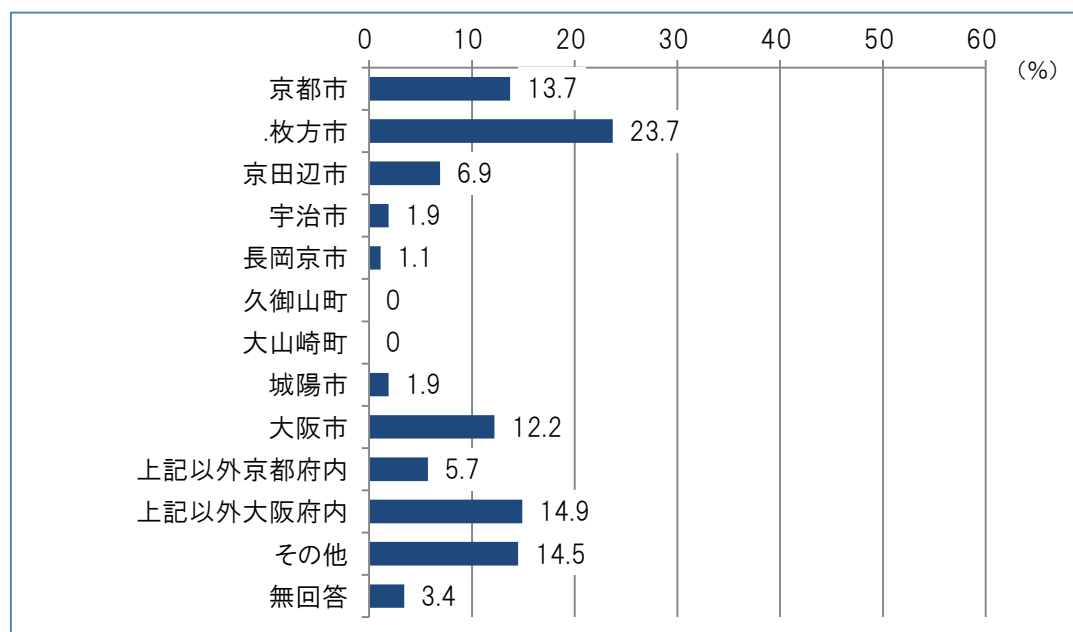
③ 現在の居住地（問3）

現在の居住地は、都道府県単位で見ると、大阪府が 50.8%、京都府が 31.6%で、あわせて 8割強を占めている。市町村単位で見ると、枚方市(23.7%)が最も多い。次いで、京都市(13.7%)、大阪市(12.2%)となっている。

図表 248 現在の居住地(都道府県)(FA) (n=262)



図表 249 現在の居住地(市町村)(FA) (n=262)

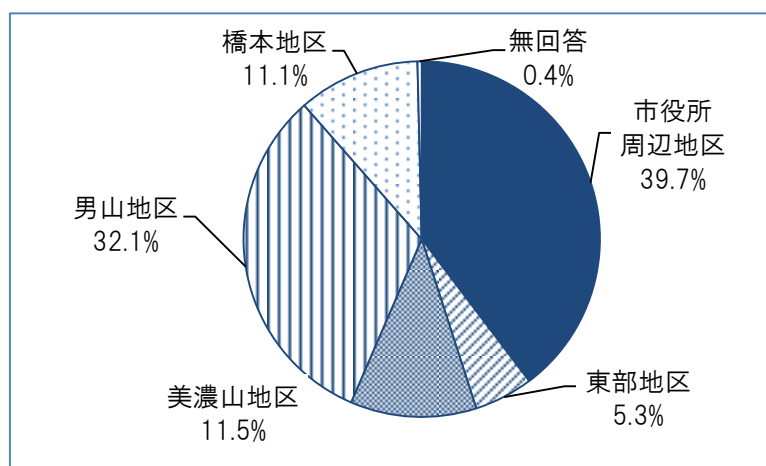
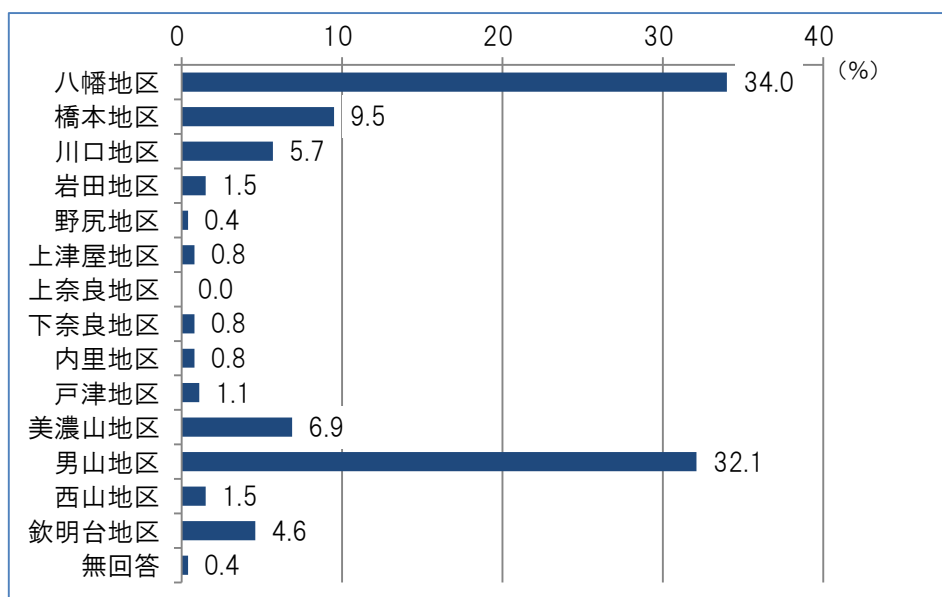


④ 八幡市居住時の居住地区（問4）

八幡市居住時の居住地区は、「八幡地区」が 34.0%、「男山地区」が 32.1%となっており、この2地区で 66.1%を占めている。次いで「橋本地区」(9.5%)、「美濃山地区」(6.9%)、「川口地区」(5.7%)となっている。

5地区別に見ると、市役所周辺地区(39.7%)が最も多く、次いで「男山地区」(32.1%)となっている。

図表 250 八幡市居住時の居住地区（n=262）



【5地区】

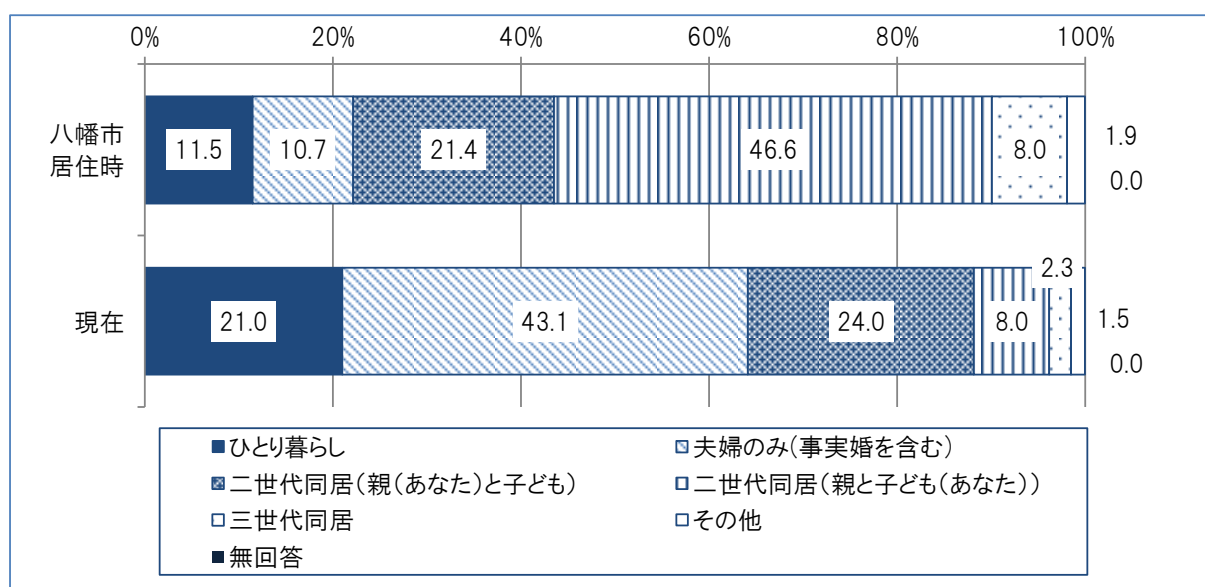
市役所周辺地区	八幡地区、川口地区
東部地区	岩田地区、野尻地区、上津屋地区、上奈良地区、下奈良地区、内里地区、戸津地区
美濃山地区	美濃山地区、欽明台地区
男山地区	男山地区
橋本地区	橋本地区、西山地区

⑤ 家族構成（問5）

家族構成について、八幡市居住時は、「二世世代同居（親と子ども（あなた）」が 46.6%と最も多く、次いで「二世世代同居（親（あなた）と子ども）」(21.4%)となっている。

現在は、「夫婦のみ」が 43.1%と最も多く、次いで「二世世代同居（親（あなた）と子ども）」(24.0%)、「ひとり暮らし」(21.0%)となっている。

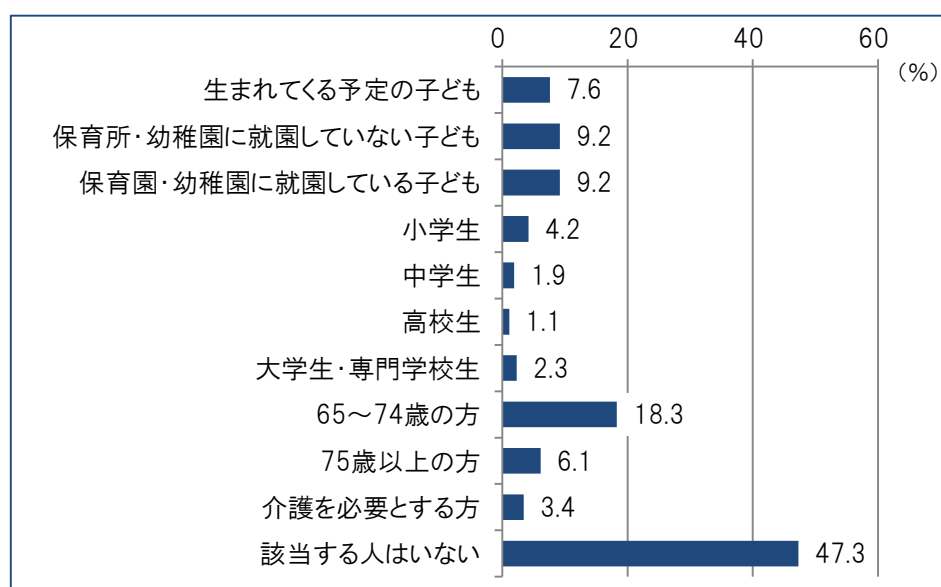
図表 251 家族構成(SA) (n=262)



⑥ 八幡市転出決定時の同居家族（問6）

八幡市から転出決定時の同居家族（本人も含む）は、選択肢に「該当する人はいない」が 47.3%となっている。同居家族としては、「65～74 歳の方」(18.3%)が最も多く、次いで「保育園・幼稚園に就園している子ども」と「保育所・幼稚園に就園していない子ども」が 9.2%となっている。

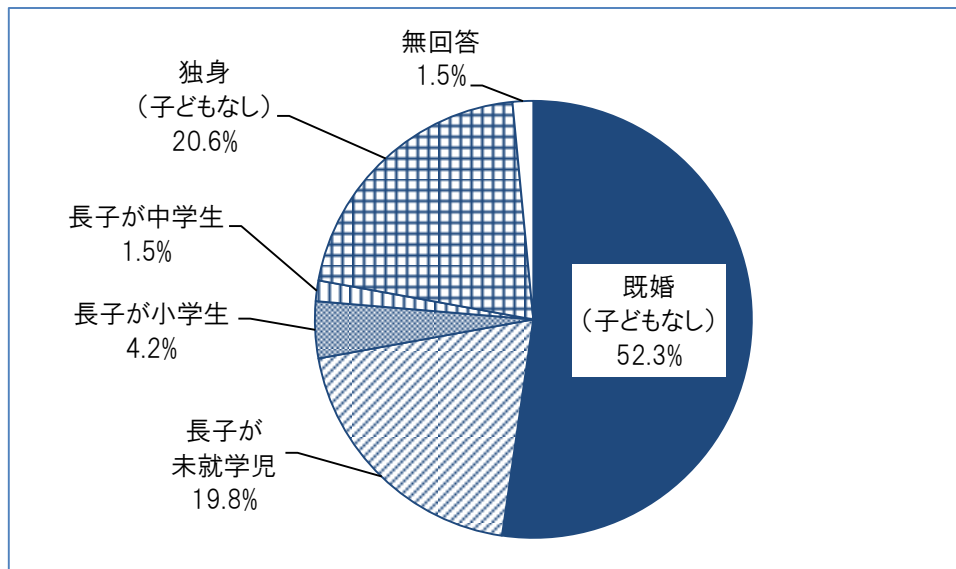
図表 252 八幡市転出決定時の同居家族(MA) (n=262)



⑦ 家族構成(子どもの状況別) (問5、問6等)

現在の家族構成及び八幡市からの転出決定時の同居家族等をもとに、子どもの状況別での家族構成(回答者の既婚・未婚(独身)、子どもの有無)を推定すると、「既婚(子どもなし)」(52.3%)が最も多く、次いで、「独身(子どもなし)」(20.6%)、「長子が未就学児」(19.8%)となっている。

図表 253 家族構成(子どもの状況別) (n=262)

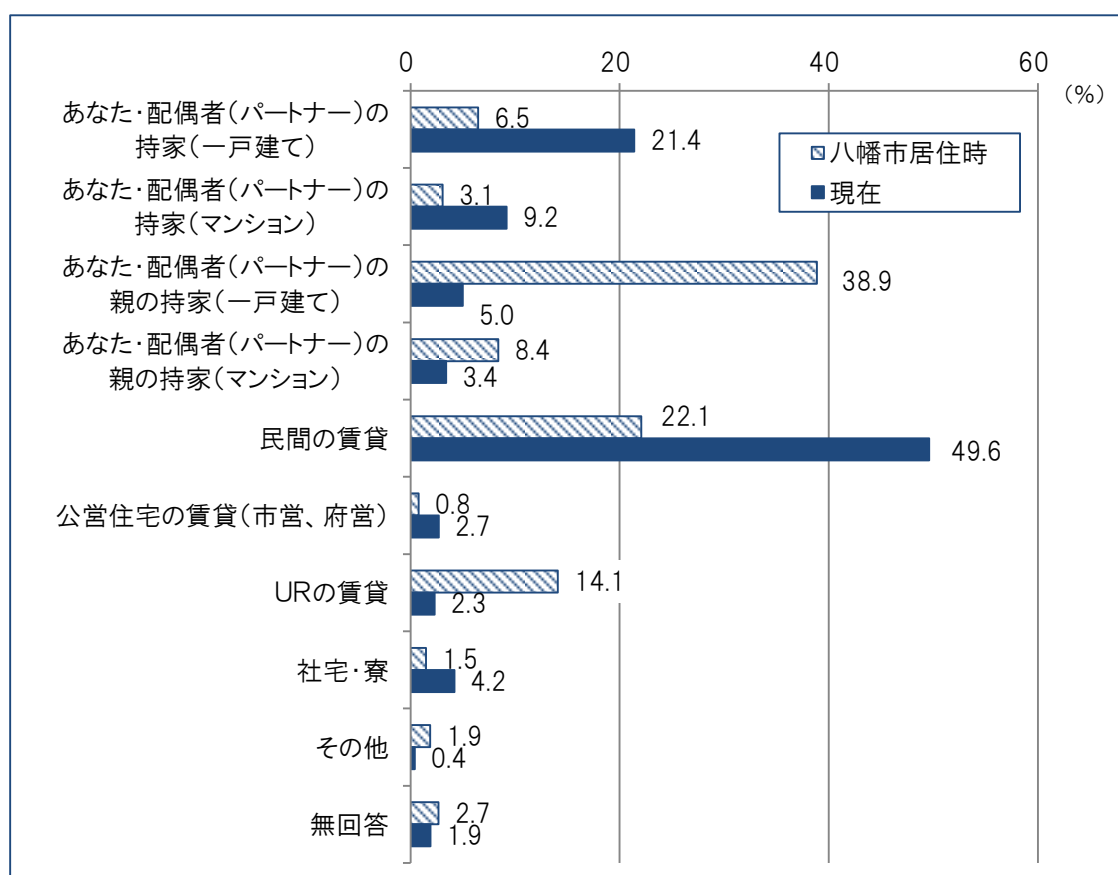


⑧ 住居形態（問7）

住居形態は、八幡市居住時は「あなた・配偶者（パートナー）の親の持家（一戸建て）」が 38.9%と最も多く、次いで「民間の賃貸」（22.1%）、「URの賃貸」（14.1%）となっている。

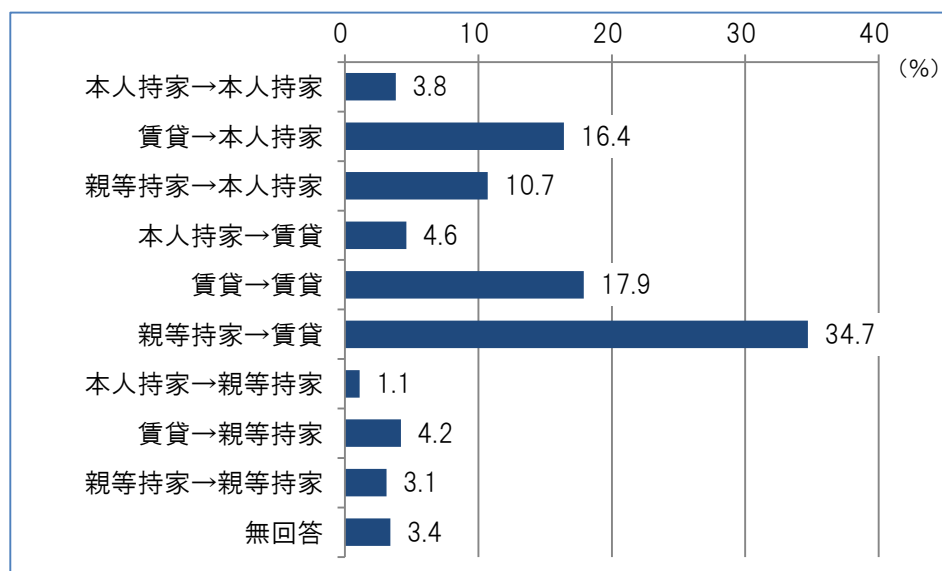
現在は、「民間の賃貸」が 49.6%と最も多く、次いで「あなた・配偶者（パートナー）の持家（一戸建て）」（21.4%）、「あなた・配偶者（パートナー）の持家（マンション）」（9.2%）となっている。

図表 254 住居形態（転出前後）（SA）（n=262）



住居形態の転出前後での変化を見ると、「親等持家→賃貸(民間賃貸、公営住宅、UR賃貸、社宅・寮)」(34.7%)が最も多く、次いで、「賃貸→賃貸」(17.9%)、「賃貸→本人持家」(16.4%)となっている。

図表 255 住居形態(転出前後)(SA) (n=262)



家族構成(子どもの状況別)で住居形態の変化を見ると、「長子が未就学児」や「長子が小学生」では、「賃貸(民間賃貸、公営住宅、UR賃貸、社宅・寮)→本人持家」が多くなっている。

図表 256 住居形態(転出前後)(家族構成(子どもの状況別))

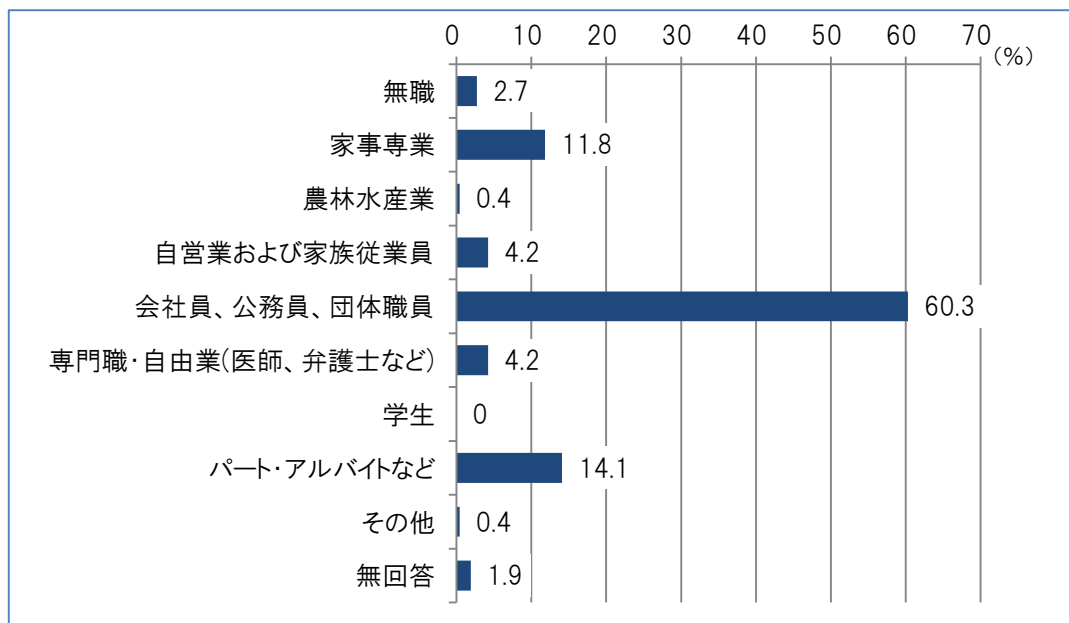
		(n数)	1位	2位	3位
全体		262	親等持家→賃貸 (34.7%)	賃貸→賃貸 (17.9%)	賃貸→本人持家 (16.4%)
(子どもの状況別)	既婚(子どもなし)	137	親等持家→賃貸 (43.1%)	賃貸→賃貸 (15.3%)	親等持家→本人持家 (14.6%)
	長子が未就学児	52	賃貸→本人持家 (28.8%)	賃貸→賃貸 (25.0%)	親等持家→賃貸 (17.3%)
	長子が小学生	11	賃貸→本人持家 (36.4%)	本人持家→本人持家 (18.2%)	親等持家→本人持家 本人持家→賃貸 賃貸→賃貸 親等持家→親等持家 (9.1%)
	長子が中学生	4	賃貸→本人持家 (50.0%)	本人持家→賃貸/本人持家→親等持家 (25.0%)	
	独身(子どもなし)	54	親等持家→賃貸 (42.6%)	賃貸→賃貸 (20.4%)	賃貸→親等持家 (9.3%)

⑨ 職業(現在) (問8)

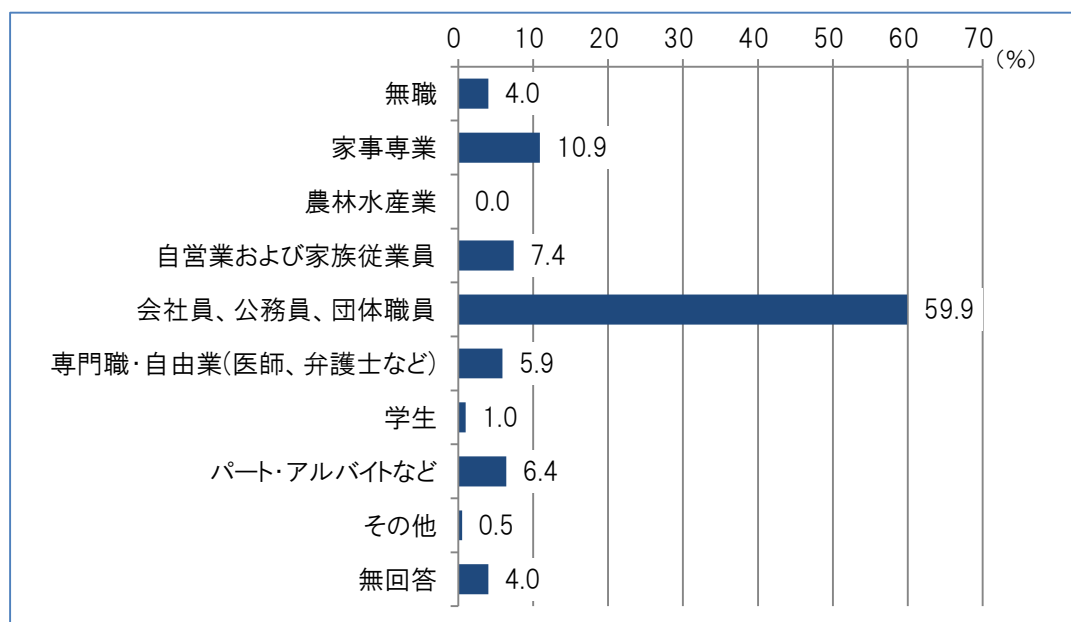
本人の職業は「会社員、公務員、団体職員」が 60.3%と最も多く、次いで「パート・アルバイトなど」(14.1%)、「家事専業」(11.8%)となっている。

配偶者(パートナー)の職業も、「会社員、公務員、団体職員」が 59.9%と最も多く、次いで「家事専業」(10.9%)となっている。

図表 257 職業(本人) (n=262)

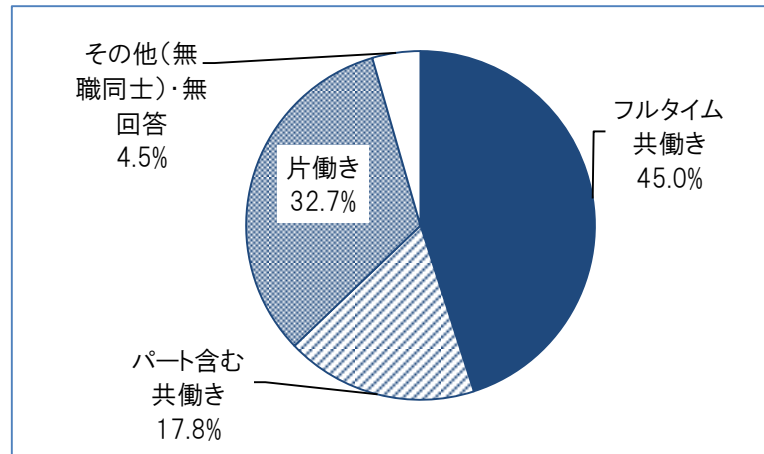


図表 258 職業(配偶者・パートナー) (n=202)



既婚者の本人及び配偶者(パートナー)の職業の状況から共働きの状況を推定すると、「フルタイム共働き」が 45.0%と最も多く、次いで「片働き」(32.7%)、「パート含む共働き」(17.8%)となっている。

図表 259 共働き状況（既婚者のみ:n=146）



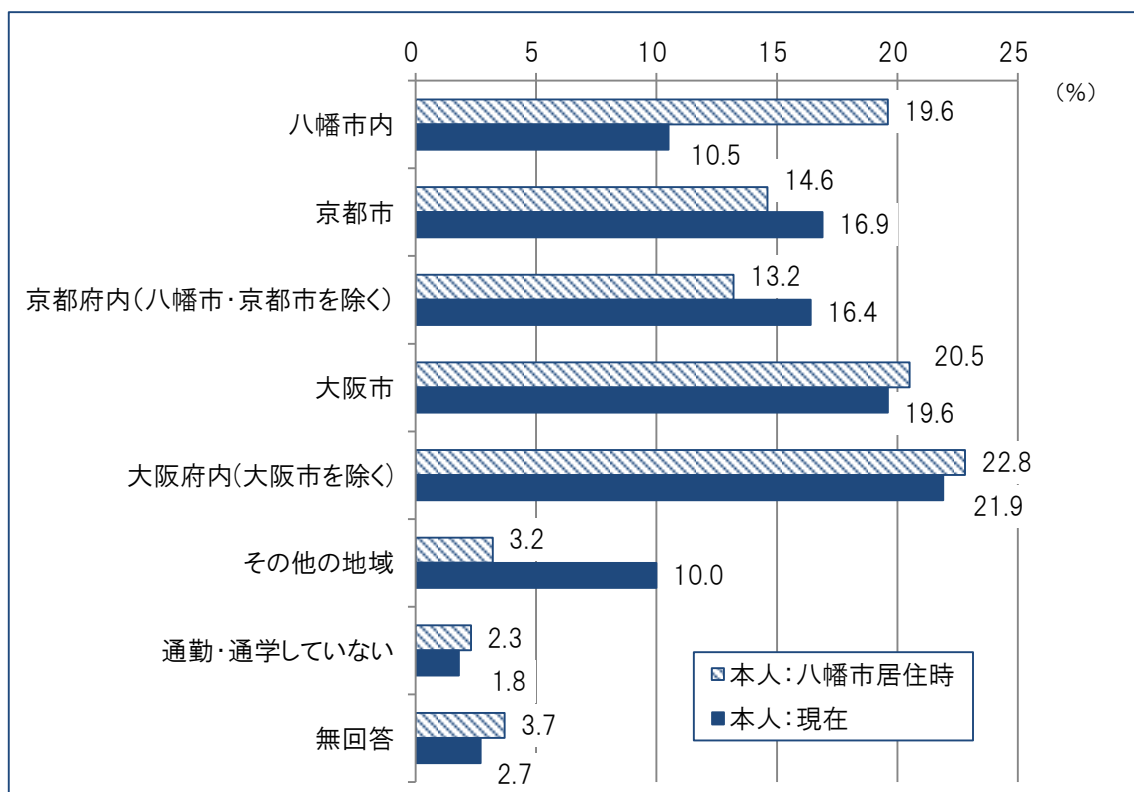
(注)フルタイム就業:「農林水産業」、「自営業および家族従業員」、「会社員、公務員、団体職員」、
「専門職・自由業(医師、弁護士など)」、「その他」
パート就業:「パート・アルバイトなど」
就業していない:「無職」、「家事専業」、「学生」

⑩ 通勤・通学先(八幡市居住時、現在) (問9)

本人の通勤・通学先(無職・家事専業を除く)は、八幡市居住時は、「大阪府内(大阪市を除く)」が22.8%と最も多く、次いで「大阪市」(20.5%)、「八幡市内」(19.6%)となっている。

現在は、「大阪府内(大阪市を除く)」が21.9%と最も多く、次いで「大阪市」(19.6%)、「京都市」(16.9%)、「京都市内(八幡市・京都市を除く)」(16.4%)となっている。

図表 260 通勤・通学先(SA)(本人) (無職・家事専業を除く:n=219)



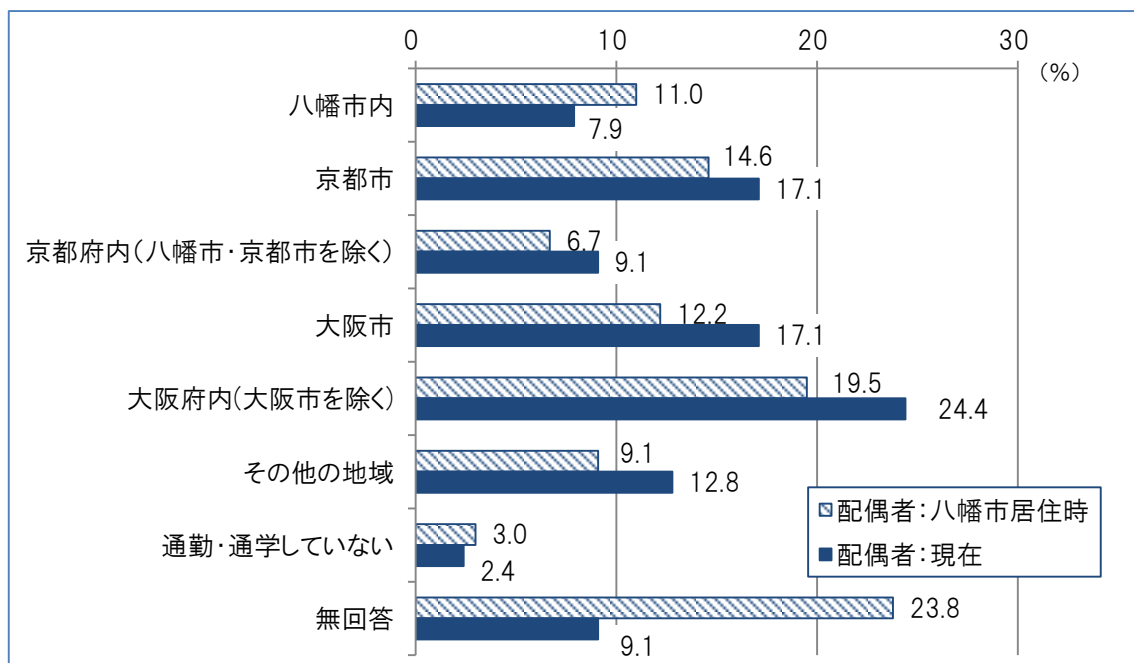
図表 261 現在の通勤・通学先(SA)(本人) (八幡市居住時の勤務地別)

										(%)
			八幡市内	京都市	を幡京 除く・都 府内(八 幡市・八 幡市を除 く)	大阪府内 (大阪市を 除く)	大阪府内 (大阪市を 除く)	その他の 地域	通勤・通 学しない・ 通学し	無回 答
全体 [N= 219]			10.5	16.9	16.4	19.6	21.9	10.0	1.8	2.7
八幡市居住時の勤務地	八幡市内 [N= 43]	53.5	2.3	11.6	9.3	11.6	11.6	0.0	0.0	
	京都市 [N= 32]	0.0	78.1	3.1	6.3	3.1	9.4	0.0	0.0	
	京都府内(八幡市・京都市を除く) [N= 29]	0.0	3.4	75.9	0.0	13.8	3.4	3.4	0.0	
	大阪市 [N= 45]	0.0	2.2	4.4	80.0	2.2	11.1	0.0	0.0	
	大阪府内(大阪市を除く) [N= 50]	0.0	16.0	6.0	2.0	72.0	2.0	2.0	0.0	
	その他の地域 [N= 7]	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	85.7	0.0	0.0	
	通勤・通学していない [N= 5]	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	

配偶者(パートナー)の通勤・通学先(無職・家事専業を除く)は、八幡市居住時は、「大阪府内(大阪市を除く)」(19.5%)が最も多く、次いで、「京都市」(14.6%)、「大阪市」(12.2%)、「八幡市内」(11.0%)が多い。

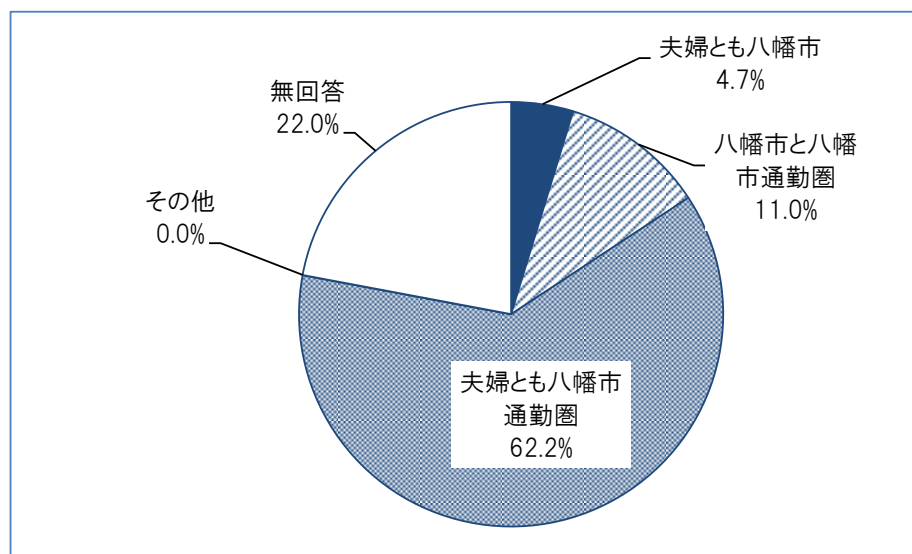
現在は、「大阪府内(大阪市を除く)」(24.4%)が最も多く、次いで、「京都市」と「大阪市」(17.1%)、「その他の地域」(12.8%)が多くなっている。

図表 262 通勤・通学先(配偶者・パートナー)(SA) (無職・家事専業を除く:n=161)



共働きをしている本人・配偶者(パートナー)の通勤・通学先の組み合わせを見ると、「夫婦とも八幡市通勤圏(2府4県)」が62.2%と最も多く、次いで「八幡市と八幡市通勤圏」が11.0%となっている。

図表 263 通勤・通学先(本人と配偶者・パートナー)(SA) (無職・家事専業を除く:n=127)



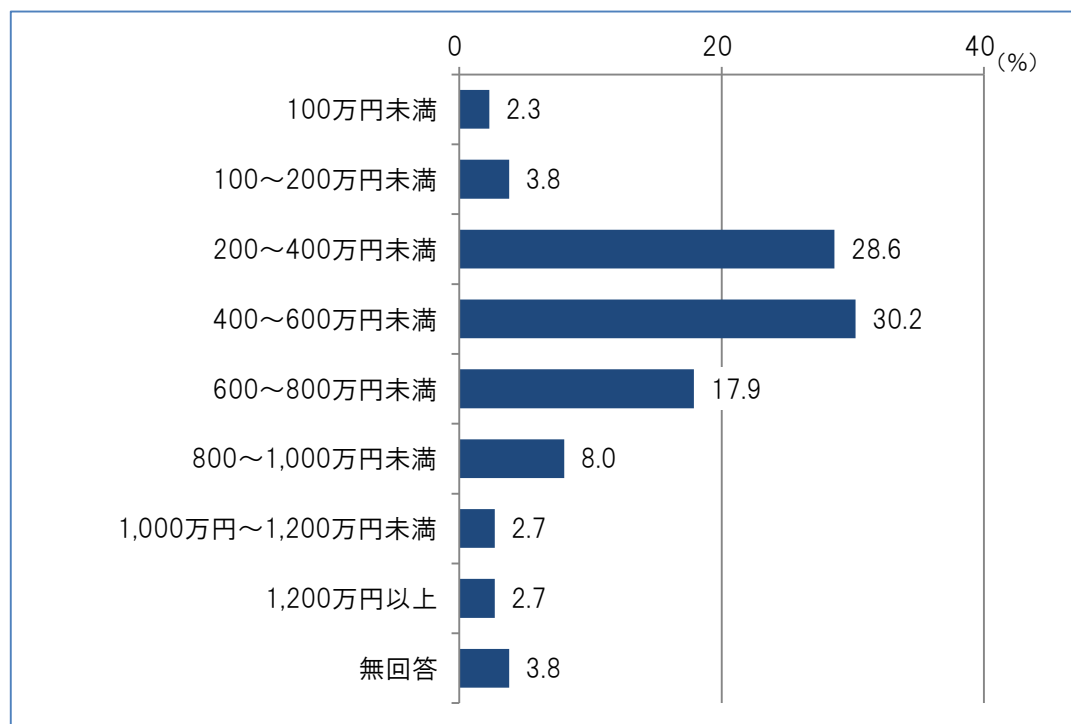
(注)「八幡市通勤圏」とは、通勤先が八幡市外の2府5県の市町村

⑪ 世帯年収（問 10）

世帯年収は、「400～600万円未満」(30.2%)と「200～400万円未満」(28.6%)が多い。次いで「600～800万円未満」(17.9%)となっている。

共働き状況別に見ると、「フルタイム・共働き」の6割強が、世帯年収600万円を超えている。

図表 264 世帯年収（n=262）



図表 265 世帯年収(共働き状況別)

			(%)								
			100万 円未満	100～ 200万 円未満	200～ 400万 円未満	400～ 600万 円未満	600～ 800万 円未満	800～ 1,000万 円未満	1,000万 円～ 1,200万 円未満	1,200万 円以上	無 回 答
全体 [N= 262]			2.3	3.8	28.6	30.2	17.9	8.0	2.7	2.7	3.8
共 働 き 状 況 別	フルタイム共働き	[N= 91]	1.1	1.1	8.8	26.4	33.0	18.7	4.4	5.5	1.1
	パート含む共働き	[N= 36]	0.0	2.8	25.0	50.0	11.1	5.6	0.0	0.0	5.6
	片働き	[N= 66]	0.0	0.0	39.4	34.8	15.2	3.0	4.5	3.0	0.0
	独身	[N= 56]	5.4	8.9	48.2	23.2	3.6	0.0	0.0	0.0	10.7

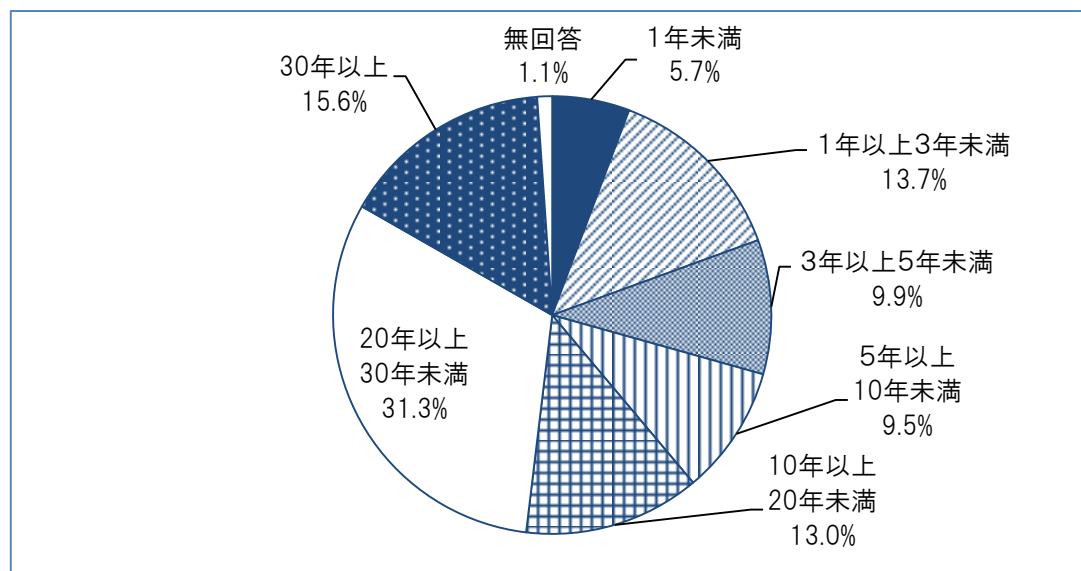
（２）転出理由や転出先の決定について

① 八幡市での居住年数（問 11）

八幡市での居住年数は「20年以上30年未満」が31.3％と最も多く、次いで「30年以上」（15.6％）となっている。20年以上の居住者が約半数を占めている。

「東部地区」では、20年以上居住している人が全体に比べて多くなっている。

図表 266 八幡市での居住年数（n=262）



図表 267 八幡市での居住年数（居住地別）

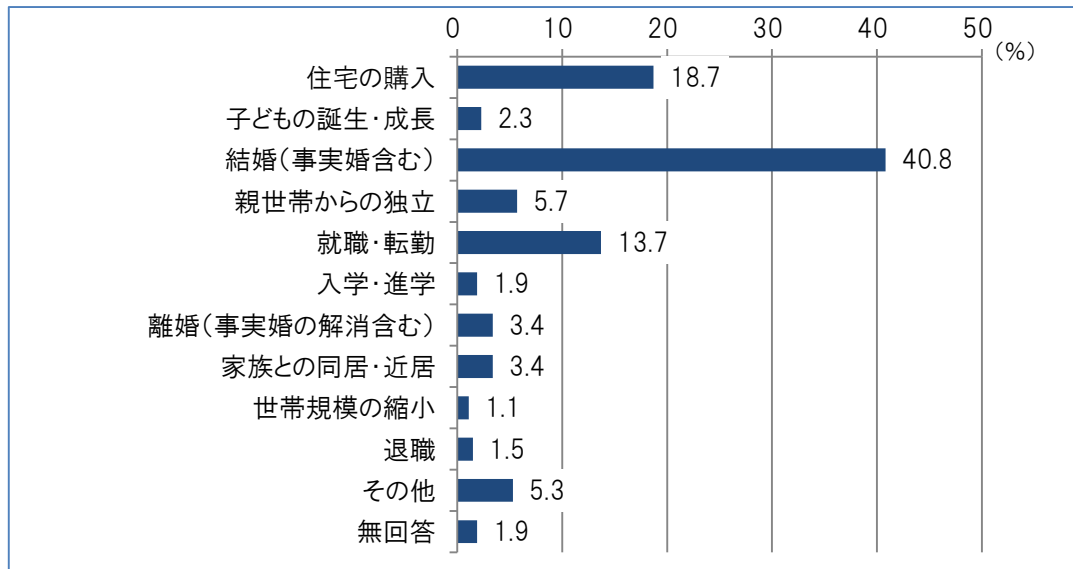
			(%)							
			1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	無回答
全体 [N= 262]			5.7	13.7	9.9	9.5	13.0	31.3	15.6	1.1
居住地別	市役所周辺	[N= 104]	5.8	16.3	9.6	5.8	14.4	29.8	18.3	0.0
	東部	[N= 14]	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	42.9	28.6	0.0
	美濃山	[N= 30]	10.0	6.7	16.7	6.7	26.7	23.3	6.7	3.3
	男山	[N= 84]	3.6	14.3	10.7	15.5	9.5	28.6	16.7	1.2
	橋本	[N= 29]	10.3	10.3	6.9	13.8	3.4	44.8	6.9	3.4

② 八幡市から転出した主な理由（問 12）

八幡市から転出した主な理由は、「結婚（事実婚を含む）」が 40.8%と最も多く、次いで「住宅の購入」（18.7%）、「就職・転勤」（13.7%）となっている。

居住地別に見ると、美濃山地区では「住宅の購入」、東部地区と橋本地区では「結婚（事実婚を含む）」が全体に比べて多い。

図表 268 転出理由(SA) (n=262)



図表 269 転出理由(SA) (居住地別)

		住宅の購入	子どもの誕生・成長	結婚（事実婚含む）	親世帯からの独立	就職・転勤	入学・進学	離婚（事実婚の解消含む）	家族との同居・近居	世帯規模の縮小	退職	その他	無回答
全体 [N= 262]		18.7	2.3	40.8	5.7	13.7	1.9	3.4	3.4	1.1	1.5	5.3	1.9
居住地別	市役所周辺 [N= 104]	14.4	1.0	43.3	4.8	14.4	2.9	2.9	3.8	1.9	2.9	5.8	1.9
	東部 [N= 14]	14.3	0.0	57.1	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
	美濃山 [N= 30]	33.3	3.3	23.3	3.3	6.7	0.0	3.3	10.0	3.3	0.0	10.0	3.3
	男山 [N= 84]	23.8	4.8	33.3	7.1	11.9	2.4	6.0	2.4	0.0	1.2	4.8	2.4
	橋本 [N= 29]	6.9	0.0	65.5	10.3	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

八幡市から転出した主な理由は、「長子が未就学児」、「長子が小学生」では「住宅の購入」の割合が全体に比べて多い。また、「既婚(子どもなし)」、「フルタイム共働き」では「結婚(事実婚含む)」の割合が全体に比べて多い。「独身」では「親世帯からの独立」「就職・転勤」が全体に比べて多い。

図表 270 転出理由(SA) (家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別)

			住宅の購入	子どもの誕生・成長	結婚(事実婚含む)	親世帯からの独立	就職・転勤	入学・進学	離婚(事実婚の解消含む)	家族との同居・近居	世帯規模の縮小	退職	その他	無回答
			(%)											
全体		[N= 262]	18.7	2.3	40.8	5.7	13.7	1.9	3.4	3.4	1.1	1.5	5.3	1.9
(子どもの状況別)	既婚(子どもなし)	[N= 137]	11.7	0.0	69.3	0.7	7.3	0.0	2.2	2.9	1.5	0.0	3.6	0.7
	長子が未就学児	[N= 52]	30.8	9.6	19.2	0.0	15.4	7.7	3.8	7.7	1.9	0.0	3.8	0.0
	長子が小学生	[N= 11]	45.5	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0
	長子が中学生	[N= 4]	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	独身(子どもなし)	[N= 54]	16.7	0.0	1.9	24.1	31.5	0.0	5.6	0.0	0.0	7.4	9.3	3.7
共働き状況別	フルタイム共働き	[N= 91]	16.5	2.2	65.9	0.0	4.4	3.3	2.2	1.1	0.0	0.0	4.4	0.0
	パート含む共働き	[N= 36]	22.2	0.0	50.0	0.0	16.7	0.0	5.6	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0
	片働き	[N= 66]	21.2	6.1	40.9	1.5	10.6	1.5	0.0	9.1	3.0	0.0	4.5	1.5
	独身	[N= 56]	16.1	0.0	1.8	23.2	30.4	0.0	8.9	0.0	0.0	7.1	8.9	3.6
住居形態別	本人・配偶者の持家	[N= 80]	56.3	3.8	28.8	0.0	0.0	1.3	0.0	3.8	0.0	0.0	6.3	0.0
	親等の持家	[N= 22]	9.1	4.5	31.8	4.5	4.5	0.0	9.1	13.6	4.5	13.6	4.5	0.0
	賃貸住宅	[N= 143]	0.0	1.4	50.3	9.8	19.6	2.8	4.9	1.4	1.4	0.7	5.6	2.1
	寮・社宅	[N= 11]	0.0	0.0	45.5	0.0	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 271 転出理由(上位5位)(SA)

(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別、居住地別)

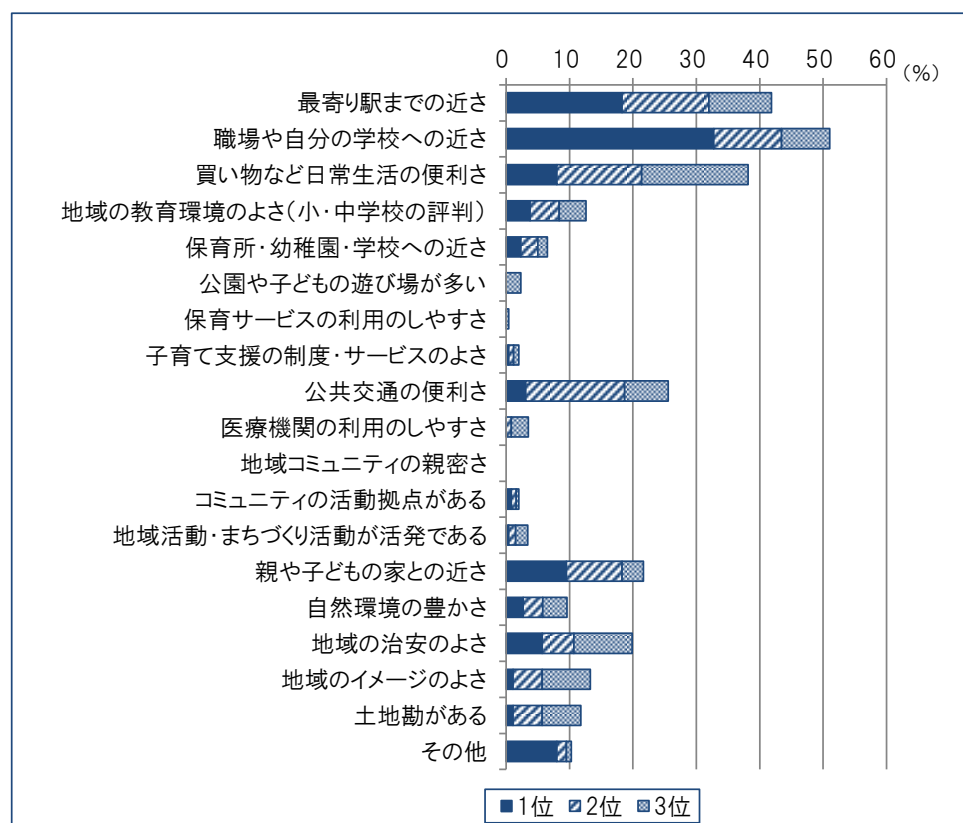
		(n数)	1位	2位	3位	4位	5位
全体		262	結婚(事実婚含む)(40.8%)	住宅の購入(18.7%)	就職・転勤(13.7%)	親世帯からの独立(5.7%)	その他(5.3%)
(子どもの状況別)	既婚(子どもなし)	137	結婚(事実婚含む)(69.3%)	住宅の購入(11.7%)	就職・転勤(7.3%)	その他(3.6%)	家族との同居・近居(2.9%)
	長子が未就学児	52	住宅の購入(30.8%)	結婚(事実婚含む)(19.2%)	就職・転勤(15.4%)	子どもの誕生・成長(9.6%)	入学・進学/家族との同居・近居(7.7%)
	長子が小学生	11	住宅の購入(45.5%)	その他(18.2%)	子どもの誕生・成長/親世帯からの独立/就職・転勤/離婚(事実婚の解消含む)(9.1%)		
	長子が中学生	4	住宅の購入/結婚(事実婚含む)/入学・進学/家族との同居・近居(25.0%)				—
	独身(子どもなし)	54	就職・転勤(31.5%)	親世帯からの独立(24.1%)	住宅の購入(16.7%)	その他(9.3%)	退職(7.4%)
共働き状況別	フルタイム共働き	91	結婚(事実婚含む)(65.9%)	住宅の購入(16.5%)	就職・転勤/その他(4.4%)		入学・進学(3.3%)
	パート含む共働き	36	結婚(事実婚含む)(50.0%)	住宅の購入(22.2%)	就職・転勤(16.7%)	離婚(事実婚の解消含む)(5.6%)	家族との同居・近居/その他(2.8%)
	片働き	66	結婚(事実婚含む)(40.9%)	住宅の購入(21.2%)	就職・転勤(10.6%)	家族との同居・近居(9.1%)	子どもの誕生・成長(6.1%)
	独身	56	就職・転勤(30.4%)	親世帯からの独立(23.2%)	住宅の購入(16.1%)	離婚(事実婚の解消含む)/その他(8.9%)	
住居形態別	本人・配偶者の持家	80	住宅の購入(56.3%)	結婚(事実婚含む)(28.8%)	その他(6.3%)	子どもの誕生・成長/家族との同居・近居(3.8%)	
	親等の持家	22	結婚(事実婚含む)(31.8%)	家族との同居・近居/退職(13.6%)		住宅の購入/離婚(事実婚の解消含む)(9.1%)	
	賃貸住宅	143	結婚(事実婚含む)(50.3%)	就職・転勤(19.6%)	親世帯からの独立(9.8%)	その他(5.6%)	離婚(事実婚の解消含む)(4.9%)
	寮・社宅	11	就職・転勤(54.5%)	結婚(事実婚含む)(45.5%)	—		
居住地別	市役所周辺	104	結婚(事実婚含む)(43.3%)	住宅の購入/就職・転勤(14.4%)		その他(5.8%)	親世帯からの独立(4.8%)
	東部	14	結婚(事実婚含む)(57.1%)	就職・転勤(21.4%)	住宅の購入(14.3%)	その他(7.1%)	—
	美濃山	30	住宅の購入(33.3%)	結婚(事実婚含む)(23.3%)	家族との同居・近居/その他(10.0%)		就職・転勤(6.7%)
	男山	84	結婚(事実婚含む)(33.3%)	住宅の購入(23.8%)	就職・転勤(11.9%)	親世帯からの独立(7.1%)	離婚(事実婚の解消含む)(6.0%)
	橋本	29	結婚(事実婚含む)(65.5%)	就職・転勤(17.2%)	親世帯からの独立(10.3%)	住宅の購入(6.9%)	—

③ 転出先を決める際に考慮したこと（問 13）

転出先を決める際に考慮したことを 1 位から 3 位まで順位をつけて回答を求めたところ、1 位から 3 位の合計では、「職場や自分の学校への近さ」が 51.1% で最も多く、次いで「最寄り駅までの近さ」(41.9%)、「買い物など日常生活の便利さ」(38.2%)となっている。

1 位の回答を見ると、「職場や自分の学校への近さ」が 32.8% と最も多く、次いで「最寄り駅までの近さ」(18.3%)、「親や子どもの家との近さ」(9.5%)となっている。

図表 272 転出先を決める際に考慮したこと(1 位、2 位、3 位) (n=262)



	1位	2位	3位	合計
最寄り駅までの近さ	18.3	13.7	9.9	41.9
職場や自分の学校への近さ	32.8	10.7	7.6	51.1
買い物など日常生活の便利さ	8.0	13.4	16.8	38.2
地域の教育環境のよさ(小・中学校の評判)	3.8	4.6	4.2	12.6
保育所・幼稚園・学校への近さ	2.3	2.7	1.5	6.5
公園や子どもの遊び場が多い	0.0	0.0	2.3	2.3
保育サービスの利用のしやすさ	0.0	0.0	0.4	0.4
子育て支援の制度・サービスのよさ	0.4	0.8	0.8	2.0
公共交通の便利さ	3.1	15.6	6.9	25.6
医療機関の利用のしやすさ	0.0	0.8	2.7	3.5
地域コミュニティの親密さ	0.0	0.0	0.0	0.0
コミュニティの活動拠点がある	0.8	0.8	0.4	2.0
地域活動・まちづくり活動が活発である	0.4	1.1	1.9	3.4
親や子どもの家との近さ	9.5	8.8	3.4	21.7
自然環境の豊かさ	2.7	3.1	3.8	9.6
地域の治安のよさ	5.7	5.0	9.2	19.9
地域のイメージのよさ	1.1	4.6	7.6	13.3
土地勘がある	1.1	4.6	6.1	11.8
その他	8.0	1.5	0.8	10.3
無回答	1.9	8.4	13.7	24.0

図表 273 転出先を決める際に考慮したこと(1位)

(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別、居住地別)

			(%)																			
			最寄り駅までの近さ	職場や自分の学校への近さ	買い物など日常生活の便利さ	地域の教育環境のよさ（小・中学校の評判）	保育所・幼稚園・学校への近さ	公園や子どもの遊び場が多い	保育サービスの利用のしやすさ	子育て支援の制度・サービスのよさ	公共交通の便利さ	医療機関の利用のしやすさ	地域コミュニティの親密さ	コミュニティの活動拠点がある	地域活動・まちづくり活動が活発である	親や子どもの家との近さ	自然環境の豊かさ	地域の治安のよさ	地域のイメージのよさ	土地勘がある	その他	無回答
全体 [N= 262]			18.3	32.8	8.0	3.8	2.3	0.0	0.0	0.4	3.1	0.0	0.0	0.8	0.4	9.5	2.7	5.7	1.1	1.1	8.0	1.9
（子どもの状況別）	家族構成	既婚（子どもなし） [N= 137]	20.4	33.6	8.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.7	4.4	0.0	0.0	1.5	0.7	11.7	1.5	3.6	0.7	2.2	8.8	0.7
		長子が未就学児 [N= 52]	17.3	23.1	11.5	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.6	3.8	13.5	0.0	0.0	5.8	0.0
		長子が小学生 [N= 11]	9.1	9.1	0.0	36.4	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1
		長子が中学生 [N= 4]	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		独身（子どもなし） [N= 54]	18.5	44.4	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	1.9	3.7	1.9	0.0	11.1
共働き状況別		フルタイム共働き [N= 91]	19.8	34.1	5.5	4.4	1.1	0.0	0.0	0.0	5.5	0.0	0.0	1.1	1.1	14.3	2.2	4.4	1.1	1.1	4.4	0.0
		パート含む共働き [N= 36]	25.0	25.0	5.6	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	2.8	11.1	2.8	2.8	11.1	0.0
		片働き [N= 66]	12.1	30.3	15.2	4.5	6.1	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	7.6	4.5	6.1	0.0	0.0	9.1	1.5
		独身 [N= 56]	17.9	42.9	7.1	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	1.8	3.6	1.8	0.0	10.7	3.6
住居形態別		本人・配偶者の持家 [N= 80]	11.3	23.8	7.5	7.5	3.8	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	1.3	11.3	5.0	11.3	2.5	1.3	8.8	1.3
		親等の持家 [N= 22]	9.1	4.5	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	31.8	4.5	9.1	0.0	0.0	18.2	4.5
		賃貸住宅 [N= 143]	24.5	42.0	7.0	2.8	2.1	0.0	0.0	0.7	3.5	0.0	0.0	0.7	0.0	5.6	1.4	2.1	0.7	1.4	4.9	0.7
		寮・社宅 [N= 11]	9.1	36.4	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2	0.0
居住地別		市役所周辺 [N= 104]	20.2	32.7	6.7	4.8	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.9	0.0	7.7	2.9	6.7	1.0	0.0	10.6	2.9
		東部 [N= 14]	28.6	35.7	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0
		美濃山 [N= 30]	20.0	26.7	10.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	6.7	10.0	0.0	0.0	6.7	3.3
		男山 [N= 84]	11.9	33.3	7.1	6.0	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	1.2	10.7	2.4	6.0	1.2	2.4	7.1	1.2
		橋本 [N= 29]	24.1	34.5	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	13.8	0.0	0.0	0.0	3.4	6.9	0.0

転出先を決める際に考慮したこと1位について、家族構成(子どもの状況別)を見ると、「職場や自分の学校への近さ」が、「既存(子どもなし)」や「長子が未就学児」、「独身(子どもなし)」で多くなっている。

転出先を決める際に考慮したこと1位について、共働き状況別を見ると、「フルタイム共働き」と「片働き」、「独身」では「職場や自分の学校への近さ」が最も多くなっている。

図表 274 転出先を決める際に考慮したこと(1位)(上位5位)
(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別、居住地別)

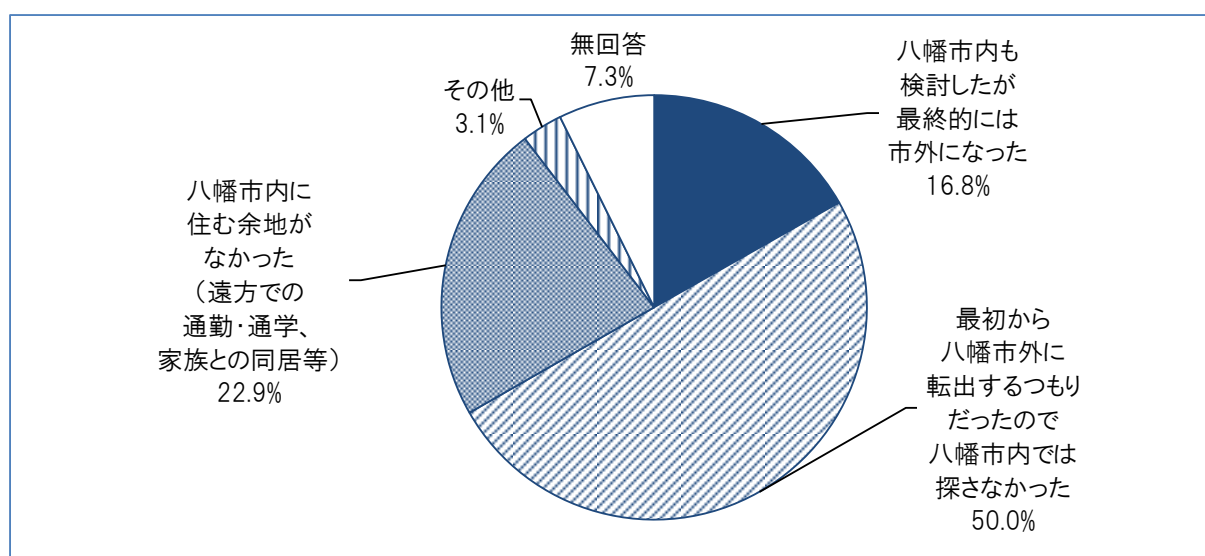
	(n数)	1位	2位	3位	4位	5位
全体	262	職場や自分の学校への近さ(32.8%)	最寄り駅までの近さ(18.3%)	親や子どもの家との近さ(9.5%)	買い物など日常生活の便利さ/その他(8.0%)	
(子どもの状況別)	既婚(子どもなし)	137	職場や自分の学校への近さ(33.6%)	最寄り駅までの近さ(20.4%)	親や子どもの家との近さ(11.7%)	買い物など日常生活の便利さ(8.0%)
	長子が未就学児	52	職場や自分の学校への近さ(23.1%)	最寄り駅までの近さ(17.3%)	地域の治安のよさ(13.5%)	買い物など日常生活の便利さ(11.5%)
	長子が小学生	11	地域の教育環境のよさ(小・中学校の評判)(36.4%)	最寄り駅までの近さ/職場や自分の学校への近さ/親や子どもの家との近さ/自然環境の豊かさ/地域のイメージのよさ(9.1%)	買い物など日常生活の便利さ(11.5%)	親や子どもの家との近さ(9.6%)
	長子が中学生	4	職場や自分の学校への近さ/親や子どもの家との近さ/自然環境の豊かさ/地域の治安のよさ(25.0%)			—
	独身(子どもなし)	54	職場や自分の学校への近さ(44.4%)	最寄り駅までの近さ(18.5%)	その他(11.1%)	買い物など日常生活の便利さ(7.4%)
共働き状況別	フルタイム共働き	91	職場や自分の学校への近さ(34.1%)	最寄り駅までの近さ(19.8%)	親や子どもの家との近さ(14.3%)	買い物など日常生活の便利さ/公共交通の便利さ(5.5%)
	パート含む共働き	36	最寄り駅までの近さ/職場や自分の学校への近さ(25.0%)		地域の治安のよさ/その他(11.1%)	親や子どもの家との近さ(8.3%)
	片働き	66	職場や自分の学校への近さ(30.3%)	買い物など日常生活の便利さ(15.2%)	最寄り駅までの近さ(12.1%)	その他(9.1%)
	独身	56	職場や自分の学校への近さ(42.9%)	最寄り駅までの近さ(17.9%)	その他(10.7%)	買い物など日常生活の便利さ(7.1%)
住居形態別	本人・配偶者の持家	80	職場や自分の学校への近さ(23.8%)	最寄り駅までの近さ/親や子どもの家との近さ/地域の治安のよさ(11.3%)		その他(8.8%)
	親等の持家	22	親や子どもの家との近さ(31.8%)	その他(18.2%)	買い物など日常生活の便利さ(13.6%)	最寄り駅までの近さ/地域の治安のよさ(9.1%)
	賃貸住宅	143	職場や自分の学校への近さ(42.0%)	最寄り駅までの近さ(24.5%)	買い物など日常生活の便利さ(7.0%)	親や子どもの家との近さ(5.6%)
	寮・社宅	11	職場や自分の学校への近さ(36.4%)	買い物など日常生活の便利さ/その他(18.2%)		最寄り駅までの近さ/親や子どもの家との近さ/地域の治安のよさ(9.1%)
居住地別	市役所周辺	104	職場や自分の学校への近さ(32.7%)	最寄り駅までの近さ(20.2%)	その他(10.6%)	親や子どもの家との近さ(7.7%)
	東部	14	職場や自分の学校への近さ(35.7%)	最寄り駅までの近さ(28.6%)	買い物など日常生活の便利さ(21.4%)	公共交通の便利さ/地域のイメージのよさ(7.1%)
	美濃山	30	職場や自分の学校への近さ(26.7%)	最寄り駅までの近さ(20.0%)	親や子どもの家との近さ(13.3%)	買い物など日常生活の便利さ/地域の治安のよさ(10.0%)
	男山	84	職場や自分の学校への近さ(33.3%)	最寄り駅までの近さ(11.9%)	親や子どもの家との近さ(10.7%)	買い物など日常生活の便利さ/その他(7.1%)
	橋本	29	職場や自分の学校への近さ(34.5%)	最寄り駅までの近さ(24.1%)	親や子どもの家との近さ(13.8%)	買い物など日常生活の便利さ/公共交通の便利さ/その他(6.9%)

④ 転出先の検討経過（問 14）

転出先を決める際に、八幡市内での転居を検討したかについては、「最初から八幡市外に転出するつもりだったので八幡市内では探さなかった」が 50.0%と半数を占めている。次いで「八幡市内に住む余地がなかった（遠方での通勤・通学、家族との同居等）」が 22.9%、「八幡市内も検討したが最終的には市外になった」が 16.8%となっている。

「美濃山地区」で、「最初から八幡市外に転出するつもりだったので八幡市内では探さなかった」が全体に比べて多くなっている。

図表 275 転出先の検討経過(SA) (n=262)



図表 276 転出先の検討経過(SA) (居住地別)

			(%)			
			八幡市内でも検討した	最初から八幡市外に転出するつもりだったので八幡市内では探さなかった	八幡市内に住む余地がなかった（遠方での通勤・通学、家族との同居等）	無回答
全体 [N= 262]			16.8	50.0	22.9	7.3
居住地別	市役所周辺 [N= 104]		17.3	51.0	24.0	4.8
	東部 [N= 14]		21.4	21.4	50.0	0.0
	美濃山 [N= 30]		23.3	60.0	10.0	3.3
	男山 [N= 84]		14.3	54.8	15.5	11.9
	橋本 [N= 29]		13.8	37.9	37.9	10.3

転出先の検討経過については、「独身(子どもなし)」、「独身」で、「最初から八幡市外に転出するつもりだったので八幡市内では探さなかった」が全体に比べて多くなっている。

図表 277 転出先の検討経過(SA)(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別)

			なが八 つ最幡 た終市 的内に もは検 市討 外しに た	探 た 転 最 さ の 出 初 な だ す か か 八 る ら つ 幡 つ 八 た 市 も 幡 内 り 市 で だ 外 は つ に	と の が 八 の 通 な 幡 同 勤 か 市 居 ・ つ 内 等 通 た に ～ 学 へ 住 、 遠 む 家 方 余 族 で 地	そ の 他	無 回 答
全体 [N= 262]			16.8	50.0	22.9	3.1	7.3
(子 ど も の 状 況 別) 家 族 構 成	既婚(子どもなし)	[N= 137]	15.3	46.0	27.0	2.2	9.5
	長子が未就学児	[N= 52]	25.0	50.0	19.2	3.8	1.9
	長子が小学生	[N= 11]	27.3	54.5	9.1	9.1	0.0
	長子が中学生	[N= 4]	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	独身(子どもなし)	[N= 54]	11.1	61.1	18.5	3.7	5.6
共 働 き 状 況 別	フルタイム共働き	[N= 91]	19.8	48.4	23.1	1.1	7.7
	パート含む共働き	[N= 36]	13.9	41.7	22.2	5.6	16.7
	片働き	[N= 66]	19.7	47.0	28.8	3.0	1.5
	独身	[N= 56]	10.7	62.5	17.9	3.6	5.4
住 居 形 態 別	本人・配偶者の持家	[N= 80]	21.3	50.0	18.8	3.8	6.3
	親等の持家	[N= 22]	13.6	40.9	36.4	4.5	4.5
	賃貸住宅	[N= 143]	15.4	53.8	21.7	1.4	7.7
	寮・社宅	[N= 11]	9.1	27.3	54.5	9.1	0.0

⑤ 転出先を決める際に、現在の居住地以外に検討した市町村（問 15）

「八幡市内も検討したが最終的には市外になった」または、「最初から八幡市外に転出するつもりだったので八幡市内では探さなかった」と回答した人に、転出先を決める際に、現在の居住地以外に検討した市町村(3つまで)を聞いたところ、「転出先と八幡市」を検討が 6.9%、「転出先と八幡市と他都市」を検討が 20.6%、「転出先と他都市」を検討が 72.5%となっている。

京都市、枚方市、京田辺市、宇治市に転出した人は八幡市を転出先の候補に含めている。

図表 278 転出先を決める際に、現在居住地以外に検討した市町村(FA3つまで)

転出先	n数	転出先と 八幡市	転出先と 八幡市と 他都市	転出先と 他都市
合計	102	6.9	20.6	72.5
京都市	8	25.0	12.5	62.5
枚方市	33	9.1	36.4	54.5
京田辺市	11	9.1	45.5	45.5
宇治市	2	－	50.0	50.0
長岡京市	1	－	－	100.0
久御山町	0	－	－	－
大山崎町	0	－	－	－
城陽市	2	－	－	100.0
大阪市	6	－	－	100.0
上記以外京都府内	4	－	50.0	50.0
上記以外大阪府内	21	－	－	100.0
その他	11	9.1	－	90.9
無回答	3	－	－	100.0

(3) 八幡市のイメージや魅力・不満について（八幡市居住時）

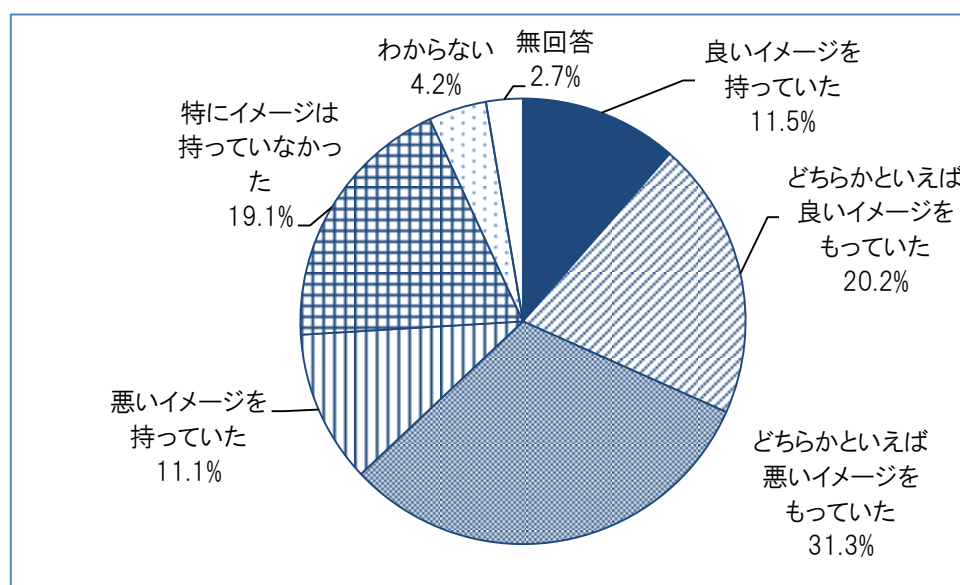
① 八幡市のイメージ（問 16）

八幡市居住時の八幡市に対するイメージは、「どちらかといえば悪いイメージを持っていた」が 31.3%と最も多く、次いで「どちらかといえばよいイメージをもっていた」が 20.2%となっている。

悪いイメージ(悪い(11.1%)とどちらかといえば悪い(31.3%))の合計(42.4%))が、良いイメージ(良い(11.5%)とどちらかといえば良い(20.2%))の合計(31.7%))を 10 ポイント程度上回っている。また、「特にイメージは持っていなかった」人が 19.1%みられる。

「橋本地区」で「良いイメージを持っていた」人が全体に比べて多くなっている。

図表 279 八幡市のイメージ(八幡市居住時)(SA) (n=262)



図表 280 八幡市のイメージ(八幡市居住時)(SA) (居住地別)

			(%)									
居住 地別		N	良い イメージ を持って	どちら かとい えば良 い	どちら かとい えば悪 い	悪い イメージ を持って	特に イメ ージは 持っ て	わ か ら な い	無 回 答	良い イメ ージ	悪い イメ ージ	イメ ージ は な い・ わ か
			11.5	20.2	31.3	11.1	19.1	4.2	2.7	31.7	42.4	23.3
居住 地別	全体	[N= 262]	11.5	20.2	31.3	11.1	19.1	4.2	2.7	31.7	42.4	23.3
	市役所周辺	[N= 104]	9.6	22.1	23.1	17.3	20.2	3.8	3.8	31.7	40.4	23.3
	東部	[N= 14]	7.1	21.4	35.7	7.1	28.6	0.0	0.0	28.5	42.8	23.3
	美濃山	[N= 30]	0.0	30.0	40.0	10.0	6.7	6.7	6.7	30.0	50.0	23.3
	男山	[N= 84]	10.7	19.0	39.3	8.3	19.0	3.6	0.0	29.7	47.6	23.3
	橋本	[N= 29]	31.0	6.9	27.6	0.0	24.1	6.9	3.4	37.9	27.6	23.3

家族構成(子どもの状況別)では、「長子が未就学児」で、「悪いイメージ」の人が多い傾向にある。

図表 281 八幡市のイメージ(八幡市居住時)(SA)

(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別)

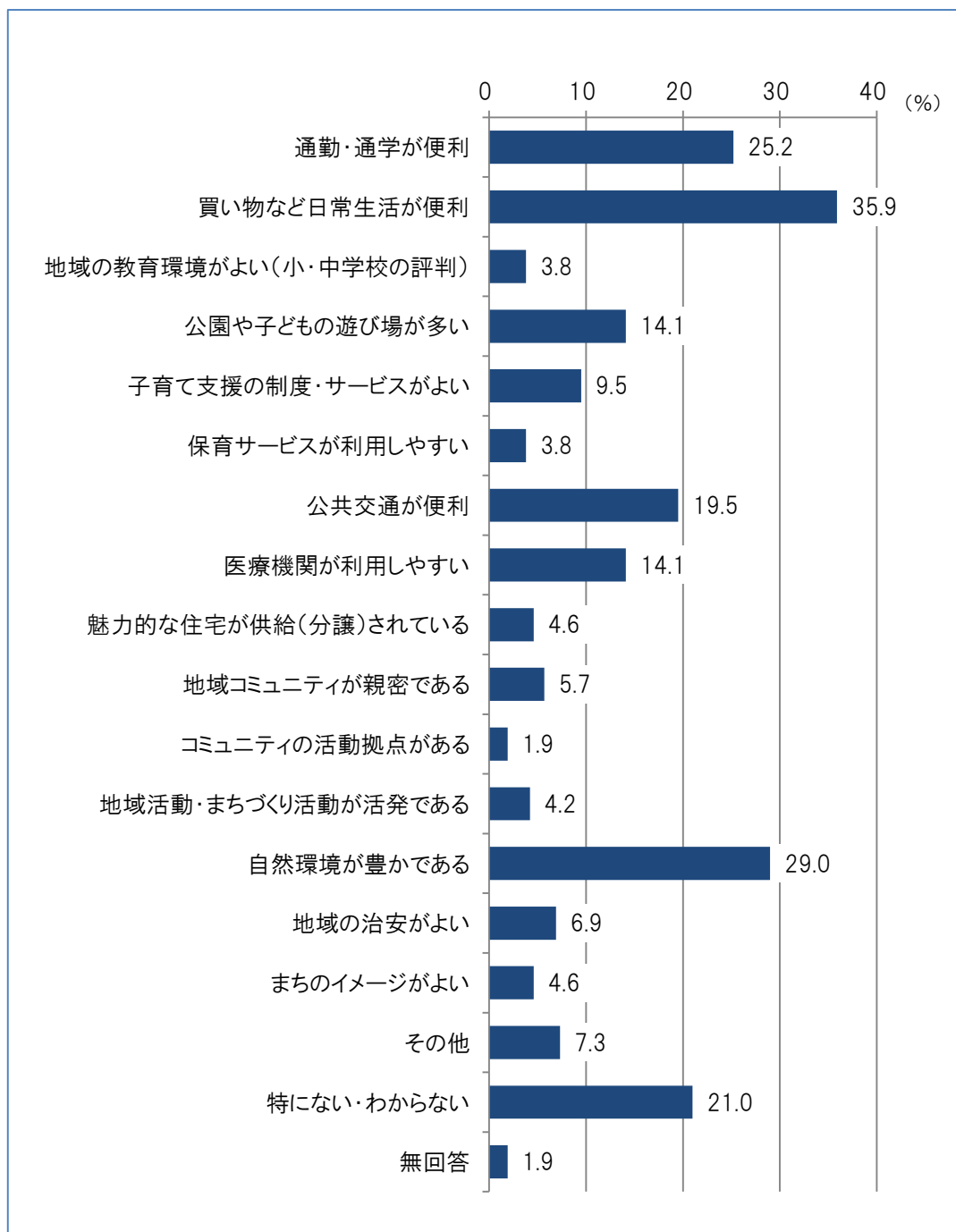
			良いイメージを持って	どちらかといえば良いイメージ	どちらかといえば悪いイメージ	悪いイメージを持って	特にイメージは持って	わからない	無回答	良いイメージ	悪いイメージ	イメージはない・わからない	(%)
全体 [N= 262]			11.5	20.2	31.3	11.1	19.1	4.2	2.7	31.7	42.4	23.3	
(子どもの家族構成)	既婚(子どもなし)	[N= 137]	13.1	22.6	24.8	10.9	21.9	4.4	2.2	35.7	35.7	26.3	
	長子が未就学児	[N= 52]	9.6	17.3	40.4	15.4	9.6	1.9	5.8	26.9	55.8	11.5	
	長子が小学生	[N= 11]	0.0	36.4	36.4	0.0	27.3	0.0	0.0	36.4	36.4	27.3	
	長子が中学生	[N= 4]	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	
	独身(子どもなし)	[N= 54]	13.0	14.8	38.9	7.4	18.5	7.4	0.0	27.8	46.3	25.9	
共働き状況別	フルタイム共働き	[N= 91]	16.5	17.6	27.5	11.0	23.1	2.2	2.2	34.1	38.5	25.3	
	パート含む共働き	[N= 36]	2.8	33.3	25.0	16.7	16.7	5.6	0.0	36.1	41.7	22.3	
	片働き	[N= 66]	10.6	18.2	37.9	10.6	15.2	3.0	4.5	28.8	48.5	18.2	
	独身	[N= 56]	12.5	17.9	37.5	7.1	17.9	7.1	0.0	30.4	44.6	25.0	
住居形態別	本人・配偶者の持家	[N= 80]	6.3	23.8	37.5	13.8	12.5	3.8	2.5	30.1	51.3	16.3	
	親等の持家	[N= 22]	4.5	18.2	31.8	4.5	27.3	9.1	4.5	22.7	36.3	36.4	
	賃貸住宅	[N= 143]	15.4	18.2	27.3	11.9	22.4	2.8	2.1	33.6	39.2	25.2	
	寮・社宅	[N= 11]	9.1	18.2	45.5	0.0	18.2	9.1	0.0	27.3	45.5	27.3	

② 八幡市の魅力（問 17）

八幡市居住時に感じていた八幡市の魅力は、「買い物など日常生活が便利」が 35.9%と最も多く、次いで「自然環境が豊かである」(29.0%)、「通勤・通学が便利」(25.2%)、「公共交通が便利」(19.5%)が多くなっている。

一方、「特にない・わからない」とする人が 21.0%みられる。

図表 282 八幡市の魅力(MA) (n=262)



図表 283 八幡市の魅力(MA)

(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別、居住地別)

			通勤・通学が便利	買い物など日常生活が便利	地域の教育環境がよい(小・中学校の評判)	公園や子どもの遊び場が多い	子育て支援の制度・サービスがよい	保育サービスが利用しやすい	公共交通が便利	医療機関が利用しやすい	魅力的な住宅が供給(分譲)されている	地域コミュニティが親密である	コミュニティの活動拠点がある	地域活動・まちづくり活動が活発である	自然環境が豊かである	地域の治安がよい	まちのイメージがよい	その他	特になし・わからない	無回答
全体 [N= 262]			25.2	35.9	3.8	14.1	9.5	3.8	19.5	14.1	4.6	5.7	1.9	4.2	29.0	6.9	4.6	7.3	21.0	1.9
(子どもの状況別)	既婚(子どもなし)	[N= 137]	28.5	35.8	4.4	12.4	5.1	2.2	22.6	13.1	4.4	5.8	2.2	3.6	30.7	6.6	5.8	6.6	24.1	0.7
	長子が未就学児	[N= 52]	19.2	34.6	1.9	25.0	28.8	11.5	13.5	17.3	5.8	3.8	1.9	3.8	21.2	3.8	0.0	5.8	11.5	5.8
	長子が小学生	[N= 11]	0.0	54.5	18.2	18.2	18.2	9.1	0.0	27.3	0.0	9.1	0.0	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0
	長子が中学生	[N= 4]	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	独身(子どもなし)	[N= 54]	29.6	33.3	1.9	7.4	0.0	0.0	22.2	11.1	3.7	5.6	1.9	5.6	35.2	11.1	7.4	13.0	20.4	0.0
共働き状況別	フルタイム共働き	[N= 91]	26.4	42.9	4.4	16.5	6.6	2.2	19.8	16.5	4.4	4.4	1.1	3.3	27.5	7.7	4.4	7.7	22.0	1.1
	パート含む共働き	[N= 36]	27.8	36.1	5.6	8.3	13.9	5.6	30.6	19.4	5.6	5.6	5.6	5.6	25.0	2.8	8.3	2.8	19.4	5.6
	片働き	[N= 66]	22.7	31.8	4.5	19.7	19.7	4.5	12.1	12.1	6.1	7.6	1.5	4.5	28.8	6.1	1.5	4.5	19.7	0.0
	独身	[N= 56]	28.6	33.9	1.8	8.9	0.0	1.8	21.4	10.7	3.6	5.4	1.8	5.4	35.7	10.7	7.1	12.5	19.6	0.0
住居形態別	本人・配偶者の持家	[N= 80]	27.5	48.8	6.3	16.3	17.5	5.0	22.5	17.5	7.5	2.5	2.5	3.8	17.5	5.0	3.8	5.0	20.0	1.3
	親等の持家	[N= 22]	36.4	22.7	0.0	13.6	4.5	4.5	13.6	4.5	0.0	4.5	0.0	9.1	22.7	4.5	4.5	4.5	18.2	9.1
	賃貸住宅	[N= 143]	21.0	30.8	3.5	10.5	5.6	2.8	17.5	12.6	2.8	7.0	1.4	3.5	37.1	7.7	4.2	9.1	23.1	1.4
	寮・社宅	[N= 11]	18.2	18.2	0.0	27.3	18.2	0.0	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0	9.1	18.2	0.0
居住地別	市役所周辺	[N= 104]	24.0	33.7	1.9	7.7	5.8	1.9	19.2	10.6	1.0	4.8	1.9	2.9	28.8	1.9	3.8	8.7	28.8	0.0
	東部	[N= 14]	7.1	7.1	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0	35.7	7.1	0.0	0.0	42.9	0.0
	美濃山	[N= 30]	13.3	40.0	13.3	23.3	13.3	6.7	10.0	16.7	23.3	10.0	3.3	10.0	23.3	16.7	13.3	0.0	6.7	6.7
	男山	[N= 84]	35.7	46.4	1.2	17.9	13.1	6.0	27.4	22.6	2.4	4.8	2.4	4.8	26.2	8.3	2.4	7.1	15.5	2.4
	橋本	[N= 29]	20.7	20.7	6.9	24.1	10.3	0.0	17.2	3.4	3.4	3.4	0.0	3.4	37.9	10.3	6.9	13.8	13.8	3.4

図表 284 八幡市の魅力(MA)(上位5位)

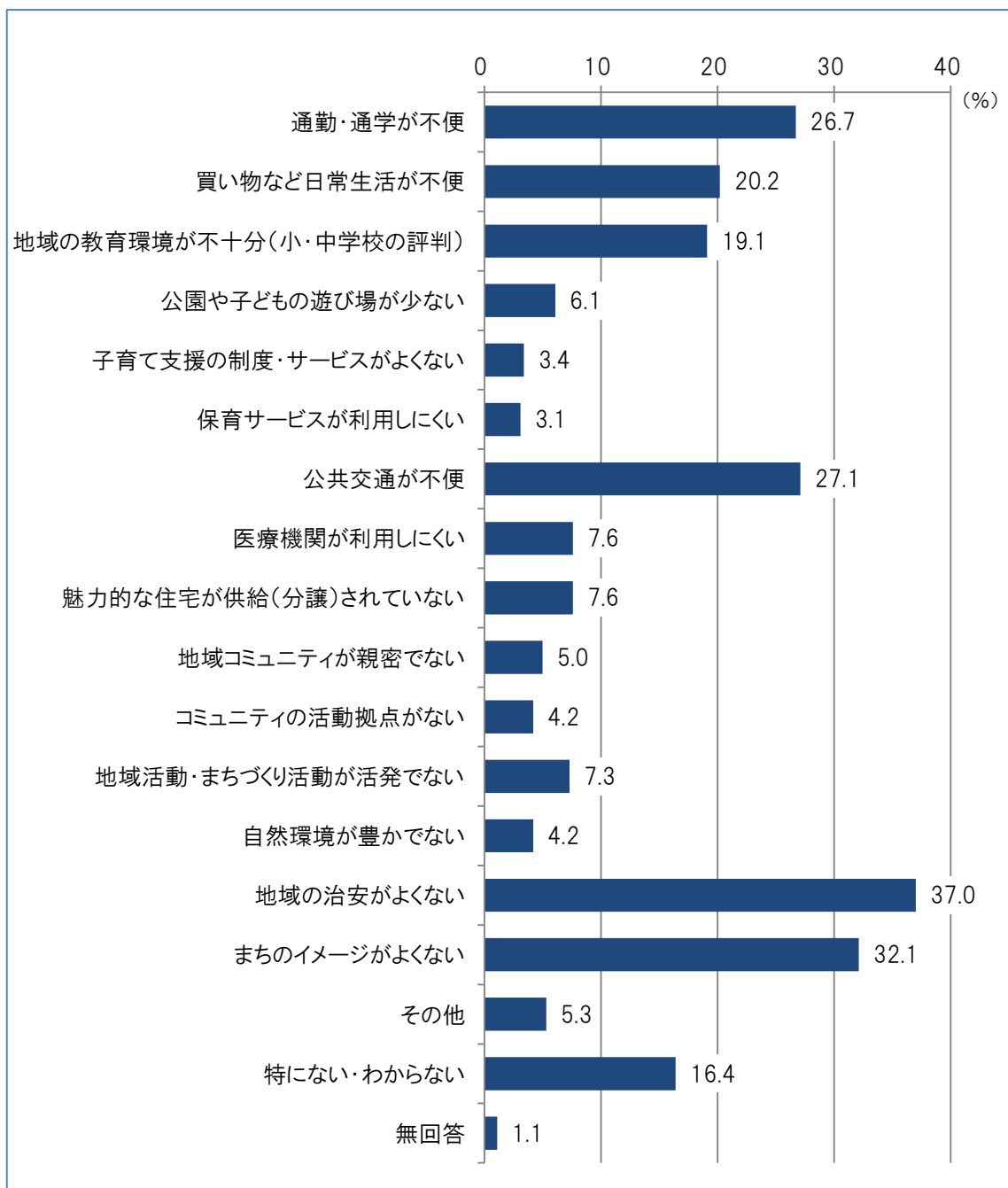
(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別、居住地別)

		(n数)	1位	2位	3位	4位	5位
全体		262	買い物など日常生活が便利(35.9%)	自然環境が豊かである(29.0%)	通勤・通学が便利(25.2%)	特にない・わからない(21.0%)	公共交通が便利(19.5%)
(子どもの状況別)	既婚(子どもなし)	137	買い物など日常生活が便利(35.8%)	自然環境が豊かである(30.7%)	通勤・通学が便利(28.5%)	特にない・わからない(24.1%)	公共交通が便利(22.6%)
	長子が未就学児	52	買い物など日常生活が便利(34.6%)	子育て支援の制度・サービスがよい(28.8%)	公園や子どもの遊び場が多い(25.0%)	自然環境が豊かである(21.2%)	通勤・通学が便利(19.2%)
	長子が小学生	11	買い物など日常生活が便利(54.5%)	医療機関が利用しやすい/自然環境が豊かである/特にない・わからない(27.3%)			地域の教育環境がよい(小・中学校の評判)/公園や子どもの遊び場が多い/子育て支援の制度・サービスがよい(18.2%)
	長子が中学生	4	買い物など日常生活が便利(75.0%)	通勤・通学が便利/子育て支援の制度・サービスがよい/公共交通が便利/医療機関が利用しやすい/魅力的な住宅が供給(分譲)されている/自然環境が豊かである/地域の治安がよい(25.0%)			
	独身(子どもなし)	54	自然環境が豊かである(35.2%)	買い物など日常生活が便利(33.3%)	通勤・通学が便利(29.6%)	公共交通が便利(22.2%)	特にない・わからない(20.4%)
共働き状況別	フルタイム共働き	91	買い物など日常生活が便利(42.9%)	自然環境が豊かである(27.5%)	通勤・通学が便利(26.4%)	特にない・わからない(22.0%)	公共交通が便利(19.8%)
	パート含む共働き	36	買い物など日常生活が便利(36.1%)	公共交通が便利(30.6%)	通勤・通学が便利(27.8%)	自然環境が豊かである(25.0%)	医療機関が利用しやすい/特にない・わからない(19.4%)
	片働き	66	買い物など日常生活が便利(31.8%)	自然環境が豊かである(28.8%)	通勤・通学が便利(22.7%)	公園や子どもの遊び場が多い/子育て支援の制度・サービスがよい/特にない・わからない(19.7%)	
	独身	56	自然環境が豊かである(35.7%)	買い物など日常生活が便利(33.9%)	通勤・通学が便利(28.6%)	公共交通が便利(21.4%)	特にない・わからない(19.6%)
住居形態別	本人・配偶者の持家	80	買い物など日常生活が便利(48.8%)	通勤・通学が便利(27.5%)	公共交通が便利(22.5%)	特にない・わからない(20.0%)	子育て支援の制度・サービスがよい(17.5%)
	親等の持家	22	通勤・通学が便利(36.4%)	買い物など日常生活が便利/自然環境が豊かである(22.7%)		特にない・わからない(18.2%)	公園や子どもの遊び場が多い/公共交通が便利(13.6%)
	賃貸住宅	143	自然環境が豊かである(37.1%)	買い物など日常生活が便利(30.8%)	特にない・わからない(23.1%)	通勤・通学が便利(21.0%)	公共交通が便利(17.5%)
	寮・社宅	11	公園や子どもの遊び場が多い/公共交通が便利/自然環境が豊かである(27.3%)			通勤・通学が便利/買い物など日常生活が便利/子育て支援の制度・サービスがよい/特にない・わからない(18.2%)	
居住地別	市役所周辺	104	買い物など日常生活が便利(33.7%)	自然環境が豊かである/特にない・わからない(28.8%)		通勤・通学が便利(24.0%)	公共交通が便利(19.2%)
	東部	14	特にない・わからない(42.9%)	自然環境が豊かである(35.7%)	地域コミュニティが親密である(14.3%)	通勤・通学が便利/買い物など日常生活が便利/地域の教育環境がよい(小・中学校の評判)/子育て支援の制度・サービスがよい/保育サービスが利用しやすい/医療機関が利用しやすい/魅力的な住宅が供給(分譲)されている/地域の治安がよい(7.1%)	
	美濃山	30	買い物など日常生活が便利(40.0%)	公園や子どもの遊び場が多い/魅力的な住宅が供給(分譲)されている/自然環境が豊かである(23.3%)			医療機関が利用しやすい/地域の治安がよい(16.7%)
	男山	84	買い物など日常生活が便利(46.4%)	通勤・通学が便利(35.7%)	公共交通が便利(27.4%)	自然環境が豊かである(26.2%)	医療機関が利用しやすい(22.6%)
	橋本	29	自然環境が豊かである(37.9%)	公園や子どもの遊び場が多い(24.1%)	通勤・通学が便利/買い物など日常生活が便利(20.7%)		公共交通が便利(17.2%)

③ 八幡市の不満（問 18）

八幡市居住時に感じていた八幡市の不満は、「地域の治安が良くない」が 37.0%と最も多く、次いで「まちのイメージが良くない」(32.1%)、「公共交通が不便」(27.1%)、「通勤・通学が不便」(26.7%)となっている。

図表 285 八幡市の不満(MA) (n=262)



図表 286 八幡市の不満(MA)

(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別、居住地別)

			(%)																	
			通勤・通学が不便	買い物など日常生活が不便	地域の教育環境が不十分(小・中学校の評判)	公園や子どもの遊び場が少ない	子育て支援の制度・サービスがよい	保育サービスが利用しにくい	公共交通が不便	医療機関が利用しにくい	魅力的な住宅が供給(分譲)されていない	地域コミュニティが親密でない	コミュニティの活動拠点がない	地域活動・まちづくり活動が活発でない	自然環境が豊かでない	地域の治安がよくない	まちのイメージがよくない	その他	特になし・わからない	無回答
全体 [N= 262]			26.7	20.2	19.1	6.1	3.4	3.1	27.1	7.6	7.6	5.0	4.2	7.3	4.2	37.0	32.1	5.3	16.4	1.1
(子どもの状況別)	既婚(子どもなし)	[N= 137]	27.0	19.0	15.3	2.9	2.9	2.9	29.2	8.8	5.8	4.4	3.6	8.0	4.4	33.6	26.3	3.6	19.7	0.7
	長子が未就学児	[N= 52]	21.2	15.4	23.1	11.5	1.9	5.8	21.2	3.8	5.8	3.8	1.9	3.8	3.8	46.2	44.2	5.8	5.8	3.8
	長子が小学生	[N= 11]	27.3	18.2	45.5	27.3	9.1	0.0	45.5	0.0	0.0	9.1	9.1	18.2	0.0	45.5	18.2	0.0	18.2	0.0
	長子が中学生	[N= 4]	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	独身(子どもなし)	[N= 54]	29.6	29.6	20.4	5.6	5.6	1.9	24.1	11.1	16.7	7.4	7.4	7.4	3.7	37.0	40.7	11.1	16.7	0.0
共働き状況別	フルタイム共働き	[N= 91]	27.5	12.1	13.2	2.2	5.5	1.1	22.0	5.5	3.3	4.4	4.4	6.6	4.4	40.7	34.1	3.3	16.5	1.1
	パート含む共働き	[N= 36]	22.2	22.2	22.2	13.9	0.0	5.6	36.1	11.1	5.6	5.6	0.0	8.3	2.8	36.1	27.8	5.6	13.9	0.0
	片働き	[N= 66]	24.2	24.2	22.7	9.1	1.5	6.1	30.3	6.1	9.1	4.5	4.5	9.1	6.1	36.4	30.3	3.0	16.7	1.5
	独身	[N= 56]	30.4	30.4	21.4	5.4	5.4	1.8	25.0	10.7	16.1	7.1	7.1	7.1	3.6	37.5	39.3	10.7	16.1	0.0
住居形態別	本人・配偶者の持家	[N= 80]	26.3	13.8	25.0	7.5	2.5	1.3	28.8	6.3	3.8	7.5	5.0	10.0	5.0	45.0	31.3	2.5	16.3	1.3
	親等の持家	[N= 22]	13.6	31.8	18.2	9.1	4.5	4.5	18.2	9.1	4.5	0.0	0.0	4.5	4.5	40.9	36.4	9.1	18.2	4.5
	賃貸住宅	[N= 143]	28.7	22.4	15.4	5.6	4.2	3.5	25.2	9.1	11.2	4.2	4.2	6.3	4.2	33.6	34.3	6.3	16.1	0.7
	寮・社宅	[N= 11]	36.4	27.3	36.4	0.0	0.0	9.1	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	36.4	18.2	0.0	18.2	0.0
居住地別	市役所周辺	[N= 104]	23.1	20.2	22.1	5.8	4.8	3.8	23.1	6.7	7.7	2.9	1.9	8.7	5.8	39.4	31.7	5.8	17.3	1.0
	東部	[N= 14]	64.3	64.3	0.0	14.3	0.0	7.1	57.1	14.3	21.4	14.3	21.4	14.3	14.3	21.4	21.4	0.0	7.1	0.0
	美濃山	[N= 30]	33.3	10.0	13.3	16.7	3.3	3.3	50.0	10.0	0.0	10.0	6.7	3.3	3.3	30.0	30.0	6.7	16.7	3.3
	男山	[N= 84]	23.8	10.7	23.8	2.4	2.4	2.4	20.2	7.1	10.7	6.0	4.8	7.1	2.4	42.9	39.3	6.0	17.9	0.0
	橋本	[N= 29]	24.1	37.9	10.3	3.4	3.4	0.0	24.1	6.9	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	27.6	20.7	3.4	10.3	3.4

図表 287 八幡市の不満(MA)(上位5位)

(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別、居住地別)

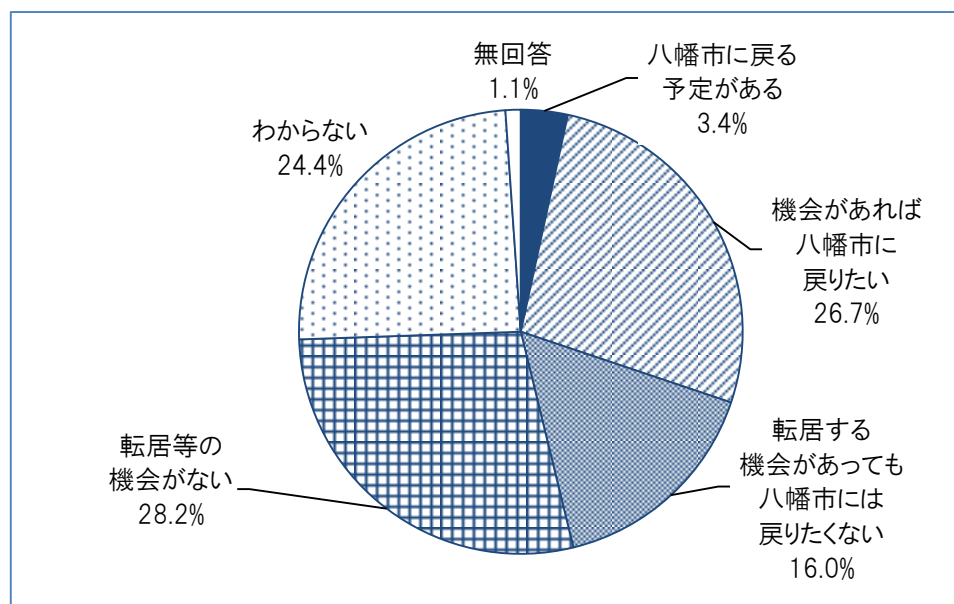
		(n数)	1位	2位	3位	4位	5位
全体		262	地域の治安がよくない(37.0%)	まちのイメージがよくない(32.1%)	公共交通が不便(27.1%)	通勤・通学が不便(26.7%)	買い物など日常生活が不便(20.2%)
(子どもの状況別) 家族構成	既婚(子どもなし)	137	地域の治安がよくない(33.6%)	公共交通が不便(29.2%)	通勤・通学が不便(27.0%)	まちのイメージがよくない(26.3%)	特にない・わからない(19.7%)
	長子が未就学児	52	地域の治安がよくない(46.2%)	まちのイメージがよくない(44.2%)	地域の教育環境が不十分(小・中学校の評判)(23.1%)	通勤・通学が不便/公共交通が不便(21.2%)	
	長子が小学生	11	地域の教育環境が不十分(小・中学校の評判)/公共交通が不便/地域の治安がよくない(45.5%)				通勤・通学が不便/公園や子どもの遊び場が少ない(27.3%)
	長子が中学生	4	地域の治安がよくない(50.0%)	通勤・通学が不便/買い物など日常生活が不便/自然環境が豊かでない/まちのイメージがよくない/特にない・わからない(25.0%)			
	独身(子どもなし)	54	まちのイメージがよくない(40.7%)	地域の治安がよくない(37.0%)	通勤・通学が不便/買い物など日常生活が不便(29.6%)	公共交通が不便(24.1%)	
共働き状況別	フルタイム共働き	91	地域の治安がよくない(40.7%)	まちのイメージがよくない(34.1%)	通勤・通学が不便(27.5%)	公共交通が不便(22.0%)	特にない・わからない(16.5%)
	パート含む共働き	36	公共交通が不便/地域の治安がよくない(36.1%)	まちのイメージがよくない(27.8%)		通勤・通学が不便/買い物など日常生活が不便/地域の教育環境が不十分(小・中学校の評判)(22.2%)	
	片働き	66	地域の治安がよくない(36.4%)	公共交通が不便/まちのイメージがよくない(30.3%)		通勤・通学が不便/買い物など日常生活が不便(24.2%)	
	独身	56	まちのイメージがよくない(39.3%)	地域の治安がよくない(37.5%)	通勤・通学が不便/買い物など日常生活が不便(30.4%)	公共交通が不便(25.0%)	
住居形態別	本人・配偶者の持家	80	地域の治安がよくない(45.0%)	まちのイメージがよくない(31.3%)	公共交通が不便(28.8%)	通勤・通学が不便(26.3%)	地域の教育環境が不十分(小・中学校の評判)(25.0%)
	親等の持家	22	地域の治安がよくない(40.9%)	まちのイメージがよくない(36.4%)	買い物など日常生活が不便(31.8%)	地域の教育環境が不十分(小・中学校の評判)/公共交通が不便/特にない・わからない(18.2%)	
	賃貸住宅	143	まちのイメージがよくない(34.3%)	地域の治安がよくない(33.6%)	通勤・通学が不便(28.7%)	公共交通が不便(25.2%)	買い物など日常生活が不便(22.4%)
	寮・社宅	11	公共交通が不便(45.5%)	通勤・通学が不便/地域の教育環境が不十分(小・中学校の評判)/地域の治安がよくない(36.4%)			買い物など日常生活が不便(27.3%)
居住地別	市役所周辺	104	地域の治安がよくない(39.4%)	まちのイメージがよくない(31.7%)	通勤・通学が不便/公共交通が不便(23.1%)		地域の教育環境が不十分(小・中学校の評判)(22.1%)
	東部	14	通勤・通学が不便/買い物など日常生活が不便(64.3%)		公共交通が不便(57.1%)	魅力的な住宅が供給(分譲)されていない/コミュニティの活動拠点がいない/地域の治安がよくない/まちのイメージがよくない(21.4%)	
	美濃山	30	公共交通が不便(50.0%)	通勤・通学が不便(33.3%)	地域の治安がよくない/まちのイメージがよくない(30.0%)		公園や子どもの遊び場が少ない/特にない・わからない(16.7%)
	男山	84	地域の治安がよくない(42.9%)	まちのイメージがよくない(39.3%)	通勤・通学が不便/地域の教育環境が不十分(小・中学校の評判)(23.8%)		公共交通が不便(20.2%)
	橋本	29	買い物など日常生活が不便(37.9%)	地域の治安がよくない(27.6%)	通勤・通学が不便/公共交通が不便(24.1%)		まちのイメージがよくない(20.7%)

(4) 今後の八幡市での居留意向

① 今後の居留意向（問 19）

「将来、もう一度八幡市に住みたいと思うか」については、「転居等の機会がない」が 28.2%と最も多く、次いで「機会があれば八幡市に戻りたい」(26.7%)、「わからない」(24.4%)となっている。

図表 288 今後の居留意向（n=262）



図表 289 今後の居留意向（居住地別）

		あ る 八 幡 市 に 戻 る 予 定 が	に 機 会 が あ い れ ば 八 幡 市	た て も 居 る 市 機 会 は あ り つ	転 居 等 の 機 会 が な い	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 262]		3.4	26.7	16.0	28.2	24.4	1.1
居住地別	市役所周辺 [N= 104]	3.8	26.0	17.3	24.0	28.8	0.0
	東部 [N= 14]	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	0.0
	美濃山 [N= 30]	3.3	26.7	23.3	26.7	16.7	3.3
	男山 [N= 84]	1.2	22.6	16.7	38.1	21.4	0.0
	橋本 [N= 29]	3.4	37.9	3.4	17.2	31.0	6.9

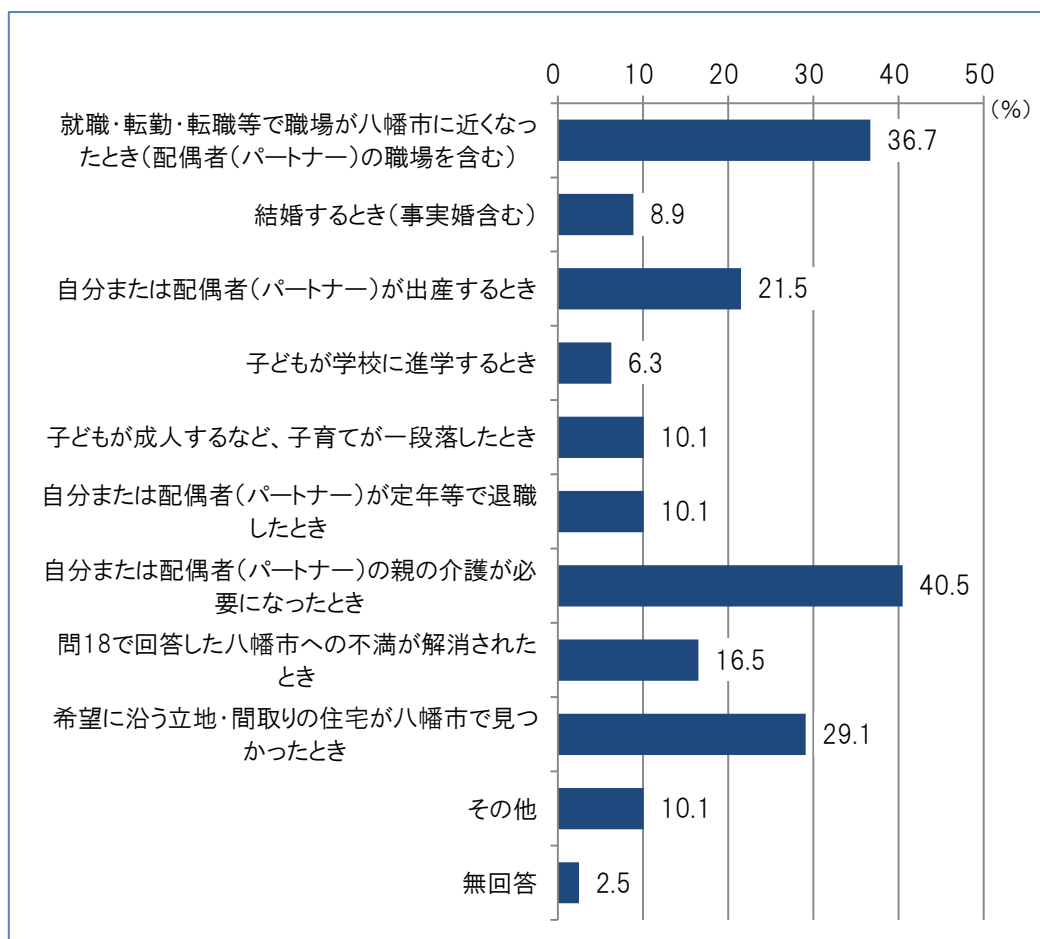
図表 290 今後の居留意向（家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別)
(%)

			ある 八幡 市に 戻る 予定 が	機 会が あ れば 八幡 市 に 戻 り た い	転 居 す る 機 会 が あ つ て も 八 幡 市 に は 戻 り た く な い	転 居 等 の 機 会 が な い	わ か ら な い	無 回 答
全体 [N= 262]			3.4	26.7	16.0	28.2	24.4	1.1
（子 ども の 状 況 別 ）	既婚(子どもなし)	[N= 137]	2.2	29.2	16.1	26.3	26.3	0.0
	長子が未就学児	[N= 52]	5.8	25.0	9.6	34.6	21.2	3.8
	長子が小学生	[N= 11]	0.0	18.2	9.1	45.5	27.3	0.0
	長子が中学生	[N= 4]	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	独身(子どもなし)	[N= 54]	3.7	25.9	24.1	22.2	22.2	1.9
共 働 き 状 況 別	フルタイム共働き	[N= 91]	5.5	29.7	12.1	23.1	28.6	1.1
	パート含む共働き	[N= 36]	0.0	30.6	22.2	30.6	16.7	0.0
	片働き	[N= 66]	3.0	24.2	13.6	36.4	22.7	0.0
	独身	[N= 56]	3.6	25.0	23.2	23.2	23.2	1.8
住 居 形 態 別	本人・配偶者の持家	[N= 80]	0.0	22.5	13.8	51.3	12.5	0.0
	親等の持家	[N= 22]	9.1	18.2	18.2	18.2	31.8	4.5
	賃貸住宅	[N= 143]	4.9	30.1	17.5	16.1	30.1	1.4
	寮・社宅	[N= 11]	0.0	36.4	9.1	27.3	27.3	0.0

② 八幡市に戻るきっかけ（問 20）

「八幡市に戻る予定がある」(3.4%)「機会があれば八幡市に戻りたい」(26.7%)と回答した人に、「どのようなときに八幡市に戻る予定、あるいは戻りたいか」聞いたところ、「自分または配偶者(パートナー)の親の介護が必要になったとき」が40.5%と最も多く、次いで「就職・転勤・転職等で職場が八幡市に近くなったとき(配偶者(パートナー)の職場を含む)」(36.7%)、「希望に沿う立地・間取りの住宅が八幡市で見つかったとき」(29.1%)となっている。

図表 291 八幡市に戻るきっかけ(3 つまで) (n=79)



図表 292 八幡市に戻るきっかけ(3 つまで)

(家族構成(子どもの状況別)、共働き状況別、住居形態別、居住地別)

														(%)
（子どもの状況別）	全体 [N= 79]		36.7	8.9	21.5	6.3	10.1	10.1	40.5	16.5	29.1	10.1	2.5	
	既婚(子どもなし) [N= 43]		30.2	4.7	30.2	11.6	11.6	9.3	53.5	9.3	27.9	7.0	4.7	
	長子が未就学児 [N= 16]		31.3	0.0	0.0	0.0	18.8	18.8	18.8	25.0	25.0	18.8	0.0	
	長子が小学生 [N= 2]		50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	
	長子が中学生 [N= 2]		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	
	独身(子どもなし) [N= 16]		62.5	31.3	25.0	0.0	0.0	0.0	37.5	25.0	31.3	0.0	0.0	
共働き状況別	フルタイム共働き [N= 32]		37.5	6.3	25.0	9.4	6.3	18.8	43.8	15.6	31.3	12.5	3.1	
	パート含む共働き [N= 11]		27.3	0.0	27.3	9.1	0.0	0.0	36.4	18.2	27.3	18.2	9.1	
	片働き [N= 18]		16.7	0.0	11.1	5.6	33.3	11.1	38.9	11.1	27.8	5.6	0.0	
	独身 [N= 16]		62.5	31.3	25.0	0.0	0.0	0.0	37.5	25.0	31.3	0.0	0.0	
住居形態別	本人・配偶者の持家 [N= 18]		27.8	0.0	11.1	0.0	22.2	22.2	33.3	38.9	33.3	11.1	0.0	
	親等の持家 [N= 6]		33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7	33.3	16.7	0.0	
	賃貸住宅 [N= 50]		38.0	12.0	26.0	10.0	8.0	8.0	44.0	10.0	24.0	8.0	2.0	
	寮・社宅 [N= 4]		75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	25.0	0.0	
居住地別	市役所周辺 [N= 31]		41.9	12.9	12.9	9.7	16.1	6.5	38.7	16.1	25.8	9.7	0.0	
	東部 [N= 6]		16.7	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	33.3	16.7	16.7	33.3	0.0	
	美濃山 [N= 9]		22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	22.2	44.4	11.1	11.1	
	男山 [N= 20]		40.0	10.0	35.0	0.0	5.0	20.0	45.0	25.0	35.0	5.0	5.0	
	橋本 [N= 12]		33.3	0.0	25.0	16.7	8.3	8.3	58.3	0.0	25.0	8.3	0.0	

八幡市のまちづくりのための「市民アンケート調査」

ご協力をお願い

みなさまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

八幡市では、市民の皆様にとって住みよいまちづくりを目指し、行政運営の基本方針となる新たな総合計画の策定を進めております。この総合計画の策定に当たっては、市民の皆様のご意見を伺い、新たな総合計画に反映して参りたいと考えております。

つきましては、以前、本市にお住まいであり、近畿2府4県の市町村に転出された25～44歳（平成28年9月1日時点）の方の中から約1,000人を無作為に選ばせていただき、アンケート調査をお願いすることにいたしました。

この調査は無記名で実施され、ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理し、調査の目的以外に使用することは一切ありません。

お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、みなさまの率直なご意見をお聞かせいただきますようお願いいたします。

平成28年10月

八幡市長 堀口 文昭

ご記入にあたってのお願い

1. あて名ご本人のお考えやご意見を回答してください。
(ただし、障がいや年齢などによって、ご本人が記入できない場合には、ご家族や介助者の方が、ご本人の意見を聞きながら、もしくはご本人の気持ちを考えながら記入してください。分からないことがありましたら、下記までご相談ください。)
2. 原則として、質問ごとにあてはまる番号を○で囲んでください。
3. 「その他」と回答される場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
4. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**10月24日(月)**までに投函してください。(切手は不要です)

<お問合せ・相談先>

八幡市政策推進部 政策推進課 担当：田制（たせい）、堀川、永谷

電話：075- 983-1004 Eメール：seisaku@mb.city.yawata.kyoto.jp

転出者調査

八幡市のまちづくりのための「市民アンケート調査」

あなたご自身のことについておたずねします

問1. あなたの性別はどちらですか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 男性

2. 女性

問2. あなたの年齢はどれにあたりますか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 25～29 歳

2. 30～34 歳

3. 35～39 歳

4. 40 歳以上

問3. 現在お住まいの地域はどこですか。(例：●●府△△市)

府県

市区町村

区

問4. 八幡市でお住まいだった地区はどちらですか。あてはまる地区を 1つ選び、番号を○で囲んでください。

※地区名がわからない場合は下の () 内に住所をご記入ください(番地は記入不要です 例：八幡園内)。

1. 八幡地区

2. 橋本地区

3. 川口地区

4. 岩田地区

5. 野尻地区

6. 上津屋地区

7. 上奈良地区

8. 下奈良地区

9. 内里地区

10. 戸津地区

11. 美濃山地区

12. 男山地区

13. 西山地区

14. 欽明台地区

(地区名がわからない場合：)

問5. 転出前後のあなたの家族構成はどれにあたりますか。それぞれあてはまる番号を 1つ選び、番号をご記入ください。

1. ひとり暮らし

2. 夫婦のみ(事実婚を含む)

3. 二世帯同居(親(あなた)と子ども)

4. 二世帯同居(親と子ども(あなた))

5. 三世帯同居

6. その他(具体的に：)

【八幡市での居住時】

【現在】

問6. 八幡市からの転出を決めた時、同居のご家族には次にあてはまる方がおられましたか。あなた自身を含め、あてはまるものを全て選び、番号を○で囲んでください。

1. 生まれてくる予定の子ども

2. 保育所・幼稚園に就園していない子ども

3. 保育園・幼稚園に就園している子ども

4. 小学生

5. 中学生

6. 高校生

7. 大学生・専門学校生

8. 65～74 歳の方

9. 75 歳以上の方

10. 介護を必要とする方

11. 該当する人はいない

問 7. 転出前後のあなたのお住まいはどれにあたりますか。それぞれあてはまる番号をすべて選び、番号をご記入ください。

1. あなた・配偶者（パートナー）の持家（一戸建て）
2. あなた・配偶者（パートナー）の持家（マンション）
3. あなた・配偶者（パートナー）の親の持家（一戸建て）
4. あなた・配偶者（パートナー）の親の持家（マンション）
5. 民間の賃貸
6. 公営住宅の賃貸（市営、府営）
7. URの賃貸
8. 社宅・寮
9. その他（具体的に： ）

【八幡市での居住時】

【現在】

11/11/2019

問8. あなたや配偶者（パートナー）のご職業等は、どれにあたりますか。あてはまるものを1つ選び、番号をご記入ください。なお、あてはまるものが複数ある場合は主なもの1つをお選びください。【独身の方はご自身のみお答えください】

- | | | | |
|------------------|----------|--|---------|
| 1. 無職
2. 家事専業 | } 問 10 へ | 3. 農林水産業
4. 自営業および家族従業員
5. 会社員、公務員、団体職員
6. 専門職・自由業(医師、弁護士など)
7. 学生
8. パート・アルバイトなど
9. その他(具体的に：) | } 問 9 へ |
|------------------|----------|--|---------|

【あなたご自身】

11

【配偶者（パートナー）】

11

問9. 問8で、あなたご自身もしくは配偶者（パートナー）が「3」～「9」のいずれかに回答された方におたずねします。転出前後の通勤・通学先として、あてはまるものを1つ選び、番号をご記入ください。なお、あてはまるものが複数ある場合は主なもの1つをお選びください。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 八幡市内 | 2. 京都市 |
| 3. 京都府内(八幡市・京都市を除く) | 4. 大阪市 |
| 5. 大阪府内(大阪市を除く) | 6. その他の地域(具体的に:) |
| 7. 通勤・通学していない | |

	八幡市での居住時	現在
【あなたご自身】		
【配偶者（パートナー）】		

問 10. あなたの世帯年収（税込み、配偶者（パートナー）がいる場合は配偶者（パートナー）分を含む。親・きょうだい・子どもの収入は含まない）はどれにあたりますか。あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 100 万円未満 | 2. 100～200 万円未満 |
| 3. 200～400 万円未満 | 4. 400～600 万円未満 |
| 5. 600～800 万円未満 | 6. 800～1,000 万円未満 |
| 7. 1,000 万円～1,200 万円未満 | 8. 1,200 万円以上 |

転出の理由や転出先の決定についておたずねします。

問 11. あなたは八幡市には何年お住まいでしたか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | | |
|--------------|---------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上3年未満 | 3. 3年以上5年未満 |
| 4. 5年以上10年未満 | 5. 10年以上20年未満 | 6. 20年以上30年未満 |
| 7. 30年以上 | | |

問 12. あなたが八幡市から転出された主な理由は、どれにあたりますか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | | | |
|------------|--------------|---------------------|--------------|
| 1. 住宅の購入 | 2. 子どもの誕生・成長 | 3. 結婚（事実婚含む） | 4. 親世帯からの独立 |
| 5. 就職・転勤 | 6. 入学・進学 | 7. 離婚（事実婚の解消含む） | 8. 家族との同居・近居 |
| 9. 世帯規模の縮小 | 10. 退職 | 11. その他（具体的に：_____） | |

問 13. あなたが八幡市からの転出先を決める際に考慮されたことは、どれにあたりますか。考慮されたことを 3つまで選び、1位から3位まで順に番号をご記入ください。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 最寄り駅までの近さ | 2. 職場や自分の学校への近さ |
| 3. 買い物など日常生活の便利さ | 4. 地域の教育環境のよさ（小・中学校の評判） |
| 5. 保育所・幼稚園・学校への近さ | 6. 公園や子どもの遊び場が多い |
| 7. 保育サービスの利用のしやすさ | 8. 子育て支援の制度・サービスのよさ |
| 9. 公共交通の便利さ | 10. 医療機関の利用のしやすさ |
| 11. 地域コミュニティの親密さ | 12. コミュニティの活動拠点がある |
| 13. 地域活動・まちづくり活動が活発である | 14. 親や子どもの家との近さ |
| 15. 自然環境の豊かさ | 16. 地域の治安のよさ |
| 17. 地域のイメージのよさ | 18. 土地勘がある |
| 19. その他（具体的に：_____） | |



1位

2位

3位

問 14. あなたは転出先を決める際に、八幡市内での転居も検討されましたか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------------------------------|----------|
| 1. 八幡市内も検討したが最終的には市外になった | } 問 15 へ |
| 2. 最初から八幡市外に転出するつもりだったので八幡市内では探さなかった | |
| 3. 八幡市内に住む余地がなかった（遠方での通勤・通学、家族との同居等） | } 問 16 へ |
| 4. その他（具体的に：_____） | |

問 15. 問 14 で「1」または「2」と回答された方におたずねします。転出先を決める際に、現在のお住まい以外にどこを検討されましたか。具体的な市町村名を3つまでご記入ください。

--

市・町・村

--

市・町・村

--

市・町・村

八幡市に対するイメージや魅力・不満についておたずねします。

問 16. あなたが八幡市にお住まいの時に、八幡市に対してどのようなイメージをお持ちでしたか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 良いイメージを持っていた | 2. どちらかといえば良いイメージをもっていた |
| 3. どちらかといえば悪いイメージをもっていた | 4. 悪いイメージを持っていた |
| 5. 特にイメージは持っていなかった | 6. わからない |

問 17. あなたが八幡市にお住まいの時に、八幡市にどのような魅力を感じていましたか。あてはまるものを すべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-------------------------|--------------------------------------|
| 1. 通勤・通学が便利 | 2. 買い物など日常生活が便利 |
| 3. 地域の教育環境がよい（小・中学校の評判） | 4. 公園や子どもの遊び場が多い |
| 5. 子育て支援の制度・サービスがよい | 6. 保育サービスが利用しやすい |
| 7. 公共交通が便利 | 8. 医療機関が利用しやすい |
| 9. 魅力的な住宅が供給（分譲）されている | 10. 地域コミュニティが親密である |
| 11. コミュニティの活動拠点がある | 12. 地域活動・まちづくり活動が活発である |
| 13. 自然環境が豊かである | 14. 地域の治安がよい |
| 15. まちのイメージがよい | 16. その他（具体的に： ） |
| 17. 特になし・わからない | |

問 18. あなたが八幡市にお住まいの時に、八幡市にどのような不満を感じていましたか。あてはまるものを すべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------------------|
| 1. 通勤・通学が不便 | 2. 買い物など日常生活が不便 |
| 3. 地域の教育環境が不十分（小・中学校の評判） | 4. 公園や子どもの遊び場が少ない |
| 5. 子育て支援の制度・サービスがよくない | 6. 保育サービスが利用しにくい |
| 7. 公共交通が不便 | 8. 医療機関が利用しにくい |
| 9. 魅力的な住宅が供給（分譲）されていない | 10. 地域コミュニティが親密でない |
| 11. コミュニティの活動拠点が無い | 12. 地域活動・まちづくり活動が活発でない |
| 13. 自然環境が豊かでない | 14. 地域の治安がよくない |
| 15. まちのイメージがよくない | 16. その他（具体的に： ） |
| 17. 特になし・わからない | |

八幡市での今後の居住意向についておたずねします。

問 19. あなたは将来、もう一度八幡市に住みたいと思いますか。あてはまるものを 1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 八幡市に戻る予定がある | 2. 機会があれば八幡市に戻りたい |
| 3. 転居する機会があっても八幡市には戻りたくない | 4. 転居等の機会がない |
| 5. わからない | |

問 20. 問 19 で「1」または「2」と回答された方におたずねします。どのようなときに八幡市に戻る予定、あるいは戻りたいですか。今のお考えに近いものを 3つまで選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|---|
| 1. 就職・転職・転職等で職場が八幡市に近くなったとき（配偶者（パートナー）の職場を含む） |
| 2. 結婚するとき（事実婚含む） |
| 3. 自分または配偶者（パートナー）が出産するとき |
| 4. 子どもが学校に進学するとき |
| 5. 子どもが成人するなど、子育てが一段落したとき |
| 6. 自分または配偶者（パートナー）が定年等で退職したとき |
| 7. 自分または配偶者（パートナー）の親の介護が必要になったとき |
| 8. 問 18 で回答した八幡市への不満が解消されたとき |
| 9. 希望に沿う立地・間取りの住宅が八幡市で見つかったとき |
| 10. その他（具体的に： ） |

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、無記名で
10月24日（月）までにお近くのポストに投函してください。（切手は不要です）

■八幡市のまちづくりのための「市民アンケート調査」報告書

(平成 29 年3月)

八幡市政策推進部 政策推進課

〒614-8501 京都府八幡市八幡園内 75

電話:075- 983-1004 FAX:075-982-7988

Eメール:seisaku@mb.city.yawata.kyoto.jp